

月、昔し片瀬塚場を輪番せる八ヶ寺の一。

圓久寺 妙本寺末 深澤村常盤 相澤 辨順

由緒沿革 常盤山と號す、開山日伊上人。

佛行寺 妙本寺末 深澤村笛田 山崎 意海

由緒沿革 笛田山と號す、開山佛性院日秀上人、明應四乙卯年三月創立。

彌勒寺 妙純寺末 村岡村彌勒寺

由緒沿革 開山見理院日祐上人、天正十五年創立。

法善寺 鎌倉妙法寺末 村岡村彌勒寺

由緒沿革 蓮教山と號す、開基永井治右衛門、開山本寺八世日勤上人、創立永正十一甲戌年七月十七日。

隆昌院 神奈川妙善寺末 村岡村柄澤

由緒沿革 開山日心上人、永祿十一戊寅年八月創立。

久成寺 身延末 玉繩村城廻 早乙女文妙

由緒沿革 光圓山と號す、開基松田尾張守秀長、開山常光院日舜上人、永正十五戊寅年三月創立。

常勝寺 妙本寺末 長尾村田谷 熊切 玄堂

由緒沿革 妙顯山と號す、開山日養上人、永正元甲子年二月創立。

妙秀寺 神奈川本覺寺末 戸塚町吉山 新倉 宣澄

由緒沿革 身立山と號す、開山身立院日修上人、創立延文元年

上人、弘治元年八月創立。

信隆寺 中山末、中末二 茅ヶ崎町今宿 櫻井 隆隨

由緒沿革 妙嚴山と號す、開基武田信就、開山善立院日意上人、寛永十年中創立。

上國寺 中山末 茅ヶ崎町今宿 竹内 眞榮

由緒沿革 妙嚴山と號す、開基熊澤權兵衛、開山大乘院日經上人、慶應四年三月創立。

常顯寺 妙本寺末 茅ヶ崎町萩園 鈴木 邦隆

由緒沿革 本龍山と號す、開山日澄上人、創立元亨二年五月。

唱導庵 神奈川信隆寺末 茅ヶ崎町濱 兼櫻井 隆隨

之郷 茅ヶ崎町南 湖仲丁

德唱庵 神奈川信隆寺末 湖仲丁

由緒沿革 圓妙山と號す、開基木内與兵衛尉吉定、開山圓妙院日桂上人、明暦元年七月創立。

妙光寺 妙本寺末 寒川村一ノ宮 釋氏 教徳

由緒沿革 能星山と號す、開山唯常院日念上人、天文元年正月創立。

妙傳寺 身延末 小出村堤 石井 鍊徳

由緒沿革 默照山と號す、開山幸受阿闍梨日安上人、創立元祿元年正月。

四月廿八日。

妙法寺 玉澤末 中川村名瀬 齋藤 圓靜

由緒沿革 經王山と號す、開基信越兩國太守風間信濃守信照、開山不經院日照上人、徳治元年十月十三日創立。

蓮久寺 身延末 川上村前山田 和田 日寧

由緒沿革 本應山と號す、開基日嚴、開山寶珠院日宗上人、正徳二壬辰年中創立。

▲高座郡

妙善寺 妙本寺末、中末一 藤澤町藤澤 杉本 辨榮

由緒沿革 長藤山と號す、開山長藤阿闍梨日開上人。

妙行寺 妙本寺末 茅ヶ崎町室田 清田 玄珠

由緒沿革 妙法山と號す、開山日運上人。

本在寺 妙本寺末、中末二 茅ヶ崎町高 大塚 宣鶴

由緒沿革 村澤山と號す、開基村上彦兵衛尉、開山蓮成院日尊上人、創立慶長五年二月。

本成庵 神奈川本在寺末 茅ヶ崎町高

淨心庵 神奈川本在寺末 茅ヶ崎町高

妙運寺 神奈川本覺寺末 茅ヶ崎町西 今井 日貞

由緒沿革 法性山と號す、開基近藤右衛門尉、開山蓮光院日嚴

法泉寺 妙本寺末 六會村龜井野 齋藤 玄準

大法寺 身延末 綾瀬村深谷 横山 仁秀

由緒沿革 法鏡山と號す、宗祖龍口法難を免れ翌十三日依知へ御通行の砌、淡島明神の小社あり、之に暫時御休息ありし靈場とす、開山(池上五世、身延七世)上行院日觀上人、應永二亥年八月十三日創立。本尊堂(明治廿四年一月再建)、淡島堂あり。

妙泉寺 妙純寺末 有馬村中野

由緒沿革 正蓮山と號す、開山正蓮院日養上人、元和八年八月創立。

壽閑寺 妙純寺末 有馬村本郷

由緒沿革 念濟山と號す、開山成就院念濟日意上人、慶長九年三月創立。

妙音院 妙本寺末 有馬村杉久保

由緒沿革 開基木内匡布、開山妙音院日行上人、明治十五年五月二日同縣下鎌倉郡鎌倉町大町より移轉せるものなり。

妙福寺 神奈川本覺寺末 御所見村打 柳澤 日宗

由緒沿革 陽向山と號す、開基惠雲院日福、開山心性院日遠上人、慶長八年の創立。

妙元寺 妙本寺末 海老名村大谷 坂本 日喜

由緒沿革 長秋山と號す、開山九老僧日輪上人、元弘元年中創立。

立。

立。

妙常寺

妙純寺末 平二〇

海老名村大谷 三宅 宣秀

由緒沿革 長現山と號す、開山常住院日任上人、文明元年正月創立。

海源寺

身延末 紫一八

海老名村中新田 永田 慈明

由緒沿革 長高山と號す、開山行學院日朝上人、永正二年中創立。

▲久良岐郡

上行寺

中山末 紫二二

六浦莊村六浦 倉田 學仁

由緒沿革 六浦山と號す、往古眞言宗に屬し金勝寺と云ふ、妙法日荷上人(北條の武臣荒尾主俗姓荒井平次郎光善)當六浦の東瀬戸の西に信行し、杉田妙法寺を開基し、次で文和二年癸巳年六月十三日彼の金勝寺を本化の道場に改め上行寺と號し、その師中山三世淨行院日祐上人を請じて開山とす、上行寺是なり、附近に金澤八景あり。

安立寺

妙本寺末 平二七

金澤村町屋 平松 智立

由緒沿革 福船山と號す、開山日譽上人、文明元年五月十三日創立。

▲三浦郡

法性寺

妙本寺末 平二三

逗子町久木御猿島 永田 玄龍

由緒沿革 猿島山と號す、開基日朗菩薩、開山朝慶上人、弘安

淨蓮寺

神奈川大明寺末 平二二

公郷町 伊藤 寛祐

由緒沿革 星谷山と號す、石渡戸加賀入道、開山日充上人。

泉福寺

神奈川大明寺末 平二〇

公郷町 杉崎 顯中

由緒沿革 照東山と號す、開山成光院日眞上人、創立明德元年五月。

妙眞寺

神奈川大明寺末 紫二二

公郷町 石渡 教宏

由緒沿革 神金山と號す、開基石渡戸加賀入道、開山勝徳院日祐上人、創立應永六年十月八日。

妙榮寺

神奈川大明寺末 紫一五

佐野町 土岐 泰雄

由緒沿革 明谷山と號す、開山妙榮院日豪上人は本寺の開山日榮上人(當山開基石渡戸加賀入道孫右衛門の裔、大光山靜師の弟子)の上足、應永三年權門の專要坊を改めて當山を創む、本堂庫裏等は現住の經營に成り、寺運益々盛んなり、靈寶に「五妙の祖師靈像」(開基彫刻し、宗祖の開眼に係る祖像を郡内大明妙藏妙覺妙眞妙榮の五ヶ寺に奉安すべく、各開山に日榮上人より贈られたるものと傳ふ)を安置す。

▲三浦郡

大明寺

大光山末、中末三一 緋一一

衣笠村 金谷

由緒沿革 金谷山と號す、開基石渡左衛門尉則次、宗祖を仰いで開山とす、建治元乙亥年三月創立、もと深田米ヶ濱にあり御浦法華堂と號し、宗祖房州より入鎌着岸の遺地たり、後今の地に

日蓮宗寺院 ◎神奈川縣第三部 ◎三浦郡

九年九月創立、宗祖文應元年八月廿七日、杉葉谷の巖に際し白猿の守護ありし舊跡とす。

妙光寺

大光山末、中末二 紫一五

逗子町久木 豊田 貫能

由緒沿革 法久山と號す、開基松岡三郎左衛門尉富長、開山賢信院日圓上人、創立文明三年卯年十月、附近に逗子海濱あり、葉山御用邸に近し。

本立寺

神奈川妙光寺末 平二七

葉山村長柄 小宮 如説

由緒沿革 長榮山と號す、開山不輕院日來上人、創立寛永元年甲子年三月。

寶教寺

神奈川妙光寺末 平二七

葉山村一色 正田 貫鮮

由緒沿革 腰掛山と號す、開山日意上人、創立文祿三辛未年三月。

◎神奈川縣 第三部 (三浦組)

▲横須賀市

龍本寺

神奈川大明寺末 紫一七

深田町米ヶ濱 横井 龍顯

由緒沿革 猿海山と號す、開基石渡戸加賀入道、宗祖を仰いで開山とす、創立建治五年、宗祖開宗の後、鎌倉に弘通せんとて房州南無谷より船出し、相模三浦郡豊島に着、更にこの地(深田の濱)へ着し給ひ、「角なし榮螺」の傳説を残し給ひし靈場とす。

移り、御浦の舊地を龍本寺と呼び當山の奥の院とす。

妙藏寺

神奈川大明寺末 紫一五

衣笠村平作 吉田 幸正

由緒沿革 大塚山と號す、開山眞言の僧正寶護師、創立貞觀年中改宗して一院日印上人を開基とす。

妙傳寺

神奈川大明寺末 平二八

衣笠村平作

由緒沿革 橋木山と號す、開基當村住人原權左衛門、開山文明院日惠上人。

福泉寺

神奈川大明寺末 平 等外

衣笠村平作 押田 要順

由緒沿革 玉龍山と號す、開山聚圓院日定律師、至徳三丙寅年七月十九日創立。

大藏寺

神奈川大明寺末 平二五

衣笠村平作 瀧川 文觀

由緒沿革 明登山と號す、開山妙應院日唱上人、天文廿一年三月六日創立。

大光寺

神奈川大明寺末 紫二〇

衣笠村平作 中田 英林

由緒沿革 平佐山と號す、開山摩訶一院日印上人、創立元亨元年十一月。

妙覺寺

神奈川大明寺末 紫二〇

衣笠村小矢部 山口 弘學

由緒沿革 松郷山と號す、開基石渡孫右衛門、開山日海上人、創立應永三年中。

法勝寺

神奈川大明寺末 平二五

逗子町沼間 平田 日光

由緒沿革 沼間山と號す、開基行基菩薩にして、も樞門の寺、
リ本宗に改む、改宗開山日範上人。

本圓寺 神奈川大明寺末 葉山村木古 石渡 教順
庭 紫、一四

由緒沿革 大明山と號す、開山摩訶一院日印上人。

常勝寺 神奈川大明寺末、小末二久里濱 椎名 日銑
紫、二二 村佐原

由緒沿革 寶泉山と號す、開基石渡戸源左衛門尉重保、開山摩
訶一院日印上人、創立元亨元年辛酉二月廿日。

聖徳院 神奈川本覺寺末 久里濱村佐 鈞持 海關
平、三〇 原

由緒沿革 太子山と號す、開基福田縫之助、小林善左衛門、開
山行學院日朝上人、明和三年七月再建し、明治二十二年三月祝
融の災あり、以て今日に到る。

正覺寺 神奈川大明寺末 久里濱村佐 野田 存聚
平、等外 原

由緒沿革 大谷山と號す、開山常勝坊日珠上人、文安三寅年二月
創立、文化五辰年十月再興す、法橋林如水作清正公尊像を祀る

慈眼院 神奈川常勝寺末 久里濱村佐 椎名 台恭
平、等外 原

由緒沿革 普門山と號す、開山顯靜院日進上人、創立寛文九年
十一月八日、文祿年間海中出現の正觀世音を安す。

尊覺寺 身延末 紫、二〇 久里濱村久村 井上 鍊優

由緒沿革 榮久山と號す、開山尊覺院日大上人、創立天正十二
申年八月。

正蓮寺 妙木寺末 平、二六 西浦村荻野 永田 玄體

由緒沿革 近浦山と號す、開山九老僧日範上人、永仁二五年五
月創立。

圓徳寺 神奈川本覺寺末 初聲村和田 徳永 海義
紫、二五

由緒沿革 近浦山と號す、開山九老僧日範上人、永仁二五年五
月創立。

寶相寺 神奈川本覺寺末 初聲村下宮田 飯田 韻山
紫、一九

由緒沿革 歡喜山と號す、開基法眼院日雄、開山日胤上人、明
應三年十一月創立。

延壽寺 神奈川本覺寺末 初聲村下宮田 大森 宣諦
平、二五

由緒沿革 壽福山と號す、開山大善阿闍梨日範上人、延慶二年
三月創立。

顯正寺 神奈川大明寺末 浦賀町 押田 義教
紫、一五

由緒沿革 東耀山と號す、開基磯部彌五左衛門、開山顯正坊日
實上人、天正元年五月十五日創立。

圓照寺 神奈川大明寺末 浦賀町走水 中村 秀雄
平、二三

由緒沿革 東向山と號す、開山清淨院日海上人、文化年間焼失
再建せるもの。

大乘寺 神奈川本覺寺末 三崎町六合 西川 日忍
紫、一九

由緒沿革 圓海山と號す、開山日範上人、永仁元年創立。

法福寺 神奈川大明寺末 田浦町浦郷 沖邑 泰温
平、二七

由緒沿革 浦郷山と號す、開基田中伊豆守、開山明鏡院日應上
人、創立文明十一年四月八日。

日蓮宗寺院 神奈川縣第四部 愛甲郡

由緒沿革 荻野山と號す、開山日唱上人、創立永正十一甲戌年。

安穩寺 大光山末 西浦村蘆名 小澤 貞妙
平、三〇

由緒沿革 長皇山と號す、開基高橋六郎左衛門、開山日頂上人、
延寶元年中創立、大正六年一月火災に罹る。

妙泉寺 神奈川大明寺末 西浦村長阪 兼中尾 泰全
平、二一

由緒沿革 長覺山と號す、開基三留五郎右衛門、開山日心上人、
創立正保二乙酉年十月。

妙印寺 神奈川大明寺末 西浦村長阪 山田 勝學
平、二八

由緒沿革 長光山と號す、開基米山八左衛門、開山日賢上人、永
正元年十月創立。

善性寺 神奈川大明寺末 西浦村長阪 五十嵐芳之
平、二八

由緒沿革 迷行山と號す、開基吉崎主水、開山日永上人。

本行寺 神奈川大明寺末 北下浦村長澤 品田 日瑞
平、二三

由緒沿革 南尚山と號す、開基柳井半左衛門、開山日感上人。

妙忍寺 神奈川大明寺末 西浦村秋谷 鈴木 淵是
平、二七

由緒沿革 長榮山と號す、開基關澤九郎右衛門、開山靜眞院日
長上人、創立寛文元年正月廿九日。

大泉寺 神奈川大明寺末 初聲村和田 中尾 泰全
平、二三

由緒沿革 天星山と號す、開基和田内匠長又、開山大林院日泉
上人。

靜圓寺 神奈川大明寺末 田浦町田浦 石本 泰淳
紫、二二

由緒沿革 妙法山と號す、開基石川清右衛門、開山法泉坊日保
上人、天文五年創立。

榮林寺 神奈川大明寺末 武山村太田和 藤井 義妙
平、等外

由緒沿革 中下山と號す、開山要覺院日受上人、天明五年三月
創立。

神奈川縣 第四部 (愛甲組)

▲愛甲郡

本山 妙純寺 十三等 末寺六 依知村金田 脇田 堯惇

由緒沿革 明星山と號す、開基本間六郎左衛門尉重連の遺址と
す、宗祖龍口法難の砌、こゝに預かりの身とならせ給ふ、境内
五千坪、大門は現は「本間の馬場」と云ひ本堂前を「亭の前」と稱

せり、本堂向拜の右手に明星天影向ありし靈梅あり、其傍に本間公手植の櫻樹あり、世に「本間櫻」と稱す、重連宗祖に歸し文永十一甲戌年四月邸を捧げて本化の道場とし、宗祖を開山に仰ぎ、爾來法灯連綿として長へに本化の威靈を示す。

妙傳寺 中山末 一、九 依知村上依知

由緒沿革 星梅山と號し依智本間六郎左衛門重連が觀音堂の舊跡とす、宗祖龍口の厄を免れ翌日こゝに入りその夜星降の靈瑞を示し、同文永八年十月十日佐渡に赴き給ふ、同九年二月重連改宗し邸を獻じ、觀音堂を改め星降院と名け法華の道場とす、弘安元年九月中老日源上人、宗祖の命を蒙り此處に來り日法上人作祖像を安し星梅山妙傳寺と號し、宗祖を開山に仰ぎ自ら二世に居る、鍋冠親師亦五世を嗣ぐ、寛文中不受不施の厄あり、然るに同五年偶々水戸黃門公瑞端を感じ、一心院日遙上人をして再興せしめて今日に到る。

蓮生寺 中山末 紫、二〇 依知村中依知 名和 慈寛

由緒沿革 寶塔山と號す、開基本間六郎左衛門尉重連、宗祖を開山に仰ぐ、文永十一甲戌年三月二十六日創立、下依智明星山妙純寺、上依智星梅山妙傳寺と共に宗祖龍口へ赴かせ給ふ砌、三十日間御滞在の靈場なり、現在の堂宇は三光山梅香寺を合併し今の地に再興せるもの、寺寶に宗祖御本尊、御肉齒等を藏す。

本立寺 中山末 平、二五 依知村猿ヶ島 青木 禹愿

由緒沿革 妙法山と號す、開基大塚八郎兵衛、開山無上士院日供上人、天文十六未年九月八日創立。

▲中郡

妙昌寺 妙本寺末 平、一八 大磯町大磯

由緒沿革 大乘山と號す、開山日征上人、應仁二年四月四日創立。

延臺寺 身延末 平、二七 大磯町大磯 平田 要應

由緒沿革 宮經山と號す、開山身延山十九世法雲院日道上人、慶應四己亥年十一月創立。

妙輪寺 妙本寺末 素、二五 大磯町大磯 伊澤 海壽

由緒沿革 福壽山と號す、開山日輪上人、延文二年四月創立。

妙大寺 妙本寺末 平、二〇 大磯町大磯 飯久保義學

由緒沿革 乘勝山と號す、開山日悟上人。

蓮大寺 身延末 平、二三 旭村出繩 平井 歡正

由緒沿革 妙法山と號す、開山身延山十三世寶珠院日傳上人、創立天文六丙申年六月二十八日。

妙現寺 本土寺末 平、二五 土澤村吉澤 石黒 日士

由緒沿革 開基須藤文右衛門、開山受圓院日現上人、創立慶長元年二月。

隆盛寺 妙本寺末 素、二二 神田村大神 守屋 宣康

由緒沿革 大神山と號す、開山池上十八世日耀上人、創立文祿十年十月、元祿十六年祝融の災あり、後復興して明治十六年六月

顯妙寺 中山末 平、二三 愛川村半原 前馬 元瑞

由緒沿革 常寺はもと岡山縣津山町西寺町妙法寺末にして同町同字にあり、明治三十四年中現地に移轉すると共に轉末せるものとす。

戒善寺 中山末 紫、二三 荻野村中荻野 増澤 要順

由緒沿革 満星山と號す、開山中老日源上人、創立弘安五年二月十六日。

本照寺 身延末 素、二二 小鮎村下古澤 須藤 眞薩

由緒沿革 常榮山と號す、開山行學院日朝上人、創立明應九年二月。

本盛寺 妙本寺末 平、等外 南毛利村舟子

由緒沿革 妙榮山と號す、開山圓妙院日隆上人、康永二未年十月創立。

妙昌寺 身延末 平、二七 南毛利村愛名 久保田立億

由緒沿革 長愛山と號す、開山行學院日朝上人、創立明應九年六月二十五日。

長福寺 身延末 平、二五 南毛利村愛甲 平賀 寶壽

由緒沿革 受悅山と號す、開山中老日忍上人、應長元亥年四月十日創立。

蓮久寺 身延末 平、等外 煤ヶ谷村煤ヶ谷

由緒沿革 開山日進上人。

月復同祿の災に罹る、現在の本堂は、明治十九年九月の再建とす。

貞性寺 妙本寺末 平、二八 神田村田村 藤田 一統

由緒沿革 大龍山と號す、開山日久上人、文安元年四月十八日創立。

要法寺 身延末 紫、一八 平塚町平塚 守屋 貫量

由緒沿革 松雲山と號し宗祖一泊説法の靈場とす、開基平塚左衛門尉泰知入道松雲院日慈上人（北條泰時次男）、宗祖を仰いで開山とし、弘安五年九月十六日創立す、二祖池上大坊開山九老形善院日澄、三祖日慈より十三祖日順に至る百七十八年間は一木寺たり、寺寶に宗祖開基へ授與の本尊を藏す。

妙安寺 身延末 平、二五 平塚町平塚 守屋 宣妙

由緒沿革 顯應山と號す、開山顯應院日在上人。

慈眼寺 身延末 平、二九 大野村中原下宿 望月 靜勇

由緒沿革 慈雲山と號す。

妙行寺 身延末 平、等外 大野村中原下宿 兼守屋 貫量

由緒沿革 通心山と號す、開基大庭五郎兵衛、開山日理上人、創立寛永六年三月。

圓隆寺 小湊末 平、等外 大野村眞土 上谷 眞精

由緒沿革 東昌山と號す、開基伊藤權兵衛、開山日隆上人。

蓮昭寺 妙本寺末 素、二七 金田村寺田繩 上谷 泰眞

由緒沿革 開基伊藤權兵衛、開山日隆上人。

由緒沿革 芳澤山と號す、開基布施佐守芳澤、開山日官上人、創立天正二年五月。

宗圓寺 小湊末 豐田村小峰 栗塚 行好

由緒沿革 小峰山と號す、開基飯山半兵衛、開山日鐵上人、創立元祿二巳年十月十三日。

蓮華寺 小湊末 太田村沼目 田邊 玄淨

由緒沿革 妙秀山と號す、開山日護上人、慶長四亥年中創立。

隆安寺 妙本寺末 太田村下平間 吉橋 海要

由緒沿革 覺榮山と號す、開基櫻井伯耆守連俊、開山日榮上人、永祿五壬戌年九月創立。

法眼寺 妙本寺末 成瀬村下粕屋 三枝 文貞

由緒沿革 學清山と號す、開山日現上人。

法泉寺 身延末 比々多村三ノ宮

由緒沿革 長先山と號す、開山行學院日朝上人、創立享徳元壬申年三月。

妙藏寺 身延末 比々多村串橋 山上 智海

由緒沿革 寶上山と號す、開基齋藤四郎左衛門、開山日朝上人、寛正元辰年中創立。

宗信寺 身延末 金目村南金目 森 日靜

由緒沿革 蓮性山と號す、開基森播磨守吉秀、開山本妙院日了

妙覺寺 中山末 大窪村風祭 貫名 治元

由緒沿革 立正山と號す、開山日辨上人、創立文永十一年十一月。

弘經寺 中山末 酒匂村山王原 田邊 辨能

由緒沿革 法性山と號す、開山日授上人、至徳二年三月創立。

光明寺 中山末 酒匂村山王原 井上 亮英

由緒沿革 長源山と號す、開山日用上人、創立文明八年五月。

法善寺 身延末 酒匂村酒匂 吉橋 日耀

由緒沿革 神力山と號す、開基中野禪門、開山本法院日敬上人、長祿三年巳卯創立。附近に湘南沿岸、箱根連山あり。

妙蓮寺 中山末 酒匂村酒匂 岩田 泰碩

由緒沿革 廣昌山と號す、開山日親上人、應永三十三年七月創立。

法船寺 妙本寺末 酒匂村酒匂 穴山 英靜

由緒沿革 濟度山と號す、文永十一年五月十二日、宗祖三諫して、鎌倉より身延に入らんと此地に來らせ給ふに、酒匂川増水して進む能はず、會々程近き鴨ノ宮の郷土此邊りに閑居して念佛を行す、宗祖御一行を請じて一宿を求め深く歸依して翌日自ら船を出し渡し奉る、宗祖濟度法船居士の法號を賜ふ、九老僧朗慶上人後一字を建立せしもの當寺とす、法船居士の子孫飯山と稱し現に當寺の檀方たり。里俗「川端の祖師」と唱へ境内に龍灯の

上人、創立寛永七年五月十三日。

法傳寺 身延末 金目村南金目 齋藤 智清

長源寺 妙本寺末 秦野町曾谷 中原 玄壽

由緒沿革 法光山と號す、開山日栖上人。

妙法寺 妙純寺末 秦野町曾屋

由緒沿革 開基石田平左衛門、古宮喜太郎、榎本吉兵衛、開山隆眞院日邦上人、明治十七年八月九日創立。

神奈川縣 第五部 (足柄組)

足柄下郡

生福寺 中山末 大窪村板橋御塔 末吉 禮敬

由緒沿革 象鼻山と號す、文永六年宗祖甲州御遊化の歸路、象鼻巨石の上に立ち遠く房州の地を望み御兩親の菩提を用ひ給ふ、元亨二年四月、九老僧朗慶上人一字を建て、妙福寺と稱す、二世日法上人在住三年、聖像を彫刻し安置す、今の尊像、これなり、明治四十五年四月、同村蓮生寺へ合併移轉し御塔生福寺と改稱す。

蓮船寺 妙本寺末 大窪村板橋

由緒沿革 惺雄山と號す、開基井出内匠正、開山日船上人、創立永正二年七月。

松あり、風光明眉なり。

本典寺 身延末 酒匂村酒匂

由緒沿革 榮柳山と號す、開基菅原本典、開山日隨上人、明治四十五年五月二十四日火災に罹る。

妙善寺 身延末 酒匂村酒匂 加納 要妙

由緒沿革 眞如山と號す、開山日明上人、創立天正元年九月、明治四十五年五月廿四日類焼し、大正二年九月廿九日再建す。

常興寺 中山末 酒匂村綱一色

由緒沿革 妙性山と號す、開山日明上人、慶長三年十一月創立。

玉傳寺 久遠寺末 小田原町十字町 中野 圓徳

由緒沿革 光淨山と號す、開基陳外郎藤右衛門尉定治、開山日傳上人、創立大永二年四月。

蓮昌寺 妙本寺末 小田原町十字町 齋藤 惠雄

由緒沿革 妙珍山と號す、開山日澄上人、創立元亨元年九月創立。

安國寺 身延末 小田原町新玉町 前田 行能

由緒沿革 立正山と號す、開山日合上人。

大乘寺 身延末 小田原町緑町 門井 日猛

由緒沿革 今正山と號す、開山日養上人、慶長二年五月創立。

法授寺

玉澤末 三丁目 小田原町緑町 三宅 惠満

由緒沿革 延命山と號す、開山日實上人、嘉曆二年四月八日創立。

妙泉寺

中山末 二丁目 小田原町幸町 樋口 辨英

圓妙寺

身延末 足柄村荻窪 吉野 惠海

由緒沿革 本融山と號す、開山日敬上人、創立寛正二年五月。

清光寺

身延末 足柄村荻窪 平本 海善

由緒沿革 宗顔山と號す、開山日親上人、天正元年十月創立。

長安寺

中山末 足柄村井細田 高木 淳厚

由緒沿革 池蓮山と號す、開山日親上人、創立長享元年九月。

妙圓寺

中山末 足柄村井細田 芳村 日崇

由緒沿革 法秀山と號す、開基中戸川彦左衛門、開山本來坊日延上人、創立寛永元年十一月十三日。

正蓮寺

中山末 足柄村井細田

由緒沿革 現幸山と號す、開山日信上人、創立延徳元年四月。

淨永寺

身延末 足柄村谷津 古宮 惠詳

由緒沿革 光秀山と號す、開基風祭大野亮光秀、開山日行上人、正應三年三月創立。

本光寺

中山末 足柄村今井 三宅 日鐘

由緒沿革 金立山と號す、開基松野六郎左衛門重正、開山中老日辨上人、創立文永十一年三月、天正年間九世日藝七堂を建立し、元祿十六年震災に倒壊し、享保十九年十九世日啓再興せりも、明治廿九年九月の水害は堂宇地盤共に決潰流失するに及び、現住は經營慘澹同廿九年現地に移轉再興す、寺寶に宗祖御消息、日法上人作祖像等を藏す。

本久寺

大光山末 足柄村中島 尾崎 春達

由緒沿革 初め小田原にあり宗祖往來の途次常に其地の武藤清部少輔清康入道法久禪門の宅に宿し給ふ、禪門師依改宗して一字を建て、法華堂と呼び、駿州より豊後公日滿上人を請ず、偶偶佐渡には阿佛坊日得上人寂するあり、滿師之に赴く、乃ち九老僧大法坊日善上人を請じ弘安五年九月大堂を建つ、清康の寂後寺號を奠めて法久寺と呼び、後大光山日傳上人の命あり、本山の山寺號を取て今の號に改む。寺内に開基清康の守本尊たる北辰妙見尊を勧請す。

蓮華寺

中山末 上府中村千代 小澤 辨恭

由緒沿革 千葉山と號す、開山日辨上人、文永十一年五月創立。

本立寺

身延末、中末一 上府中村千代

由緒沿革 光瑞山と號す、開山日秀上人、創立應永十一年八月。

妙了寺

大光山末 上府中村延清 中島 海潮

由緒沿革 延清山と號す、開山日滿上人、創立正應二年二月。

法蓮寺

身延末 下曾我村曾我別 中濃 教正

由緒沿革 千葉山と號す、開山日相上人、慶長十三年六月創立。

法秀寺

神奈川本立寺末 國府津村國 加藤 韻文

由緒沿革 劍持山と號す、開山日運上人、永祿七年正月創立。

久成寺

中山末 下中村小竹 三井 是隆

由緒沿革 常英山と號す、開山日要上人、天正五年四月創立。

受教寺

中山末 下中村小竹 戸田 聰哲

由緒沿革 實相山と號す、開山日賢上人、創立應永三年十月十四日。

廣宣寺

中山末 下中村上町 松本 厚順

由緒沿革 海近山と號す、開山日英上人、創立至徳元年二月。

守源寺

本土寺末 湯本村畑宿 松裏 善進

由緒沿革 高榮山と號す、開山乘善院日運上人、寛永十一年十月創立、文化元年焼失同年再興す、箱根に近し。

本迹寺

身延末 箱根町箱根

由緒沿革 智光山と號す、開山日學上人、創立元和五年三月。

▲足柄上郡

弘行寺

中山末 南足柄村雨坪

日蓮宗寺院 ◎神奈川第五部 ◎足柄上郡 ◎中郡

大圓寺

妙本寺末 福澤村怒田 三橋 宣要

由緒沿革 長照山と號す、開山日傳上人、創立嘉曆元年二月、明治二十四年四月九日祝融の災に遇ひ同二十八年再建せり。

▲中郡

妙安寺

大光山末 吾妻村二ノ宮兼尾崎 春達

由緒沿革 了勝山と號す、開山日源上人、正和四年六月創立。

埼玉縣

北足立郡

妙顯寺

身延末、中末六
緋、九

戸田村新曾 富川 玄快

由緒沿革 長誓山と號す、初め鎌倉七代將軍惟康親王の家臣武州新倉の城主隅田五郎時光の妻産に難む、時光靈夢の告により文永八年十月十日、宗祖龍口の厄を免れ將に佐州に赴き給ふ途を待ち、救護を請ふ、宗祖憫て妙符を授くるに玉の如き男子を安産す、時光喜び勇み家臣に馬を馳せしめて追ひ着かしめ、吉事を聞え上げ徳丸と名く、此地今に「調宮」の名を残す、弘安二年時光宗祖を身延に拜し、徳丸を授けて出家せしむ、日堅と名く、時光亦邸を擧げて本化の道場たらしめん事を請ふ、乃ち長誓山妙顯寺と銘じ名を日徳と賜ひ「子安の曼荼羅」を授與し、開堂供養には日向尊者を遺はし給ふ、依て日向日徳日堅を三祖と仰く、時光家寶の靈佛を藏す、弘安四年の春、延山に登り開眼を請ふ、現今安置の「子安の釋迦佛」これにして、例年五月八日の降生會には遠近の詣者多く、前の曼荼羅と共に當山の二大靈寶たり、至徳元年新倉より現地に移り、寺運隆昌にして宗祖より日向尊者へ親授の「安産妙符」を授與す、寺寶に二大靈寶の外、延治の大曼荼羅及有名なる「日向記」の眞筆を藏し、例年八月七日蟲拂會に拜せしむ。

了源院

埼玉妙顯寺末
平、無等

戸田村新曾 草ヶ谷慈宣

由緒沿革 當寺はもと東京府荏原郡池上村にあり、明治廿年の交現地に移轉す。(池上照榮院下見)

法光寺

身延末
平、二二

指扇村高木 兼矢島 泰通

蓮昌寺

池上末
平、二三

木崎村駒場 中島 日忍

由緒沿革 法得山と號す、開基日有、創立寛永二年八月、人、創立慶長六年三月廿八日。

本覺寺

身延末
平、二四

横會根村横會根 鈴木 義現

實相寺

中山末、中末一
紫、一五

南平柳村領家 松永 日教

感應寺

中山末
平、二二

南平柳村領家 田村 慈宏

由緒沿革 藥王山と號す、開山日曉上人、天正元年三月八日創立。

顯正寺

中山末
平、二六

南平柳村領家 野口 教海

妙藏寺

池上末、中末一
平、一〇

神根村根岸 石塚 日壽

由緒沿革 岸榮山と號す、開基小見山重次、開山日輪上人、創立延文三年二月。

常遠寺

埼玉妙藏寺末
平、等外

神根村根岸

日蓮宗寺院 埼玉縣 北足立郡 入間郡

圓藏寺

池上末
紫、一七

浦和町 齋藤 義是

由緒沿革 長久山と號す、開山日寛上人、初め千葉縣夷隅郡總野村長福寺七世日圓上人寛正三年五月同縣同郡同村杉月に創立す、明治廿九年長福寺より轉末し、明治三十年十一月現地に移轉再興す。

本法院

埼玉妙顯寺末
平、二四

蕨町蕨 鈴木 順良

由緒沿革 福本山と號す、開山日祐上人、創立享保十二年五月十三日。

寶藏寺

埼玉妙顯寺末
平、二六

蕨町蕨 保利 順體

萬福寺

埼玉妙行寺末
平、二五

土合村西堀 佐藤 順登

本仙寺

池上末
平、二五

膝折村岡 池内 親海

妙典寺

埼玉妙顯寺末
紫、二二

白子村下新倉 兼齋藤 純正

由緒沿革 長光山と號す、開山日向上人、文永八年十月宗祖佐渡御左遷の御領主隅田五郎時光の妻産に苦しみしを救ひ玉ひし靈地にして、寺寶に隅田時光作宗祖尊像及御眞筆曼荼羅、常師の本尊あり。

立善講寺

池上末
平、二七

志木町

由緒沿革 開山日正上人。

妙行寺

中山末、中末一
紫、二三

與野町鈴谷 佐々木順誓

常住寺

池上末
平、二四

鳩ヶ谷町辻 鍵和田辨龍

宗信寺

池上末
素、二一

青木村上青木 大橋 辨行

本行寺

池上末
平、二四

戸塚村戸塚 福田 惠秀

由緒沿革 正立山と號す、開山日正上人、創立應永二年二月。

入間郡

行傳寺

池上末
紫、一四

川越町川越 鈴木 日體

由緒沿革 朝田山と號す、開山池上比企谷四世大鷲阿闍梨日山上人、永和元年川越城内に創立、天文年中松郷に移り元和六年三月二日類焼、同六年二月十九日今の南町に移り文化九年六月本堂再建す、寺寶に宗祖及期師曼荼羅等を藏す。

妙養寺

身延末
素、二一

川越町川越 相原 惠澄

由緒沿革 蓮信山と號す、開基鈴木惣右衛門、開山塚性院日在上人、天文七戊戌年三月創立。

妙昌寺

池上末
平、三〇

川越町野田 沼田 順董

由緒沿革 法真山と號す、開基石川十郎左衛門(法真院日意上人)、開山池上比企谷四世大鷲阿闍梨日山上人、永和元年創立、寺寶に小石の法華經、青龍の鬚あり、經ヶ島の辨天を祀る。

本願寺 身延末 素、一七 川越町小久保 中村 存雅

由緒沿革 長久山と號し、谷中感應寺九世日長上人寛永三丙寅年八月創立し、弟子正光院日春(開基)を初祖とし感應寺末たり、後法亂により身延末となる、安永四年十一月十日類焼し爾來經營今日に到る。

休臺寺 小湊末 素、二二 坂戸町片柳 室岡 本順

由緒沿革 正覺山と號す、開山日慶上人、創立天正年中。

性蓮寺 小湊末 平、二四 水谷村水子 關根 如旭

由緒沿革 智永山と號す、開山日性上人、創立安永七年五月。

信立寺 池上末 平、二三 水富村上廣瀬 堺本 玄榮

由緒沿革 儀按山と號す、開山池上十二世日懺上人、天正六戊寅年中當國加治中山の領主加治左馬介丹治家信巡遊の砌、死屍を埋葬せる佛所たる現地に創立し、天正七己卯年開堂供養し、寺山號に開基開山の各一字を以て銘す、寺寶に宗祖御眞筆を藏す。

北葛飾郡

高應寺 池上末 平、一三 早稻田村大廣戸 中島 義一

由緒沿革 長覺山と號す、開山日達上人、寛永八年五月創立。

由緒沿革 理性山と號す、開山日英上人、創立應永三十三年五月。

蓮福寺 本土寺末 平、二五 松伏領村下赤岩 西 龍泰

由緒沿革 妙法山と號す、開山日朗菩薩、創立正和二年。

上原寺 龍口寺末 紫、二二 豊岡村鷺巢 兼佐野 文高

比企郡

妙昌寺 弘法寺末 素、一八 唐子村神戸 奥野 瑞韶

由緒沿革 青島山と號す、開基藤原齊利、開山日仙上人、弘安四年十月創立、天正十八年現地に移る。寺寶に日法上人作一木三體の一なる祖像を安置す。

宗信寺 弘法寺末 平、二六 菅谷村鎌形 大橋 寛惠

由緒沿革 經王山と號す、開山日寶上人、寛永元年三月創立。

光照寺 弘法寺末 平、等外 菅谷村下手堂

由緒沿革 法蓮山と號す、開山日榮上人、元和二年八月創立。

妙賢寺 池上末 平、二七 松山町松山

由緒沿革 長祐山と號す、開山日祐上人、永仁二年四月創立。

東光寺 池上末 平、二七 玉川村日影 濱島 智信

由緒沿革 佛日山と號す、開山日正上人、創立天正年中。

日蓮宗寺院 埼玉縣 比企郡 北埼玉郡 南埼玉郡

妙法寺 身延末 平、二五 權現堂川村木立 吉田 勝言

由緒沿革 秋元山と號す、開山日朝上人、明應五年三月十二日創立。

常薰寺 中山末 紫、二一 栗橋町 甘樂 日解

由緒沿革 高林山と號す、開基常薰居士、開山日春上人、創立元和八年中。

大雄寺 弘法寺末 平、二二 八木郷村小向 龜谷 日了

由緒沿革 正光山と號す、開山教學院日利上人、文祿元年十一月創立、文政の頃大に廢頽す、廿五代玄了院日芳寺門改修せんとして成らず、大正四年内務省起業江戸川工事の爲め移轉改造す、利根の支流江戸川の邊にあり。

本隆寺 東京顯經寺末 平、二五 八木郷村久 西澤 文林

由緒沿革 高松山と號す、開山日意上人、創立寛永十九年八月、當寺はもと中山末なりしも明治四十四年十二月轉末せるものなり。

頂源寺 弘法寺末 平、二五 三輪野江村加藤 齋藤 泰善

由緒沿革 龍泉山と號す、開山日富上人。

善行寺 本土寺末 平、二九 三輪野江村半割 田中 文亮

由緒沿革 妙照山と號す。

妙性寺 中山末 平、二八 櫻田村東大輪 白石 謙忍

妙安寺 身延末 平、二四 高坂村田木 早水 存頂

由緒沿革 常祐山と號す、開山日法上人、創立寛永年中。

北埼玉郡

蓮華寺 池上末 素、二二 星河村谷郷 田中 謙周

由緒沿革 妙法山と號す、開山日朗上人、創立文永十四年中。

妙光寺 中山末 紫、二三 鴻莖村牛重 伊東 耆忠

由緒沿革 種垂山と號す、開山日英上人、應永元年創立。

南埼玉郡

法立寺 本土寺末 平、二五 増林村増林 兼長田 惠達

由緒沿革 妙富山と號す。

賢住寺 池上末 平、三〇 粕壁町金山 小川 法存

由緒沿革 經王山と號す、當寺はもと比企郡西吉見村にありて、大正二年八月十八日落雷の爲め焼失す、後大正六年九月中現在の地に移轉す、寺寶に日親上人曼荼羅等を藏す、附近に藤塚の桃林、牛島の藤花あり。

梅照院 池上末 平、三〇 岩槻町太田

由緒沿革 長慶山と號す、開山日如上人、天正六年六月。

學藏寺 池上末 平、二七 岩槻町太田 坂爪 快英

由緒沿革 惠光山と號す、開山日惠上人、天文十三年九月創立。

眞淨寺 池上末 素、二五 岩槻町岩槻 石田 亮貞

由緒沿革 大法山と號す、開山日宗上人、天正年中創立。

本泉寺 本土寺末 平、二五 潮止村二丁目 鷹野 保源

由緒沿革 妙福山と號す、開山日體上人、寛永四年中創立。

妙光寺 池上末 平、二〇 八幡村中馬場 内田 泰如

由緒沿革 長光山と號す、開山本行院日正上人、文明三年創立、寺寶に明師作祖像、諏訪明神尊像を安置す。

妙福寺 中山末、中末三 紫、一五 小林村 秋山 海玉

由緒沿革 延命山と號す、開基太田修理助藤原佐忠、開山日英尊者、應安年中創立、寺寶に明師親筆、二代將軍母堂筆妙經、明師作祖像等あり、松山の百穴、熊谷の櫻、館林の躑躅附近にあり。

池元院 埼玉妙福寺末 平、二五 小林村 助川 善暢

由緒沿革 開山日進上人。

正義院 埼玉妙福寺末 平、二四 小林村 生川 義全

由緒沿革 開山日正上人。

壽量坊 埼玉妙福寺末 平、無等 小林村

▲秩父郡

淨蓮寺 池上末 綺、一三 大河原村御堂 奥澤 智賢

由緒沿革 妙榮山と號す、正應元年中創立、開基大河原の郷士神谷太郎光興は初め天台宗なりしが、隣郡比企大學三郎と親交あり、遂に法華に歸し、高祖の檀越となり、名を淨蓮と賜ふ、乃ち邸内に一字を創す、開山日朗上人妙本寺長榮山(兩山)の各一字を取て山に名け、光興の法號を取て寺に銘し、代理日傳上人をして開堂式を舉行せしむ、今の祖師堂是れなり、寺寶に明師作祖像及明師所持念珠等を藏す、寺は秩父山に圍まれ槻川前に流れて清し。

妙園寺 身延末 素、二五 高篠村栃谷 濱島 文眞

由緒沿革 法昌山と號す、開基日基上人、開山正行院日養上人、天正十五年三月十日創立、寺は四方名山を以て圍まれ山門の二王尊は詣者多し。

▲大里郡

實聞寺 身延末 平、二八 折原村立原 平野 文暉

由緒沿革 長光山と號す、開山日印上人。

賢勝院 埼玉妙願寺末 平、二九 熊ヶ谷町

由緒沿革 當院はもと縣下北足立郡戸田村新曾にありしも、明治二十八年中現地に移轉せるものなり。

圓受院 埼玉實相寺末 平、二四 深谷町西島 山崎 智明

由緒沿革 當寺はもと縣下北足立郡南平柳村字領家にあり、大正二年中現地に移轉す。

正法寺 池上末 平、二六 幡羅村東方

由緒沿革 當寺はもと千葉縣夷隅郡勝浦町松部にあり、同地妙潮寺末なりしも、大正三年中現地に移轉す。

▲兒玉郡

城立寺 龍口寺末 平、二六 本庄町 和田 玄性

由緒沿革 開基大猷院殿、創立天正十三甲辰年中、當寺はもと縣下大里郡折原村立原にあり、明治四十二年中現地に移轉す。

玉蓮寺 身延末 平、二四 兒玉町本町 町田 隨善

由緒沿革 東光山と號す、開基兒玉の領主兒玉太郎左衛門藤原時國、開山中老日法上人、中興開山心行院日耀上人、時國より三世の孫四郎左衛門尉長家創立、開基は宗祖の直權にして、佐渡御左遷の節文永八年十月十三日此館に御一泊、同十一年三月御歸倉の御時國亦御宿を申上げ、久米川の岸に送り奉る、宗祖依て久米の姓を賜ひその流現存す、寺寶に時國へ授與の御本尊及日法上人作御尊像を藏す。

◎茨城縣 第一部 (東部)

▲久慈郡

本山 久昌寺 十五等末寺八 譽田村新宿 松森 靈運

由緒沿革 靖定山と號す、開基徳川贈大納言源光園卿、開山寂遠院日通上人、元祿二年中創立、當山は有名なる水戸三昧堂檀林の舊地にして、宗門の龍象こゝより多く輩出し、永へに開基水戸義公の法勳を留む、四十四ヶ木山のひとり。

常寂光寺 久昌寺末 平二五 金郷村中利員 平野 清雄

由緒沿革 開會山と號す、開山日周上人、創立元祿八亥年三月。

▲東茨城郡

本行寺 池上末 一五 常磐村袴塚 釋 日雄

由緒沿革 法榮山と號す、開基宇垣伊賀守征島越後守入道淨心、開山佛乘院日愷上人、二世本法院日向上人慶長三年八幡町に創立し、後堀村へ移り更に現地に轉す、嘉永五年雷火のため烏有に歸し、同六年廢寺たりしが了性寺の本堂を當山に寄附し爾來經營して今日に到る、寺寶に宗祖眞筆、明師木像等を藏す。

妙徳寺 中山末 紫二〇 上中妻村加倉井 一木 日良

由緒沿革 隱井山と號す、開基實長三男波木井彌三郎實氏、開山中老僧日高上人、創立永仁元年三月、開山の東北弘通に際し

身延を發せらるゝや、開基隨伴し、來て當地に土着し、其母徳尼の爲め當寺を建立せらる、其子孫現に五十戸皆當寺の檀家たり、寺寶に宗祖御本尊一、法蓮抄一節、御消息文等を藏す。

蓮乘寺 池上末 二五 吉田村吉田古宿 前刀 寶清

由緒沿革 本成山と號す、開山日明上人、當寺はもと千葉縣夷隅郡勝浦町串濱にあり、明治三十六年中現地に移轉し、舊稱善性寺を大正六年八月廿五日現寺號に改稱す。

教信坊 小室妙法寺末 平三〇 白河村上吉影 高田 要領

由緒沿革 開山中道院日了上人、創立正徳三年十一月八日、當寺はもと山梨縣中巨摩郡野之瀬村にあり、同村妙了寺末なり、明治廿八年十一月現本寺へ轉末し同三十年中現地に移轉す。

行善寺 山梨長遠寺末 平二九 酒門村石川 堤 是觀

菊盛寺 小室妙法寺末 平、等外 磯濱町塚本 塚田 寶全

由緒沿革 觀學山と號す、開山觀學院律師日運上人、創立永祿七年中、當寺はもと山梨縣中巨摩郡五明村にあり、同郡鏡中條村長遠寺末なり、明治三十年中現本寺に轉末し、次て現地に移轉出願、大正五年九月許可せらる。

▲西茨城郡

修多羅寺 中山末 平二五 七會村小勝 瀧 詮常

由緒沿革 長久山と號す、當寺はもと眞言宗なり、寛永十五年水府の大守光園卿の時、本宗に改轉せらる、然るに四十八世に至

▲新治郡

平等寺 久昌寺末 紫二五 石岡町石岡 酒井 堯通

由緒沿革 一妙山と號す、開基體中院日勝上人、開山本雄院日舜上人、明治十七年十一月廿四日創立。

▲稻敷郡

觀成院 久昌寺末 平三〇 牛久村牛久兼川又 鳳雄

由緒沿革 開山淨心院日圓上人、創立元和三丁巳年十月三日、もと東京市小石川區指ヶ谷町にあり、同地蓮華寺末なり、明治二十三年八月現地に移轉し且現本寺に轉末す。

▲行方郡

妙光寺 池上末、中末二 津知村築地 永田 是祥

由緒沿革 本園山と號す、開基行方郡領主武州の人由井但馬守國光、相州の人横山遠江守勝光兩名、開山中老僧一乘阿闍梨日門上人、文永二乙丑年二月十六日隣郷水原村に創立、正應三年庚寅正月朔日三世日正上人の時現地に移轉す、其舊跡法華堂と云ふ。初め開基二士水原村にあり、宗祖の辻觀法により捨邪歸正し當寺を創す、開山は後仙臺孝勝寺を創し當山に入寂(永仁元年七月二十日)す、後種々の變遷を経て今日に及ぶ。寺寶に宗祖御曼荼羅並御消息四軸、開山眞筆その他を藏す。

て廢佛毀釋の厄あり、後廢滅す、大正元年八月二十九日現住之れを復興す、寺山號は光園卿の銘する所、寺寶に光園卿寄附毘沙門天及土中出現の妙見尊を安置す。

眞淨寺 久昌寺末 平二九 笠間町笠間 小林 榮徳

▲那珂郡

無二亦寺 久昌寺末 紫二五 川田村市毛 吉田 智山

由緒沿革 一乘山と號す、開基徳川贈大納言源光園卿、開山智寂院日省上人、明治十二年十一月再興す。

▲多賀郡

願成寺 久昌寺末 紫二三 松岡村赤濱 遠藤 靜明

由緒沿革 松榮山と號す、開山中老僧日辨上人、創立嘉元二年三月。

童仙寺 千葉妙滿寺末 平二五 高鈴村會瀬 田中 啓靜

由緒沿革 創立天文年中、當寺はもと千葉縣夷隅郡總野村にあり、常性坊と稱す、明治二十九年十一月現地に移轉し、次て三十一年二月現寺號に改稱す。

蓮光寺 千葉徳性寺末 平二七 豊浦町川尻

由緒沿革 櫻谷山と號す、開山日光上人、天正六年中の創立、もと千葉縣夷隅郡總元村にあり、明治三十四年中現地に移轉す。

日蓮宗寺院

◎茨城縣第一部

◎北相馬郡

◎茨城縣第二部

◎結城郡

◎猿島郡

一七二

一乘寺

茨城妙光寺末
素、二一

麻生町富田

飯島 貞靜

由緒沿革 開基羽生宗右衛門、開山日孝上人、創立元祿十一年三月。

惠雲寺

茨城妙光寺末
平、二五

潮來町潮來

佐藤 貞榮

由緒沿革 徳大山と號す、開基水戸光圀卿、開山本寺十九世徳大院日具上人、創立元祿九丙子年四月廿七日、開山は勢州桑名の人、總の飯高檀林の化主たり、光圀卿開山を招じて本寺に法灯を耀さしめ、次で當山の開山とす、寺觀は舊時の儘にして、開師、遠師、元政上人、西山公眞筆等を藏す。

北相馬郡

照谷寺

本土寺末
平、二五

六郷村中田

川又 鳳雄

由緒沿革 開山日詣上人、創立慶長十五年三月。

茨城縣 第二部 (西部)

結城郡

妙園寺

弘法寺末
紫、二〇

結城町結城

岩淵 了智

由緒沿革 貞和元己酉年四月、大乗阿闍梨日宣上人の草創に係り、慶長五年、結城中納言秀康公は馬印を附し、其後慶安元年八月十七日、徳川三代將軍家光より寺領十石並に境内免地として改めて朱印を寄せられ、舊藩主水野侯は三石の御供料を贈り

て香華院とす。現今の本堂は、天保十年の再建にして寺運盛んなり。寺寶に宗祖御本尊、日祐上人作祖像、運慶作四天王立像の釋尊等あり、寺は脚下に絹川流れ、金毛九尾と共に名高き支翁和尚、眞鸞上人室玉日ノ宮、頼朝公の勇將結城七郎朝光の墳墓皆近し。

猿島郡

本成寺

大光山末、中末一
紫、一六

古河町 電

省察

由緒沿革 長久山と號す、開山摩訶二院日卯上人、正和三年殿中間谷勝利の砌、鎌倉松葉谷に創立、妙法寺と號す、後天文年中下總猿島郡伏木村へ移轉、慶長七年現地へ移轉し本成寺と改稱す、本山十六世日禎上人を中興開山とす、寺寶に宗祖御消息、曼荼羅等を藏す。

妙光寺

中山末
紫、二〇

古河町古河

淡路川貞仁

由緒沿革 開基中興左馬頭源成氏公、開山日胤上人、建治元年三月創立。

法宣寺

中山末
平、二七

五霞村元栗橋

木下 謙是

由緒沿革 正長山と號す、開基足利左馬頭持氏、開山本光院日在上人、應永二年九月十五日創立、文明四年十一月廿九日古河成氏寺領十石を寄附し、徳川家光同十石を寄す、寺寶に小安鬼子母神を安置す。

鳳桐寺

身延末
平、二七

新郷村牧野地兼淡路川貞仁

妙園寺

中山末
紫、二三

大寶村平沼新田

石塚 了照

由緒沿革 開山日領上人、享保十四酉年二月十三日創立。

星宮寺

本土寺末
紫、二二

下館町 村田 日祥

由緒沿革 大谷山と號す、開山深知院日淵上人、寛永十六年三月創立、もと同郡五所村下大谷にあり、明治二十二年十二月寶珠院日理、小林營三郎等と圖り現地に移轉す。

日英寺

神奈川妙隆寺末
素、二四

古里村知行

西川 日善

由緒沿革 稻荷山と號す、開基徳川家の旗本齋藤帶刀(伊豆守)の香華院たり、開山大僧部日英上人、應永三十卯年八月十日創立、寺寶に開山作鬼子母神像を安す。

善養寺

弘法寺末
平、二三

古里村下星谷

下條 了純

由緒沿革 法久山と號す、開山但馬阿闍梨日定上人、嘉元二年中の創立にして、もと千葉縣東葛飾郡市川町眞間にあり、善養院(寛永五年正月十日本山廿一世祥智院日感上人開創)と稱せしを明治二十五年に互り現地に移轉し、次で二十七年三月寺號に改稱す。寺寶に像師の本尊を藏す。

新治郡

久成寺

本土寺末
素、二三

都和村常名

由緒沿革 東雷山と號す、開基島根磯之助、開山日蓮上人、享保十九年十二月創立。

由緒沿革 開基左馬頭源成氏公、開山觀行院日延上人、康正二丙子年三月創立。

寶臺寺

千葉寶相寺末
平、二五

境町 酒井 周要

由緒沿革 法清山と號す、永享元酉年四月千葉縣東葛飾郡關宿町に創立す、開山久遠成院日親上人中山に在り、謗法論に依り一時難をこゝに避く、初め中山末なり、明治二十七年五月現地移轉し、次で明治四十年七月寶相寺末に轉じ、大正六年二月本堂改築等成る。

感應寺

茨城本成寺末
平、二七

森戸村伏木

齋藤 貫説

由緒沿革 當寺はもと千葉縣長生郡日吉村立島にあり、同郡茂原町箕輪妙樂寺末なり、明治廿九年十一月許可を得現地に移轉し、次で同三十一年六月現本寺に轉末す。

寶相寺

中山末
平、二八

香取村水海

由緒沿革 開山日英上人、應永四丁丑年八月創立。

眞壁郡

大林院

弘法寺末
素、二二

眞壁町古城

河合 了義

由緒沿革 文龜二戊年三月、本山開祖日頂上人の法孫權大僧部日大上人の開創に係り、初め千葉縣市川町眞間山塔中たり、明治三十二年二月十日明治維新の際廢寺となる眞壁城主の香華院、祖宗參禪寺に合併移轉し、爾來本化の教光愈揚る、境内に淺野長政公同長重公同夫人の廟あり。

日蓮宗寺院 ◎茨城縣第二部 ◎眞壁郡 ◎新治郡

●栃木縣 第一部 (東部)

▲宇都宮市

妙正寺 池上末、中末三 素、一七 上河原町 齋藤 惠雲

由緒沿革 長宮山と號し、初め宇都宮原にあり、寶徳年間字茶原に轉じ、永祿年中現地に再建す、宗祖を開山に仰ぐ、開基宇都宮景綱公姉長宮左衛門尉高知の母堂、宗祖の高風を慕ひ十八歳罹染して妙正と號し、文永二年暮途に熱木の館を轉じて精舎とし、宗祖を請じて開堂供養す、宗祖乃ち妙正寺と名け期上を二祖たらしむ、同十一年大に伽藍を造營し法益四方に徧し、元享三年八月十五日妙正尼九十三歳を以て寂す、長壽院妙正比丘尼と證す、元應年間城主宇都宮公綱公亦歸依あつく寺領若干を寄附して外護の任に當る。

妙金寺 大光山末、中末一 緋、二三 寺町 野澤 淳惠

由緒沿革 法光山と號す、開基君島備中守母堂、開山摩訶一院日印上人、徳治二年中創立。

▲上都賀郡

日追寺 栃木妙正寺末 平、二三 菊澤村 栴窪 白田 榮潤

由緒沿革 鈴木山と號す、開基鈴木忠右衛門、開山日追上人、寛永五年八月創立。

本行寺 栃木妙正寺末 平、無等 阿久津村 遠矢

由緒沿革 道高山と號す、開基智光日付、開山妙道院日悟上人、慶長十六年十月創立、もと千葉縣山武郡大和村小西にあり、同地本山正法寺末なり、明治三十三年三月許可、現地に移轉し次之現本寺に轉末す。

妙道寺 身延末 平、二六 矢板町 矢板 井上 韻芳

由緒沿革 開山武井坊日徳上人、正保四年中創立、もと靜岡縣富士郡柳野村大鹿窪にあり、明治二十六年七月の交本郡那須根村金澤に移轉し、同三十五年更に現地に移轉す。

本立院 大光山末 平、三〇 北高根澤村 上高 石川 隆静

由緒沿革 見應山と號す、開基赤羽宥松外十五名、開山大教正新居日隆上人、明治十二年三月二十四日創立。

▲那須郡

正法寺 身延末 素、一八 大田原町 中井 本儀

由緒沿革 本朝山と號す、開基菊亭大納言公實の女成就院殿、開山正行院日春上人、慶長九甲辰年創立、寛永七年身延末となる、釐定院の代類焼し、文政五年現堂宇を建立し、今日に到る。

妙光寺 神奈川妙隆寺末 平、二五 烏山町 烏山 大島 嘉長

由緒沿革 清光山と號す、開基宮下四郎左衛門外三十一名、開山日珠上人、慶安四辛卯年九月八日創立。

日蓮宗寺院 ●栃木縣第一部 ●那須郡 ●河内郡 ●芳賀郡

德藏寺 池上末 平、二八 鹿沼町 鹿沼 駒崎 隆順

由緒沿革 感應山と號す、開山日調上人、大永二年中創立、もと千葉縣夷隅郡西畑村湯倉にあり、同郡總元村部田徳性寺末なり、明治三十七年二月現地に移轉し次之現本寺に轉末す、再興開基大僧正久保田日龜上人。

本妙寺 身延末 平、二四 足尾町 赤澤 上田 勇山

由緒沿革 金峰山と號す、開山圓立院日眞上人、寛文二年九月創立。

▲下都賀郡

上田寺 身延末 素、二一 南犬飼村 上田 大關 宣直

由緒沿革 寶石山と號す、開基伊藤某、開山下野阿闍梨日忍上人、正應元年二月創立。

▲鹽谷郡

慈眼寺 栃木妙金寺末 平、等外 藤原村 藤原 白川 隆教

由緒沿革 もと本宗寺院なりしも誤て天台宗に編入せらるゝ、二年あり、明治二十八年五月廿一日地方廳名儀訂正により本宗に還る。

清隆寺 身延末 平、等外 藤原村 藤原 藤井 嘉隆

由緒沿革 寶塔山と號す、開基星治郎助、開山下野阿闍梨日忍上人、正應元年十月十二日創立。

等覺院 大光山末 平、二五 黒磯町 黒磯

由緒沿革 紫雲山と號す、中津原蓮殊文久三亥年一月一日創立す。

喰初庵 福島妙満寺末 平、無等 那須村 湯本 餅田

由緒沿革 もと東京府荏原郡池上村にあり、同地本門寺末なり、明治三十年の交現地に移轉し次之現本寺に轉末す。

▲河内郡

妙光寺 本土寺末 平、二八 薬師寺村 成田 池田 了郁

由緒沿革 成田山と號す、開基國部惣十郎、開山日法上人、慶長元辛亥年十月創立。

▲芳賀郡

興隆寺 池上末 平、二五 眞岡町 荒町 高津戸 理明

由緒沿革 大法山と號す、開基太田倉治、開山新倉海存、創立明治十三年六月十六日。

●栃木縣 第二部 (西部)

▲安蘇郡

本山 妙顯寺 十八等末寺二 堀米町 堀米 高森 玄碩

日蓮宗寺院 ●栃木縣第二部 ●安蘇郡 一七五

由緒沿革 開本山と號す、開基若田部源五郎光盛、開山中老僧美濃阿闍梨天目上人姓は三浦氏、豆州波多郡の人、父は高山某、母は駿河熱原基四郎國重の娘なり、師初め相州鎌倉島中圓成寺を創し本迹勝劣の義を唱ふ、身延向師之を教誡し、付するに自作の祖像を以てす、依て嘉元二年十月當山を創立し大に宗風を輝す、後永享四壬子年六月將軍義教公地領等を寄せ、永正四年唐澤城主佐野家の祈願所たり、會々天正二年寛政六年兩度の火災あり、現今の堂宇は安政二年十月の建立に係る、先之慶長八年唐澤城の移轉と共に現地に移り、時に盛衰ありと雖も法燈連綿四十世、現に本山の一たり。寺寶に向師作開山へ付囑の祖像、大聖人御茶毘所御灰及御碎骨、熊王丸筆三十番神、宗祖開眼鬼子母神、開山の木尊等を藏す。

妙音寺

大光山末 平、一九

佐野町大丁 石川 養泉

由緒沿革 天満山と號す、開山美濃阿闍梨天目上人、嘉暦年間此地に弘通の砌、栃木邑に掛錫し、唐澤山の半腹、天神澤なる管公の社傍に一字を營み、社僧を兼ね當寺を創草す、實に嘉暦三年四月十七日とす、後十一代日順上人の時、領主佐野修理亮宗綱公及長臣大貫越中重武等の歸依あり、天正三年四月八日家綱公其父故周防守昌綱公小祥忌に當り菩提のため營繕を盛にし寺門興隆す、慶長八年天明邑(現地)に移轉す。

▲下都賀郡

妙唱寺

弘法寺末 紫、二一

栃木町嘉右衛門町 佐久間瑞圓

に移轉す。

大相寺

長崎妙光寺末 平、二五

足尾町間藤

由緒沿革 本光山と號す、開山日祐上人、もと千葉縣香取郡多古町島にあり、明治四十二年四月現地に移轉す。

▲足利郡

妙隆寺

池上末 緋、二〇

山前村大前 吉田 存義

由緒沿革 本照山と號す、開山中老僧日賢上人、貞和元年七月十六日創立。

常泉院

栃木妙隆寺末 平、等外

山前村大前

由緒沿革 開山常泉院日惠上人、寛文二年三月十八日創立。

由緒沿革 如意山と號す、開基太田彌右衛門、立川亦平、笹崎儀右衛門外二十名、開山妙意法尼、明治九年九月十二日創立。

一乘院

大光山末 平、二三

栃木町大杉新田 福岡 玄肅

由緒沿革 法圓山と號す、開基田代善平、野呂磯吉外十三名、開山蓮樂院日等上人、天保七年十月十三日創立。

法宣寺

池上末 平、一八

瑞穂村真弓 池田 義明

由緒沿革 長高山と號す、開山正善院日兼上人、開基妹尾三河守、創立永享年中、もと法宣院と稱し永祿年中寺號に改稱す。

妙建寺

弘法寺末 紫、二一

小山町 吉田 日透

由緒沿革 法頂山と號す、開山本山二世成就院日念上人、後醍醐天皇の建武元年甲戌年正月創立。

光盛寺

千葉光福寺末 平、二四

富山町下皆川 大塚 玄量

由緒沿革 寒福山と號す、開山日調上人、もと千葉縣夷隅郡四畑村彌喜用にあり、明治三十一年現地に移轉す。

妙典寺

身延末 素、二五

桑村飯塚 野口 日海

由緒沿革 長運山と號す、開山中老僧日法上人。

▲上都賀郡

法圓寺

妙木寺末 平、二四

西方村元 兼福岡 玄肅

由緒沿革 長上山と號す、開山長雄院日勝上人、創立元和元年九月、もと神奈川縣高座郡小出村にあり、明治二十三年中現地

●群馬縣

▲前橋市

永壽寺

弘法寺末
紫、一五

天川原 田代 惠教

由緒沿革 品量山と號す、開基播州姫路城主松平大和守、開山
本是院日教上人、寛文十年六月八日創立、松平家移封と共に川
越に轉じ、慶應三卯年更に移封により現地に移る、先住現建物
を建立し現住經營に努む。

▲高崎市

正法寺

良延末
紫、一六

九藏町 石橋 要識

由緒沿革 廣布山と號す、開山本龍院日敬上人、文祿二年創立、
寺寶に宗祖御消息一幅を藏す。

法華寺

本土寺末
平、二四

九藏町 尾澤 恭存

由緒沿革 開山日證上人。

▲邑樂郡

圓教寺

身延末
素、二四

館林町加法師町 高木 隆慶

由緒沿革 開山圓教院日胤上人、天正四年中創立。

法高寺

大光山末
平、二二

館林町 山本 辨覺

▲碓氷郡

蓮久寺

大光山末
平、二六

安中町 立川 辨要

由緒沿革 開基安中出羽守、開山本龍院日敬上人、明應三年四
月十日創立。

實相寺

身延末
平、二九

板鼻町 鈴木 義全

由緒沿革 開山清淨院日殊上人、元和三年三月創立。

▲山田郡

法經寺

身延末
平、二五

桐生町下久方 佐藤 惠淨

由緒沿革 妙蓮山と號す、開基信行院日德上人、明治六年三月
當地に來り信歸を得、明治十七年金子格次郎の宅地寄附あり、
同十八年三月三日寺號公稱、爾來幾變遷あり現住に到る。

寂光院

池上末
平、二二

桐生町久方 村野 宣是

由緒沿革 開基新井善左衛門、開山大車院日軌上人。

本要寺

京妙顯寺末
平、無等

大間々町桐原

由緒沿革 開山本立院日要上人、寛永八年中創立、もと京都市
上京區禪昌院町にあり、同府愛宕郡紫竹大門常徳寺末なり、明
治二十五年六月現本寺に轉末し次て現地に移轉す。

▲多野郡

由緒沿革 宗祖を開山に仰ぐ、文永二年三月創立。

▲新田郡

妙高寺

身延末
平、一六

寶泉村下田島 田島 海芳

由緒沿革 開山眞如院日誘上人。

妙見寺

身延末
平、二六

世良田村西今井 鹽澤 觀榮

▲利根郡

妙光寺

中山末、中末一沼田町坊新田
平、一七

佐藤 海豊

由緒沿革 開基日嚴、開山日胤上人。

妙養寺

群馬妙光寺末
平、三〇

桃野村下津 根岸 隨教

▲佐波郡

本妙寺

身延末
素、一六

名和村山王堂 鈴木 慈觀

由緒沿革 開基鷲林阿闍梨日林、開山日朗菩薩。

大圓寺

千葉長勝寺末
平、二四

伊勢崎町 尾高 玄守

由緒沿革 法蓮山と號す、開基日生、開山日性上人、創立正徳
元年十月、もと千葉縣夷隅郡總野村松部にあり、明治四十三年
五月現地に移轉す。

天龍寺

身延末
素、一五

藤岡町 岩瀬 存乘

由緒沿革 福聚山と號す、宗祖啓運の時到り、佐波より歸倉の
砌此地を經、栗須村長谷川長源の家に宿し給ふ、長源歸依し常
榮山長源寺を建つ、永祿三年芦田右衛門大夫光教の室了源院殿
深く妙宗に歸依し長源寺を移して福聚山天龍寺を再興す、當寺
これなり、寺寶に宗祖開眼大黒天、方便品十六字の御眞筆、朝
師筆等を藏す。

▲北甘樂郡

本城寺

池上末、中末一
素、一六

富岡町富岡

妙傳寺

群馬本城寺末
平、二六

磐戸村小澤

由緒沿革 開山靈鷲院日審上人、享和三年中創立。

▲群馬郡

妙福寺

大光山末
平、二七

箕輪村西明屋 加藤 龍修

由緒沿革 開基長野信濃守。

千葉県 第一部 (中山組)

東葛飾郡

大本山 法華經寺 一等 中山 喜多村日修

由緒沿革 正中山と號す、創立建長六年三月、宗祖を開山に仰ぐ、開基富木播磨守五郎胤繼は若宮の領主なり、建長六年、宗祖の此地に弘通し鎌倉に歸らんと便船を求め給ふ折りしも、富木氏亦鎌倉に參勤するに同船し、船中に於て聞法歸依し、宗祖の御直檀として外護の誠を致し、後入道して常修院日常と云ふ。文應元年八月、宗祖松葉谷燒打の難を御嶺島に避け次て若宮なる富木氏の邸に下向し、鎮守八幡宮の拜殿に於て二七日の說法あり、太田左衛門尉乘明、曾谷二郎教信、秋元太郎等歸伏するもの多し。富木氏館の傍に法華堂を建立して奉る。宗祖に、立像の釋尊を安置し「妙蓮山法華經寺」の號を奠め開堂の式を擧げ、次て三七日の開演あり、百座の說法を成滿し給ふ。當時太田乘明、入道して館を改め本妙寺と號す。其の子亦出家す、中老日高上人とす、太田氏遺囑あり、富木氏乃ち高師を後見し、太田邸なる本妙寺に移る、爾來兩寺一主の制となる。今の法華經寺は即ち太田氏の邸にして、富木氏の邸は現今の「奥ノ院」の地これなり。宗祖百座說法の「法華堂」は一に四貫堂と云ふ、若宮より現境内に移せしもの、その門は實に鎌倉時代の建築たり。爾來勇師法將相次て出で宗門四大本山の一として法燈赫々たること百十八世、宗祖御眞作の一尊四十二具十體及御眞筆の

大曼荼羅、殊に當身一期の大事たる觀心本尊抄、並立正安國論等の御眞蹟を嚴護し、四月十二日より廿日迄千部會、八月七日蟲拂會、十一月十二日より十八日迄御會式を執行す(房總靈跡見) 淨光院 中山末 本多 泰教

由緒沿革 開山日胤上人、開基日經上人とす、本山四院家の一。

本行院 中山末 大崎 智妙

由緒沿革 開山權大僧都日堯上人、永和三年六月創立、本山四院家の一。

法宣院 中山末 遠藤 寬照

由緒沿革 大丞山と號す、開山日胤上人は太田乘明上人の御孫、本山二世帥阿闍梨日高上人の俗甥なり、創立正和二年四月、二世日直上人は開山の肉身、三世日英上人は上總の豪族地谷龜前守重義公の二子、大丞左近將監の舍弟なり、淵達英明法論に長じ、芳躅筑紫より東奥に及び、寺を創する七十六ヶ寺と稱す。左近將監の二子相次て出家す、四世日國上人五世日親上人これなり。日國上人は幼名千代壽龍丸、京都本山頂妙寺開祖日祝上人の師なり、日親上人幼名寅菊丸、赫々たる法勳宗史に顯る。爾來現住に及て四十五世、本山四院家の一なり。寺寶に冠鍋日親上人墨附宗祖御親筆大曼荼羅、日高上人大曼荼羅、其他三代日英上人の眞筆等を藏す。

安世院 中山末 戸村 慈精

由緒沿革 開山大僧都日惠上人、本山四院家の一。

遠壽院 中山末 布施 日健

由緒沿革 開山本山三世日祐上人の法孫經王院日祥上人、寛永五甲戌年四月創立、もと圓立坊と稱す。本山十世日信上人初めて祥師に祈禱相承を付囑し、三世遠壽院日久上人中興し、第四世日行上人、先師の院號を以て寺に名づく、祈禱根本道場たり。

智泉院 中山末 石井 日淳

由緒沿革 開山本山廿五世日長上人の弟子智泉院日住上人、正保元年十一月創立、慶應三年七月回祿の災あり、近年現住經營して寺觀整ふ、宗門祈禱道場の一。

五樹坊 中山末 榎木 觀瑞

由緒沿革 開山本山十四世日進上人の弟子日行上人、慶長十三年一月創立。

清水坊 中山末 中村 韻忠

由緒沿革 開山池本坊日運上人、創立慶長十七年七月。

淨鏡坊 中山末 熱田 聚玉

由緒沿革 開山本山廿二世日慈上人の弟子淨教坊日了上人、寛永十二年申年中創立。

本光坊 中山末 中山村中山 柿川 泰堯

日蓮宗寺院 (千葉県第一部) 東葛飾郡

由緒沿革 開基本山廿二世日慈上人の弟子本光坊日親上人、寛永十二年三月創立。

蓮行坊 中山末 内海 泰山

由緒沿革 開山本山十九世日胤上人の弟子蓮行院日慶上人、寛永三寅年四月創立。

本妙坊 中山末 宮内 智能

由緒沿革 本山五十三世日啓上人の開基。

陽運坊 中山末 戸村 惠明

由緒沿革 本山廿五世日長上人の弟子日宣上人の開山、寛永十六巳年二月創立。

正善坊 中山末 鹽田 義山

由緒沿革 遠壽院日祥上人の弟子正善院日遠上人、元祿七甲戌年二月創立す。

泰福寺 中山末 中山村高石神 綠谷 良恭

由緒沿革 開山日寂上人、弘化二乙卯年中創立。

淨然寺 中山末 中山村高石神 兼綠谷 良恭

由緒沿革 開山日然上人。

常開寺 中山末 中山村鬼越 關口 智藤

由緒沿革 開山日祐上人、慶安七年五月十九日創立。

妙正寺 中山末 中山村北方 鈴木 鳳正

由緒沿革 當寺はもと庵號なりしも、大正二年十一月四日寺號改稱許可せられたるものなり(房總靈跡見)。

法見寺 中山末 平、二六 中山村北方 磯野 善淳

由緒沿革 妙法山と號す、開基日常上人、開山日薩上人、創立應永廿七年八月、寺寶に宗祖曼荼羅を藏す。

妙圓寺 中山末 平、等外 葛飾村小栗原 西川 智教

由緒沿革 開山日俊上人創立。

多聞寺 本土末 平、等外 葛飾村二子 鈴木 海秀

由緒沿革 開山日傳上人、永仁六戊年八月創立。

行法寺 中山末 素、二三 船橋町九日市 松本 貞遠

由緒沿革 開山日譽上人。

大正寺 弘法寺末 平、等外 松戸町松戸塚越

由緒沿革 當寺はもと正行庵とす、大正二年九月東京市芝區二本榎承教寺末同所長運寺を併せ現寺號に改稱せるものなり。

本久寺 中山末 平、二七 松戸町栗山 石川 文孝

由緒沿革 開山養遠院日嚴上人、創立元祿三年中。

淨安寺 弘法寺末 紫、二〇 松戸町中矢切 富川 玄明

由緒沿革 開山日感上人、創立寛永十二年九月十七日。

本山 弘法寺 八等 末寺三七 市川町眞間 酒井 日慎

祿九年中、明治廿一年一月十五日日本山弘法寺同祿の際類焼し、同二十三年中新築して今日に到る。

龍泉坊 弘法寺末 平、二五 市川町眞間 兼酒井 寶祐

由緒沿革 開山日圓上人、寛永十六年中創立。

高圓寺 中山末 平、二六 八幡町宮久保

由緒沿革 開山日護上人、創立徳治二未年。

頂圓寺 弘法寺末 平、二六 八幡町宮久保 伊奈 義本

由緒沿革 開山日明上人、創立寛永十七年中。

所願寺 中山末 平、二七 八幡町宮久保 竹岡 戒善

由緒沿革 開山日順上人。

纓王寺 弘法寺末 平、二一 國分村國分 小島 貫是

由緒沿革 開山日榮上人、寛文四年四月廿八日創立。

東光寺 弘法寺末 平、三〇 國府村須和田

由緒沿革 開山日稅上人、文祿十八年中創立。

本住寺 中山末 平、二五 國府村下貝塚 山本 淵澄

由緒沿革 開山圓珠院日唱上人、正和元年九月九日。

安國寺 中山末 紫、二七 國府村會谷 村田 潮淑

由緒沿革 開基中老僧日禮上人、宗祖を開山に仰ぐ、創立建治元年三月。

由緒沿革 眞間山と號す、初め允恭帝の御宇此地に手見奈(頗き少女の古語)の事あり、舒明帝の頃、既に靈社として祀らる。其後聖武帝の天平九年、行基菩薩境域を擴め求法寺を設く、當山の開創に由來す。嵯峨帝の弘仁十一年、弘法大師東國歴遊の際、寺を現今の山上に移し社を舊地に置く。陽成帝の元慶五年、眞言より天台に轉じ、爾來求法寺を弘法寺と通稱し、鎌倉時代の盛時までは天台宗の檀林たり。當時の住侶能化職了性、若宮の邑主富木五郎入道胤繼と法論し、墮負して出寺し行く處を知らず。乃ち常師六老僧伊豫房日頂上人をして法體を樹てしむ、實に後宇多帝の建治二年十一月とす、翌三年本尊釋迦佛の造立成り、同十月八日開堂供養す。乃ち宗祖を開山に仰ぎ頂師二祖に居り、頂師の父駿州重須の邑主南條伊豫守定時を開基とす。爾來寺門隆昌にして千葉家の寄進あり、徳川將軍亦御朱印三十石を寄せ、現今四十四ヶ本山の一たり。寺寶に宗祖御眞筆及本尊、什師詔狀、撫虎の畫等を藏し、境内手兒奈靈神は賽者絶ゆる事なく、附近に國府臺野砲兵第十五、六、七聯隊、里見公園、八幡、國分寺等の名所多し(房總靈跡見)。

玄授院 弘法寺末 紫、一九 市川町眞間 酒井 寶祐

由緒沿革 創立寛永五年十月十三日。

安國院 弘法寺末 紫、一七 市川町眞間 中山 義靜

由緒沿革 開山松本坊日念上人、創立正和二年中。

龜井院 弘法寺末 平、一八 市川町眞間 宇田川琢勇

由緒沿革 開基幕臣鈴木修理之亮長頼、開山日立上人、創立元

蓮正寺 中山末 平、二六 國府村會谷

由緒沿革 中興開山日永上人。

安穩寺 中山末 平、二六 國府村稻越 中塚 智嶋

由緒沿革 開山法乘院日養上人、明歴三年三月創立。

慶國寺 中山末 平、二六 八柱村秋山 福山 智辨

由緒沿革 開山日榮上人、曆應二年五月十八日。

眞隆寺 弘法寺末 紫、二三 八柱村紙敷 阿部 鍊直

由緒沿革 開山日宣上人、嘉元三年四月創立。

廣龍寺 中山末 平、二四 八柱村紙敷 松村 壽顯

由緒沿革 開山日護上人。

傳法寺 弘法寺末 平、二五 八柱村紙敷 富川 玄祐

由緒沿革 開山常在院日教上人、文龜三年十月創立。

本法寺 弘法寺末 紫、二四 八柱村和名ヶ谷 中山 耀隨

由緒沿革 當寺はもと眞言宗にして浮谷山通源寺と稱す、建治三年中轉宗し現寺號に改む、其開山を但馬阿闍梨日定上人とす。

本勝寺 中山末 平、等外 八柱村河原塚

由緒沿革 開山日高上人。

本源寺 本土寺末 平、二八 八柱村大橋 柏木 慈明

由緒沿革 開山自得院日樂上人、創立慶長元年三月。

延命寺

中山末 平、二四 鎌ヶ谷村鎌ヶ谷

由緒沿革 開山一乘院日正上人、慶長八年三月創立。

妙蓮寺

中山末 平、二二 鎌ヶ谷村道野邊 皆川 慈潮

由緒沿革 開山三位公日進上人、元徳元年三月八日創立、聖母妙蓮尊尼の御生誕地とす。

萬福寺

中山末 平、二六 鎌ヶ谷村中澤 古澤 宣澄

由緒沿革 開山日光上人、創立天正三年中。

禮林寺

中山末 平、二一 大柏村大野 富田 堯圓

由緒沿革 開山日禮上人。

法蓮寺

本土寺末、中末二 紫、二〇 大柏村大野 田端 自省

由緒沿革 開基法蓮上人、開山中老僧日禮上人、建治三年四月創立、日法上人作宗祖尊像を安置す。

充行院

千葉法蓮寺末 平、二三 大柏村大野 出口 日靜

由緒沿革 開山日榮上人、正保元年中創立。

圓行院

千葉法蓮寺末 平、二五 大柏村大野 吉村 戒秀

由緒沿革 開山日福上人、寶徳元年中創立。

本光寺

中山末 平、二五 大柏村大野 花見 是壽

由緒沿革 開山日胤上人、康安元年四月二十八日。

淨光寺

中山末 平、二七 大柏村大野 竹内 淵邊

由緒沿革 開山常明院日完上人。

圓福寺

中山末 平、等外 行徳町田尻

由緒沿革 開山常徳院日圓上人。

淨經寺

中山末 平、二八 行徳町田尻 植田 隆高

由緒沿革 開山法榮院日勝上人。

妙好寺

中山末 紫、二二 行徳町上妙典 關 觀朗

由緒沿革 妙榮山と號す、開山一乘阿闍梨日宣上人、慶長初年の創立に係り現住寺門の經營に力を注ぐ。寺寶に日常日高日祐各聖の本尊を藏す。

清壽寺

中山末 紫、二五 行徳町下妙典 袋 海俊

由緒沿革 顯本山と號す、開山莊藏律師日門上人、慶長二酉年十一月十二日創立。

常運寺

中山末 平、三〇 行徳町本行徳

由緒沿革 開山常運院日信上人、元和二卯年十月創立。

妙應寺

中山末 平、二九 行徳町本行徳 秋山 省身

由緒沿革 開山輪藏院日忍上人、永祿二未年四月創立。

妙覺寺

中山末 平、二六 行徳町 堀田 辨戒

由緒沿革 開山日榮上人、天正十四年五月十五日創立。

圓頓寺

中山末 紫、二三 行徳町本行徳 村岡 獅絃

由緒沿革 開山日圓上人、天正十二年五月創立。

日蓮宗寺院 ◎千葉縣第一部 ◎東葛飾郡

由緒沿革 開山日典上人。

本將寺

中山末 紫、二三 大柏村大野 西山 惠光

由緒沿革 開基日寶上人、正應五年八月創立。

唱行寺

中山末、中末二 緋、二二 大柏村柏井 石川 貞心

由緒沿革 今鳥山と號す、開基首題坊日唱、宗祖を開山に仰ぐ、建長六年二月二十八日創立(房總靈跡見)。

安樂寺

中山末 平、等外 大柏村奉免 續 智靜

由緒沿革 開山日國上人、創立建長七年十月。

行傳寺

千葉唱行寺末 紫、二五 塚田村前貝塚 原 瑞英

由緒沿革 正光山と號す、開山本寺七世要行院日心上人、應永二年三月廿五日創立、弘化元年十二月祝融の災あり、嘉永三年四月廿八日四十四世日通上人再建して今日に及ぶ。

本行寺

千葉唱行寺末 紫、二二 塚田村後貝塚 矢島 大音

由緒沿革 正法山と號す、開山律師日眞上人、嘉吉二壬戌年十一月創立、嘉永年間本堂再建。

妙行寺

中山末 紫、一二 行徳町原木 石井 日晃

由緒沿革 原木山と號す、開山圓増院日進上人、寺寶として火中出現防火の祖師(日法上人作板御影)を安置す。現今祈禱道場として其名高し(房總靈跡見)。

常明寺

中山末 平、二九 行徳町高谷 佐保 泰然

本久寺

中山末 平、二五 行徳町本行徳 石川 正順

由緒沿革 開山日能上人、天龜三申年中創立。

正讀寺

弘法寺末 平、二七 行徳町本行徳 藤江 孝曉

由緒沿革 開山華藏院日乘上人、天正三亥年八月創立。

妙頂寺

弘法寺末 平、二五 行徳町本行徳 原田 瑞嚴

由緒沿革 開山安立院日忍上人、永祿元年三月創立。

正福寺

中山末 紫、二三 浦安町堀江 石川 貞圓

寶相寺

中山末、中末一 緋、一五 關宿町臺町 大野 要濫

由緒沿革 寶樹山と號す、開山權大僧都日英上人、應永十六己丑年十月十四日創立、現住廿四世。

本山 本土寺

二十等 末寺七〇 小金町平賀 加藤 日榮

由緒沿革 長谷山と號し三本三長(池上、比企と共に)の一にして、明師の御讓狀現存し、又六門家の一員たり。宗祖を開山に仰ぎ、開基當國目代陰山土佐守、文永七年中に草創し、延慶二年會谷教信の經營に依て堂宇悉く備はる。即ち聖母の御生家會谷殿の菩提所なり。明治四十二年中其末寺縣下印旛郡酒々井町本佐倉(平外)長勝寺を合併して今日に到る。寺寶に本地白毫高祖大菩薩を安置し、建治元年七月二日の大學三郎殿御書、弘安元年三月二十一日の諸人御返事、其他宗祖の御本尊等を藏す。

輪像院

本土寺末 素、二七 小金町平賀
由緒沿革 當院は日像菩薩池上三世日輪上人御生誕の靈地に於て、現に御生母妙朗尼の御廟あり、長谷山と號し本山の寺中とす、寺寶に像師作の自像及傳師彫刻明師の木像を安置す。

佛持院

本土寺末 平、三〇 小金町平賀 高橋 日正
由緒沿革 開山日學上人。

安立寺

本土寺末 平、三〇 小金町久保平賀 藤野 本隆
由緒沿革 開山日傳上人、曆應四年三月六日創立。

常眞寺

本土寺末 平、二四 小金町大谷口 池田 教速
由緒沿革 開山眞藏院日正上人、寛文元年八月十四日。

妙典寺

中山末 平、等外 小金町小金
由緒沿革 開山直井入道日典上人、文祿三甲午年七月十二日創立。

成顯寺

本土寺末 緋、一五 八木村駒木 飯沼 豊山
由緒沿革 通法山と號す、開基高市兵庫、開山成顯院日榮上人、建治二年八月創立。寺寶に明師本尊行基菩薩作誼訪靈像あり。

淨蓮寺

本土寺末 平、二九 八木村野々下兼鷹野 保源
由緒沿革 開山日興上人、寛永八年五月。

法榮寺

本土寺末 紫、二七 八木村駒木新田 盛野 泰靜
由緒沿革 開基鑄木佐内、岡田孝之助、開山日隆上人、永祿十

本行寺

本土寺末 紫、二四 流山町加村 田中 日顯
由緒沿革 開山天目上人、延慶元年一月創立。

經泉寺

身延末 平、三〇 流山町加村 丸山 英觀
由緒沿革 開山日榮上人、大永五年中創立。

妙照寺

中山末 緋、一五 風早村大井
由緒沿革 開山越後阿闍梨日辨上人、弘仁年中創立。

宗賢寺

小湊末 平、二三 風早村塚崎 高梨 文開
由緒沿革 開基中野代右衛門、開山妙應院日宣上人、元和元年二月十四日創立。

妙蓮寺

弘法寺末 紫、二八 富勢村根戸
由緒沿革 開基泉澤治郎左衛門、開山泉澤房日念上人、正中二年三月二十八日創立。

眞住院

千葉本覺寺末 平、等外 福田村二ツ塚 山田 法重

▲千葉郡

本山 妙興寺

十四等末寺六 白井村野呂 香取 珖惠
由緒沿革 當山は慶長元年池上十二世日尊上人の野呂檀林を開き給へる處。初め建治元年十二月朔日、宗祖の檀越千葉の一族曾谷四郎左衛門尉道崇入道直秀、郷里の西南加納ヶ邸に七堂伽

日蓮宗寺院 ◎千葉縣第一部 ◎千葉郡

二年十二月創立。

本妙寺

弘法寺末 平、等外 八木村後平井 中村 鑑妙
由緒沿革 開山松本坊日念上人、創立正中元年十二月。

了源寺

本土寺末 紫、二四 土村根本内 河本 英澄
由緒沿革 開山本行院日圓上人、寛文三年四月。

妙蓮寺

中山末 素、二一 土村増尾 瀬川 泰善
由緒沿革 開基平川兵庫、開山本行院日元上人、慶長七年三月十三日創立。

常興寺

弘法寺末 素、一五 流山町流山 島田 勝存
由緒沿革 梅本山と號す、開基須藤半右衛門、開山宗祖法孫松本坊日念上人、嘉曆元年八月創立、初め開山下總葛飾の邑に一庵を結ぶ、今の流山町馬場の地なり。上人の寂後二百餘年、天文二十四年梅本坊日信上人、その遺風を慕うて廢趾を構修し梅本坊と呼び弘法寺末に屬す。慶長五年陸州の動亂あり、郷俗流離し坊亦同郡篠籠田の山陰に移る、今の法華蘭塔其舊地なり。後復同郡根戸村に移す、今の法華坊跡これなり。寛永十三年流山の名主須藤氏開基となり現地に再興し、須藤氏夫妻の法號に依て寺號に名く、寺寶に宗祖弘安元年三月十七日の御本尊を藏す。

本覺寺

弘法寺末、中末一 流山町西平 河野 本碩
由緒沿革 感應山と號す、開山松本坊日念上人、創立正中元年四月、明治十七年一月七日同祿の災あり、爾來經營して寺觀整

藍を建立す。宗祖、山を長嶺、寺を妙興と銘じ、中老大受阿闍梨日合上人を開祖とす。後永祿三年二月、房州里見の兵火に災せられ天正三年八年再建の事あり、乃ち地頭齋藤善七郎胤次、同年霜月十五日、郷里の東北、芳賀山の地十餘町歩を寄附す、依てこゝに移轉す、現地これなり。爾來歴代深く栽植に注意し、寺觀の尊嚴を保つ。殊に寛文五年十二月、島津淡路守預りとして日向國佐土原に流罪せられ、同地に在て「啓蒙」の著ありし啓蒙講師は、實に當山第二十一世の嗣法たり。本堂經藏（天和二年七月二十七日松平氏藝州大守御殿中光晟公の室家滿公の第三息女金一千兩を以て成功す）庫裡不動堂（開基奉持の尊像）子安堂（鑿金一十兩を以て鑿え、寺寶に宗祖御消息七幅、日法上人作祖像、堂寺巍然として聳え、寺寶に宗祖御消息七幅、日法上人作祖像、開山所持念珠、在原朝臣和歌色紙等を藏し、境内の「宗祖御杖櫻」は今尚六百年來の春を誇る。

慈眼坊

妙興寺末 平、等外 白井村野呂

鏡泉坊

妙興寺末 平、無等 白井村野呂

常光坊

妙興寺末 平、無等 白井村野呂

榮久寺

妙興寺末 平、二七 白井村川井 石原 日精
由緒沿革 開山日雄上人、慶長十年十月創立。

高傳寺

藻原寺末 素、二四 都村加會利 長谷川了玄
由緒沿革 開基日傳上人、開山日榮上人、大永元年三月創立。

長善寺

妙興寺末 素、二七 干城村坂月 後藤 詮雅

由緒沿革 開基湯淺惣右衛門、開山日尊上人、慶長元年五月五日創立。

上行寺 藤原寺末 紫、二一 椎名村茂呂 青木 快全

淨泉寺 藤原寺末 平、二七 椎名村中西 根本 堯靜

本敬寺 藤原寺末 素、一九 千葉町千葉 吉野 了孝

長妙寺 身延末 平、二二 大和田町萱田 野口 潮惠

東照寺 中山末 紫、二四 陸村平戸 平川 慈明

東福寺 中山末 平、等外 陸村神久保 秋山 睿教

妙德寺 中山末 平、等外 陸村真木野 石田 泰學

妙福寺 中山末 平、二八 陸村佐山 柴田 是恩

妙光寺 中山末 紫、二三 陸村小池 椎名 禪明

由緒沿革 開山妙高院日意上人、文明三卯年四月創立。

妙胤寺 中山末 紫、二四 酒々井町本佐倉 牧 智位

妙樂寺 中山末 平、二二 酒々井町上岩橋 松本 通玄

妙傳寺 本土寺末 平、二四 白井町白井臺 小島 宏遠

妙勝寺 本土寺末 紫、二三 和田村上勝田 宇野 即成

寶相院 千葉長光寺末 平、二七 八街村八街

本昌寺 千葉妙勝寺末 平、二五 八街町大關新 眞田 了圓

長福寺 本土寺末、中末三 彌富村岩富 深谷 三千

日蓮宗寺院 ◎千葉縣第一部 ◎印旛郡

妙泉寺 中山末 平、二七 陸村島田

光明寺 中山末 平、三〇 豐富村小野田 花澤 海辨

安養寺 中山末 平、二〇 豐富村坪井 間宮 慈耀

西福寺 中山末 紫、二三 豐富村大神保 牛田 戒淳

本覺寺 中山末 平、二五 豐富村小室 山下 隆雄

法井寺 中山末 平、等外 豐富村車方

昌柏寺 京都常徳寺末 紫、一五 佐倉町本町 相澤 快長

妙隆寺 中山末 紫、二五 佐倉町鍋木 村上 戒俊

文明二寅年三月創立。

蓮乘院 千葉長福寺末 平、二六 彌富村岩富 吉田 惠隆

福壽院 千葉長福寺末 平、等外 彌富村岩富

教藏寺 本土寺末 紫、二七 彌富村岩富 小清水堯英

正國寺 本土寺末 紫、二六 彌富村宮内 一日 旺

長國寺 小西正法寺末 素、二七 彌富村飯塚 中島 養浩

法宣寺 本土寺末 紫、二五 川上村根古谷 矢田堀秀政

潮音寺 中山末 紫、二一 富里村久能 椎名 日慧

妙福寺

中山末、中末二
紫、二〇 遠山村小菅 宇都宮惠鐘
由緒沿革 開基後徳院殿日觀大居士、開山大僧都日英上人、創立應永九午年八月二十八日。

妙隆寺

東京徳大寺末
平、等外 遠山村小菅
由緒沿革 開山眞行院日圓上人、も同地妙福寺末、明治四十年五月現本寺に轉末す。

釋迦寺

千葉妙福寺末
平、等外 遠山村小菅
由緒沿革 開山淨行院日勤上人、元龜二未年中創立。

東陽寺

千葉妙福寺末
平、二五 中郷村野毛平 立花 文誠
由緒沿革 開山中道院日善上人、永祿九寅年九月二十五日創立、明治二十三年三月五日火災に罹り經營今日に到る。

蓮常寺

中山末
紫、二〇 安食町北邊田

由緒沿革 開山日景上人、天正七年四月二十五日創立、明治二十九年三月十一日境内鬼子母神堂を除く外九棟の堂宇火災の爲鳥有に歸し、爾來經營して今日に及ぶ。

秋本寺

中山末
紫、二七 白井村白井

由緒沿革 開基秋本太郎兵衛常法、開山日典上人、嘉元元卯年中創立。

▲海上郡

を前記日院上人當山に退藏の際奉遷爾來當山に靈鎮す、その他祐、圓各聖の本尊、水戸公耀師へ寄贈の金屏風、同師所持の書籍等あり、寺内に鎮守豐田岡田兩大善神を祀る。總武線の八日市場驛下車、門前まで馬車腕車の便あり、又同線にて成田のりかへ、多古驛迄輕便鐵道、同驛より縣道十五丁。

妙興寺

中山末、中末八
緋、一八 中村南中 那須 體壽

由緒沿革 正峰山と號す、開基日忍上人、開山中老僧越後阿闍梨日辨上人、弘安二年中創立。寺寶に宗祖大曼荼羅、安國論御草稿、宗祖自開眼尊像、御消息十三幅等を藏し、舊曆七月七日靈寶蟲拂會を執行す。

東福寺

日本寺末
紫、二五 中村南中 増田 智行

由緒沿革 當寺はもと同村北中にあり妙福寺と稱す、大正元年の交同末寺たる南中東福寺を合併し次で東福寺と改稱せり、後大正六年中現地に移轉す。

妙光寺

中山末
平、二三 中村南中

由緒沿革 唐竹山と號す、開山大僧都日朝上人、貞治三年五月創立。

徳成寺

中山末
平、二七 中村南中 木村 慈舟

由緒沿革 巨榮山と號す、開山日祐上人、應安元年中創立。

光明寺

中山末
平、二七 中村南並木

由緒沿革 常照山と號す、開基法重院日崇、開山權大僧都法印

日蓮宗寺院

◎千葉縣第二部

◎香取郡

妙福寺

中山末
緋、一四 銚子町荒野 平山 日詳
由緒沿革 開基日達上人、開山日高上人、創立正徳五年中。

蓮寺

千葉中村妙興寺末
平、二七 豊岡村塙 鹽尻 孝英
由緒沿革 妙國山と號す、開山日正上人。

◎千葉縣 第二部 (香取組)

▲香取郡

本山 日本寺

十二等
末寺三

中村南中 清水 龍山

由緒沿革 當山は永仁年中富木日常上人隱棲の地たり、故に彼の正中山に對し正東山と名く、次で元應年中中山三祖日祐上人開基千葉大隅守胤貞公より山林境内を寄附せられ、更に天正年中當山十三世中興日院上人に至り北條氏政公寺領を寄附し乃ち一本山の規模成る、後慶長四年飯高檀林第四代の化主慧雲院日圓上人此山に遁るゝや、學徒雲集終に一大學座を創創し中村檀林と稱し飯高と對峙す、初め瑞光寺といふ是に至りて正東山日本寺と更む、蓋し所謂「日本の佛法」の淵源開淨光被の曙光たるを示せるものか、五百の學侶講經談論法龍義虎輩出して眞に海東の大檀林たり。明治維新宗政改革檀林を東部に移すに及んで格を四十四箇獨立本山の一に列す、淨域内山門、鐘樓、經藏、妙見宮祠を除きては明治二十五年日慶上人の改築に成る、寺寶の「宗祖大士日常聖人交互眞作生御影兩尊像」は往古正中山にありし

日忠上人。

妙蓮寺

千葉中村妙興寺末
平、二七

中村南借堂 北村 禪了

由緒沿革 借當山と號す、開山日順上人、創立延徳元年中。

福現寺

中山末
平、等外

中村南和田 田中 玄雨

由緒沿革 和田山と號す、開山中山法華經寺五世淨行院日祐上人、創立貞治二年八月中。

佛光寺

千葉多古妙光寺末
平、二七

中村北中 兼村上 戒俊

由緒沿革 妙榮山と號す、開山中山法華經寺五世淨行院日祐上人、貞治年中創立。

淨妙寺

中山末、中末二
紫、二二

中村北中 田島 勝是

由緒沿革 法性山と號す、開基唐僧鑑眞、開山中山日祐上人、應永二十年九月二十一日創立。

妙觀寺

千葉淨妙寺末
平、等外

中村北中 齋藤 見岳

由緒沿革 中道山と號す、開山實相院日義上人、萬治元年二月八日創立。

妙淨寺

千葉淨妙寺末
平、等外

中村北中 押田 勝孝

由緒沿革 榮谷山と號す、開基日深上人、開山日圓上人、至徳三年九月十四日創立。

本福寺

本土寺末
平、等外

中村北中

由緒沿革 蓮行山と號す、開山本土寺九世妙高院日意上人、文

明五年中創立。

顯妙寺

中山末 素、二四

吉田村吉田

由緒沿革 八幡山と號す、開山大乘院日我上人、貞和三年中創立。

圖充寺

千葉中村妙興寺末 平、等外

吉田村吉田

由緒沿革 天神山と號す、開山日辨上人、永仁二年六月創立、明治二十四年五月七日火災に罹り以て今日に到る。

金蓮寺

中山末 平、二一

吉田村入山崎 清水 榮隨

由緒沿革 妙法山と號す、開基中老僧日高上人、創立正安二年中。

妙福寺

千葉中村妙興寺末 平、等外

吉田村入邊

常教寺

千葉中村妙興寺末 平、等外 田

矢野 宣良

由緒沿革 神崎山と號す、開山日辨上人、嘉元二年中創立。

弘經寺

中山末 平、二八

日吉村篠本 川島 可愼

由緒沿革 五大山と號す、開山正善院日寶上人、文祿五年中創立。

妙經寺

小湊末 素、二二

古城村鑄木 小泉 鍊哲

由緒沿革 東榮山と號す、開山日隆上人。

妙法庵

門跡瑞龍寺末 平

中和村米込 高田 妙心

法眼寺

小湊末 平、二四

多古町水戸 野々村是隆

由緒沿革 常照山と號す、開山日寶上人。

妙立寺

長崎妙光寺末 平、二八

東條村舟越

由緒沿革 正圓山と號す、開山日朝上人、永仁五年正月十五日創立。

大立寺

小湊末 平、二六

東條村舟越 勝又 是靜

由緒沿革 法性山と號す、開山日意上人、創立天文二十三年二月一日。

大法寺

本土寺末 素、二七

東大戸村森戸 河田 靜學

由緒沿革 妙榮山と號す、開基島居丹波守臣原川孫平、開山大教院日樂上人、文祿三年四月十日創立。

淨蓮寺

本土寺末 素、二九

東大戸村大戸川 飯田 惠運

由緒沿革 東耀山と號す、開基大木備前守の男逸平太、開山行林院日能上人、寛正二辰年四月二十八日創立。

清龍寺

中山末、中末一 平、等外 屋

小御門村名古

由緒沿革 妙光山と號す、開基大須賀伊豆守、開山正覺院日念上人、創立永正四年五月十二日。

東光寺

中山末 平、三〇

小御門村名古屋

由緒沿革 日藝山と號す、開基稻葉安藝守、開山日聖上人、享祿二年五月二十日創立。

由緒沿革 開山諦圓院上人。

妙暹寺

小湊末 平、二四

多古町染井 霧生 玄尙

由緒沿革 開山日朝上人。

妙光寺

中山末、中末一 紫、一五

多古町多古 甲斐 本耀

由緒沿革 妙卯山と號す、開山常在院日朝上人、弘安二年十月十日創立。

法福寺

中山末 平、一八

多古町大原内 津田 壽良

由緒沿革 古昌山と號す、創立天正十八年六月十五日、初め般若寺と名け眞言を宗とす、當時の住僧性徳院日昌、中山三世日祐上人の化を受けて改宗し今の寺號に改む、勸請の妙見大士は聖徳太子の彫刻、源家に傳はり秀吉公大阪城に安置す、正徳五年多古地頭千葉家牛尾能登守當山四世日體上人に寄贈せしものと云ふ。

妙道寺

日本寺末 平、等外

多古町喜多兼増田 智行

由緒沿革 開山唯心院日因上人。

本還寺

小湊末 平、無等

多古町喜多兼小野 鍊雄

法林寺

小湊末 平、二五

多古町林 尾上 壽悅

由緒沿革 池榮山と號す、開山法林院日財上人、當寺は明治二十一年二月同村なる同末正林山妙法寺(開山正林院日傳上人、曆應元庚寅年創立)及び正榮山法光寺(由緒沿革不詳)の二ヶ寺を併合せり。

妙印寺

千葉澤眞淨寺末 平、等外 田

高岡村大和

由緒沿革 寶樹山と號す、開基領主井上筑後守、開山一妙院日守上人、天文元辰年二月十六日創立、明治三十七年十二月三十一日火災に罹り爾來經營す。

淨國寺

千葉澤眞淨寺末 紫、二三

佐原町佐原 石橋 旭意

由緒沿革 長妙山と號す、開基長澤伊豆守、開山淨妙院日施上人、元祿十一辰年十一月三日創立、明治二十一年一月五日及同三十一年二月四日の兩度火災に罹り爾來經營今日に及ぶ。

宗勝寺

中山末 紫、二八

佐原町篠原 高橋 勵瑞

由緒沿革 法中山と號す、開基領主堀淡路守宗勝、開山日慈上人、寛永元年三月十三日創立。

飯高寺

身延末 緋、一五

飯高村飯高 森田 日教

由緒沿革 妙雲山と號す、開基心性院日遠上人、開山蓮成院日尊上人、寛永十七辰年創立、飯高檀林の舊趾として名高し。

妙經寺

千葉飯高妙福寺末 平、無等

飯高村飯高

由緒沿革 開山眼應院日賀上人。

蓮福寺

日本寺末 平、等外

飯高村飯高

由緒沿革 開山日惠上人、創立嘉祿四年中。

法界寺

中山末 平、等外

飯高村飯高

由緒沿革 開基常誦院日慶上人、開山教藏院日生上人、元和八年

年四月創立。

法福寺 千葉賢徳寺末 飯高村飯高

由緒沿革 開山十行律師日意上人、大永元年中創立。

妙福寺 中山末、中末二 飯高村飯高

由緒沿革 妙見山と號す、開基圓成院日授上人、開山淨行院日祐上人、寛永十五戊寅年三月十五日創立。

圓成寺 千葉飯高妙福寺末 飯高村飯高

由緒沿革 開山中山三世日祐上人、慶安年中創立、明治十九年五月十三日火災に罹る。

法華寺 千葉中村妙興寺末 飯高村飯高

由緒沿革 開山日忍上人、慶長元年四月十日創立。

常觀寺 千葉常磐顯實寺末 飯高村飯高

由緒沿革 開山實住坊日乘上人、天正十一癸未年十一月創立。

賢徳寺 中山末、中末二 飯高村大堀 佐藤 壽寛

由緒沿革 正徳山と號す、開基日作上人、開山日祐上人、貞和三丁亥年四月創立。

妙正寺 千葉飯高賢徳寺末 飯高村大堀 小泉 泰明

由緒沿革 町野山と號す、開山賢住院日住上人、元龜元年中創立。

妙大寺 中山末 飯高村金原

由緒沿革 金原山と號す、開山日高上人、徳治元年中創立。

妙長寺 中山末 飯高村小高 越川 智靜

由緒沿革 開山日善上人、創立天正三亥年八月創立。

圓靜寺 中山末 飯高村安久山 兼佐藤 壽寛

由緒沿革 安久山と號す、開基勇猛院日進上人、開山淨行院日祐上人、大道年中創立。

妙印寺 中山末 飯高村片子

由緒沿革 片子山と號す、開山延長院日演上人。

妙香寺 千葉栗源大乘寺末香取町下小 毛利 玄達

由緒沿革 昌林山と號す、開基妙香尼、開山昌林院日在上人。

大乘寺 小湊末、中末四 栗源村岩部 佐々木海旭

由緒沿革 妙法山と號す、開基石橋保儀、開山日應上人、大永六年二月二日創立。

安興寺 本土寺末、中末一 栗源村岩部 富永 觀了

由緒沿革 開山中老僧日傳上人、創立元徳二年三月十日。

本興寺 千葉栗源大乘寺末 栗源村高萩

由緒沿革 妙光山と號す、開基日橋、開山日石上人、創立延徳三辛亥年三月十四日。

長榮寺 小湊末 栗源村助澤 佐久間玄泰

由緒沿革 妙光山と號す、開基日橋、開山日石上人、創立延徳三辛亥年三月十四日。

蓮華寺 本土寺末、中末一 常磐村南玉 秋山 玄恭

由緒沿革 妙法山と號す、開基日實、開山中老僧日位上人、弘安十年三月創立。

玉泉坊 千葉常磐蓮華寺末常磐村南玉

由緒沿革 開基日明上人、開山日實上人、文保二年四月創立。

正岳寺 中山末 常磐村南玉造 金氏 義傳

由緒沿革 開基日道、開山日淳上人。

妙頂寺 中山末 常磐村南玉造

由緒沿革 常慶山と號す、開基常慶律師、開山日祐上人、創立慶安年中。

顯實寺 中山末、中末四 常磐村東松崎 横井 龍英

由緒沿革 法王山と號す、大同三年不思議法師開創、眞言に屬す、文永年中宗祖の化により、住僧圓顯を改宗し名を日顯と賜ふ、開山大覺樹院日顯これなり。大永二年常寂禪師こゝに檀林を開き、水戸光園公田園を賜ふ、爾後幾變遷、大正三年一月末寺たる同村川島妙法山蓮成寺開山蓮華坊日生上人を合併し、寺門興隆す。

能滿寺 小湊末 常磐村東松崎 風間 海惠

由緒沿革 勝榮山と號す、開山勝榮院日運上人。

妙藏寺 千葉常磐顯實寺末 常磐村川島 米川 榮頂

由緒沿革 勝榮山と號す、開山勝榮院日運上人。

安國寺 安興寺末 森山村岡飯田 並木 厚隆

由緒沿革 淨正山と號す。

長光寺 小湊末 栗源村荒北 西山 正文

由緒沿革 本覺山と號す、開山日寶上人。

淨傳寺 小湊末 栗源村荒北 佐藤 寛榮

由緒沿革 清光山と號す。

眞如寺 千葉栗源大乘寺末 栗源村菊毛 嚮 要禎

由緒沿革 清光山と號す。

圓光寺 千葉淨眞淨寺末 栗源村澤

由緒沿革 妙山と號す、開山日通上人。

實相寺 國前寺末 栗源村菊毛 入江 行運

由緒沿革 佛性山と號す、開山日久上人。

由緒沿革 川島山と號す、開山妙法院日乘上人。

法光寺 千葉常磐顯實寺末 常磐村方田 中條 龍旭

由緒沿革 延命山と號す、開山妙法院日乘上人。

妙行寺 千葉常磐顯實寺末 常磐村坂 森元 孝善

由緒沿革 妙解山と號す、開山中道院日秀上人。

妙高寺 千葉常磐顯實寺末 常磐村坂 林 教勝

由緒沿革 寶成山と號す、開山寶成院日賴上人。

光福寺 中山末、中末二 豐和村飯塚

由緒沿革 龍尾山と號す、開山要行院日用上人。

妙朝寺 千葉豐和光福寺末 豐和村飯塚兼清水 惠廣

由緒沿革 妙法山と號す、開山日英上人、創立應永十五年。

妙福寺 千葉豐和光福寺末 豐和村飯塚 清水 惠廣

由緒沿革 南光山と號す、開山靜柳院日泉上人。

妙廣寺 中山末 豐和村内山 栗原 教和

由緒沿革 金臺山と號す、開山權律師日玉上人、文龜元年辛酉年中創立。

妙典寺 中山末 豐和村内山 林 壽門

由緒沿革 眞立山と號す、開山權律師日玉上人、永正二乙丑年二月二十日創立。

長福寺 中山末 豐和村大寺 本間 本照

由緒沿革 本龍山と號す、開山日英上人。

大相寺 小湊末 山倉村小川 鈴木 湖涌

由緒沿革 妙光山と號す、開基同地の住人齋藤久兵衛準人之輔、開山日敬上人、元和二丙辰年八月創立。

妙國寺 千葉梁源大乘寺末 山倉村山倉

由緒沿革 創立元祿十七甲申年二月。

▲匝瑳郡

本立寺 千葉中村妙興寺末 福岡町八日 平塚 孝榮

由緒沿革 法華山と號す、開基日亨、開山權少僧部日光上人、創立文祿四年二月二十八日。

常福寺 神奈川妙香寺末 椿海村椿 野口 泰晴

由緒沿革 當寺はもと同縣香取郡豐和村光福寺末なり、明治年間現本寺に轉末す。

圓實寺 千葉中村妙興寺末 豐榮村木積 四宮 體實

由緒沿革 殿谷山と號す、開山常住院日宣上人。

朗生寺 池上末 野田村野手 澤田 玄直

由緒沿革 當寺はもと同縣夷隅郡清海村興津にあり聖福寺と稱す、明治年中現地に移轉せるものなり。

曉典寺 小湊末 共和村新町 高橋 智慶

由緒沿革 當寺はもと縣下香取郡中和村入野にあり、明治四十四年二月現地に移轉し、同時に是より先明治四十二年六月同郡多古町染井より當地に移轉せる同末妙福寺を併合せり。

◎千葉縣 第三部 (茂原組)

▲長生郡

本山 藻原寺 十等末寺七〇餘 茂原町 荒居 養壽

由緒沿革 常在山と號す、開基齋藤遠江守兼綱公は茂原の城主なり、宗祖の建長五年四月廿八日、清澄より鎌倉に赴かん、上總埴生郡笠森の觀音堂に憩はせ給ふを靈夢によりて知り、將に館に請ぜんとして途に近郷須田の住人高橋五郎時光亦靈夢によりて既に之を迎へ奉るに會ふ、兼綱乃ち邸に請じて受法す、後文永元年十一月(或は建治二丙子年十一月)邸を擧げて本化の道場とし、民部阿闍梨佐渡公日向上人を開山とし常在山妙光寺と云ひ、自己も薙髮して常在院日朝と稱す。時光亦此時邸を精舎に改め、底谷山妙源寺と名け自ら常蓮院日得と稱す。依て今尙兩山一寺たり。宗祖池上臨滅の日、當山を日向上人に兼職せしむ、向師は茂原の出なればなり。向師身延にありて當山を兼ぬること三十餘年、後中老丹波公乘蓮律師日秀上人に譲り、坂本法華谷(今の法華寺)に庵居し、正和二年九月三日六十二歳にて入寂す、世俗身延に對して當山を東身延と云ひ、その大會式(十月十三

玄立坊 藻原寺末 茂原町 田澤 勝忍

由緒沿革 開山日向上人、創立延慶元年五月。

東漸坊 藻原寺末 茂原町

由緒沿革 開山日向上人、創立延慶元年五月。

東光院 藻原寺末 茂原町 井上 存壽

由緒沿革 一乘山と號す、開山日顯上人、創立應永二十九年。

實相寺 藻原寺末 茂原町高師 遠藤 英哲

由緒沿革 高應山と號す、開基は小西の城主原左馬頭平胤繼、後能登守に任ぜらる(甲陽軍鑑に所謂甲府の禪寺に法華僧問答し法華僧勝利せりとて、法華寺に祝賀を述べ信玄公の氣色を損じ、遂に浪人せしと云ふ原美濃入道日意の二男、小西の城主信濃守朗意の子)、開山は平賀八世日意上人、長祿二年正月八日小

西正法寺を開き、次て同月廿一日當寺に開演し禪寺を改めて實相寺と名く、當山これなり。

眞福寺

藻原寺末 平、二八 茂原町長谷 創立延徳三年八月。

善立寺

藻原寺末 平、二八 茂原町長谷兼原 智旭

鏡濟寺

藻原寺末 平、二五 茂原町長谷 石井 巖光

眞淨寺

藻原寺末 平、二七 茂原町長谷

長谷寺

藻原寺末 平、二四 茂原町長谷

長照寺

藻原寺末 平、二七 茂原町長谷 櫻井 周榮

由緒沿革 在祐山と號す、開山日玉上人、徳治元年九月創立。明治四十四年三月火災に罹り本堂庫裡烏有に歸し、經營今日に到る。

妙藏寺

藻原寺末 平、二五 茂原町長谷

妙樂寺

藻原寺末 紫、一八 茂原町箕輪 増田 惠妙

由緒沿革 榮海山と號す、開山日衆上人、永正六年十一月創立。

大法寺

藻原寺末 平、二五 八積村岩沼 大島 了如

本延寺

藻原寺末 素、二四 八積村信友 藍 辨應

陽光寺

藻原寺末 平、二七 八積村七井戸

實本寺

藻原寺末 素、二三 一ノ宮町一ノ宮 筒井 辨隆

常德寺

藻原寺末 紫、二一 土睦村川島 畠山 瑞芳

圓頓寺

藻原寺末 平、二七 土睦村川島

沾通寺

藻原寺末 平、二九 日吉村板木

城徳寺

藻原寺末 平、二五 日吉村徳増 岡部 英哉

三橋寺

千葉妙樂寺末 平、二二 日吉村立鳥

上人、徳治元年十月創立。

妙光寺

千葉茂原妙樂寺末 藻原 岡部 信佐

光林寺

藻原寺末 紫、二三 東郷村千町 吉野 瑞雲

本從寺

藻原寺末 平、一九 關村北高根 池田 貫孝

本覺寺

藻原寺末 平、二九 高根本郷村中ノ

本養寺

藻原寺末 平、二五 高根本郷村中ノ

萬福寺

藻原寺末 平、二五 高根本郷村 庄司 永達

宮前寺

藻原寺末 平、三〇 高根本郷村

法輪寺

藻原寺末 紫、二三 高根本郷村高根 御子柴戒郁

關根寺

藻原寺末 平、二六 高根本郷村兼庄司 永達

京泉寺

藻原寺末 平、二六 高根本郷村小泉 加藤 靚靜

由緒沿革 開基三橋平左衛門、開山日三上人、創立永祿元年二月。

針谷寺

藻原寺末 紫、二三 日吉村針ヶ谷 池本 日選

長久寺

藻原寺末 素、二五 應南町長南宿 月崎 了是

本詮寺

藻原寺末 平、二六 應南町長南宿 林 泰温

正覺寺

池上末 平、等外 應南町長南宿

本長寺

池上末 平、二七 應南町坂本

法華寺

千葉妙樂寺末 平、二六 應南町坂本 大山 太信

本泉寺

東京幸龍寺末 平、三〇 應南町坂本 村杉 靚温

由緒沿革 長久山と號す、開基本泉日善、開山常寂日耀上人、文永二年正月。

創立天正五年。

妙詮寺 藻原寺末 東村芝原 國藤 日光

由緒沿革 大光山と號す、開山日然上人、創立寛永七年。

本圓寺 藻原寺末 東村豊原 吉野 了山

由緒沿革 日天山と號す、開山日精上人、創立延慶元年五月。

信行寺 藻原寺末 鶴枝村上永吉 櫻井 英孝

由緒沿革 日天山と號す、開山日精上人、創立延慶元年五月。

圓頓寺 藻原寺末 五郷村早野

由緒沿革 大光山と號す、開山日條上人、創立文祿二年八月。

妙源寺 藻原寺末 豊榮村須田 富永 潮樹

由緒沿革 庭谷山と號す、開基高橋五良入道、開山日秀上人、創立建治二年九月。

▲君津郡

蓮久寺 藻原寺末 八重原村三直 滿島 隆現

由緒沿革 惠日山と號す、開山日由上人、創立天正九年。

妙淨寺 藻原寺末 中村中島 齋藤 日壽

由緒沿革 寶乘山と號す、開基眞淨院日從上人は眞如坊と稱し、石河圖書助泰眞の舍弟たり、享祿二己丑年六月五日、上總周東郡末敏郷内竹際村(現地)に柱を建て同月八日上棟、同辛卯年三月十八日開堂供養して常山を創立す、本山妙光寺(今の

由緒沿革 光榮山と號す、開山日仙上人、創立永祿三年八月。

光明寺 池上末、中末二 木更津町 高梨 宣明

由緒沿革 吉祥山と號す、開山日輪上人、創立正應二年。

妙長寺 池上末 久留里町浦田 神谷 淳明

由緒沿革 開基本吉藤太夫、開山中老日實上人、創立正中二年三月十六日。

長遠寺 藻原寺末 小櫃村臺 横井 信照

由緒沿革 法王山と號す、開山鏡圓阿闍梨日臺上人、創立貞治六年三月十五日。

妙長寺 池上末 馬來田村眞里谷

由緒沿革 長久山と號す、開山九老日行上人、創立嘉曆四年正月。

▲山武郡

本山 正法寺 十一等末寺一〇 大和村小西

由緒沿革 妙高山と號す、開基小西城主能登守胤繼、法號日源大居士、開山妙高院日意上人、創立長祿二年正月十八日、天正十八年十一月七日悟上人の時、檀林設立、所謂小西檀林にして全國三檀林の一たり、天正十九年十一月徳川家康公寺領二十石を寄す、寛文四年十一月日意上人三代將軍家光公に謁し宗法を論じ賞として東金御殿の假館を下賜せらる、今の本堂是也。尙中門は從四位左少將源頼純公の寄進に係り、寶資亦多し(房

藻原寺) 實主日泰上人より棟札本尊を賜ふ、今當山寺寶號たり。

長照寺 藻原寺末 中村中島 牧野 日興

由緒沿革 快立山と號す、開山日正上人、創立文龜元年十月。

本行寺 藻原寺末 中村中島 山中 圓心

由緒沿革 十二天山と號す、開山本行院日陽上人、創立天正十

五丁亥年十月十三日。

本立寺 藻原寺末 中村白駒

由緒沿革 常久山と號す、開山日將上人、創立永祿四年十月。

妙弘寺 藻原寺末 中村白駒

由緒沿革 圓立山と號す、開基田丸平五郎、開山日敬上人、創立應永二年十月。

妙性寺 千葉光明寺末 中村大鷲 河合 泰是

由緒沿革 法雲山と號す、開山南光院日分大徳、維新の際兵火に罹り爾來經營今日に到る。

本田寺 藻原寺末 秋元村市場

由緒沿革 瀧昌山と號す、開山日泰上人、創立天正元年九月。

蓮照寺 千葉光明寺末 金田村中島 兼高梨 宣明

由緒沿革 常在山と號す、開山智尊日義上人、創立貞治元年二月十八日。

徳壽寺 小湊末 清川村中尾 櫻井 精進

總大綱驛下車一里。

經藏寺 千葉正法寺末 大和村小西 吉澤 耆道

由緒沿革 高照山と號す、開基妙隨日了尼、開山圓成院日出上人、創立弘治三年四月。

本成寺 千葉妙興寺末 大和村安養寺

由緒沿革 妙蓮山と號す、開基妙蓮尼、開山本成坊日榮上人、創立元龜三年六月。

圓融寺 千葉正法寺末 大和村安養寺

由緒沿革 妙法山と號す、開基石田長隆、開山日幸大覺阿闍梨、創立天文八年五月。

常安寺 千葉正法寺末 大和村山口

由緒沿革 寶樹山と號す、開基石田入道常安、開山妙通院日悟上人、創立天正十九年十一月。

海潮寺 千葉正法寺末 大和村山口 中村 堯皓

由緒沿革 經王山と號す、開基一安尼、開山智眼院日瑞上人、創立明應四年九月。

福相寺 千葉正法寺末 大和村山口 鈴木 貫英

由緒沿革 寶珠山と號す、開基圓性房法印、開山智眼院日瑞上人、創立明應九年二月。

妙觀寺 千葉本土寺末 丘山村山田 池田 靜應

由緒沿革 南照山と號す、開基金剛房法印、開山妙高院日意上人。

妙法寺 千葉本土寺末 丘山村山田

由緒沿革 法永山と號す、開基禪定尼、開山歡喜院日瑞上人、創立文明二年三月。

歡喜寺 千葉本土寺末 丘山村山田 新居 辨孝

由緒沿革 明照山と號す、開基開悟乘松日喜、開山歡喜院日瑞上人、創立文明四年八月。

長榮寺 千葉本土寺末 丘山村小野

由緒沿革 妙法山と號す、開基長榮日宗、開山歡喜院日瑞上人、創立長祿二年三月。

妙宣寺 藻原寺末 公平村家ノ子 田丸 覺如

由緒沿革 華藏山と號す、開基圓教大姉は後醍醐天皇第四の皇子護良親王の御息女華藏姫に在し、父世曆應元年正月七日、尊氏のために鎌倉に弑せられ給ひし菩提のため、康永二年一月十六日當地に着、同年十一月中に當山を創立せらる。依て「宮家の子御所」と號し、爾來平田方村を「家の子村」と改稱す。現に「御所墓地」「姫塚」存し、當寺の近田を「御所下」と呼び、姫君守護の北面の土、準人、岩崎、佐藤、高利、小倉、淺葉の六名古來檀頭たり。往古は朱印三萬六千六百石を有せし巨利なりしも、正長元年二月十五日類焼に會ひ、七堂伽藍と共に燒失す。當山十一世東光院日顯上人、從來の尼僧寺を男僧寺に改め、中

與開基し以て今日に到る(以上據寺記史家の考證を待つ、編者)。

妙宣寺 中山末、中末三 睦岡村植谷 石黒 淳道

由緒沿革 大垂山と號す、開基植谷大丞左近將監、開山日英上人、創立康安元年、久遠成院日親上人の舊地とす。

長光寺 妙興寺末、中末二 睦岡村植谷 蓮見 日嚴

由緒沿革 昌谷山と號す、開山本山八世日珍上人永正十一甲戌年十一月。開基植谷眞實、千葉郡中田村に創立し、妙興長興兩寺一山の補處靈場として、山を長崇、寺を長興と云へり、後、今の寺山號に改む。安置の宗祖尊像は身延十一世朝師の作、初め華族井上家の内佛たり。會々武藏研文谷法華寺十四世日禪上人(下總野呂檀林妙興寺、上總養安寺檀林藏王寺、下總松寄檀林妙講寺能化)法鼓を鳴すや、井上筑後守正清公、御母堂法春院殿深く歸依し、奉侍の尊像を贈る。上人乃ち當山の九世をつぎ、井上家の外護により、其領地たる上總武射郡植谷村(現地)に移す、實に寛文九年十月なり。爾來法燈相續して今日に到る。彼の久遠成院日親上人誕生地は當山に二丁の附近にあり。

長久寺 千葉常福寺末 睦岡村植谷

由緒沿革 白瑛山と號す、開山日意上人、創立寶徳元年十月。

常福寺 千葉本土寺末、中末一 睦岡村 久保 龍妙

由緒沿革 寶壽醫山と號す、開基僧空海、開山日意上人、創立大同元年九月。

妙淨寺 千葉妙宣寺末 睦岡村横田

五日。

德藏寺 小湊末 千代田村飯櫃 佐藤 玄靜

由緒沿革 常隆山と號す、開基木内伊兵衛、開山日能上人、創立弘治元年六月十三日。

法橋寺 千葉德藏寺末 千代田村岩山

由緒沿革 正岩山と號す。

▲市原郡

光福寺 藻原寺末 濕津村潤井戸 兼滿島 隆旭

由緒沿革 松玉山と號す、開山本成院日念上人、創立慶長八年三月。

佛藏寺 千葉法光寺末 養老村山田 龜井 致現

由緒沿革 開基法性院道順、開山佛藏院日晁上人。

長妙寺 本土寺末 菊間村古市場 西澤 貫養

由緒沿革 開山本成院日念上人、創立寛永元年四月。

光德寺 本土寺末、中末一 市東村中野 滿島 隆旭

由緒沿革 經王山と號す、開基原信濃入道朗意、開山妙高院日意上人、創立寛正元年七月。

正蓮寺 千葉光德寺末 市東村瀬又 阪和 厚周

由緒沿革 妙典山と號す、開山日榮上人。

妙國寺 千葉妙宣寺末 睦岡村沖渡

由緒沿革 埴谷山と號す、開山日國上人、創立文明元年。

長壽寺 千葉妙宣寺末 日向村木原 齋藤 良洲

由緒沿革 高勝山と號す、開山日意上人、創立長祿三年六月。

妙上寺 千葉妙宣寺末 日向村森

由緒沿革 金谷山と號す、開基妙上尼、開山日意上人。

本光寺 藻原寺末 日向村矢部

由緒沿革 上林山と號す、開山日顯上人。

松林寺 千葉本土寺末 日向村大木 平井 義妙

由緒沿革 妙谷山と號す、開基松谷山城守道直、開山日行上人。

本行寺 千葉本土寺末 成東町成東 杉山 海良

由緒沿革 法高山と號す、開山日意上人、創立寶徳二年五月。

法宣寺 藻原寺末 成東町湯坂 石田 智徳

由緒沿革 長林山と號す、開山日顯上人、創立文明二年。

本圓寺 小湊末 二川村小池

由緒沿革 法華山と號す、開基岩澤重良右衛門、開山日法上人。

法蓮寺 藻原寺末 大富村富田

由緒沿革 大乗山と號す、開山日顯上人、創立文明十年正月十日

由緒沿革 法性山と號す、開山正蓮院律師日永上人、創立慶長三年四月。

永久寺 千葉本土寺末 市東村永吉 川島 勝善

由緒沿革 開山淨光院日圓上人、創立元和二年三月。

妙詮寺 千葉光德寺末 市東村番場 根本 眞了

由緒沿革 峯光山と號す、開山證明院日詮上人、創立延徳元年三月。

根立寺 千葉本土寺末 市原村根田

由緒沿革 苗鹿山と號す、創立寛治元年。

長榮寺 千葉本土寺末 市原村加茂

由緒沿革 大乘山と號す、開山日悟上人、創立慶長十九年四月。

壽福寺 小湊末 富山村小谷田

妙藏寺 藻原寺末 明治村皆吉 武田 日悖

由緒沿革 開山日暹上人、創立正保元年四月。

妙長寺 池上末、中末一 八幡町八幡宿

由緒沿革 八正山と號す、開基妙長妙全、開山延命院日行上人、創立正長元年二月。

妙榮寺 千葉妙長寺末 八幡町山木 鈴木 日總

由緒沿革 長立山と號す、開山本成院日念上人、創立延享二年。

法光寺 身延末、中末一 市西村新堀 高橋 日圓

由緒沿革 開山日保上人、創立慶長五年三月。

本壽寺 池上末 清海村守谷 中西 是詮

由緒沿革 元と眞言を宗とし長福院と名く、文永元年甲子年十月宗祖隣村與津村佐久間兵庫頭重貞の邸釋迦堂に於て十日間説法の砌り、當時の住僧守谷村森四良右衛門の三男蓮性坊、聞法して歸伏受戒す、時に年廿五。宗祖乃ち日仙の名を賜ひ、山を長福寺を本壽と銘し給ふ、これを當寺とす。

法蓮寺 池上末 清海村鶴原 戸頃 辨孝

由緒沿革 高運山と號す、開山兩山八世常住院日調上人、初め當國伊北萬喜村にあり、寛文中本山二十二世妙悟院日玄上人當地に移轉す。

吉祥寺 千葉惠日寺末 清海村鶴原 森脇 玄薩

由緒沿革 長光山と號す、開山日雄上人、創立弘治元年十一月。

報國寺 千葉妙覺寺末 上野村大森

由緒沿革 開山日進上人、創立元祿二年四月。

妙久寺 千葉妙覺寺末 上野村植野 齋藤 日善

由緒沿革 上野山と號す、開基佐正角左衛門、開山日澄上人。

妙福寺 千葉妙覺寺末 上野村植野 久保 要保

由緒沿革 富永山と號す、開山日殿上人、創立天正十年七月。

慈眼寺 千葉妙覺寺末 上野村植野 田村 教淳

由緒沿革 福聚山と號す、開山日雄上人、創立慶長五年三月。

日蓮宗寺院 ◎千葉縣第四部 ◎夷隅郡

由緒沿革 天王山と號す、開山日念上人、創立天正十一年。

本念寺 千葉妙興寺末 市西村福増 遠藤 智明

由緒沿革 福増山と號す、開山善能院日圓上人、創立文祿元年。

◎千葉縣 第四部 (夷隅組)

▲夷隅郡

本山 妙覺寺 十四等末寺二六 清海村與津 藤田 東撰

由緒沿革 廣榮山と號す、開基與津城主佐久間兵庫頭重貞、開山日保上人(幼名長壽丸、竹壽丸は後の日家上人、小湊開山、共に重貞の子)、創立文永年間。寺寶に御親筆板本尊、曆の御消息等を藏す(房總靈跡見)。

善榮寺 千葉妙覺寺末 清海村與津 植村 日淨

由緒沿革 東光山と號す。

釋迦本寺 千葉妙覺寺末 清海村與津 磯野 祐玄

由緒沿革 嚴長山と號す、開基佐久間兵庫頭、宗祖は開山に仰ぐ、宗祖開基重貞のため文永元年十月十五日より同廿四日まで十日間説法の道場とす(房總靈跡見)。

久成寺 千葉大聖寺末 清海村大澤 松廣 圓得

由緒沿革 日出山と號す、開山日出上人、創立寛永十六年三月。

大聖寺 千葉妙覺寺末、中末一 清海村 關川 教厚

由緒沿革 興光山と號す、開山日保上人、創立曆應二年二月。

寂光寺 千葉妙覺寺末 上野村名木 箸木山行孝

由緒沿革 千部山と號す、開山日仁上人、創立慶安三年十月十三日。

長遠寺 千葉妙覺寺末 上野村中里 淺野 珠如

由緒沿革 常嚴山と號す、開山日殿上人、創立天正八年三月。

龍藏寺 千葉妙覺寺末 上野村法花 水上 日誓

由緒沿革 法華山と號す、開山日向上人。

大法寺 千葉妙覺寺末 上野村南山田 佐野 教鳳

由緒沿革 長瀬山と號す、開山大乘院、創立天文十三年四月。

青龍寺 千葉妙泉寺末 上野村具掛 梅本 體立

由緒沿革 素、三〇

善行寺 千葉本行寺末 上野村小羽戸 川添 耀山

由緒沿革 平、二七

本行寺 池上末、中末五 勝浦町濱勝浦 西川 日賢

由緒沿革 緋、一八

長壽院と云ふ。開山寶乘院日續上人は能登の産、初め寶乘坊と稱し、同地石動山天平寺に屬せる修験たり。永仁二年三月、日

俣菩薩の化を受け同學覺存坊(正覺院日乘一瀧谷妙成寺開祖)と共に捨邪歸正して名を改め、後曆應元年冬當地に遷化し、長壽院を改轉せしめ今の寺山號を稱せしむ、實に同二年正月十一日

天文十九年本山十一世佛壽院日現上人南總に轉教するに當り先づ當山に二百餘日の大布教あり、現今上總の五十座説法此に蓋

二〇五

鶴す。次十二世佛乘院日暉上人十四世自性院日詔上人皆巡化あり、特に二十五世守玄院日顯上人は宗祖の御分骨を賜はり、爾來「宗祖御分骨の靈場」と稱す。寺寶に立像釋尊、重乾遠三師の御本尊等を藏す(房)靈跡見。

本朝寺 千葉本行寺末 勝浦町濱勝浦 村山 遵朗
由緒沿革 勝榮山と號す、開山日勝上人、創立永祿年中。

安立寺 千葉本行寺末 勝浦町濱勝浦 江野 順達
由緒沿革 正福山と號す、開山日覺上人、創立天正年中。

高照寺 千葉本行寺末 勝浦町勝浦 關 惠修
由緒沿革 傳光山と號す、開山日實上人、創立康正年中。

巧光寺 千葉本行寺末 勝浦町墨名 田中 玄順
由緒沿革 耀海山と號す、開山本寺十一世日巧上人、創立天正年中。

惠日寺 池上末、中末二 勝浦町串濱 朝岡 圓潮
由緒沿革 湖耀山と號す、開山放光院日燈上人、創立康永二年三月廿七日。

蓮盛寺 千葉惠日寺末 勝浦町串濱 下岡 宣善
由緒沿革 萬部山と號す、開山日位上人、創立永祿年中。

妙潮寺 池上末、中末二 勝浦町松部 大場 耀孝
由緒沿革 海岸山と號す、開山日教上人、創立應永廿一年七月。

福泉寺 千葉德性寺末 總元村大戸
由緒沿革 岩田山と號す、開山日大上人。

圓藏寺 千葉妙光寺末 總元村石神
由緒沿革 石頂山と號す、開山日嚴上人。

圓隆寺 千葉妙光寺末 總元村石神 小澤 啓存
由緒沿革 石祇山と號す、開山日行人。

東榮寺 千葉德性寺末 總元村石神
由緒沿革 有久山と號す、開山日運上人。

妙光寺 池上末、中末七 總元村堀ノ内 山野 宣照
由緒沿革 熊野山と號す、開基二階堂大賢法印、開山日調上人、創立文龜元年七月。

本妙寺 千葉妙光寺末 總元村堀ノ内 笠井 辨說
由緒沿革 高野山と號す、開基二階堂成教法印、開山日調上人、創立文龜元年十月。

善隆寺 千葉妙光寺末 總元村堀ノ内 笠井 辨說
由緒沿革 堀内山と號す、開山日善上人。

寶乘寺 千葉妙泉寺末 總元村久我原 末吉 義報
由緒沿革 寶珠山と號す、開基日傳、開山日續上人、創立正慶二年三月。

寶泉寺 千葉光福寺末 總元村久我原 望月 遙秀
由緒沿革 平、等外

日蓮宗寺院 千葉縣第四部 夷隅郡

妙海寺 藻原寺末、中末一 豐濱村新菅兼増田 惠妙
由緒沿革 正榮山と號す、開山本山五世日海上人、延文四己亥年伊保庄新官郷字出水(現今の勝浦町出水)に創立す。會々當時の領主植村土佐守淨土宗の香花院創設に際し建築の都合上境内外山林地壹丁歩餘を寄せ、正保三丙戌年現地に移轉す。(而も舊地は尙當山の所有たり)。往古末寺安立、日昌、蓮性の三ヶ寺あり、現今蓮性寺一ヶ寺を有す。

津慶寺 池上末、中末四 豐濱村川津 瀬戸熊慧靜
由緒沿革 壽榮山と號す、初め眞言に屬す、開山三位公日上人、日持上人と法論に敗れ捨邪歸正して本化の道場とす、創立正應三年、一木三體(誕生寺、妙覺寺と併せて)の祖像を安置す。

津救寺 千葉津慶寺末 豐濱村川津
由緒沿革 眞龍山と號す、開山日中上人、創立延元年中。

眞淨寺 千葉津慶寺末 豐濱村川津
由緒沿革 北谷山と號す、開山日位上人、創立文保三年。

蓮性寺 千葉妙海寺末 豐濱村澤倉 大庭 淨光
由緒沿革 平、無等

大圓院 小湊末 總元村大戸 武井 慈潤
由緒沿革 妙興山と號す、開山日還上人。

正善寺 千葉妙興寺末 總元村大戸
由緒沿革 大戸山と號す、開山日譽上人、創立天正元年八月。

德性寺 池上末、中末一 總元村部田 渡邊 義叡
由緒沿革 行立山と號す、開山日德上人、創立延文二年正月。

妙典寺 池上末、中末一 總元村部田 三浦 日運
由緒沿革 紫、二四

蓮盛寺 千葉妙光寺末 總元村小谷松 鈴木 義寛
由緒沿革 松林山と號す、開山日養上人、創立永正五年三月。

調顯寺 千葉妙光寺末 總元村八聲 朝岡 宣涌
由緒沿革 小谷山と號す、開山日意上人、創立慶長二年四月。

正福寺 千葉藻原寺末 大多喜町櫻臺 保坂 利忍
由緒沿革 常榮山と號す、開山日泰上人、創立應永二年三月。

妙福寺 藻原寺末 大多喜町
由緒沿革 立光山と號す、開山日應上人。

妙勝寺 小湊末 大多喜町久保 小鳥 龍成
由緒沿革 紫、二六 法光山と號す、開基三國藤平、開山日善上人、創立大永六年三月。

正法寺 池上末 大多喜町柳原 森崎 耀智
由緒沿革 平、三〇 柳原山と號す、開山日東上人。

經要寺 千葉妙覺寺末 上瀑村小土呂 渡邊 日學
由緒沿革 紫、二二

由緒沿革 大和山と號す、開基日巧、開山日燈上人、創立應仁二年五月。

蓮要寺 千葉妙覺寺末 上瀑村下大多 末吉 教詮

由緒沿革 善根山と號す、開山日燈上人、創立應仁二年五月。

本長寺 池上末 瑞澤村大上

由緒沿革 宗久山と號す。

本妙寺 小湊末 瑞澤村妙樂寺 橋本 了圓

法善寺 小湊末 大原町北泉田

妙泉寺 池上末、中末二〇 中川村行川 高石 日暉

由緒沿革 興榮山と號す、開山日山上人、創立建武元年九月。

本迹寺 千葉妙泉寺末 中川村行川 渡邊 玄靜

由緒沿革 福祐山と號す、開山日燈上人、創立正平元年正月。

本顯寺 池上末、中末二 中川村引田 田邊 了直

由緒沿革 大峰山と號す、開山日契上人、創立徳治二年三月。

本能寺 千葉本顯寺末 中川村引田

由緒沿革 引田山と號す、開山日屬上人、創立寛正二年二月十六日。

光福寺 池上末、中末四 中川村大野 小高 了遂

由緒沿革 榮久山と號す、開基日調、開山日契上人、創立元亨三年四月廿八日。

年四月廿八日。

玉泉寺 千葉妙泉寺末 中川村札森兼末吉 教詮

由緒沿革 周延山と號す、開山日融上人、創立寛永二年十一月。

本増寺 千葉妙泉寺末 中川村柿和田 小畑 玄遙

由緒沿革 兩用山と號す、開山日淵上人、創立明徳三年八月。

榮真寺 池上末 千町村松丸 稻吉 圓靜

由緒沿革 見正山と號す、開山日榮上人、創立寛永年中。

東光寺 池上末 千町村能實 矢島 戒謙

由緒沿革 西耀山と號す、開山日滿上人、創立應長十七年九月。

萬部寺 池上末 千町村須賀谷 關口 了逕

由緒沿革 經王山と號す、開山日融上人、創立元和元年十二月。

本乘寺 千葉妙泉寺末 千町村須賀谷 鈴木 義演

由緒沿革 福要山と號す、開山日祐上人。

妙昌寺 千葉光福寺末 千町村須賀谷 兼大村 觀壽

由緒沿革 不退山と號す、開山日尙上人。

大榮寺 千葉光福寺末、中末二 古澤村榎澤 土橋 了達

由緒沿革 常秀山と號す、開山中老出羽公日秀上人、元亨元年辛酉年四月廿八日當國夷南の庄龜ヶ城内に創設す。後元龜天正の兵火に灰燼となり、元和三年四月、萬木城主土岐氏家老熱田丹後守榎澤村に在り、現地に再建す。

本法寺 藤原寺末 古澤村榎澤

由緒沿革 妙法山と號す、開山日珍上人。

妙傳寺 藤原寺末 古澤村榎澤 栢野 玄明

由緒沿革 石原山と號す、開基石野長右衛門、開山日傳上人。

本善寺 千葉本願寺末 國吉町彌正 阿出川行嚴

由緒沿革 福正山と號す、開山日靜上人、創立明應二年十月。

妙隆寺 池上末、中末一 國吉町島 兼池田 惠仙

由緒沿革 七峰山と號す、開山日賢上人。

眞淨寺 千葉妙隆寺末 國吉町島 石井 教饒

由緒沿革 島久山と號す、開山日就上人。

上行寺 藤原寺末 國吉町萬木 箕輪 琳淨

由緒沿革 廣谷山と號す、開基朝慶上人、開山道玄僧都、創立弘安年中。

本泉寺 千葉妙泉寺末 國吉町國府臺 田中 旭靜

由緒沿革 開山日達上人。

東漸寺 千葉妙泉寺末 國吉町國府臺 鈴木 温敬

由緒沿革 開山日要上人。

福泉寺 千葉妙泉寺末 東村山田 渡邊 顯靜

由緒沿革 善嚴山と號す、開山日嚴上人、創立弘治二年四月。

蓮福寺 千葉妙泉寺末 東村山田 吉田 良孝

由緒沿革 法榮山と號す、開山正行院日泉上人、創立慶長十九年。

顯妙寺 中山末 東村長志 篠原 智善

由緒沿革 福祐山と號す、開基日常上人。

大寶寺 千葉光福寺末 東村新田野 加藤 日祥

由緒沿革 巨福山と號す。

三妙寺 千葉光福寺末 布施村下布施 羽壁 辨龍

由緒沿革 宿福山と號す、開山日能上人、創立元弘元年三月。

妙昌寺 千葉津慶寺末 御宿村久保 紫關 宣洋

由緒沿革 宿福山と號す、開山日能上人、創立元弘元年三月。

妙經寺 千葉妙泉寺末、小末一 東海村 栗原 惠海

由緒沿革 東福山と號す、開基日京、開山寶珠院日續上人、創立觀應元年三月。

圓通寺 千葉妙經寺末 東海村若山 川名 前明

由緒沿革 東光山と號す、開山富木日常上人、創立弘安九年三月。

本壽院 池上末 長者町江場士 秋山 周雅

由緒沿革 釋迦山と號す、開山本住院日念上人。

光明寺 千葉光福寺末、小末一 浪花村 加藤 順朗

由緒沿革 壽榮山と號す、開基石井治良兵衛、開山日護上人、創立慶長十七年八月。

光德寺

千葉光明寺末 浪花村岩船
平、無等
由緒沿革 德乘山と號す、開基石井勘三郎、開山日經上人、創立慶安年中。

安立寺

千葉津慶寺末 浪花村岩和田
平、二九
由緒沿革 淨榮山と號す、開山日久上人、創立天正十六年四月。

光善寺

小湊末 西畑村中野 井上 海勇
紫、二三
由緒沿革 正榮山と號す、開山日出上人、創立享祿元年七月。

圓應寺

千葉德性寺末 西畑村中野
平、無等
由緒沿革 東榮山と號す。

妙善寺

千葉妙泉寺末 西畑村堀切 吉清 辨進
平、二五
由緒沿革 東光山と號す、開山日圓上人、創立文明十八年十月。

林昌寺

千葉妙覺寺末 西畑村松尾
平、二七
由緒沿革 常光山と號す、開山日滿上人、創立正徳二年五月。

法林寺

千葉妙覺寺末 西畑村弓木 磯尾 英學
平、二五
由緒沿革 光立山と號す、開山日德上人、創立應仁二年二月。

妙興寺

千葉德性寺末 西畑村田代 白樫 教俊
平、二五
由緒沿革 常立山と號す、開山日惠上人、創立天文七年十二月。

本法寺

千葉德性寺末 西畑村田代
平、二四
由緒沿革 長光山と號す、開山日明上人。

六月。

妙勸寺

千葉妙嚴寺末 西畑村宇筒原 大村 觀壽
紫、二五
由緒沿革 惺興山と號す、開山日惺上人。

妙嚴寺

池上末、中末九 西畑村平澤 岩瀬 志妙
紫、一七
由緒沿革 法受山と號す、初め眞言を宗とし、永徳二壬戌年二月十一日の創立に係る。會々當時の住持善慶、池上八世常住院日調上人の化に浴し、寺を擧て改宗す。調上乃ち文明九丁酉年二月廿八日、今の寺山號を改稱せしめ且つ日賞の名を贈り、補任狀及十界の棟札を授與せらる、依て調上を開山とす。天正十年房總領主里見安房守義頼朝臣、四世妙嚴院日調上人に歸依し境内四町四方を寄附し祖師堂を再建せられ、爾來寺運大に振ふ。寺寶に宗祖本尊及御消息、菅公筆自我偈等を藏す。

妙音寺

千葉妙嚴寺末 西畑村平澤 佐藤 啓明
平、二七
由緒沿革 清受山と號す、開山日賞上人。

上行寺

千葉德性寺末 西畑村小内 佐藤 永幸
平、等外
由緒沿革 無邊山と號す、開山日仁上人、創立天正十八年二月。

妙安寺

千葉妙光寺末 西畑村川畑
平、等外
由緒沿革 川戸山と號す、開山日詮上人。

常泉寺

小湊末 總野村小松野 岩瀬 海慈
平、二六
由緒沿革 妙宗山と號す、開山日寶上人。

淨宗寺

千葉妙泉寺末 西畑村三條 山本 啓靜
平、二七
由緒沿革 經王山と號す、開山日調上人。

常德寺

小湊末 西畑村庄司
平、二七
由緒沿革 安樂山と號す、開山日堯上人、創立天文五年九月。

妙長寺

小湊末 西畑村紙敷 大倉 泰山
紫、二四
由緒沿革 光耀山と號す、開山日運上人、創立永正十年六月。

淨苗寺

千葉妙泉寺末 西畑村小苗 橋本 得靜
平、等外
由緒沿革 松榮山と號す、開山日位上人、創立正徳二年五月。

大圓寺

千葉妙嚴寺末 西畑村彌喜用
平、二五
由緒沿革 明星山と號す、開山日惺上人、創立天正十八年三月。

正安寺

小湊末 西畑村彌喜用 象澤 立浩
平、二六
由緒沿革 善林山と號す、開山日出上人、創立大永二年二月。

本明寺

千葉妙嚴寺末 西畑村百鉢 城所 信勝
平、二四
由緒沿革 行里山と號す、開山日惺上人、創立天正十八年三月。

德善寺

千葉妙泉寺末 西畑村笛倉 兼渡邊 顯靜
平、二四
由緒沿革 長應山と號す、開山日顯上人、創立應永二十二年八月。

淨圓寺

千葉妙嚴寺末、小末一 西畑村 松本 惠宏
平、二五
由緒沿革 笛倉山と號す、開山日相上人、創立大永七年七月十月。

長勝寺

池上末、中末四 總野村松野 池田 惠仙
紫、一九
由緒沿革 本光山と號す、開山日持上人、創立建治二年四月。

妙昌寺

千葉長勝寺末 總野村中倉 久保田義惇
平、二五
由緒沿革 法華山と號す、開山日登上人、創立永祿年度。

長福寺

池上末、中末一 總野村杉戸 牧口 泰存
紫、一七
由緒沿革 光榮山と號す、開山日契上人は兩山四世日山上人の弟子、北國弘通を終りて當國に轉教し、延元二年四月當山を創立す、寺寶に宗祖御眞筆本尊並朗師作開山傳持七面尊像一體等あり。

盛隆寺

小湊末 總野村杉戸 大場 觀山
紫、二四
由緒沿革 圓明山と號す、開山日明上人、創立天保二年九月。

妙提寺

池上末 總野村市野川 山口 辨朗
平、二二
由緒沿革 妙福山と號す、開山日調上人、創立明應年中。

眞福寺

池上末、中末一 總野村市野郷
平、二〇
由緒沿革 榮敬山と號す、開山日持上人、創立建治二年三月。

光榮寺

千葉眞福寺末 總野村市野郷 戸田 慈勝
平、等外
由緒沿革 福聚山と號す、開山日信上人、創立寛文年中。

妙盛寺

千葉長福寺末 總野村佐野 三枝 貫靜
平、二六
由緒沿革 福受山と號す、開山日受上人、創立永祿十三年十月。

十三日。

淨満寺 千葉妙泉寺末 總野村白井久保

由緒沿革 寶生山と號す、開山日齋上人、創立寶徳四年。

妙満寺 千葉妙泉寺末 總野村芳賀 高橋 日學

由緒沿革 寶珠山と號す、開山日養上人。

大藥寺 池上末 總野村大楠 鹽崎 玄仁

由緒沿革 寶珠山と號す、開山日像菩薩。

妙勝寺 千葉長勝寺末 總野村大楠 大矢 玄種

由緒沿革 久榮山と號す、開山日養上人。

善性寺 小湊末 總野村大楠 上村 貞靜

由緒沿革 西光山と號す、開山日信上人、創立萬治二年九月十三日。

蟹連寺 千葉妙泉寺末 總野村蟹田 渡邊 教通

由緒沿革 開山日現上人。

本善寺 千葉長慶寺末 總野村宿戸 片野 玄琢

由緒沿革 信巡山と號す、開山法光院日燈上人。

長慶寺 池上末、中末五 總野村新戸 北村 詮林

由緒沿革 濟度山と號す、開山日續上人、創立曆應二年。

神宮寺 千葉長慶寺末 總野村新戸 福澤 耀淳

由緒沿革 岩高山と號す、開山日家上人、創立建治三年十一月十二日(房總靈跡見)。

舉行す、妙の浦、蓮華洲、岩高山、潮音臺皆附近にあり(房總靈跡案内見)。

妙蓮寺 小湊末 湊村小湊 星野 貞温

由緒沿革 妙日山と號す、開基聖父妙日聖母妙蓮上人、開山日家上人、創立文永四年八月十五日(房總靈跡見)。

日蓮寺 小湊末 湊村内浦 眞島 本堯

由緒沿革 岩高山と號す、開山日家上人、創立建治三年十一月十二日(房總靈跡見)。

高生寺 小湊末 湊村内浦 本城 瑞量

由緒沿革 光瑞山と號す、宗祖建長五年(春三月廿八日、多年兼雪の功なりて觀山より房州に還り、我が父母を小湊に省し、將に開宗の式をあぐべく三七日の禪定に入らんと清澄さして登り給ふ。此一大事因縁、一たび我が口より出でんか、三類の敵目前にあり、恩愛深き老いませる父母の嘆きやいかに、さすがに凡夫の情すてがたく、フト我が家を見返り給へば、哀れ父母一家の軒端に立たせて見送り給ふ。親子の情愛、互に合掌落つるは衆生を哀れむ大悲の紅涙なり。日保上人に「兩親見返り」の靈跡を營み、宗祖の像を安置す。不幸元祿の海潮は此遺跡を没し去る。依て合掌立像の宗祖銅像(丈六尺四寸)を建て、記念す。寛文十年正月十一日、寶琳院日潤上人、關屋八左衛門、平野戸右衛門等の助を得て再興し、以て遺跡を傳ふ。

日燈寺 小湊末 天津町天津 渡邊 研學

由緒沿革 妙日山と號す、開基大湊和泉守道泉居士、内室を妙祐尼と呼ぶ、上總興津の人、佐久間氏、一子を出家せしめ當山

日蓮宗寺院 千葉縣第五部 安房郡

由緒沿革 中里山と號す、開山日瑞上人、創立應永二年。

妙藏寺 千葉長慶寺末 總野村中谷 關 良辨

由緒沿革 中谷山と號す、開山寶藏坊日眞上人、創立文明七年五月。

長寶寺 千葉長慶寺末 總野村平田 功刀 惠音

由緒沿革 圓珠山と號す、開山日念上人、創立永久年中。

實性寺 千葉長慶寺末 總野村白木 黒川 舜讓

由緒沿革 長福山と號す、開山日意上人、創立長祿年中。

瀧見寺 池上末 中根村中瀧 櫻井 了叔

由緒沿革 素、三〇

千葉縣 第五部 (安房組)

安房郡

本山 誕生寺 九等 湊村小湊 今井 日誘

由緒沿革 當山は宗祖御降誕の靈場にして、小湊山と號す、開基興津の領主佐久間兵庫亮重貞、開山中老僧寂日坊日家上人、建治二年十月創立、當初は妙の浦にありしも明應八年、元祿十六年再度の巨浪に會ひ境内三度變更す。祖師堂、釋迦堂、誕生堂、龍王殿、客殿、寶藏書院、三門、鐘樓等巍然として聳え、寺寶に蘇生本尊、十界曼荼羅、八大龍王勸請本尊、其他御消息數片を藏し、八月一日蟲拂會を行ひ、十一月十二三日會式を

由緒沿革 明星山と號す、開基工藤左近之丞吉隆、宗祖を開山に仰ぐ、創立文永元年十一月十三日(房總靈跡見)。

多聞寺 小湊末 天津町濱荻 藤輪 前厚

由緒沿革 光玉山と號す、開山大浦房日祐上人、創立正中二年三月(房總靈跡見)。

本山 鏡忍寺 十四等 東條村廣場 常岡 諦道

由緒沿革 當山は宗祖四大法難の一、即ち文永元年十一月十一日、地頭東條左衛門景信のために要撃せられ、眉間に三寸の疵を受けさせ給ひたる「東條小松原法難」の遺跡にして、小松原山と號し、弘安四年三月、法難忠死工藤吉隆(鏡忍坊日曉上人)の一千刑部阿闍梨長榮坊日隆上人、宗祖を開山に仰ぎ自ら開基と成つて、父菩提のため當山を建立す。祖師堂本堂庫裡輪奐美を極め、「三尊の墓」は庭前の老楓の傍に當年の悲壯を語る。寺寶に宗祖吉隆へ授與の本尊並御消息、鏡忍坊血染袈裟、太刀受念珠、太刀折等あり。八月十六日靈寶蟲拂會、十一月十一日御法難會を舉行す(房總靈跡見)。

掛松寺 鏡忍寺末 東條村廣場 末澤 一叡

由緒沿革 袈裟山と號す、開山長榮房日隆上人、創立弘安九年十一月十二日(房總靈跡見)。

長泉寺 千葉妙覺寺末 東條村和泉 川津 快龍

由緒沿革 妙祐山と號す、開基大湊和泉守道泉居士、内室を妙祐尼と呼ぶ、上總興津の人、佐久間氏、一子を出家せしめ當山

の二祖たらしむ、日了上人、これなり、開山本山九世日眞上人、創立文明九年。當寺の附近男神社の山麓に日向上人並兩親の古墳あり、上人の生家今佐久間幸藏氏和泉區男金にあり、初め藤原氏、寛永二年今の姓に改む(房總靈跡見)。

正法寺 藻原寺末 田原村大里 上田 智堅
由緒沿革 長光山と號す、開山日海上人、創立永和元年七月。

妙満寺 藻原寺末 西條村八色
由緒沿革 長光山と號す、開山日海上人、創立至徳元年三月。

蓮行寺 藻原寺末 西條村八色 福田 瑞應
由緒沿革 常經山と號す、開山日海上人。

妙昌寺 小湊末 鴨川町貝渚 藤平 日足
由緒沿革 榮長山と號す、開山妙昌院日教上人、創立明治三年二月。

釋迦寺 藻原寺末 鴨川町磯
由緒沿革 磯村山と號す、開山日向上人、創立天長元年改宗徳治二年四月。

普門寺 千葉正文寺末 和田村和田 庄司 貞良
由緒沿革 開山日通上人。

妙蓮寺 千葉正文寺末 北三原村小川 加藤 教耀
由緒沿革 常宣山と號す、開基勝浦城主正木左近大夫平頼忠、

蓮幸寺 池上末 館野村安布里
由緒沿革 興光山と號す、開基日穩上人、開山日興上人、創立文明年中。

法性寺 千葉妙覺寺末 北條町北條 西尾 貫遂
由緒沿革 緋、一八

妙臺寺 池上末 館山町上眞倉 小田 教惇
由緒沿革 開山日臺大徳、創立文龜元年七月。

榮洗寺 池上末 館山町沼 竹内 義詮
由緒沿革 開基板倉手洗齋清榮、開山日愷上人。

法蓮寺 千葉妙覺寺末 館山町青柳 齋藤 貞雄
由緒沿革 法輪山と號す、開基地頭池田和泉守入道法資、開山日保上人、創立文永元年(房總靈跡見)。

妙福寺 弘法寺末 富浦村南無谷 山本 學隆
由緒沿革 成就山と號し、宗祖開宗の後鎌倉に弘通せんと便船を求められたる靈跡にして、開基郷士和泉澤權頭太郎、宗祖を

開山と仰ぎ松本公日念上人、弘安二年(或建武元年)の創立に係る。寺寶に宗祖一週首題、日法上人彫刻宗祖御像、その他智督筆宗祖傳畫十三幅等を藏す(房總靈跡見)。

法華寺 千葉妙覺寺末、中末一 富浦村 村田 教温
由緒沿革 妙法山と號す、開基堀内庄左衛門、開山等覺院日悟上人。

開山日善上人、創立慶長十七年三月。
善道寺 千葉正文寺末 北三原村上三原
由緒沿革 本里山と號す、開山見立院日里上人、創立寛文元年四月。

正文寺 小湊末、中末三 南三原村中三座間 貞善
由緒沿革 威武山と號す、開基正木環齋、開山日政上人、創立元龜二年九月再建(房總靈跡見)。

蓮重寺 千葉妙覺寺末 健田村宇田 福本 慈彊
由緒沿革 眞田山と號す、開山日淨上人、創立應長十三年六月十五日。

顯本寺 小湊末 千歲村川合 石田 貞晋
由緒沿革 常榮山と號す、開山常榮院日研上人、創立正長元年五月。

日運寺 小湊末 豐田村加茂 伊菅 日應
由緒沿革 勝榮山と號す、開基正木左近將監時通、開山日運上人、元龜二年二月十六日再興。

妙蓮寺 千葉妙覺寺末 九重村二子 加曾利貫達
由緒沿革 開山妙法尼、創立弘安四年十月十一日。

妙長寺 小湊末 九重村二子 矢野 鍊眞
由緒沿革 不染山と號す、開山不染院日進上人。

全昌寺 池上末 富浦村原岡
由緒沿革 寶榮山と號す、開山賢樹院日康上人。

釋迦寺 千葉法華寺末 富浦村多田良 中村 教祐
由緒沿革 莊嚴山と號す、開基辻久兵衛、開山耀善院日慶上人、創立寛文二年四月。

日宣寺 鏡忍寺末 平郡村犬掛 藤原 善貞
由緒沿革 岡本山と號す、開基岡本源助宣慶、開山守玄院日領上人、創立寛永十六年十月廿三日。

妙典寺 千葉妙覺寺末 勝山町加知山
由緒沿革 醍醐山と號す、開基醍醐新兵衛、開山信受院日圓上人、創立永祿元年二月。

山梨縣 第一部

南巨摩郡

總本山 久遠寺 末寺五五〇餘 身延村 小泉 日慈

由緒沿革 身延山と號す、開基南部六郎實長姓は源氏新羅三郎義光五代の裔、當國波木井の郷に館す、正嘉の頃宗祖に見參し爾來道念愈厚く、宗祖三諫容れられず、甲地に嘉遊すべく決定せらるゝや、此山に草庵を構へて迎へ奉る、實に文永十一年甲戌六月、宗祖實長五十三歳なり。桃李の下自ら徑を爲し、四方來集の學生漸く多きに及び、越て弘安三年實長十間四面の佛殿を築き自ら延年の舞樂を奏して法運の萬歳を祝す、これを「久遠寺」の濫觴とす。實長翌四年六十歳にして落髮し、「法寂日圓」と改む。宗祖の池上に入滅し給ふや、法子日朗上人遺命に任せて茶毘の後、悉く舍利を收取して御廟を身延に造立し、宗祖尊像を奉安し、翌年別に一字を建立して玉骨を納む、今の「眞骨堂」の濫觴とす。六老僧各々支院を營み輪番して廟を護る、後實長此制を廢して住持を置き日向上人を二祖に推し、永仁四年九月廿五日七十六歳を以て逝く、爾來二百餘年、十一世行學院日朝上人、西谷の地狹隘なるを以て遂に意を決して地を換へ、今の處に大堂を建立す、當時法運隆昌にして忽ち功成り高塔雲を凌ぎ堂閣軒を列れ、諸坊二百有餘、堂宇八谷に點在す。爾後、後光嚴帝は、宗祖に大菩薩號を賜ひ、元祿元年、日脫上人の時紫衣參内の繪旨あり、後永仁となり、徳川家は十萬石を寄す。然るに文

政七年同祿に遇ひ、伽藍悉く焦燼し、明治八年、再び祝融の災に罹る。幸に日薩日鑑の碩徳相繼て法燈を排け、挽瀾復興、輪奐亦備はり、宗門の總本山たり。

三門より左方の谷を西谷と稱し、上町の入口より右折する谷を東谷諸坊と云ふ。奥の院は本院祖師堂裏より登ること五十丁、御草庵舊跡及御廟は三門より左に入り身延川に沿うて登る。七面山は御廟所の裏手より登るを順路とす。主なる年中行事左の如し、

御頭會	一月十三日
(御馬驅の式を行ふ)	
釋尊涅槃會	二月十五日
宗祖降誕會	同 十六日
國禱千部會	四月六日、七日
立宗會	同 廿八日
釋尊降誕會	五月七日、八日
宗祖御入山開關會	六月十三日より十七日まで
宗祖龍口法難會	九月十日、十一日
宗祖御涅槃會式會	十月十一日、十三日まで
宗祖報恩會式會	十一月(舊十月十三日)

(身延靈跡見)

覺林房

身延末 緋一〇

身延村 望月 是本

由緒沿革 行學院と號す、開山本山十一世行學院日朝上人、明應八年二月本院を創して隱栖の地とし此に入寂し給ふ、朝師堂の左手小丘に上人埋骨の塔あり。

井坊

身延末、中末九 平、二五

身延村 小松 海靜

由緒沿革 開山正行院日勢、開基日徳、創立延享二年正月十三日、堂内に毘沙門天を勧請す。

大森坊

身延末 平、二三

身延村 兼子 春旭

由緒沿革 身延山と號す、開基九老僧日澄阿闍梨の舊跡。延寶八年の創立なるも、明治の初年本山三十一世賜紫の祖日脫上人を開山とし、上人の肉齒を植ふる尊像を安置す。

端場坊

身延末、中末三 平、一九

身延村 樋口 是端

由緒沿革 開基四條中務三郎左衛門賴基法號收支院日賴の弘安三年三月創立に係る舊跡にして、宗祖寂後此に慮を結びて妙行を修せるところなり。

蓮盛坊

身延末、中末二 平、三〇

身延村 大沼 泰辨

由緒沿革 創立元和二年四月、古は積善坊にありたり、故に境内に今猶滿行院の咒水涌き出づ。

遷泉坊

身延末 平、二七

身延村

由緒沿革 開山遷泉院日泉上人、創立文政五年十月。

延壽坊

身延末 平、二九

身延村

由緒沿革 開山法藏院日叙上人、創立天正四年二月、開基武田氏の重臣穴山梅雪の息女菩提のため建立す、境内にその墓所あり。

大光坊

身延末 平、二九

身延村 井上 是讓

日蓮宗寺院 山梨縣第一部 南巨摩郡

由緒沿革 開基大光院日明、開山妙心院日莫上人、創立寛文五年十月十三日、三光堂(日月明星天子)の別當所にて境内に京極信濃守高勝公の寄附に係る釋迦佛の銅像あり、俗に「ぬればとけ」と云ふ、双輪塔は安永年間の造立とす。

大林坊

身延末 平、二九

身延村 鈴木 善隆

由緒沿革 開山中老日源上人、創立正和元年九月。

大善坊

身延末、中末四 平、二九

身延村 長谷川寛善

由緒沿革 開基日勢、開山大善院日近上人、創立長祿元年十二月。

窪之坊

身延末、中末四 平、二五

身延村 堀 一芳

由緒沿革 開基本應院日讚、開山宗門海外布教の鼻祖六老僧日持上人、創立永仁元年六月。

志摩坊

身延末、中末一 平、二五

身延村 佐藤 海意

由緒沿革 開基實教阿闍梨日院、開山小室開山肥前公日傳上人の庵の跡とす、創立乾元元年二月十二日。

岸之坊

身延末、中末三 平、三〇

身延村 諏訪 是誠

由緒沿革 開基成岸院日貞、開山久遠成院日親上人の舊跡。

花之坊

身延末、中末二 平、三〇

身延村

由緒沿革 開山蓮華院日應上人、創立長祿元年三月。

積善坊

身延末 平、等外

身延村 村松 玄由

由緒沿革 開山日傳上人、創立天文十七年十二月、積善坊流

祈禱の舊跡、蓮盛坊見。

山之坊

身延末、中末一
平、二九

身延村 佐野 順道

圓臺坊

身延末、中末二
平、等外

身延村 小泉 是教

山本坊

身延末、中末七
平、九

身延村 池上 玄省

由緒沿革 開基日用、開山日源上人、創立正和二年九月十三日。
由緒沿革 本國院と云ふ、開基六老僧伊豫公日頂上人の舊跡、創立弘安六年正月、明治十八年火災に罹り再興す。

竹之坊

身延末、中末二
平、二一

身延村 佐野 堯善

由緒沿革 開山六老僧日朗上人の舊跡、創立弘安三年九月、始め久本坊日元、高祖に奉侍せんとて家を身延澤の邊に移す、明師弘安五年、宗祖の遺骨を奉じて身延に歸り、御廟を相守らせ給ふとき當院を宿所に充てらる、依て久本坊を開基とす。

南之坊

身延末、中末一
平、三〇

身延村 松永 要泰

由緒沿革 開山六老僧大辨阿闍梨日昭上人の舊跡、創立正安二年正月。目下栽培事務所を置く。

惠善坊

身延末
平、二二

身延村 遠藤 是才

由緒沿革 開基智應院日照、開山惠善院日信上人、創立明和八年五月。

澤坊

身延末
平、二五

身延村 松永 要泰

由緒沿革 開基法雲坊日道、開山善覺院日鏡上人、創立永祿元年三月。

林藏坊

身延末、中末七
平、二四

身延村 蘆川 要仙

由緒沿革 開山白蓮阿闍梨日興上人の舊跡、創立正慶元年正月二十九日。

北之坊

身延末、中末一
平、二六

身延村 兼樋口 是端

由緒沿革 開基日晃にして開山は本山の大檀越波木井日圓上人、創立永仁五年六月。

麓坊

身延末、中末二
平、二九

身延村 丸山 海昇

由緒沿革 開山本山十二世圓教院日意上人、開基本山十三世寶樹院日傳上人晚年閉居し、永正十六年二月十三日創立す、坊の西杉林あり石垣の參錯せるあたり、これぞ「西谷檀林」の舊趾たり。

清水坊

身延末
平、二二

身延村 内野 日運

由緒沿革 龍華院と號し、日像菩薩の開基にして正應元年十一月創立す。初め日像菩薩人皇九十代後伏見帝の永仁二年三月、宗祖の遺命により帝都弘通を志すや、先づ此に一字を結び寺内に清泉を穿鑿し、日々阿伽桶に盛りて祖廟に參拜祈請す。一日老翁來り開法受化す、菩薩器許して圓龍院日理と賜ひ、二世を繼がしむ。依て清泉に因み龍華院清水坊と銘す。傳ふ二世は古來より此山に潛伏せし八大龍王の化身にして寂後該清泉に身を隱すと。十三世瑞光日東本堂庫裡を新築し、廿七世啓運日修表

本山 本遠寺

十五等 末寺一七 身延村大野 釋 日達

由緒沿革 大野山と號す、開基紀水兩侯生母養珠夫人お萬の方、創立慶安三年十月十二日。開山池上十六世、身延二十二世心性院日遠上人隱栖の地なり。上人慶長九年の春、廿三歳、身延に住す、同十三年常樂院日經上人、淨土宗と爭論の事あり。幕府大久保石見守をして四個格言を停止すべきを命ず、上人肯かす更に増上寺源譽と念佛無間の邪正を論議せんと請ふ、家康怒て執政の嚴命に違ふと爲し、終に磔刑に處せんと上人を駿州懸懸寺に禁錮す。先之養珠夫人家康に從て駿府城にあり、平素上人に歸依すること厚し、乃ち請うて宥さる。然も上人敢て身延に還らず、自ら此に退隱す。上人池上に示寂するや、遺命して全身を當山に埋めしむ、後紀陽亞相は夫人の骸を當山に埋葬し、佛殿僧堂を建立する十七棟、幕府大猷公朱印三百石を寄す。現に四十四ヶ本山の一なり。

靈寶に 宗祖眞筆今此三界及災難除本尊、同開眼鬼子母十羅刹、巨勢金剛筆三十番神、七面示寂の各繪像を藏し、境内「御靈堂」「鐘樓」は慶應三年三月の回祿を免れ共に慶安三庚寅年八月の建立に係り、他は爾後の經營に成る。隣村「時雨澤」に日遠上人草庵の舊蹟あり。

玄妙庵

本遠寺末 素、無等

身延村 駒野 日修

良圓庵

本遠寺末 紫、等外

身延村

由緒沿革 開山玄妙院日寬上人。
由緒沿革 開山良圓院日明上人、創立承應三年六月。

祈禱の舊跡、蓮盛坊見。

山之坊

身延末、中末一
平、二九

身延村 佐野 順道

圓臺坊

身延末、中末二
平、等外

身延村 小泉 是教

山本坊

身延末、中末七
平、九

身延村 池上 玄省

由緒沿革 開基日用、開山日源上人、創立正和二年九月十三日。
由緒沿革 本國院と云ふ、開基六老僧伊豫公日頂上人の舊跡、創立弘安六年正月、明治十八年火災に罹り再興す。

竹之坊

身延末、中末二
平、二一

身延村 佐野 堯善

由緒沿革 開山六老僧日朗上人の舊跡、創立弘安三年九月、始め久本坊日元、高祖に奉侍せんとて家を身延澤の邊に移す、明師弘安五年、宗祖の遺骨を奉じて身延に歸り、御廟を相守らせ給ふとき當院を宿所に充てらる、依て久本坊を開基とす。

南之坊

身延末、中末一
平、三〇

身延村 松永 要泰

由緒沿革 開山六老僧大辨阿闍梨日昭上人の舊跡、創立正安二年正月。目下栽培事務所を置く。

惠善坊

身延末
平、二二

身延村 遠藤 是才

由緒沿革 開基智應院日照、開山惠善院日信上人、創立明和八年五月。

澤坊

身延末
平、二五

身延村 松永 要泰

本山 本遠寺

十五等 末寺一七 身延村大野 釋 日達

由緒沿革 大野山と號す、開基紀水兩侯生母養珠夫人お萬の方、創立慶安三年十月十二日。開山池上十六世、身延二十二世心性院日遠上人隱栖の地なり。上人慶長九年の春、廿三歳、身延に住す、同十三年常樂院日經上人、淨土宗と爭論の事あり。幕府大久保石見守をして四個格言を停止すべきを命ず、上人肯かす更に増上寺源譽と念佛無間の邪正を論議せんと請ふ、家康怒て執政の嚴命に違ふと爲し、終に磔刑に處せんと上人を駿州懸懸寺に禁錮す。先之養珠夫人家康に從て駿府城にあり、平素上人に歸依すること厚し、乃ち請うて宥さる。然も上人敢て身延に還らず、自ら此に退隱す。上人池上に示寂するや、遺命して全身を當山に埋めしむ、後紀陽亞相は夫人の骸を當山に埋葬し、佛殿僧堂を建立する十七棟、幕府大猷公朱印三百石を寄す。現に四十四ヶ本山の一なり。

靈寶に 宗祖眞筆今此三界及災難除本尊、同開眼鬼子母十羅刹、巨勢金剛筆三十番神、七面示寂の各繪像を藏し、境内「御靈堂」「鐘樓」は慶應三年三月の回祿を免れ共に慶安三庚寅年八月の建立に係り、他は爾後の經營に成る。隣村「時雨澤」に日遠上人草庵の舊蹟あり。

玄妙庵

本遠寺末 素、無等

身延村 駒野 日修

良圓庵

本遠寺末 紫、等外

身延村

由緒沿革 開山玄妙院日寬上人。
由緒沿革 開山良圓院日明上人、創立承應三年六月。

圓實寺 身延末 素二二 身延村波木井ノ郷

由緒沿革 波木井山と號す、開山波木井六郎實長公日圓上人の舊館にして宗祖文永十一年五月十二日鎌倉を立ち、同十七日波木井の郷に着、公に對面あり、御領地内身延の澤に御草庵御普請中、に停住し給ふ、人呼て身延最初の靈地と稱す。不幸文政十三庚寅年、及明治廿八年九月兩度祝融の災あり、現住丹精して寺門を經營す。寺寶に、宗祖御本尊並御消息斷片二、日法上人作宗祖御像等を藏す。

清心寺 身延末 緋一六 身延村身延

由緒沿革 自厚山と號す、開山吉川日鑑上人、開基酒井家夫人顯壽院殿の歸依を受け、明治十八年十月十九日、本山日向上人種澤坊の舊跡に地を相して創立す。本堂は開基の建立に係る。

靈寂坊 身延末 平二八 身延村 大村 堯惠

由緒沿革 開山智寂院日會上人、創立寶永三年正月十三日。

松井坊 身延末、中末四 身延村 望月 日賢

由緒沿革 開基波木井日長上人、創立貞治三年五月。妙見大士を勧請す。

正慶寺 身延末 素二二 豐岡村 辻 本照

由緒沿革 大占山と號す、創立正應三年三月廿八日、文永十一年、宗祖の鎌倉より甲州に入り給ふ折、相股の地を過り一奇石によりて休息し給ふ。時に里史庄左衛門、粟飯を午齋に供す、依て一名「粟飯寺」と云ふ。庄左衛門の歿後その妻一子を携へ身延を勧請す。

由緒沿革 本國山と號す、開山本成坊日祐上人、創立天正二年四月八日。

妙覺寺 山梨南之坊末 豐岡村大城 海沼 堅叔

由緒沿革 大城山と號す、開山圓妙院日德上人、正應二年三月廿八日創立。

光澤庵 山梨麓坊末 豐岡村老子澤

由緒沿革 開山善那院日忠上人、創立承應二年三月廿五日。

一心庵 山梨麓坊末 豐岡村

本妙寺 身延末 素二五 豐岡村門野 小林 本壽

由緒沿革 延壽山と號す、開山正行坊日如上人、創立應安五年二月八日。

善行寺 山梨本行坊末 豐岡村 木村 觀妙

由緒沿革 開山華光坊日秀上人、創立延文元年四月四日。

妙正寺 山梨蓮盛坊末 豐岡村

由緒沿革 報恩山と號す、開山成立房日基上人、創立永正元年十一月三日。

妙久寺 身延末 平二四 睦合村中野 望月 圓應

由緒沿革 徳永山と號す、開山燈明阿闍梨法印日護上人、創立文永十三年九月十七日。

道善寺 本遠寺末 平二九 睦合村 望月 泰圓

日蓮宗寺院 山梨縣第一部 南巨摩郡

に詣て入門を請ひ自ら尼となり名を妙了日佛と賜ふ、子は好慶と稱す。宗祖滅後是好慶舊宅を寺となし、宗祖并兩親菩提のために當山を建立す。是好慶後に「日了」と號す、法子日勢、師の寂後地を一ノ瀬に更め好了寺を建つと云ふ。

妙久寺 山梨林麓坊末 豐岡村相又 幸田 是修

由緒沿革 蓮栖山と號す、開山蓮栖坊日等上人、創立元和元年二月十日。

報恩寺 山梨岸之坊末 豐岡村相又 小野 顯隨

由緒沿革 妙梅山と號す、開山報恩坊日雄上人、創立享徳元年十月十一日。

唯勝寺 身延末 平三〇 豐岡村横根中 庄司 光清

由緒沿革 道長山と號す、開山唯勝院日念上人、創立寛文三年九月七日。

雲澤寺 身延末、中末一 豐岡村清子 望月 本祐

由緒沿革 安立山と號す、開山雲澤院日傳上人、創立天文十五年二月三日。

長心庵 山梨雲澤寺末 豐岡村清子

由緒沿革 玉林山と號す、開基不動院日成上人、創立文永十一年五月十七日。

本成寺 山梨武井坊末 豐岡村

由緒沿革 三光山と號す、開基養珠院妙紹日心、創立元祿二年八月十七日。

法眼寺 身延末、中末一 睦合村本郷 望月 本良

由緒沿革 眞淨山と號す、開基華香坊日力上人、創立永正元年五月五日。

妙善寺 身延末 平二三 睦合村本郷 中村 瑞義

由緒沿革 光福山と號す、開基教善坊日仙上人、創立文正元年三月八日。

妙圓寺 山梨法眼寺末 睦合村本郷 植尾 慈靜

由緒沿革 本郷山と號す、開山心性院日遠上人、創立寛永十六年三月。

法泉寺 山梨山本坊末 睦合村本郷 石川 海仙

由緒沿革 妙圓山と號す、開基正周坊日行上人、創立天正十三年三月十五日。

佛成寺 身延末 素二一 睦合村成島 竹内 堯惠

由緒沿革 妙等山と號す、開山行學院日朝上人、創立明應三年六月廿五日。

妙高寺 身延末 素二三 睦合村成島 白岩 智勝

由緒沿革 慶福山と號す、開山實業院日傳上人、創立永正十年二月廿二日。

實成寺 身延末 素二三 睦合村柳島 杉本 堯親

由緒沿革 慶福山と號す、開山實業院日傳上人、創立永正十年二月廿二日。

由緒沿革 法向山と號す、開基顯性坊日仙上人、創立慶長十七年四月七日。

妙淨寺 身延末、中末一 緋、一五 睦合村南部 遠藤 日照

由緒沿革 延壽山と號す、開基南部六郎實長公、開山大輪法印日壽上人、創立文永十一年五月十七日。初め眞言に屬し甲斐源氏新羅三郎義光の建立にして甲斐七騎累代の祈願所たり。宗祖鎌倉より、身延御隠棲の砌、南部三郎光行の館に於て寺主大輪法印を教化し、名を日壽と賜ひ、寺を妙淨寺と改め給ふ。寺内に宗祖「御手水井」あり。

萬福寺 身延末 平、二六 睦合村大和 和久井本善

由緒沿革 長久山と號す、開基蓮宗坊日理上人、創立萬治元年二月十日。

蓮性寺 山梨妙淨寺末 平、等外 睦合村鹽澤 野間 本受

由緒沿革 利生山と號す、開基玄清日理、創立慶長四年六月八日。

正行寺 身延末 素、一八 富河村楮根 清水 玄正

由緒沿革 圓光山と號す、開基圓林日榮、開山行學院日朝上人、創立永正元年二月。

聽法寺 身延末 紫、二二 富河村楮根 山本 義利

由緒沿革 應供山と號す、開基兵部律師日勢上人、創立文明四年三月。

由緒沿革 法延山と號す、開山泉了坊日達上人、創立天正四年五月。明治二十七年五月二十日諸尊過去帳を除いて悉く焼失し現住經營す。

圓立寺 身延末 平、二九 五箇村藥袋 及川 是明

由緒沿革 藥王山と號す、開山圓入坊日常上人、創立明應元年三月。

鹽上寺 身延末 平、二八 五箇村鹽之上

由緒沿革 廣布山と號す、開山正須院日慶上人、創立明曆六年十月。

本妙寺 山梨大善坊末 平、等外 五箇村笹走

由緒沿革 淨蓮山と號す、開山本妙房日了上人、創立明曆三年二月。

本證寺 山梨武井坊末 平、三〇 五箇村千須和 佐藤 瑞覺

由緒沿革 唱道山と號す、開山當覺房日心上人、創立永祿四年二月。

淨蓮寺 山梨武井坊末 平、等外 五箇村古屋 齋藤 智現

由緒沿革 宗意山と號す、開山正行院日源上人、創立天正五年四月。

建長寺 身延末 平、二七 三里村大野原 大野 泰秀

由緒沿革 妙應山と號す、開基正行院日在上人、萬治元戊午二月十五日創立、明治三十一年八月廿二日火災に罹り同三十六年

妙法寺 身延末 平、三〇 富河村御堂

由緒沿革 大乗山と號す、開基顯應坊日順、創立元祿八年五月五日。

弘圓寺 身延末 素、二三 富河村福士 樋口 水音

由緒沿革 福榮山と號す、開基隆泉院日明上人、慶長十五年二月八日創立し、安永二年秀印院日耀上人の改築あり、後十七世智運院日求上人火に寺門の經營に力を盡し以て今日に及ぶ。寺寶に弘安元年南修平七郎へ御授與の本尊を藏す。

顯本寺 身延末 素、二一 萬澤村 淺井 要麟

由緒沿革 長壽山と號す、開山長壽院日報上人、創立建治二年五月十五日。

本光寺 身延末 素、二二 萬澤村 依田 貞祥

由緒沿革 妙高山と號す、開山法蓮日禮上人、創立正應四年五月。

一乘寺 身延末 素、二三 萬澤村中澤 田中 圓珠

由緒沿革 中道山と號す、開山淨林坊日護上人、創立嘉吉二年二月八日。

妙泉寺 身延末 平、二五 萬澤村 箕島 義教

由緒沿革 清月山と號す、開山正林坊日成上人、創立文安五年二月八日。

圓柳寺 身延末 平、二七 五箇村樽坪 尾崎 智顔

由緒沿革 早川山と號す、開山住眞院日久上人、元祿元年八月創立。

眞妙寺 身延末 平、二五 三里村早川 大倉 智三

由緒沿革 仙嶽山と號す、開山仙林坊日達上人、萬治三辰年四月創立。

妙蓮寺 山梨本行坊末 平、等外 三里村茂倉 大倉 泰英

由緒沿革 仙嶽山と號す、開山仙林坊日達上人、萬治三辰年四月創立。

法善寺 山梨麓坊末 平、等外 三里村新倉 及川 是忍

由緒沿革 妙乘山と號す、開山光乘房日惠上人、寛永四申年十一月創立。

正徳寺 身延末 素、二五 硯島村雨畑 深澤 本義

由緒沿革 潤雨山と號す、開山圓教院日意上人、明應五辰年四月二十五日創立。

了傳坊 身延末 平、等外 硯島村雨畑 水地 敬精

由緒沿革 開山了傳坊。

長得寺 山梨本行坊末 平、等外 硯島村雨畑

由緒沿革 開山長得院日念上人、創立慶長十五年五月。

妙法寺 山梨善妙寺末 平、二九 硯島村大島

由緒沿革 眞善山と號す、開山意遠坊日誦上人、天正十六年六月二十五日創立、もと縣下身延武井坊末なりしも明治四十二年

五月廿六日現本寺に轉末せり。

妙福寺

身延末 紫、二二

本建村赤澤 井出 春省

由緒沿革 長徳山と號す、開山大國阿闍梨日朗上人、建治三年八月創立、子安八幡を祀る。

宗説坊

身延末 平、二八

本建村赤澤 甲斐 惠温

由緒沿革 開山宗説坊日經上人、文化二年中創立。

神力坊

身延末 平、二七

本建村赤澤

由緒沿革 開山法意、天正十四年六月中創立。

常藏寺

身延末 平、二八

本建村高住 渡邊 智善

由緒沿革 本照山と號す、開山本照律師日明上人、寛永八年八月創立。

安住坊

身延末 平、等外

本建村高住

由緒沿革 開山慈性坊日進上人、元和元年中創立。

神通坊

身延末 平、等外

本建村高住 兼延本 敏雄

由緒沿革 開山慈性坊日進上人、文祿四四年中創立。

十萬部寺

身延末 平、二八

本建村小繩

由緒沿革 奴多山と號す、開山法久房日圓上人、應長元年四月創立、妙法二神の靈地とす。

本泉寺

身延末 紫、三〇

本建村小繩

由緒沿革 法光山と號す、開山常心房日用上人、明三年十月

由緒沿革 長榮山と號し、開山最蓮坊日淨上人の舊跡たり。開基因幡房日榮は邑主下山兵庫輔光基の子、下山次郎入道にして宗祖の叡山修學の初り舊知の人。初め文應二年光基館の傍に一字を創し平泉寺と稱し、彌陀を安置し因幡房に彌陀經を讀ましむ。會々文永十二年の春の末、最蓮房上人、身延の宗祖に奉侍せんと光基の館に泊し因幡房と共に御草庵に宗祖を拜す。信根忽ち發し歸來彌陀經を捨て、専ら妙經を讀む。父憐れず、因幡房之を宗祖に謀る。大聖人爲めに宗教一策を著す、建治三年六月朔日の「下山御消息」これなり。光基拜讀舊習霧散し、自ら延山に詣りて受戒得度す、法重房日芳是なり、因幡房は日榮と云ふ、共に宗祖の賜ふ所なり。依て彌陀の像をそのまゝ開光して四士を添へ一尊四士の本尊に仰ぎ、日法上人作本山の尊像と共に一木二體の祖像を安置し、最蓮上人を開山とし、寺山號を現稱に改む。
宗祖弘安五年九月八日池上に赴かせ給ふ日、當山に御投宿あらせ給ふや、手づから公孫樹を植ふ、末法廣布を勵ませ給ふ、御業付公孫樹、これにして開山上人放生修法の舊地たる「祈禱田螺が池」と共に現存す。大聖人滅後、最蓮上人は、聖廟參拜を日課とし、身延寺平塔林を建つ、實行山本因寺と云ふ。穴山梅雪邑主たるに當り地を相して當山を寺尾に移し西林房と呼ぶ。天正七年三月十八日、本因寺を當山に合し、現地に復歸し、輪奐悉く具はる。然も再三祝融等の災あり、現今僅に假本堂庫裡鐘樓總門等を存す。寺寶に「撰法華經」、「御本尊」、「生死一大事血脈」の三箇の寶、其他五箇の寶像、廿箇の寶物等を藏し、四月十八日淨師會、五月十二日最蓮房祈禱會、六月八日轉宗會を修行

創立。

上橋寺

山梨大善坊末 平、三〇

本建村初鹿島 遠藤 是寛

由緒沿革 天瀧山と號す、開山蓮華阿闍梨日持上人、弘安三年五月創立。

學定寺

山梨武井坊末 平、等外

本建村夏秋

由緒沿革 妙壽山と號す、開山長得院日行上人、正保二四年九月創立。

蓮華坊

身延末 平、無等

本建村

由緒沿革 開山蓮華坊日信上人、天明六年二月創立。

宗光寺

身延末 紫、二五

下山村栗倉 清水 本瑞

由緒沿革 遠藤山と號す、開基玄收院日誦、開山善行僧都、創立元和元年正月一日。

一圓寺

身延末 平、等外

下山村小原島 梶川 孝海

由緒沿革 寂遠山と號す、開基玄收院日誦、開山寂遠院日通上人、創立延寶七年二月。

上澤寺

身延末 平、二五

下山村 小松 誦照

由緒沿革 法喜山と號す、開基中興學妙院日靜、開山法喜阿闍梨日受上人、創立寶曆八年十二月十五日、宗祖の善知法印を白狗によりて教化し給ひしところにて、白狗を葬る、「毒消の妙符」あり。

本國寺

身延末 紫、二四

下山村

す。附近に富士願師の遺蹟大澤瀧、及宗祖安國論の御講ありし御所平の舊蹟等あり。

蓮華寺

身延末 平、二九

下山村 飯森 泰教

由緒沿革 永應山と號す、開山蓮華坊日源上人、創立元龜三年六月。

常福寺

身延末 平、二五

下山村 松田 本清

由緒沿革 正喜山と號す、開山淨蓮院日乘上人、創立永祿五年五月。

圓教坊

身延末 平、二九

下山村下山 野々村是快

由緒沿革 開山圓教坊日眞上人、創立寶永三年。

正運坊

山梨林藏坊末 平、等外

下山村栗谷 野田 寛靜

由緒沿革 開基明定院日順、開山正運坊、創立寛文十一年。

妙見寺

山梨大善坊末 平、三〇

下山村

由緒沿革 法光山と號す、開山學善坊日亮上人、創立文龜二年。

長遠寺

身延末 紫、二二

大須成村平須 幡野 義才

由緒沿革 延徳山と號す、開山勸學阿闍梨義鳳上人、創立延徳二年二月一日。

妙光寺

身延末 平、二六

大須成村平須

由緒沿革 清雲山と號す、開山實藏院日誦上人、創立文永十一年八月二日。

圓妙寺

身延末 紫、二四 大須成村久成 河澄 寛存
由緒沿革 久成山と號す、開山圓應坊日惠上人、創立寛文十一年七月三日。

寂遠寺

身延末 平、二九 大須成村堂平
由緒沿革 開山日通上人、創立延寶五年十二月一日。

妙傳寺

身延末 平、二八 大須成村秋
由緒沿革 覺榮山と號す、開山正因坊日春上人、創立延寶六年七月十七日。

藥王寺

身延末 紫、二〇 大須成村大鹽 押田 智玄
由緒沿革 長榮山と號す、元眞言宗に屬し小室妙法寺末なり。中古の住持傳應律師、嘉曆元丁丑年十一月十二日、宗風を慕うて改宗し、身延末となり、當寺に安置せる行基作樂師如來に因みて寺を藥王と號し、名を藥王房日持と改め、自ら改宗の祖となる。寺寶に宗祖、本間之尉殿への御消息を藏す。

法永寺

身延末 平、二八 大須成村大鹽 阪本 玄鶴
由緒沿革 經王山と號す、開山寶善阿闍梨日春上人、創立嘉曆二年十一月十二日。

仙應寺

身延末 平、二五 大須成村大鹽 佐藤 玄澄
由緒沿革 大鹽山と號す、開山仙應坊日盛上人、創立永享二年五月三日。

妙光寺

身延末 素、二四 靜川村手打澤

ひいて法運の萬成と家門の繁榮を祈れりと。寺寶に文永六年宗祖開基へ授與の本尊を藏す。寺は身延參拜の途中にありて風光明媚なり。

正傳寺

身延末 素、二六 靜川村切石 佐野 海本
由緒沿革 松行山と號す、開基松林院別州正傳居士、開山正運坊日政上人、創立寛文九年五月一日。

來光寺

身延末 平、三〇 大須成村石畑 依田 智教
由緒沿革 正住山と號す、開山來光坊日正上人、創立慶長十年四月八日。

妙澤寺

身延末 平、二六 靜川村寺澤 大野 是清
由緒沿革 日正山と號す、開山智寂院日省上人、創立元暦十三年二月三日。

圓明寺

身延末 平、等外 西島村
由緒沿革 四島山と號す、開山福壽坊日近上人、創立永正十六年五月二日。

妙泉寺

身延末 平、二六 曙村矢細工
由緒沿革 常清山と號す、開山顯應坊日通上人、創立元龜二未年正月十三日。

慈照寺

山梨本行坊末 伊沼村
由緒沿革 觀行山と號す、開山觀行院日惠律師、創立天正十二年四月九日。

由緒沿革 手打山と號す、開山林泉坊日實上人、創立天文二年三月五日。

法向寺

身延末 紫、二四 靜川村夜子澤 秋山 智照
由緒沿革 妙慈山と號す、開山本性阿闍梨日清上人、創立貞享二年八月五日。

善妙寺

身延末、中末二 靜川村切石 鈴木 海乘
由緒沿革 深立山と號し、元眞言に屬す。建保の往昔、徳榮法印、當地法界田に廬を結てより七百年、天正の頃善妙坊法印亦此に住す。師姓は北條氏、明應三年三月、鎌倉に生れ、十五歳出家し、紀の高野に學成る。後心を三秘の妙法に傾け鑽仰年あり、身延十六世日整上人に謁して本化の妙旨を敲き、入門して名を善妙房阿闍梨と賜ふ。當山改宗の開山とす。乃ち廬を改め寺と爲さんとすに、此地もと東富士川に隣接し毎歲出水被害甚し、偶々吾祖の御直禮上總茂原の豪族、藤原遠近守兼綱の家臣深立嘉門(當山開基深立院殿榮淨居士)故ありて、文永九年當地に在り。善妙坊其の子孫に謀るに法界田の廬を深立の居趾に移さん事を以てす。一族喜び之に應じ本化の足場とす、實に天正三年、今を距る三百五十餘年なり、依て開基を以て山に名け、開山を以て寺と呼ぶ。爾來法燈相つぐ十八世、明治九年現住僧佛の餘快を受けて苦辛經營四十餘年、寺觀こゝに整備して面目一新するに到る。
庭前に古松あり、老幹十數丈、鬱然天を摩す、里人「宗祖大士越年の松」と呼ぶ。傳ふ宗祖偶々節分の夜、深立の家に泊し給ふ、深立其の奇特を喜び、自ら庭前に小松を植ゑ、宗祖の體經を請

長源寺

山梨志摩坊末 八日市場村
由緒沿革 長峯山と號す、開山安立坊日覺上人、創立元徳二年十月二日。

圓光寺

身延末 平、二七 八日市場村 早川 智暎
由緒沿革 長養山と號す、開山圓妙房日泉上人、創立永祿三年十月十五日。

妙蓮寺

身延末 平、二七 八日市場村
由緒沿革 大小山と號す、開山正善坊日行上人、創立承應元年二月三日、明治四十年二月廿七日焼失し爾來經營す。

本成寺

身延末 紫、二二 飯富村 麻生 是忍
由緒沿革 飯富山と號す、開山時征院日盛上人、創立寶徳元年二月十日。

永久寺

身延末 素、二八 飯富村 望月 日玄
由緒沿革 久遠山と號す、開山久遠成院日親上人、永享(十一年二月一日)の頃、弘教して本山に詣てんとし、途中早川出水のため留錫ありし靈場たり。其後屢々火災あり、現住經營最も努む。

圓久寺

身延末 平、三〇 飯富村 井上 海清
由緒沿革 常信山と號す、開山圓久妙昌尼、創立寛文十二年三月二日。

實乘寺

山梨本行坊末 都川村保 中込 貞信

由緒沿革 長金山と號す、開山覺仙坊日性上人、創立明應元年正月。

西八代郡

平幸寺

本遠寺末 素三〇

大河内村

由緒沿革 大惠山と號す、開山常寂院日近上人、創立慶安三年十月。

金龍寺

本遠寺末 素、等外

大河内村鹽之澤

由緒沿革 帶雲山と號す、開山了脱院日受上人、創立慶安三年五月。

妙法寺

身延末 平、等外

大河内村

由緒沿革 一乘山と號す、開山堯心院日豐上人、創立安永八年四月。

妙經寺

身延末 素、二九

大河内村帶金 笠井 日啓

由緒沿革 蓮長山と號す、開山正行律師日在上人、創立天正二年甲戌年。

感應寺

身延末 平、二九

大河内村大島 吉田 智達

由緒沿革 光長山と號す、開山圓應院日覺上人、創立嘉吉元年四月。

妙泉寺

山梨窪之坊末 平、二九

大河内村大島

由緒沿革 存立山と號す、開山存立院日春上人、創立文安元年。

本光寺

山梨山本坊末 平、等外

大河内村椿草里

由緒沿革 妙椿山と號す、開山本住院日泉上人、創立太永乙五酉年十一月、境内に宗祖の挿させ給ひたる椿の杖より發芽せりと傳ふる「御杖の椿」及び御杖にて掘り給ひたりと云ふ、杖水あり。

妙仙寺

山梨山本坊末 平、等外

大河内村大岱

由緒沿革 宗圓山と號す、開山正感坊日壽上人、創立天文二十年三月。

經王寺

山梨武井坊末 平、二九

榮村井出 三輪 是教

由緒沿革 法勝山と號す、開山實成院日顯上人、創立天文十七年二月。

圓應寺

山梨武井坊末 平、三〇

榮村上佐野 佐々木義哲

由緒沿革 長壽山と號す、開山妙法房日念上人、創立天正二年四月。

法源寺

靜岡本成寺末 平、等外

榮村

由緒沿革 蓮華山と號す、開山常清阿闍梨日妙上人、創立弘治元年十月。

淨泉寺

身延末、中末一 素、二四

榮村十島 橋本 宣隨

由緒沿革 長應山と號す、開基光淨院日成上人、創立明應元年二月十五日。

源立寺

身延末 平、二四

榮村八木澤 天野 智孝

内船寺

身延末 紫、一四

榮村内船 志村 要麒

由緒沿革 正住山と號す、開基四條賴基、創立正安二年正月。

山梨縣 第二部

南巨摩郡

本山 妙法寺

七等 末寺四〇餘

穗積村 小室

由緒沿革 德榮山と號す、宗祖文永十一年波木井に著し、宛も青葉繁る初夏の候日與日向を伴ひ、此地に來り、傍の石に腰打ちかけ誦經あり（今法論石懸腰寺の名を残す）、住持修驗者惠長法印善知出て、問答すること數度、忽ち風服して門子たらんを請ふ、宗祖之を許す。翌建治元年秋、表面服すれども心害し奉らんとして却て本化の慈光に浴し、名を日傳（肥前公）と賜ひ中老の班に列す。日傳、寺を擧て改宗し、宗祖を開山に仰ぎ自ら改宗第二祖となり、日法上人作祖像を奉安して當山に安置す。此地一種の蛭あり、頭に黒子あり、土民の血を吸ふこと甚し、宗祖之を止むと傳ふ。寺寶亦多し（身延靈跡見）。

十如院

妙法寺末 緋、一五

穗積村小室 大野 日通

由緒沿革 下之坊と號す、開山本山開山中老日傳上人の肉弟昌福十如院阿闍梨日全上人、創立正和三年八月、下之坊は傳

上の本院山上にあるに對して稱す。

玄淨院

妙法寺末 紫、二六

穗積村小室

由緒沿革 開山一乘坊日玄上人、創立應永年中。

久成院

妙法寺末 紫、二六

穗積村小室

由緒沿革 開基久成院日壽、開山淨法房日護上人、創立寛元年一月。

妙樂寺

妙法寺末 紫、二二

穗積村仙洞田 佐久間寛學

由緒沿革 仙洞山と號す、開基仙洞田次郎重清、開山伊勢公日立上人、創立寛正四年。

延壽寺

妙法寺末 平、二五

穗積村仙洞田 横内 義統

由緒沿革 仙宮山と號す、開山本住院日清上人、創立寛文年中。

甚達寺

妙法寺末 平、二六

穗積村砂登 金子 存厚

由緒沿革 高榮山と號す、開基無量房、開山日源上人、創立延文五年十一月五日。

妙祐寺

妙法寺末 紫、二二

穗積村高下

由緒沿革 鷹下山と號す、開山大乘律師日會上人、創立建武元年二月十九日轉宗。

妙林寺

妙法寺末 平、二六

穗積村高下 丹羽 寶孝

由緒沿革 開山善行院日受上人、創立長十三年二月。

林應寺

妙法寺末 平、二八

穂積村高下 望月 是良

懸腰寺

妙法寺末 平、二五

穂積村土録 上野 勝義

五全寺

妙法寺末 平、二八

穂積村土録 小池 寛應

宗林寺

妙法寺末 平、等外

穂積村下七良尾 佐々木隆圓

仙妙坊

妙法寺末 平、等外

穂積村狩宿

昌福寺

身延末、中末二 緋、一〇

増穂村青柳 深澤 湛善

由緒沿革 壽命山と號し、初め眞言に屬す、開山昌福阿闍梨十如院日全上人は、小室開山日傳上人の肉弟、宗義に服して永仁六年正月十三日當山を建立す、十二世一道院日法上人、帝都に修法して、靈元帝の御賜を祈りて驗あり、日本第一大驗者との綸言を賜ふ、即ち京都堀川一道院流の祈禱の祖なり。寺寶に宗祖本尊、一道院流御符書一冊等を藏す、身延靈跡見。

法久寺

身延末 平、二七

増穂村青柳 遠藤 湛亮

由緒沿革 能仁山と號す、開山法久院日滿上人。

法長寺

妙法寺末 平、二六

増穂村青柳 望月 正西

本淨寺

妙法寺末 紫、一四

増穂村最勝寺 植田 泰一

寶林寺

身延末 紫、一九

増穂村春米 三枝 存貞

眞淨寺

身延末 紫、一八

増穂村天神中條 齋藤 見是

幸栖寺

身延末 平、二四

増穂村天神中條 内藤 順妙

性蓮寺

妙法寺末 紫、二四

増穂村天神中條

妙善寺

身延末 紫、二〇

増穂村大柵 板垣 良進

盛善寺

身延末 平、二七

増穂村大柵 飯久保嶺傳

由緒沿革 妙運山と號す、開山受活坊日盛上人、創立元和三年四月二十八日。

善住寺

身延末 素、二二

増穂村長澤 原田 見翁

法界寺

山梨妙了寺末 素、二四

増穂村長澤 橋田 見常

由緒沿革 長經山と號す、開山宗圓坊日雲上人、創立寛文十二年七月一日。

善國寺

身延末 平、二六

増穂村長澤 小川 嶺榮

上行寺

身延末 素、二六

増穂村長澤 米池 義一

由緒沿革 藥王山と號す、開山深心坊日淨上人、創立文祿元年七月十五日。

法壽寺

妙法寺末 素、二四

増穂村小林 名取 寛敬

由緒沿革 妙延山と號す、開山善妙院日清上人、創立享祿元年正月。

妙諸寺

妙法寺末 素、二五

増穂村小林 高橋 泰忠

由緒沿革 顯法山と號す、開山顯性院日寶上人、創立天正五年十月。

常泉寺

身延末 平、二五

増穂村大久保

由緒沿革 開山常泉坊日泉上人、創立永祿六年。

妙性寺

大光山末 平、二六

増穂村馬門 中込 寛周

經王寺

妙法寺末 紫、一五

緱澤町 中込 學養

由緒沿革 德行山と號す、開山伯耆阿闍梨日體上人、創立正和年中。

蓮久寺

妙法寺末 紫、二二

緱澤町 松原 是靜

妙臺寺

妙法寺末 素、二五

緱澤町 久津見泰二

由緒沿革 千光山と號す、初め天台に屬し桂宮山大圓寺と云ふ、觀山座主弘頂房隆眞の資眞榮阿闍梨年廿七歳、寛喜元年當村喜右衛門宅に泊し、歸向を得て同三年三月當山を創す。廿三世善實阿闍梨、深く本化の宗風を鑽仰し、觀山を離れて小室十八世日聰上人の弟子となり行善坊日寶、改名し、今の寺山號に改む、現住大に寺門を經營して宗風を宣揚す。

感應寺

妙法寺末 素、等外

緱澤町横向

由緒沿革 眞龍山と號す、開山龍善院日觀上人、創立承應二年八月。

妙成寺

妙法寺末 素、二八

緱澤町國見平 川口 日浩

由緒沿革 法昌山と號す、開山法光院日陽上人、創立寛永年中。

寂光寺

妙法寺末
平、等外

齋澤町雨戸

由緒沿革 眞如山と號す、寶曆中年月不詳元眞如庵と稱し、明治七年一月廢庵となる、同十二年九月八日復舊寺號公稱す。

蓮華寺

山梨長遠寺末
紫、二一

齋澤町 吉田 素恩

由緒沿革 慧命山と號す、開山寂日房日華上人、創立永仁二年八月十日。

妙現寺

山梨長遠寺末
紫、二〇

齋澤町鬼島 内田 義松

由緒沿革 鬼島山と號す、開基本學院日詠、開山學正法印上人、創立文治元年四月。

本能寺

身延末
素、二六

五開村箱原 大野 本光

由緒沿革 長見山と號す、開山蓮乘坊日惠上人、創立天正元年五月三日。

柳川寺

身延末
紫、二七

五開村柳川 原田 海晴

由緒沿革 順正山と號す、開山正因坊日俊上人、創立永祿五年正月三日。

妙長寺

身延末
平、二七

五開村十谷 滿岡 玄明

由緒沿革 自在山と號す、開山勸住房日慶上人、創立永祿二年十一月二日。

永立寺

身延末
平、等外

五開村鳥屋 井上 義勇

由緒沿革 柳川山と號す、開山本覺院日永上人、創立永祿八年

德樂寺

妙法寺末
平、二八

平林村

由緒沿革 泉涌山と號す、開山常泉房日信上人。

長命寺

妙法寺末
平、等外

平林村

由緒沿革 藥王山と號す、開山常善房日昌上人。

▲西八代郡

長生寺

身延末
紫、二六

高田村

由緒沿革 高田山と號す、開山教行院日實上人。

流通寺

身延末
平、等外

高田村

由緒沿革 經王山と號す、開山本立院日正上人。

團立寺

身延末
紫、二二

市川大門町 粟冠 溪雲

由緒沿革 忍性山と號す、開山本光院日增上人、創立元和元年十月二十日。

法傳寺

身延末
平、二八

市川大門町 都築 海壽

由緒沿革 廣布山と號す、開山立圓院日述上人、創立寛永元年。

大乘寺

妙法寺末
平、三〇

川 下九一色村下芦 塚原 是泰

由緒沿革 蘆川山と號す、開基渡邊囚獄之介、開山本山小室十六世日長上人、創立元和元年四月八日。

寶澤寺

身延末
素、二二

豐和村黒澤 小泉 日扇

由緒沿革 瀧上山と號す、開山本山十二世日意上人の資本住院

十月十二日。

妙森寺

妙法寺末
平、等外

五開村長知澤

由緒沿革 顯寶山と號す、開山本性房日性上人、創立明暦元年。

法雲寺

妙法寺末
素、等外

西山村上湯島 中名生鍊逞

由緒沿革 妙龍山と號す、開基玄時院日高、開山是眞坊上人、創立天正年中。

蓮定寺

妙法寺末
素、三〇

西山村下湯島

由緒沿革 藥湯山と號す、開基蓮定日島、開山大乘坊、創立天文元年。

外眞寺

妙法寺末
素、三〇

西山村奈良田

由緒沿革 眞榮山と號す、開基禪定院日心、開山日等上人、創立天正十年七月。

▲中巨摩郡

隆運寺

妙法寺末
素、二九

平林村 樋口 寛暉

由緒沿革 法養山と號す、開山隆泉坊日純上人。

德林寺

妙法寺末
素、二九

平林村 佐野 元澄

由緒沿革 法王山と號す、開山一圓坊日雄上人。

妙題寺

妙法寺末
平、等外

平林村 宮田 鍊誠

由緒沿革 清水山と號す、開山淨仙坊日信上人。

日桂上人、創立永正元年甲子年三月、初め小宮澤不動が瀧の上にあり、今に寺山號に名く、寶永三丙戌年十月二十四日日本山三十三世日亨上人より本山直末となり爾來今日に到る。

妙學寺

身延末、中末一
素、二四

豐和村黒澤 深澤 日龍

由緒沿革 村松山と號す、開山蓮如阿闍梨日授上人、創立弘治二年四月。

妙淨寺

身延末
素、二四

豐和村大鳥居

由緒沿革 法水山と號す、開山卯清坊日泉上人、創立天正元年八月。

妙増寺

山梨昌福寺末
平、二七

豐和村下大 矢崎 顯靜

由緒沿革 法久山と號す、開山延因坊日永大徳、創立永祿八年十二月二十二日、初め妙福寺と呼び後現稱に改む、當寺の堂宇は水害の爲め破壊し、寶曆十年九月再築、後安政三年五月現在の堂宇を建立し現在に及ぶ。

相延寺

山梨松井坊末
平、二九

豐和村法師倉 渡邊 遵友

由緒沿革 妙法山と號す、開山智境院日用上人、創立元和元年十一月。

一心庵

身延末
平、等外

豐和村大木兼小泉 日扇

由緒沿革 妙法山と號す、開山智境院日用上人、創立元和元年十一月。

誦經庵

身延末
平、無等

豐和村兼深澤 日龍

由緒沿革 妙法山と號す、開山寂仙坊日順上人、創立天正十六

年二月一日。

妙傳寺 身延末 平、二七 山保村帶那 名取 義説

由緒沿革 小尾山と號す、開山法泉坊日福上人。

法受寺 山梨林藏坊末 平、三〇 山保村近萩 藤村 遵要

由緒沿革 近萩山と號す、開山唯心坊日受上人、創立寛文元年

六月二十六日。

本明寺 山梨信立寺末 平、等外 山保村堀切 中村 泰雄

由緒沿革 妙法山と號す、開山順養坊日立上人、創立元和五年

六月二十六日。

本照寺 身延末 紫、二五 落居村落居 小池 貞甫

由緒沿革 廣布山と號す、開山觀行院日延上人、創立康正元年。

妙蓮寺 山梨長遠寺末 平、二六 落居村落居 中込 湛靜

由緒沿革 妙榮山と號す、開山圓定坊日長上人、創立天文三年

中。

淨善寺 身延末 素、二四 落居村山田 田川 義寛

由緒沿革 藤光山と號す、開山刑部律師日念上人、創立正安元

年二月。

常慶寺 山梨長遠寺末 平、二五 落居村田ノ口 新津 東現

由緒沿革 依田山と號す、開山善行坊日經上人、創立天文三年

中。

由緒沿革 法喜山と號す、開山智見院日遇上人、創立慶安元年

五月。

法圓寺 身延末 素、二五 久那土村車田 田附 善苗

由緒沿革 體具山と號す、開山行學院日朝上人、創立文明十一

年中。

潮縁坊 山梨妙圓寺末 平、等外 久那土村三澤

由緒沿革 開山大牙院日潮上人、創立弘安七年正月十三日。

妙圓寺 身延末、中末四 紫、一八 富里村一ノ瀬 青柳 眞孝

由緒沿革 法光山と號す、開山松林院日行上人、創立徳治二年

中。

仙應坊 山梨妙圓寺末 平、等外 富里村一ノ瀬

正福寺 山梨妙圓寺末 平、二九 富里村北川

由緒沿革 妙榮山と號す、創立永祿八年。

妙立寺 山梨妙圓寺末 平、等外 富里村北川

由緒沿革 法受山と號す、開山歡喜律師日仙上人、創立永祿五

年。

常法寺 山梨端場坊末 素、二六 富里村岩欠

由緒沿革 正覺山と號す、開山春陽坊日授上人、創立天正十四

年。

受性坊 山梨妙圓寺末 平、等外 富里村常葉

日蓮宗寺院 山梨縣第三部 中巨摩郡

妙現寺 山梨花之坊末 素、一九 葛籠澤村 小倉 貞育

由緒沿革 寶林山と號す、開山法賢院日賢上人、創立天文十二

年中。

圓應寺 身延末 素、二九 羽鹿嶋村 澁川 海智

由緒沿革 久榮山と號す、開山一行坊日信上人。

本定寺 身延末 素、二六 宮原村 池田 智勇

由緒沿革 妙覺山と號す、開山妙覺院日福上人、創立文安元年

中。

定林寺 身延末 紫、二三 岩間村

由緒沿革 定法山と號す、開山定林律師、創立天文三年中。

大乘寺 山梨山本坊末 平、二七 岩間村

由緒沿革 岩間山と號す、開山寂然法師、創立永徳元年中。

妙應寺 身延末 平、等外 岩間村 望月 泰運

由緒沿革 天龍山と號す、開山天龍山日存上人、創立永祿元年

中。

大仙寺 山梨定林坊末 平、等外 岩間村 渡邊 貞敬

由緒沿革 妙見山と號す、開山仙藏律師、創立永祿元年中。

隨岸寺 身延末 平、等外 岩間村 兼小池 貞甫

由緒沿革 本秋山と號す、開山隨岸律師、創立元祿二年中。

蓮宗寺 山梨端場坊末 平、等外 共和村 藤田 是信

由緒沿革 開山受性坊日眞上人、創立寶曆五年。

山梨縣 第三部

中巨摩郡

長遠寺 身延末、中末二六 鏡中條村 中村 是本

由緒沿革 惠光山と號し元と眞言に屬す。開基如々美次郎遠光

公、開山久成院日心上人は初め大心房阿闍梨と稱し、小室妙法寺

開山日傳上人の俗弟たり、建治三年、宗祖に歸依し、改宗して

日心と呼び、當山を開く。初め中巨摩郡戸田村にあり、弘安二

年今の地に移る、後明暦、寶永の大火に諸堂悉く灰燼に歸し、

現今の建築は寶永六年已後の經營に成る。寺寶に宗祖の廿四枚

續大本尊及日法上人作の祖像あり(身延靈蹟見)。

玉泉院 山梨長遠寺末 素、二六 鏡中條村 大原 義旭

由緒沿革 開基興徳院日祥、創立弘安三辰年。

妙蓮寺 山梨長遠寺末 平、二七 鏡中條村 三崎 順誠

由緒沿革 法忍山と號す、開山下之坊日安上人、創立應永元年。

常教寺 山梨長遠寺末 平、二二 鏡中條村 望月 義山

由緒沿革 意光山と號す、開山教泉坊日教上人、創立天正三年。

體善坊 山梨長遠寺末 平、等外 鏡中條村

由緒沿革 開山日智律師、創立元祿十三年。

本覺寺 山梨妙了寺末 鏡中條村下今 下山 義要
平、二八 井

成就庵 山梨行善寺末 御影村六科
平、二八

圓學寺 開山妙信院法悦上人、創立文保元年二月十日。
身延末 平、二六 御影村上高砂 安達 義幸

久本寺 身延末 法王山と號す。
素、二一 今諏訪村下今諏訪 五味 義幹

由緒沿革 妙永山と號す、開基久本坊日元、開山三位公日進上人、創立文保二年八月八日。

行善寺 山梨妙了寺末、小末一 源村有野
紫、二〇

由緒沿革 常教山と號す、開山行善院日教上人、創立弘長三年正月一日。

長福寺 池上末 源村有野
平、二一

由緒沿革 榮興山と號す、開山日淨上人、創立天文十二年五月。

了圓寺 身延末 源村飯野新田 中島 日經
紫、二一

由緒沿革 隨心山と號す、開基德島平左衛門尉俊正は武陽の人、甲府宰相綱重卿の命により溝渠開鑿の際至難の箇所たる矢口澤八崎の難所も七面明神の靈夢により竣成したるより、宰相の上意を蒙り、願滿七面明神を祀り、隨信院日滿上人を開祖に仰ぎ、寛文七年三月當山を建立す。

常泰寺 山梨妙了寺末 豊村上今井 雨宮 嶺誓
平、二九

由緒沿革 妙信山と號す、開山圓林房日順上人、創立元和元年卯二月。

林應寺 身延末 豊村澤登 伊藤 義了
平、二九

由緒沿革 學運山と號す、開山林應坊日祐上人、創立慶長六年十月十二日。

久成寺 身延末 明穗村小笠原 小林 一運
素、二一

由緒沿革 淨慶山と號す、開山青蓮坊日遊上人、創立建治二年二月十四日。

妙經寺 山梨妙了寺末 明穗村小笠原 梅澤 義辨
素、二八

由緒沿革 正法山と號す、開山學仙坊日淨上人、創立寛永年中。

長明寺 身延末 明穗村桃園 佐藤 義禪
平、二七

由緒沿革 昌林山と號す、開山昌林坊日行上人、創立寛文四年四月廿八日。

顯信坊 山梨妙了寺末 明穗村桃園寺 島本 泰仙
平、等外

由緒沿革 開基村松伊助、開山宗圓坊日珠上人、創立享保元年。

蓮經寺 山梨妙了寺末 明穗村桃園 深澤 榮泉
素、二四

由緒沿革 松久山と號す、開基中込宗慶、開山顯照坊日安上人、創立元和二辰年。

妙遠寺 山梨長遠寺末 三惠村寺部 谷川 順明
平、二五

蓮行寺 山梨妙了寺末 源村駒場 秋山 是國
素、二五

由緒沿革 眞如山と號す、開山眞如房阿闍梨日德上人、創立慶長十年九月十七日。

福王寺 山梨長遠寺末 飯野村福小路 中込 日行
素、二一

由緒沿革 長慶山と號す、開山了存院日在上人、創立天正十九年。

妙善寺 山梨長遠寺末 飯野村下飯野 望月 義悦
紫、一九

由緒沿革 光明山と號す、開山光林坊日明上人、創立天文元年七月廿二日、初め眞言宗より轉宗せしものとす。

妙定寺 妙法寺末 蘆安村大曾利 上田 義精
素、三〇

由緒沿革 惠光山と號す、開基深澤七右衛門、開山林所院日永上人、創立寶永二年三月一日。

妙長寺 妙法寺末 百田村上八田 鈴木 瑞圓
素、二六

由緒沿革 開基心隆院日現、開山法泉院日顯上人、創立元安二年一月廿九日。

本隆寺 身延末 百田村百々 山寺 義穩
平、二八

由緒沿革 願受山と號す、開山願受房阿闍梨日象上人、創立元祿四年六月十五日。

法源寺 山梨長遠寺末 豊村十五所 藤田 惠曉
平、二三

由緒沿革 弘經山と號す、開基法源日華、開山妙覺房日成上人、創立長元元年七月。

由緒沿革 法勝山と號す、開山東圓坊日融上人、創立天正元年正月十五日。

實成寺 山梨端場坊末 三惠村寺部 藤井 日勢
平、二四

由緒沿革 長榮山と號す、開山信樂院日惠上人、創立元和五年。

明行寺 身延末 藤田村 齋藤 教泰
平、二四

由緒沿革 七寶山と號す、開山智鏡坊日詮上人、創立元和九年。

泉能寺 山梨長遠寺末 藤田村 藤井 教仁
素、二〇

由緒沿革 遠秀山と號す、開基遠藤宗泉、開山泉能房日秀上人、創立永正十六年四月八日。

道昌寺 妙法寺末 藤田村 深澤 勝誓
平、二四

由緒沿革 香岸山と號す、開基信受院日榮上人、創立慶長年中。

妙圓寺 山梨長遠寺末 南湖村和泉 齋藤 本壽
平、二五

由緒沿革 養泉山と號す、開山清榮坊日全上人、創立大永六年十月。

妙善寺 山梨長遠寺末 南湖村和泉
平、二三

由緒沿革 廣教山と號す、開基大木佐渡守内室妙善、開山覺林坊日習上人、創立文永十八年六月。

感應寺 山梨妙了寺末 南湖村和泉
平、二九

由緒沿革 明光山と號す、開基明光院日惠、創立寛永八年三月二日。

本乘寺 山梨長遠寺末 南湖村西南湖 大鹽 日讓
素、二〇

由緒沿革 開山本性院日秀上人、創立天正九年七月。

法玄寺 身延末 素、二三 南湖村東南湖

由緒沿革 開山玄立院日立上人、創立寛永八年九月。

長久寺 身延末 素、二三 南湖村東南湖 江川 隆篤

由緒沿革 法立山と號す、開山圓隨院日順上人、創立慶長年間。

妙太寺 身延末 素、二五 南湖村田島 田中 圓旭

由緒沿革 光栖山と號す、開基教向院日順上人、創立應永廿九年。

報恩寺 山梨妙了寺末 平、二三 南湖村田島 佐野 堯善

由緒沿革 高橋山と號す、開山妙藏坊日忍上人、創立永祿七年。

法淨寺 身延末 平、二四 五明村宮澤兼田中 圓旭

由緒沿革 松要山と號す、開基妙法院法淨日要、創立永祿三年七月十三日。

實成寺 山梨長遠寺末 素、二三 五明村戸田 川口 慈懷

由緒沿革 開山本立院日長上人、創立永祿元年九月十日。

圓妙寺 妙法寺末 平、二九 五明村荊澤

由緒沿革 藤光山と號す、開山青蓮坊日遊上人、創立天文廿三年五月十日。

法泉寺 山梨長遠寺末 平、二二 五明村荊澤

由緒沿革 光榮山と號す、開山左京阿闍梨日感上人、創立永正

十六年九月十三日。

實成寺 山梨妙了寺末 素、二七 五明村荊澤 岡本 嶺直

由緒沿革 鏡光山と號す、開山生善坊日定上人、創立永祿五年三月四日。

了泉寺 山梨妙了寺末 素、二五 五明村大師 青柳 順亨

由緒沿革 法受山と號す、開山忠樞坊日龍上人、創立永祿十年十月十二日。

法音寺 山梨長遠寺末 平、二二 大井村江原 野田 義誠

由緒沿革 江原山と號す、開山東善坊日法上人、創立慶長元年。

生善寺 妙法寺末 平、二三 大井村鮎澤 中込 觀秀

由緒沿革 開基野田治右衛門、開山春陽坊日近上人、創立天正四年二月廿八日。

妙源寺 身延末 素、二一 大井村古市場 鈴木 義孝

由緒沿革 法谷山と號す、開山法養阿闍梨日源上人、創立明應三年三月廿五日。

圓寶寺 身延末 素、二五 榑村曲輪田 藤田 嶺參

由緒沿革 長金山と號す、元和五己未年十月十三日創立、開山本山廿二世心性遠師の學弟乘圓院日清上人。先之建武元丙子の頃、鏡中院長遠寺開祖久成院日心上人の德化により、文和二辛巳年十月十二日信徒は當所泉小室の地に一字を建て唱題修行す、

會々開山此地に布教し遠師の助を得、遂に當山を建立す、寺山號は遠師の銘する所なり。

妙了寺 身延末、中末二七 野々瀬村上 加茂 嶺透

由緒沿革 高峰山と號す、開山中道院日了上人、創立永和元年四月七日。

本用坊 山梨妙了寺末 平、二五 野々瀬村上市 飯島 嶺啓

由緒沿革 開山中道院日秀上人、創立貞享二年二月十四日。

本宗坊 山梨妙了寺末 平、二五 野々瀬村上市 水上 辨能

由緒沿革 開山中道院日勢上人、創立貞和元年十月一日。

宗林寺 山梨妙了寺末 平、二四 野々瀬村下市 小泉 嶺教

由緒沿革 昌行山と號す、開山昌行院日貴上人、創立天正三年七月十四日。

法久寺 山梨妙了寺末 平、二四 野々瀬村中野 豐田 嶺資

由緒沿革 妙久山と號す、開山中道院日了上人、創立元徳二年二月十五日。

妙行寺 山梨妙了寺末 素、二六 野々瀬村中野 笹本 嶺光

由緒沿革 體顯山と號す、開基妙了日佛尼、開山中道院日了上人、創立元亨元年三月十六日。

常仙寺 山梨妙了寺末 平、二七 野々瀬村中野 深澤 嶺清

由緒沿革 教圓山と號す、開山教圓坊日等上人、創立永享四年

四月八日。

本重寺 山梨妙了寺末 平、二二 野々瀬村上野 武田 嶺學

由緒沿革 新觀山と號す、開基日祐、開山白蓮阿闍梨日興上人、創立正中二年。

妙長寺 山梨妙了寺末 平、二五 落合村塚原 小林 東修

由緒沿革 淨慶山と號す、開山法雲坊日念上人、傳へ云ふ弘安元年三月六日宗祖寺側の字波刀神社に御參籠一泊し、頼み來し甲斐の字波刀の神風になみきぞさむる花の下舂しの御詠ありしところと、寺内に該石碑あり。甲斐源氏松跡碑は寺側神社境内にあり。

本清寺 山梨妙了寺末 素、二三 落合村湯澤 藤田 嶺翁

由緒沿革 懸腰山と號す、開山本定院日運上人、創立正保元年九月十三日。

法教寺 山梨妙了寺末 平、二四 落合村川上 村上 嶺察

由緒沿革 川上山と號す、開山教仙坊日寶上人。

成妙寺 身延末 素、二一 落合村東落合 太田 泰定

由緒沿革 宗持山と號す、開山覺善院日言大徳、創立寛正二辛巳年二月十六日、初め宗持なる地に在り、水害の爲め天正十一癸未年芝地即ち現今の地に移轉す。寺山號は本山十世觀行院日延尊者の命せらるゝところ、寺寶に建治三年四月十日東城次郎へ授與の本尊、及六老頂師の文永十一年八月細川太郎へ授與の本尊を藏す。

經石寺 山梨妙了寺末 落合村西ノ久
素、二四 保

由緒沿革 新津山と號す、開基新津文右衛門、開山長圓坊日新上人、創立寛延四年四月廿八日。

法善寺 身延末 素、二五 落合村西新居 望月 是性

由緒沿革 妙應山と號す、開基本理院日順、開山性運坊日惣上人、創立慶長二年十月一日。

法光寺 山梨妙了寺末 平、二九 落合村秋山 中込 智辨

由緒沿革 正覺山と號す、開山圓乘坊日性上人、創立天正十六年六月十日。

▲北巨摩郡

大輪寺 池上末 紫、二〇 旭村宮ノ下 大谷 寛胸

由緒沿革 甘利山と號す、開基大輪院殿日作大居士、開山慶受院日國上人、創立永祿十卯年八月。

昌善寺 本遠寺末 素、二六 旭村南之割

由緒沿革 本行山と號す、開基善通院日圓、開山心性院日遠上人、創立寛永十九年三月五日。

淨蓮寺 山梨長遠寺末 素、二三 旭村南之割 小松 義邊

由緒沿革 法岸山と號す、開基法岸日順、開山淨心房日慶上人、創立慶長十六年三月、明治十六年回祿に罹り、爾後十有五年を経て本堂庫裡を再建す、七面堂は現住の再建に係る。

由緒沿革 晴陳山と號す、開山晴心院日陳上人、創立明治十三年八月十二日。

佛國寺 池上末 紫、一八 伊勢町 柿島 勵秀

由緒沿革 早川山と號す、開山養眞院日住上人、創立寛永四年九月廿九日。

信立寺 身延末、中末一 若松町 鹽田 日英

由緒沿革 廣致山と號す、開基當國領主武田信虎公、開山日傳上人、創立大永二年三月。初め穴山小路にあり、後現地に移る。本尊は建長年間、東郡夏芽原の池中より湧出したる如來像、宗祖の開眼に係る、庭前の紅梅は信玄公の禁榜によりて名高く、寺には宗祖の眞筆、金丸金峰の宗祖畫像等を藏し、日朝上人を祀る(身延靈跡見)。

妙蓮寺 身延末 素、二五 元紺屋町 林 宣壽

由緒沿革 佛壽山と號す、開基飯富源四郎兵部、開山日昌上人、創立文明五年正月廿八日、大正二年二月廿五日同市白木町感應寺を合併す。

妙本寺 山梨林藏坊末 平、二七 横澤町 石原 玄泰

由緒沿革 法澤山と號す、開基橫澤堪藏正良、開山榮長院日境上人、創立寛正三年四月。

養行寺 身延末 平、等外 元三町

由緒沿革 相應山と號す、開山妙法院日持上人、創立明應元年九月。

日蓮宗寺院 山梨縣第四部 甲府市

教林寺 山梨法華寺末 平、二六 大草村羽根 那波 義榮

由緒沿革 東照山と號す、開山教圓院日陽上人、創立天正三年三月五日。

大蓮寺 山梨長遠寺末 平、二九 韭崎町五丁目 望月 義見

由緒沿革 修瑞山と號す、開山法性阿闍梨日妙、創立天正十四年。元鏡中條村にあり、明治廿三年望月義悅當町に寺院なきを憂ひ移轉建立す。

蓮照寺 山梨長遠寺末 平、二三 龍岡村戸尻 井上 義篤

由緒沿革 宗業山と號す、開山感通院日應上人、創立元祿元年九月。

●山梨縣 第四部

▲甲府市

遠光寺 身延末、中末一五 伊勢町 内藤 玄子

由緒沿革 寶塔山と號す、開基加賀美次郎遠光公、開山宗明阿闍梨日宗上人、創立建暦元年三月。始め臨濟に屬し小曲にあり、後蓬澤に轉じ、更に現地に移る。宗祖鎌倉より身延隱栖の砌、住僧宗明、寺と共に改宗せる舊跡にて、宗祖本尊、徳川綱吉公寄進葵の香爐、探幽の山釋迦、南部家系圖寺を藏す(身延靈跡見)。

玄妙寺 山梨遠光寺末 素、二二 伊勢町 志村 玄誓

清蓮寺 山梨妙了寺末 平、二四 白木町 田中 義學

由緒沿革 妙清山と號す、開山寶林院日賀上人、創立天文元年十二月。

妙詮寺 池上末 平、二八 白木町 清水 文戒

由緒沿革 法鏡山と號す、開山寂日坊日華上人、創立延慶二年二月。

妙松寺 神奈川川合寺末 平、無等 白木町 川合 玄一

由緒沿革 長國山と號す、開山祥信院日勤上人、創立天明元年十月。當寺はもと小室妙法寺末なりしも明治二十九年中鏡中條長遠寺に、同四十年中現本寺に轉末せるものなり。

延壽寺 京妙顯寺末 素、二九 飯田町

由緒沿革 藥王山と號す、開山本像院日達上人、創立寛永十九年八月。

法華寺 池上末 平、一五 細工町 淺野 文尙

由緒沿革 藤光山と號す。もと天台に屬し山梨郡土村にあり、聖武帝の天平九年勅して諸國に法華堂を造らしむその一、僧行基を開祖とす。大永年中武田臣小原武田信繁之を修補し居る、當時養周院とも名く。天正五年信繁の室日藤法尼改宗して大明院日珣上人を開山として現地に移轉す。天正十年、家康公當山に宿障の砌、舊稱に準據し現寺山號を賜ふ。開山は和泉國大島郡の人、博學強記、叡山に三大部を講ず、大衆傳教大師に下賜の紫袈裟を裁して謝意を表す、宗門紫袈裟を着する濫觴と傳ふ。

▲東八代郡

法乘寺 山梨遠光寺末、中末一 豐富村 三井 堯翁
平、二四 大鳥居
由緒沿革 妙蓮山と號す、開山壽仙院日德上人、創立天文十一年二月。

了仙坊 山梨法乘寺末 豐富村大鳥居
平、無等
由緒沿革 開山日能上人、創立享保二年八月。

圓光寺 身延末 豐富村關原 岩間 嶺長
素、二二
由緒沿革 開行山と號す、開山光明院日屬上人、創立享祿三年七月十八日。

妙法寺 山梨遠光寺末 豐富村石原
平、三〇
由緒沿革 放光山と號す、開山法住房日應上人、創立弘治二年三月。

圓明寺 立本寺末 下會根村下會根 櫻林 政厚
紫、二一
由緒沿革 見景山と號す、開基小菅伊右衛門尉正武、開山權大僧都日般上人、創立文祿二年五月一日。

妙石庵 山梨遠光寺末 上會根村 小澤 義春
平、三〇
由緒沿革 知勝山と號す、開山日了大德、創立寶曆五年五月。

楞嚴寺 身延末 竹野原村竹居 渡邊 義董
素、二四
由緒沿革 正住山と號す、創立慶長十一年四月。

本光寺 山梨妙昌寺末 米倉村米倉
平、二七
由緒沿革 永立山と號す、開山日念律師、創立永祿元年八月二十六日。

妙圓寺 身延末 錦村夏目 岩間 玄長
素、二四
由緒沿革 永教山と號す、開山圓教院日意上人、創立永正三年正月十二日。

善國寺 身延末 岡村岡 鹽田 義遜
素、二一
由緒沿革 東岡山と號す、開基圓垂律師、開山心性院日遠上人創立。

定林寺 身延末 南八代村 川久保光正
素、一五
由緒沿革 惠光山と號す、開山圓教院日意上人、創立永正十二年八月十二日。

紹隆寺 身延末 永井村永井
平、二五
由緒沿革 智光山と號す、開山昌善院日護上人、創立元和元年三月十日。

東林寺 妙法寺末 上蘆川村上蘆川 佐野 泰惠
平、二九
由緒沿革 常榮山と號す、開山教覺院日雲上人、創立慶長八年十月十三日。

惠法寺 身延末 石和町四日市場 宮下 日照
平、二〇
由緒沿革 眞光山と號す、開基惠月院日眞上人、開山惠月院日

日蓮宗寺院 〇山梨縣第四部 〇東八代郡

教善寺 身延末 竹野原村竹居
平、二五
由緒沿革 法雲山と號す、開山善正院日教上人、創立永仁元年四月廿八日。

妙油寺 山梨妙昌寺末 富士見村東油 小野 日祥
平、二五 川
由緒沿革 文殊山と號す、開山本藏坊日善大德、創立慶長十二年八月。

蓮朝寺 身延末 富士見村小石和 齋木 兆富
平、二二
由緒沿革 法原山と號す、開基原加賀守蓮朝、開山十如院日用上人、創立延德元年十一月十二日。

常在寺 身延末 富士見村唐柏
素、二四
由緒沿革 莊嚴山と號す、開山一乘坊日出上人、創立應永二十年十二月。

常德寺 身延末 富士見村
素、二二
由緒沿革 高光山と號す、開山一乘院日出上人、創立應永二十年三月。

妙玄寺 山梨遠光寺末 富士見村今井
素、二八
由緒沿革 法玄山と號す、開山善能坊日秀上人。

常向寺 山梨遠光寺末 右左口村向山 松野 盛行
平、二九
由緒沿革 信向山と號す、開山日新上人、創立長享二年二月。

妙昌寺 身延末、中末二 米倉村米倉 鈴木 文海
素、二一
眞、創立永祿十一年二月。

遠妙寺 身延末、中末一 石和町市部 長澤 順乾
緋、一八
由緒沿革 鶴洞山と號す、開山に宗祖を仰ぐ、文永十一年六月宗祖御弟子日朗日向を從へ身延より巡化の砌り、平時忠公の亡靈を濟度し給ひたる所謂「鶴洞山」として名高く毎年七月二十八九兩日大施餓鬼會を執行す。寺寶に「亡靈濟度」の經石等を藏す（身延靈跡見）。

圓常坊 山梨立正寺末 祝村藤井
平、等外
由緒沿革 妙法山と號す、開基日實上人、もと天台に屬し宗藏寺と稱す、宗祖此地御通過の砌、寺門の西塚なる釋迦佛を禮し讀經せらる。住持日意、宗祖を迎へて開法受戒し弟子となり、改宗開山して今の寺山號に改む、實に文永十一年十一月廿八日とす。

蓮華寺 身延末 祝村下岩崎 米山 玄妙
素、二三
由緒沿革 妙法山と號す、開基日實上人、もと天台に屬し宗藏寺と稱す、宗祖此地御通過の砌、寺門の西塚なる釋迦佛を禮し讀經せらる。住持日意、宗祖を迎へて開法受戒し弟子となり、改宗開山して今の寺山號に改む、實に文永十一年十一月廿八日とす。

蓮昌寺 山梨遠光寺末 相興村北野呂
平、二八
由緒沿革 永久山と號す、開山成正坊日得上人、創立慶長二年一月十三日。

本成寺 山梨遠光寺末 相興村北野呂 中村 玄知
平、二七
由緒沿革 長榮山と號す、開山林立坊日安律師、創立天文十二年十二月。

德本寺 身延末 相興村南野呂 福島 厚榮
素、二四

由緒沿革 長照山と號す、開山教廣阿闍梨日守上人、創立永仁三年二月十五日。

淨光寺 身延末 平、三〇 一ノ宮村坪井

由緒沿革 中村山と號す、開山淨修院日行上人、創立延寶七年四月二十八日。

法城寺 山梨麓坊末 平、二七 北八代村北八代 渡邊 清信

由緒沿革 徳林山と號す、開山行學院日朝上人。

晴雲寺 身延末 紫、二二 境川村小黒坂 齋藤 海學

由緒沿革 開基鈴木日迅、開山吉川日鑑上人にして宗祖杖錫の靈地たり、寺内に御腰懸石(約三間四方)あり、明治十五年創立以來寺運隆昌す。

▲中巨摩郡

高源寺 山梨妙了寺末 素、二一 國母村高畑

由緒沿革 光照山と號す、開山常説坊日禮上人、創立文安二年九月二十八日。

永照寺 山梨妙了寺末 平、二七 國母村高畑 川口 嶺現

由緒沿革 光月山と號す、開山本光坊日正上人、創立天和元年九月十三日。

法元寺 山梨遠光寺末 平、二八 國母村上小河 菊込 義通

由緒沿革 佛正山と號す、開山本光日正律師、創立明應三年。

由緒沿革 常住山と號す、開山常住院日妙上人、創立延慶三年三月十六日。

大圓寺 身延末 平、二八 常永村上河原

由緒沿革 長壽山と號す、開山日東上人、創立永祿四年四月八日。

法界寺 身延末 素、二〇 常永村河西 今村 海園

由緒沿革 河西山と號す、開山持戒院日祐上人、創立元和二年四月十日。

妙泉寺 身延末 緋、一四 小井川村布施 柴田 顕秀

由緒沿革 延福山と號す、開山教善房日弘上人、創立天正元年、古來より身延直觸にして境内六ヶ坊を有し、河東の巨刹たりしも、明治維新前後、數度の水災あり、境内塔中を本寺に合併す。寺寶に宗祖御消息小斷片二通を藏す。

遠妙寺 身延末 平、三〇 小井川村鍛冶新居

由緒沿革 長久山と號す、開山通妙坊日理上人。

妙性寺 山梨信立寺末 平、二六 三町村三條 小野間觀諦

由緒沿革 妙忍山と號す、開山本光院日增上人、創立寶曆四年四月八日。

正行寺 山梨松井坊末 平、二五 東 三町村下河 山下 溫秀

由緒沿革 妙應山と號す、開山一乘坊日出上人、創立元弘元年四月三日。

淨蓮寺 身延末 平、二三 國母村上小河原 山岡 義純

由緒沿革 妙法山と號す、開基保坂彌五右衛門、開山淨蓮院日惠上人、創立寛文四年十一月十六日。

法光寺 山梨遠光寺末 平、二三 國母村上條

由緒沿革 感應山と號す、創立文龜元年三月。

妙源寺 山梨妙了寺末 素、一二 西條村西條 功力 嶺圓

由緒沿革 淨光山と號す、開山泉應坊日淨上人、創立弘治元年十月十三日。

正覺寺 山梨遠光寺末 平、二四 西條村西條新

由緒沿革 法華山と號す、開山日法上人、創立慶長十九年正月。

妙全寺 身延末 平、二五 西條村 今津 嶺山

由緒沿革 壽量山と號す、開山雲清坊日照上人、創立寛永元年。

佛乘寺 身延末 平、一八 西條村押原 吉澤 日溫

由緒沿革 一極山と號す、創立寛永十四年八月二十六日。

泉應寺 身延末 平、二二 西條村押原 武井 廣通

由緒沿革 妙要山と號す、創立寛永十八年二月二十五日。

蓮華寺 池上末 平、二五 常永村

由緒沿革 妙法山と號す、開山日遠上人、創立寛永九年二月十五日。

妙福寺 身延末 平、二七 常永村上河東 岡田 海現

長榮寺 山梨昌福寺末 平、二三 稻積村井ノ口 長澤 堯快

由緒沿革 妙法山と號す、開山日觀上人、創立慶長三年九月十日。

妙遠寺 身延末 平、二一 稻積村中楯

由緒沿革 堯惠山と號す、開山日現上人、創立寛永十二年十月八日。

瀧泉寺 身延末 素、二三 稻積村成島 河田 玄秀

由緒沿革 淨行山と號す、開山性善院日應上人、創立慶長十五年三月一日。

蓮華寺 身延末 素、二三 稻積村乙黒 泉 玄覺

由緒沿革 妙法山と號す、開山了性院日樹上人。

永正寺 身延末 平、二五 忍村藤卷 功刀 勵靜

由緒沿革 藤卷山と號す、開山眞定院日元上人、創立延德三年八月一日。

妙法寺 身延末 平、二四 忍村今福 遠藤 日靜

由緒沿革 今福山と號す、開山善智妙法日行尼、創立慶長五年九月一日。

蓮重寺 山梨宗林坊末 平、二八 忍村太田和 福田 義匠

由緒沿革 大和山と號す、開山蓮重院日性上人。

正行寺 身延末 平、二四 二川村西下條 高野 玄偉

由緒沿革 大和山と號す、開山蓮重院日性上人。

由緒沿革 常榮山と號す、開山伊豆三島本覺寺開山一乘院日出上人、創立應永二十六年二月十三日、七月廿四日二世日朝上人の百八灯會を修す。

忠安寺 大光山末 紫、一九 玉幡村西八幡 北村 義本

由緒沿革 妙法山と號す、開山日義上人、創立寛永十八年九月十日。

蓮生寺 山梨長遠寺末 素、一八 玉幡村玉川 飯久保海龍

由緒沿革 功德山と號す、開山蓮生坊日臺上人、創立慶長十一年五月三日。

圓立寺 身延末 平、二六 花輪村西花輪 望月 修治

由緒沿革 法盛山と號す、開山日順上人、創立慶長十一年四月八日。

蓮性寺 山梨長遠寺末 平、二九 花輪村西花輪

由緒沿革 淨味山と號す、開山支淨院日性上人、創立天文十五年四月十五日。

隆泉寺 身延末 平、二四 貢川村富竹 天野 玄幽

由緒沿革 妙榮山と號す、開山常隆坊日榮上人、創立元和元年十一月廿八日。

大廣寺 身延末 素、二一 龍王村富竹新田 野口 宣是

由緒沿革 修行山と號す、開基平岡治良右衛門、開山智見院日遷上人、創立慶長年間。

人、創立應永元年四月六日。

常説寺 身延末 平、二九 吉澤村吉澤 飯室 玄道

由緒沿革 順徳山と號す、開山日乘上人、創立文永十一年六月十五日。

△東山梨郡

立正寺 身延末、中末一六 休息村 加藤 日騰

由緒沿革 休息山と號す、開基阿闍梨宥範、開山に宗祖を仰ぐ、創立文武二年十月廿四日、改宗文永十一年五月廿四日。寺は行基菩薩の開創に係り、三論より眞言に更に學頭宥範、親化に値うて改宗す。宗祖眞妙院日乘の名を賜ひ一週日駐錫し給ひたる靈蹟なり(身延靈跡見)。

東之坊 山梨立正寺末 平、二四 休息村 三國 文秀

由緒沿革 開山本寺九世大法院日東上人、創立永祿八乙丑年八月。

南之坊 山梨立正寺末 平、等外 休息村

由緒沿革 開山永範阿闍梨日永上人。

北之坊 山梨立正寺末 平、二七 休息村

由緒沿革 開山實修院日定上人。

正覺坊 山梨立正寺末 平、二五 休息村 鈴木 本誠

由緒沿革 開山鐵之阿闍梨日覺上人。

法久寺 身延末 紫、一二 龍王村篠原 保科 日幹

由緒沿革 八幡山と號す、初め永正六年四月開山善學院日鏡上人當郡八幡山に光應山法久寺を開く。後上人身延十四世の法燈を挑げ在職十四年西谷に退隱し西谷檀林の祖となる。當寺二世日文の時、會々洪水あり、諸堂宇悉く流失す、寛文九年四世日正、檀徒穂坂内匠の外護により現地に再建し今の山號を稱して永く本源を忘れざらしむ。

本妙寺 身延末 素、一九 龍王村篠原 脇本 觀靜

由緒沿革 三井山と號す、開山日壽上人、創立明應三年正月三日。

圓立寺 身延末 素、一九 龍王村萬歳 淺川 玄最

由緒沿革 榮澄山と號す、開山感應律師日壽上人、創立寛永八年三月。

妙蓮寺 身延末 平、二五 龍王村萬歳 平野 玄林

由緒沿革 法林山と號す、開山大中院日安上人、創立元祿元年二月。

立本寺 身延末 平、二八 池田村金竹 石原 玄昌

由緒沿革 延命山と號す、開山玉像坊日行上人、創立文久二年三月十一日。

本興寺 身延末 素、三〇 松島村長塚 打越 堯伯

由緒沿革 感應山と號す、開基筑前守蓮華院、開山玄誠院日京上

上之坊 山梨立正寺末 平、二六 休息村 三神 溫壽

由緒沿革 開山本果院日朝上人、創立長和四年八月。

輪石庵 山梨立正寺末 平、等外 休息村

由緒沿革 宗祖を開山に仰ぐ、創立文永三年十月。

上行寺 山梨立正寺末 素、二二 勝沼町 近藤 寬純

由緒沿革 長遠山と號す、開山玉泉院日詮上人、創立享祿二年四月十五日。

法蓮寺 山梨立正寺末 平、等外 七里村赤尾

由緒沿革 榮久山と號す、開基大納言平時忠の臣時連時久兄弟、開山永久院日眞、創立正應二年二月、初め宗祖黒川御游化の際開基兄弟受法して弟子となり、法蓮、榮久と名を賜ふ。依て一寺を建立して兄弟の法號を以て寺山號に名け、法家を開山とす。黒川より古府に移り、後現地に轉ず、黒川御遊化の靈跡とす。

法盛寺 山梨立正寺末 平、等外 七里村 根津 宣信

由緒沿革 惠光山と號す、開山泉立院日理上人、創立貞享元年八月。

法昌寺 山梨立正寺末 平、等外 七里村

由緒沿革 東光山と號す、開山感應院日述上人、創立慶長十九年五月。

本要寺 山梨立正寺末 平、三〇 七里村 千種 日英

由緒沿革 照永山と號す、開山泉立院日理上人、創立貞享元年

八月。

妙善寺 山梨遠光寺末 七里村下於會 宮原 智泰

由緒沿革 金光山と號す、開山慈眼院日惠上人、創立永祿十一年八月、初め黒川にあり宗祖同地御遊化の靈地たり、後黒川の人家散亂せし時、現地に移る。山號は黒川金山に因む、今尙黒川に「妙善寺平」なる地存す。十八世日壽上人次に寺門を經營して中興の祖たり。

善行寺 山梨立正寺末 日下部村 滿岡 本忠

由緒沿革 常照山と號す、開山林心房日榮上人。

法傳寺 山梨立正寺末 奥野田村 小尾 道光

由緒沿革 廣門田山と號す、開山廣門法傳上人、創立文永十一年八月。

大法寺 山梨遠光寺末 日川村上栗原 保坂 瀧泉

由緒沿革 眞淨山と號す、開山行學院日念上人、創立明應元年十一月廿五日。

善行寺 山梨遠光寺末 岡部村松本 河西 順英

▲南都留郡

蓮華寺 身延末 大嵐村 渡邊 日旭

由緒沿革 持名山と號す、開山法眼阿闍梨日領上人、創立大同四年中。

東漸寺 身延末 谷村町横町 永野 日孝

由緒沿革 大法山と號し、元眞言に屬す、北條相模守重時(時頼の孫)の嫡男石川式部入道勝重隱遁して當地に一寺を建立す、元徳元年富士大石寺二祖中老僧日目上人當地に弘通するに及び改宗して高明院日理と呼ぶ、二世日城身延日傳上人の教化に遇ひて身延末となる。寺寶に宗祖本尊及御消息、開山日目上人本尊、養珠院殿織込宗祖畫像等を藏す。富士經ヶ嶽參拜の順路とす。現住は現に精神講話會常任講師及び専務教誨師として専ら宗勢の興隆に盡瘁せり。

▲北巨摩郡

法泉寺 身延末 登美村菖蒲澤 飯室 洪教

由緒沿革 昌榮山と號す、開山日法上人、創立曆應四年。

妙秀寺 池上末 登美村龍池

由緒沿革 長徳山と號す、開基今村甚五左衛門、開山日乾上人、創立慶長十七年九月十二日。

妙覺寺 身延末 朝神村 井神 海山

由緒沿革 開山正覺院日妙上人、創立永元和元年三月二十八日。

充圓寺 身延末 朝神村 志村 海旭

由緒沿革 常富山と號す、開山戒行院日用上人、創立寛永十年九月四日。

清普寺 妙法寺末 朝神村

由緒沿革 妙法寺末

由緒沿革 妙光山と號す、創立元和元年三月二十八日。

門長寺 池上末 若神子村 福島 温善

由緒沿革 光榮山と號す、開山日詔上人、創立天正元年五月。

妙圓寺 身延末 若神子村 井上 日瑞

由緒沿革 久榮山と號す、開基秋山彦左衛門、開山日朝上人、創立明應三年三月十九日。

遠照寺 身延末 若神子村豊田 丸木 陽照

由緒沿革 定榮山と號す、開基伊賀守定照、開山中老日辨上人、創立永仁二年四月。

見本寺 身延末 多麻村上小倉 神山 日逮

由緒沿革 長榮山と號す、開山本山十二世圓教院日意上人、開基顯峯阿闍梨日向上人は元眞言宗の人、開山の頃寺と共に改宗したるもの、如し。明治三十年祖廟の災あり、現住二百十七坪の現諸堂宇を新築して寺運隆盛とす。

妙觀寺 身延末 多麻村中小倉 秋山 嶺善

由緒沿革 寂光山と號す、開山慶運坊日住上人、創立慶長三年三月二十八日。

上行寺 身延末 大泉村西井出 小林 玄達

由緒沿革 來佛山と號す、開山佐渡阿闍梨日向上人、創立建治二年十一月。

見法寺 身延末 日野春村日野 大森 圓全

由緒沿革 妙法山と號す、開山隆玄院日譽上人、創立天正元年。

日蓮宗寺院 山梨縣第四部 北巨摩郡

由緒沿革 石光山と號す、開山大法阿闍梨日善上人、創立元弘二年三月十五日。

蓮成寺 身延末 日野春村澁澤 渡邊 義禪

由緒沿革 讀誦山と號す。

妙要寺 身延末 日野春村長坂上條

由緒沿革 延命山と號す、開山龍僧、創立建治元年三月六日。

法輪寺 山梨實相寺末 駒城村大坊 村上 鍊學

由緒沿革 大坊山と號す。

常運寺 山梨實相寺末 駒城村柳澤

由緒沿革 多聞山と號す、開山顯理院日性上人、創立慶長五年三月十三日。

實相寺 身延末、中末三 新富村山高 永田 祐爾

由緒沿革 大津山と號す、開山波木井實氏日應、創立元和元年八月。

本法寺 山梨實相寺末 武里村牧原 深澤 慈全

由緒沿革 妙圓山と號す、開山顯壽院日量上人、創立天文九年。

妙淨寺 身延末 圓野村圓井

由緒沿革 清水山と號す、開山日鑑上人、創立寛文五年。

蓮照寺 身延末 菅原村白須 向井 健全

由緒沿革 妙法山と號す、開山隆玄院日譽上人、創立天正元年。

▲西山梨郡

常光寺

山梨遠光寺末
紫、一七

朝井村朝井 瀧 寶妙

由緒沿革 源正山と號す、開山最上院日宗上人、創立建曆三年八月十五日。

圓妙寺

山梨遠光寺末
平、二六

朝井村小曲 岡 義忠

由緒沿革 具足山と號す。

安立寺

身延末
平、二五

住吉村住吉 林 義靜

由緒沿革 法行山と號す、開山日祐上人、創立寛永十一年九月。

要明寺

山梨遠光寺末
平、二六

住吉村増坪 中澤 貞明

由緒沿革 榮立山と號す、開山蓮行坊日實上人。

要法寺

大光山末
紫、二五

相川村 吉田 良察

由緒沿革 上行山と號す、開基武田聖導公龍芳軒公、開山修徳院日祇上人、創立永祿十一年正月十五日。

▲甲州上會根 會根次郎家の靈寶

高祖が身延山中聖

默九年にして池上へ志し給ふや「日蓮大士眞實傳」の著者泰堂居士は、御出發の次第を記して「其夜は下山兵庫が宅に宿り給ひ九日は懸澤なる大井庄司の許に御止宿十日には會根の次郎が方に宿し」給ふとあり、此の會根次郎家は山梨縣東八代郡上會根村にあり、子孫連綿五十一代を重ね、現今堀内を以て姓とし、當主を堀内肇と

◎長野縣 第一部 (南信録所)

▲松本市

龍興寺

身延末
素、二〇

中町 内藤 玄勝

由緒沿革 法雲山と號す、開山新井日隆上人、創立明治十五年二月、現住は五世とす、寺寶に新嘗薩修各上の本尊を藏す。

圓乘寺

身延末
素、二四

中條町 坂本 海亮

由緒沿革 龍雲山と號し、初め身延支院本行房末たり、明治廿二年八月十一日現地に移轉す、開基能持院日經、開山身延心妙院日修上人、明治廿二年五月十九日創立。日本アルプスの連山、淺間温泉、松本城皆近し。

安立寺

中山末
紫、二三

北深志 西川 英秀

由緒沿革 開山日實上人。

▲上伊那郡

蓮華寺

京妙顯寺末、中末五
緋、一八

長藤村的 長谷川日英

佛土寺

長野弘妙寺末
平、二九

長藤村中條 井上 堯順

由緒沿革 神力山と號す、開山身延十二世圓鏡院日意上人、創立永正六年。

本妙寺

長野蓮華寺末
平、二七

長藤村四日 中込 義善

日蓮宗寺院 ◎長野縣第一部 ◎松本市 ◎上伊那郡

稱す。里人古より「會根の大屋」と尊稱し來る、家に秘藏せらる、は高祖が會根家へ御宿泊の際預置くそとの御一言を蒙りしより、當時の包其儘を存置し子孫をして斷じて開封せしめず、其上包に掛けたる荒藁は即ち高祖當年のものにして、若し之を開く時は兩眼閉塞すべしとて、亦誰ありて之に手を觸れんとせず、最も慎重に保護尊崇し來れる法華經八卷と、又高祖が會根家をして火難なからしむべしとて、親しく御染筆ありし棟札と、此の二點は最も難有く拜するところ、此の外御使用の茶椀及高祖の刀に成れる自在鍵の鑰等あり、且つ該家は手斧うちの際なる柱を存し、又庭上に高祖御袈裟掛の松あり、老幹鬱乎として蒼翠沐するが如し、又その最寄に高祖御説法の跡あり、その御説法ありし石上に一堂あり、甲府市遠光寺末妙石庵是れなり、巡路は甲府市遠光寺表門通りにて乗合馬車乃至俵を採れば僅に二里(賃錢馬車にて金貳拾錢内外)にて達す(藤田生報)。

正法寺

長野弘妙寺末
平、二五

長藤村板山 内藤 玄法

慈照寺

長野蓮華寺末
平、等外

長藤村栗田

長久寺

長野蓮華寺末
素、二六

藤澤村北原 阪本 日遵

遠照寺

身延末
緋、一七

三義村山室 松井 鍊靜

由緒沿革 妙朝山と號す、元と天台に屬し谷室山天福寺と云ふ。文明五年五月身延十一世日朝上人、時の住持權律師日用を改宗せしめて開山とす、文政六年十二月祝融の災あり、文政八年二月二十二世日愷庫裡再建、天保五年十一月二十三世日琳本堂再建す、後明治卅年七月雷火に罹り、同卅六年十一月二十六世秋山日應本堂再建、大正五年十二月二十七世現住庫裡再築す。寺寶に宗祖朝潮二師の本尊、信長公寄附坂上田村麿の陣太鼓髑口等を藏し、奥の院には朝師の「高座岩」あり、將軍に縁ある唐澤采女の居所たる「城の平」に程近く、日本アルプスの連山等、一眸の下に鍾る。

弘妙寺

身延末、中末二
緋、二〇

三義村荊口 右田 見序

由緒沿革 本覺山と號し、もと眞言に屬す。元久二年、平家の浪士、開阿彌空阿彌の二人當地に來り、前者は字「コレイバ」に庵を結び(古靈場)、後者は後民間に下る、開阿彌、後開禪阿彌梨と號し、中道山旭泉寺を日向畑に建て眞言を修す。文安元甲子年、本覺阿彌梨住す、會々開山身延九世成就院日學上人の化を受け改宗し本覺院日賢の名を賜ひ寺山號を銘す。即ち改宗開基たり。天正十年二月九世圓正院日藤上人の時、織田信忠、高遠

城攻略に際し、寺はその焼く所となり、本尊は現稱「毛畑」(舊稱佛畑)に移して難を免る。後數度水火の災あり、文化六年現地に移轉改築して現今寺運隆昌なり。寺寶に宗祖、向師、朝意傳各上の本尊を藏す。

玄立寺 身延末 紫、二五 美和村非持山 丸茂 玄篤

深妙寺 身延末 緋、一八 西春近村小出 重盛 快進

三澤寺 長野蓮華寺末 平、二八 伊那町福島 望月 日見

大法寺 長野蓮華寺末 平、三〇 赤穂村 泉 義靜

光蓮寺 長野長源寺末 紫、一四 上片桐村大柏 山上 日尙

由緒沿革 松高山と號す、開山摩訶一院日印上人、元亨三年十二月、烏子嶺の麓に創立す、第十世實相院日瑞上人、領主小笠原兵部大輔秀政公の寄附により慶長元年現地に轉ず、寺寶に大覺大僧正宗祖御尊像、開山上人曼荼羅二幅を藏す。

▲下伊那郡

長源寺 大光山末、中末七 飯田町 小山 圓泰

由緒沿革 開山に依て妙龍山、地名に因て田島山と號す、開山三位妙龍院日靜上人、康永元年松尾村田島に創立す(現に法花房の名存す)、慶長十四年十三世壽量院日泉上人現地に移轉し、廿二世日治上人中興す、四十二世日融上人は身延の産、歌人として名あり明治十九年化す、寺寶に宗祖及開山の本尊、菅公筆

▲諏訪郡

眞福寺 身延末、中末一 落合村葛木 細入 玄正

敬冠院 長野眞福寺末 平、無等 落合村

高國寺 身延末 緋、二三 上諏訪町柳町 細田 智寛

●長野縣 第二部 (北信録所)

▲長野市

原立寺 長野蓮乘寺末 平、二四 妻科町 加藤 要龜

由緒沿革 榮久山と號す、開基原美濃守の臣岩間市郎左衛門主命に依り安全院日隱上人を開山として天文三年五月本縣上水内郡長沼村に創立す、明治三十三年七月長野市城山へ移轉、同卅九年十月卅一日現地に移轉し寺運隆昌なり、附近に善光寺あり、河中島の古戰場亦眼界に入る。

▲小縣郡

本陽寺 身延末 素、一八 上田町鍛冶町 太田 日定

由緒沿革 妙榮山と號す、文祿四年、開基越前守仙石權兵衛尉秀久侯、嫡室本陽院殿のため小諸に創立せらる。開山興元院日達上人とす。元和八年九月十日開基上田に移封と同時に現地に轉じ、寛文七年身延末となる。當時同山學頭日述上人を住職せ

日蓮宗寺院 ●長野縣第二部 ●長野市 ●小縣郡

八の巻あり。烈婦山口藤子の墓あり、藤子は内家の擾亂と國政の弛廢とを憂ひ、嬖妾若山を刺し斬首に處せらる。天保十年十二月四日、年二十二法諱一貞院不二妙松大姉と云ふ。

照光院 長野長源寺末 平、等外 飯田町箕瀬

經藏寺 長野長源寺末 紫、二三 上郷村別付 原 庭遠

妙正寺 長野長源寺末 平、二五 三穗村伊豆木 遮那 眞應

大泉寺 長野長源寺末 平、等外 三穗村下瀬 篠田 孝圓

妙泉寺 長野長源寺末 平、二五 大島村上新井 田附 智章

長光寺 長野長源寺末 素、一五 大島村上新井 池田 龍音

本光寺 身延末 平、二三 大島村名子 羽生 恬直

安國寺 身延末 平、二八 東川手村潮區 手塚 貞元

了源寺 長野蓮華寺末 平、三〇 福島町城山町 青柳 是學

しむ、中興たり。寶永三年仙石侯、丹馬出石へ移封の後、松平伊賀守の準善提所として維新に到る。寺寶に宗祖本尊、日述上人の法華經、狩野法眼出山釋迦等を藏す。

▲東筑摩郡

妙光寺 身延末 平、等外 上田町 宮淵 玄理

法善寺 身延末 紫、一七 縣村常田 小林 要隨

經藏寺 身延末 素、二四 長瀬村 小澤 嶺元

法輪寺 身延末 平、二四 雨宮縣村雨宮 和田 性運

蓮乘寺 身延末、中末二 素、二四 松代町 渡邊 性圓

寶大寺 身延末 素、三〇 小諸町田町 森 存善

由緒沿革 法清山と號す、開基松平因幡守、開山法性院日生上

由緒沿革 久龍山と號す、開山蓮乘院日緣上人、創立建治元年一月。

由緒沿革 慈雲山と號す、開山慈雲院日新上人、創立天正十二年四月。

由緒沿革 明眼山と號す、開山日淨上人、創立元和四年八月。

由緒沿革 修禪山と號す、開基仙石越前守政俊公、開山修禪院

由緒沿革 久龍山と號す、開山蓮乘院日緣上人、創立建治元年一月。

由緒沿革 法清山と號す、開基松平因幡守、開山法性院日生上

由緒沿革 久龍山と號す、開山蓮乘院日緣上人、創立建治元年一月。

由緒沿革 法清山と號す、開基松平因幡守、開山法性院日生上

由緒沿革 久龍山と號す、開山蓮乘院日緣上人、創立建治元年一月。

由緒沿革 法清山と號す、開基松平因幡守、開山法性院日生上

●埴科郡 ●北佐久郡

人、創立天文十二年六月五日。

尊立寺 身延末 平三〇 小諸町田町 岩淵 智龍

由緒沿革 妙法山と號す、開基松平因幡守憲良公、開山尊立院日勢上人、創立寛永元年四月八日。

▲下高井郡

鈴泉寺 長野蓮乘寺末 平二一 中野町 本多 宣妙

由緒沿革 甘利山と號す、開山法泉院日閑上人、創立弘治二年五月一日。

▲下水内郡

本光寺 山梨長蓮寺末 素二六 飯山町 清水 要山

由緒沿革 日照山と號す、往古天正年中水内郡山口村城山に七面大明神の祠あり、同五年、右山口及芋河の兩城を當地に移し飯山城とす。山口城内鎮守七面明神は、其の時、城の對座たる當山々頂に勸請し法華堂を建つ、爾來四十年住僧なく、元和二年八月八日、高田養明寺四祖開山照光院日陽上人、開基森庄藏等と一字を創し、今の寺山號を稱す。爾來明治維新まで當藩の祈願所たり。第廿一世妙順院日文(小林要道)上人を中興とす。寺は千曲川の側、飯山城址と相對す。

●静岡縣 第一部 (駿河組)

▲静岡市

感應寺 身延末、中末四 緋一五 寺町二丁目 手島 日詮

由緒沿革 常住山と號す、開基「熱原法難」に名高き熱原甚四郎國重、開山安立院日向上人、創立弘安二年。

三河坊 静岡感應寺末 平 寺町二丁目

由緒沿革 開山三河坊頼圓。

安立寺 大光山末 紫二五 寺町三丁目 上田 榮俊

由緒沿革 開山日證上人、創立文明八年。

妙像寺 池上末 平二七 寺町三丁目 山口 壽信

由緒沿革 開基日像菩薩、開山日朗菩薩、創立正應元年五月。

淨祐寺 静岡感應寺末 平二七 寺町三丁目 手島 慶嚴

由緒沿革 開山日長上人、創立寛永七年七月廿三日。

倉長寺 静岡感應寺末 平二九 寺町三丁目 福澤 邦榮

由緒沿革 開山日悟上人、創立文祿三年。

宗林寺 静岡感應寺末 平二八 寺町三丁目 宮嶋 邦山

由緒沿革 開山朋源僧都、創立永和四年正月十八日。

法榮寺 妙木寺末 平三〇 白山町

日蓮宗寺院 ●静岡縣第一部 ●静岡市 ●安倍郡

由緒沿革 開山法榮院日立上人、創立弘治元年。

▲安倍郡

本山 蓮永寺 六等末寺九 千代田村 丹澤 日京

由緒沿革 貞松山と號す、開基松野六良左衛門尉にして開山六老僧日持上人天文年中の創立に係り、元庵原郡松野村にあり、元和元年養珠夫人駿城長位鎮護道場として現地に移轉再興す。堂宇宏壯眺望絶佳、境内に「放生池」御庄松等あり、養珠夫人の廟は安國殿の後方に存す。四十四ヶ本山の一たり。

本山 本覺寺 十四等末寺四 豊田村池田 杉田 日布

由緒沿革 青龍山と號す、開山中老僧治部阿闍梨日位上人、弘安二己卯年七月十三日宗祖より祖母妙位尼に下し給へる孟蘭盆抄を捧持し、その持佛堂にて宗祖の本尊と共に安置し、同十四五兩日、御法談ありたるに濫觴し、後正應元戊子年二月十三日當國蒲原四十九院に建立し、更に正安元亥年三月十八日、同府中宮ヶ峰に移り、延慶元戊申年九月十三日現地に建立す。彼の京都本園寺二世日靜上人(兄)は、實に開山位上の徒弟、當山二祖日嚴上人(弟)と共に將軍尊氏の叔父たり。

爾來大正六年四月廿三日、正に開山の六百回御忌に相當す。其間池魚の災なく、現に四十四ヶ本山の一として寺運益々興隆す。寺寶に宗祖御本尊、孟蘭盆抄、宗祖御葬送之記(開山筆)、孟蘭盆書口譯(日現)、釋尊像(春日作)等を藏す。參拜巡路、静岡縣又は江尻驛下車。

玄祐寺 本覺寺末 平、二一 豊田村川合 川手 海祥

妙慶寺 海長寺末 紫、一九 清水町 玉谷 堯海

由緒沿革 開基今川義元女圓教院、開山蓮華院日存上人、創立
文永九年六月。

龍華寺 本遠寺末 紫、一四 不二見村矢部 井出 歡容

由緒沿革 觀富山と號す、開山常寂院日近上人、創立寛文十年
三月、山號の如く富士及駿河灣を一眸に鎮む。備前の服部洪齋、
曾て日本三景を遂て、駿の龍華寺は實に天下第一の絶觀なり、
之に次ぐを近江の觀音寺、肥前の寶永寺なりと言へり。境内に
大蘇鐵、鶴松、霸王樹の名木あり、故文學博士高山林次郎氏、
宗祖に歸依し遺言して寺内に葬る。附近に清見寺、三保の松原
等の名勝多く、久能山こゝより二里許りとす。

能滿寺 本覺寺末 紫、二三 不二見村南矢部 小澤 湛漸

由緒沿革 見海山と號す、開山本山三世日順上人、創立應永五
年四月二十八日、初め眞言に屬し順上の時改宗す、二世日理上
人は「孟蘭盆抄口譯」の著者(文明十一己亥年正月六日寂)、宗門
注釋書の珍として現に本山に藏す。爾來法燈相嗣ぐ四十世、本
尊の三寶諸尊は林如水の作と稱す。

本山 海長寺 十等末寺五 不二見村村松 中野 文靚

由緒沿革 開山中老僧日位上人、元峩岳寺と云ふ、天台に屬し

大慶寺 身延末、中末三 藤枝町益津 土屋 玄順

由緒沿革 此地往古野神の生ふるに任す即ち今成驛宿町と云ひ
芝草横町(芝原小路)と云ふ、往古宗祖御遊學往復の途次、こゝに
一宿あらせらる、現に「御手植の松」あり、後法華堂を建て釋尊像
を安置す(當山靈寶)。當時親化を蒙りたる道圓法師、妙圓法尼
の古碑存す。正和二年向尊、此地を過ぎ松樹を賞す。後一禪師
の住む處となり慶少庵と名く。然るに應永十二年大圓院日傳上
人、此に來て教風を宣揚し、一字を建て、初めて圓妙山大慶寺
と名く、今の寺山號これなり、天文五年、法性院日蓮上人、法
亂を避けて當地に止り大に堂宇を經營し支院法性院を建つ(支
院法性院は法蓮坊と共に屆漏)、後天和三年及寶永五年類焼し、
十五世日融上人、庫裡本堂を再建し、爾來相受けて今日に到る。

妙法寺 玉澤末 紫、二六 藤枝町益津 窪田 遵德

由緒沿革 一乘山と號す、創立元亨三年四月廿八日、開基人邊
爲作醫を業とす其妻難産にて死し子のみ生るゝ事あり、偶々六
老昭上此家に到り、赤子を弟子とし、出家して蓮華院日經と云
ふ。日經兩親菩提のため一字を建立し、師を初祖とし自ら二祖
に居り、父の法號大乗、母の法號妙法によつて寺山號に名く、
後今の山號を稱す。

宗傳寺 静岡本勝寺末 紫、二八 藤枝町益津 平井 智濟

由緒沿革 開山宗傳律師日聞上人。

上行寺 静岡大慶寺末 平、二七 焼津町綱ヶ島 高塚 觀善

慈覺大師の創立と云ふ。弘安四年三月、寺主中老僧治部卿日位
上人の化を受けて徒弟となり名を日受と賜ふ。乃ち寺を改め奉
て上人に付す。これより海長寺と稱す。寺寶に法上作宗祖像
を安置し、その他御本尊、峩岳寺の金燈籠等あり。寺は清見灣
に望み、三保の松原を隔て、富岳に對し風光明媚たり。宗門四
十四ヶ本山の一。

本能寺 海長寺末 紫、二一 不二見村村松 田邊 存隆

由緒沿革 東光山と號す、開山池田本覺寺九世正受院日東上人、
永正六己巳年十一月創立す、後寶永四年震災あり、十三世日順
上人再興す、然るに嘉永七年十一月再震災に罹り廿六世日觀上
人庫裡を、廿七世日解上人本堂を何れも再建し、現住亦諸堂の
經營に任じ、寺觀舊に復す。

本妙寺 海長寺末 平、等外 不二見村村松 伊藤 慶遠

由緒沿革 開山遠離院日恒上人、創立寛永十年四月。

妙福寺 海長寺末 平、三〇 三保村

由緒沿革 開山遠離院日恒上人、創立寛永二十年十月。

蓮長寺 蓮永寺末 平、等外 大里村川邊 原口 前耀

由緒沿革 開山長嶽院日永上人、創立寛永二年。

蓮久寺 山梨定林坊末 平、無等 梅ヶ島村

由緒沿革 開山日告上人、創立永祿二年八月。

▲志太郡

由緒沿革 開山一心院日味上人、創立天正十三乙酉年十月。

正覺寺 蓮永寺末 素、二一 島田町 石上 舜全

由緒沿革 開山惠雲院日潤上人、創立延寶二年四月八日。

法信寺 静岡本勝寺末 平、二四 島田町鶴ヶ谷 土屋 遵政

由緒沿革 開基日敬幽儀、開山智圓院日祐上人、創立貞治元年
正月十一日。

蓮久寺 静岡大慶寺末 平、二七 葉梨村北方 岩間 宣妙

由緒沿革 開山日義上人、創立慶長十六年十月。

蓮性寺 静岡大慶寺末 平、三〇 相川村上泉 西尾 玄英

由緒沿革 開山日恒上人、創立慶長年間。

▲庵原郡

妙蓮寺 身延末、中末一 紫、一八 江尻町本郷 小澤 桓秀

由緒沿革 開山久遠成院日親上人、創立應永廿四年正月廿八日。

妙泉寺 身延末、中末一 素、二四 江尻町 今井 見壽

由緒沿革 開山梅庵日建上人。

淨春寺 静岡妙泉寺末 平、等外 江尻町紺屋町

由緒沿革 開山常住院日明上人、創立正保元年九月十二日。

本成寺 身延末、中末四 緋、一四 内房村尾崎 冷泉 要惇

由緒沿革 開基遠藤佐金吾、宗祖を開山に仰ぐ、創立正嘉元年八月。

本光寺 山梨松井坊末 内房村落合 平出 玄靜

由緒沿革 開基本妙房日道、開山本是律師日悟上人、創立天和三年六月。

永壽寺 蓮永寺末 松野村南松野 小山 寛潮

由緒沿革 開山六老日持上人、文永十一年六月。

法蓮寺 身延末 松野村南松野 辻 要貞

由緒沿革 圓應山と號す、駿國雜誌(阿部正信編)に云く、藏人屋敷とは庵原郡松野村にあり、傳へ云ふ松野六郎左衛門尉藏人行安は、宗祖日蓮大上人の御檀家、其弟子六老僧日持上人の地にして即ち上人出生の地なり、今、日蓮宗圓應山法蓮寺と號す、即ち御遺文中に「松野殿」と仰せらるゝ地とす。松野氏數代の後故あり、移轉に際し家を淨利とし、松林房日清を開山として當山を創立す、實に天文十年七月とす。乃ち持上を開祖として自ら二祖に居る、四世圓應坊日松、天正十四年十月身延七世慈雲院新上に請うて寺山號を得、寶曆三年十二世日恕の時身延末となり、慶應二年廿二世澄上より永聖跡となる。寺寶に弘安三庚辰年正月七日六郎左衛門尉へ授與の本尊寫(眞筆身延に藏す)等を藏し、境内に「日持上人御兩親の五輪塔一基」(文法蓮尊儀、弘安三庚申年六月八日、母妙蓮尊尼、弘安十丁亥年三月朔日)あり。北松野に日什門流妙松寺あり、岩淵驛に下車すべし。

東漸寺 身延末 蒲原町蒲原

由緒沿革 開基石川式部勝重入道、開山蓮藏阿闍梨日目上人、創立元弘元年二月八日。

光榮寺 身延末 富士川町岩淵 小野 智善

由緒沿革 開山本泉院日正上人、創立天正十八寅年。

等覺寺 身延末 富士川町中之郷

由緒沿革 開山中老治部公日位上人創立。

耀海寺 身延末、中末一 興津町 落合 舜長

由緒沿革 開山圓教院日意上人、創立永正七庚午年。

本立寺 靜岡耀海寺末 興津町

由緒沿革 開山本興院日榮上人、創立文祿三年。

法泉寺 身延末 興津町八木間 山田 了義

由緒沿革 開山日朗菩薩、創立弘安七年。

淨蓮寺 身延末 興津町八木間 龜口 龍謙

由緒沿革 開山慈雲院日新上人、創立元祿十四年。

瑞泉寺 身延末 興津町洞 丸茂 湛照

由緒沿革 開山幽玄院日近上人、創立正保二年。

蓮性寺 身延末 興津町谷津 吉田 日永

由緒沿革 開山行學院日朝上人、創立明應二年二月廿三日。

理源寺 身延末 興津町中宿 今井 眞澄

神堂、明山妙見堂は明治初年合祀又は廢止せり。寺寶に御親筆二行の斷片、重乾遠三幅對並審師本尊を藏す。七面山より三保を望むべし。

建德寺 海長寺末 飯田村高橋 佐藤 深正

由緒沿革 開山正圓院日泉上人、創立天文九子年三月。

本要寺 靜岡妙蓮寺末 辻村 土屋 泰秀

由緒沿革 開山蓮行院日等上人、創立寛永元年。

世尊寺 本覺寺末 西奈村瀬名川 八木 顯賢

由緒沿革 寶集山と號す、開基櫻井佐治右衛門、開山法泉律師日智上人、創立文明十六甲午年。

▲富士郡

妙祥寺 身延末 吉原町傳馬町 貝山 宣是

由緒沿革 開基香久阿闍梨日運、開山辨阿闍梨日昭上人、創立元亨三年二月。

自證寺 圓妙寺末 大宮町黒田 遠藤 玄佑

由緒沿革 鬼子母山と號す、開山堯泉院日應上人、創立天正十一年四月。

大泉寺 身延末、中末二 大宮町黒田 堀内 潮清

由緒沿革 開基由井五郎入道、開山常在院日興上人、創立文永十一年五月。

由緒沿革 祥瑞山と號す、開山身延廿六世智見院日暹上人、像師說法弘通の靈地なるを欣慕し慶長年中草創す、延寶七年(正善院日定代)類焼し、正保二年庫裡再建、貞亨四年本堂再建、其後安政の震災あり、廿世日修現堂宇を建立す。興津停車場より二丁、本立寺、耀海寺に巡詣すべく、清見湯清見寺、三保松原最勝閣、法華寺皆近し。

善立寺 身延末 小島村小島 酒井 顯正

由緒沿革 開山大法阿闍梨日善上人、創立元弘元辛未年。

蓮華寺 身延末 小島村小川内 折居 玄旭

由緒沿革 開基玉林院日玉、開山三位阿闍梨日進上人、創立元和四年十二月廿九日。

正法寺 身延末 由比町由比 上野 日譜

由緒沿革 開山福智院日祐上人、創立貞治元年。

本光寺 身延末 由比町由比 池田 延雅

由緒沿革 開山白蓮阿闍梨日興上人、創立元弘元年。

妙榮寺 山梨窟之坊末 由比町北田 海野 慈靜

由緒沿革 開山蓮乘院日滿上人、創立天正十二年。

讚德寺 身延末 由比町寺尾 兼海野 慈靜

由緒沿革 平、二八

安穩寺 身延末 庵原村伊佐布 服部 辨旺

由緒沿革 護國山と號す、開山本山廿六世智見院日暹上人、寛永元年に眞言宗光林寺を改宗せしむ。塔中三ヶ坊、南の森、番

本光寺

身延末、中末一 大宮町黒田 栢酒 義朝
由緒沿革 開基遠藤左衛門、宗祖を開山に仰ぐ、創立文永十一年五月十五日。

蓮覺寺

静岡本光寺末 大宮町貫戸 中山 玄山
由緒沿革 開山泉淨坊日理上人、創立元祿六寅年六月。

本妙寺

山梨國壘坊末 大宮町沼久保
由緒沿革 開山貞玄坊日脱上人、創立文明二庚寅年。

常泉寺

山梨林蔵坊末 大宮町大宮 小野 玄理
由緒沿革 開山常泉院日經上人、創立慶長十九年五月。

東漸寺

身延末、中末一 大宮町安居 大古田容明
由緒沿革 開基石川式部重勝八道、開山日目上人、創立乾元元年。

信光坊

静岡東漸寺末 大宮町星山 近藤 貞法
由緒沿革 開山常照院日宣上人、創立寛文三年三月。

東光寺

身延末、中末三 須津村中里 高田 惠忍
由緒沿革 開基羽林冷泉中將隆茂朝臣、開山實相院日源上人、創立永仁元年二月八日。

本妙寺

静岡東光寺末 須津村中里 栢酒 孝顯
由緒沿革 開山本實院日詮上人、創立寛永三年五月。

妙蓮寺

身延末 須津村増川 植山 寛政
由緒沿革 開山本實院日詮上人、創立寛永三年五月。

本藏寺

山梨國壘坊末 傳法村傳法 石川 敬秀
由緒沿革 開基速成院日就、開山本學院日淨上人、創立慶長十七年十月十三日。

正法寺

身延末 傳法村傳法 深澤 春明
由緒沿革 開基住圓院日利、開山實相院日源上人、創立正安三年九月十二日。

妙永寺

身延末 傳法村三日市場 塚越 壽聰
由緒沿革 開基本迹院日和、開山六老日持上人、創立永仁元年八月。

玄龍寺

實相寺末 傳法村中村 磯部 泰山
由緒沿革 開山白蓮院日忍上人、創立寛永五年三月。

一乘寺

身延末 鷹岡村久澤 若月 堯靜
由緒沿革 開基仙陽院日要、開山中老日秀上人、創立正安元年二月十五日。

本照寺

實相寺末 鷹岡村厚原 肥田 泰順
由緒沿革 開基は宗門史上有名な熱原神四郎の舊地にして教行院日信上人を開山とし、建治元年二月十五日の創立たり。

法藏寺

身延末 大淵村中野 遠藤 是妙
由緒沿革 開山法藏院日宣上人、創立長祿二年五月。

常帝寺

身延末、中末一 加島村本市 泉 堯海
由緒沿革 開基高橋六郎入道、開山中老日辨上人、創立弘安四年二月十三日。

蓮心寺

實相寺末 加島村蓼原
由緒沿革 開山日産上人、創立慶長七年五月。

長慶寺

實相寺末 加島村水戸島 望月 敬學
由緒沿革 開基日光上人、創立天明年中。

安立寺

實相寺末 加島村中島 植木 泰運
由緒沿革 開山日選上人、創立延寶四年八月十日。

榮立寺

實相寺末 加島村平垣 渡邊 泰遠
由緒沿革 開山日賢上人、創立天正年中。

蓮盛寺

身延末 加島村柚ノ木 佐野 堯遠
由緒沿革 開山法聚院日傳上人、創立天文五年三月。

妙法寺

身延末 元吉原村今井 高橋 堯秀
由緒沿革 開山一圓院日脱上人。

立圓寺

身延末 元吉原村柏原
由緒沿革 開山日善上人。

本光寺

實相寺末 傳法村瓜島 石川 日暉
由緒沿革 開山日善上人。

園林寺

實相寺末 大淵村中野 梅田 智眞
由緒沿革 開山法仙院日仙上人、創立天文元年十二月。

法仙寺

身延末 大淵村大淵 田中 太俊
由緒沿革 開山法仙院日仙上人、創立天文二十年八月。

妙延寺

身延末 今泉村今泉 深澤 義龍
由緒沿革 開山常鷲院日在上人、創立永正十五年正月八日。

淨光寺

静岡東光寺末 今泉村石坂
由緒沿革 開基淨光院理圓日儀、開山理照院日運上人。

寶圓寺

實相寺末 原田村三ツ澤 青山 行運
由緒沿革 開基淨光院理圓日儀、開山理照院日運上人。

林正寺

静岡大泉寺末 田子浦村鮫島 西村 泰巖
由緒沿革 開山日鎮上人、創立元和二年。

圓妙寺

實相寺末 田子浦村中丸 長田 泰耀
由緒沿革 開基圓具院日融、開山本法院日理上人、創立萬治二年八月十三日。

妙立寺

静岡常諦寺末 田子浦村宮島 四條 貫周
由緒沿革 開山圓藏院日儀上人、創立明暦三年四月八日。

龍光寺

實相寺末 田子浦村前田新 菰野 泰教
由緒沿革 開山正行院日受上人、創立慶長四年八月。

題唱寺

静岡東光寺末 吉永村比奈 岩間 海禪
由緒沿革 開山教本院日理上人、創立正保二酉年二月。

本山 實相寺

末寺一五 岩松村岩本 貫名 日達
由緒沿革 岩本山と號し四十四ヶ本山の一、宗祖、立正安國論御製作のため正嘉二年正月、當寺の經藏に入て智證大師入唐將來の一切經を關し給ひし靈跡とす。寺は久安年中、鳥羽天皇の勅願により、天台宗寺門派(眞言部)の僧智印法印の建立に係り、當時境内方一里、七堂伽藍四十九院五百坊ありしと云ふ。宗祖開藏の時、摩阿山觀の講あり、學頭智海先づ歸伏し、日興、日持、日源(智海法印)相繼て本化の法燈を挑ぐ。然るに永祿年間甲斐信玄公の爲めに迫害に遭ひ、一山悉く焼土と化し、慶長年間中興日恆上人再建を企て堂閣房舎古の餘音を傳ふ。降て文久年間四十八世日善上人、祖師堂及庫裡を再建し、明治聖代には内務省より古刹保存の思召を以て若干の賜金あり、五十四世日清上人、維新土地の山林を復舊し、五十八世現住拈提經營遂に大正元年十月を以て現本堂を再建し、講堂營築して寺觀日に新に。寶寶には神職兼益へ授與の御本尊其他御消息斷片等八軸、向上筆安國論、源上筆本尊問答抄、親上和歌短冊一軸、法上作祖像、博太士及兩童子の古彫刻等を藏す。「總門」より「二王門」に到れば、樓上には眞言時代の十六羅漢並び、庭には「宗祖御手植の枝垂櫻」あり、「渡唐天神の祠」ある邊り梅香菴郁として春寒に傲り、山の絶頂、「七面堂」の側眞言時代の「八處権現の舊廟」に登れば、富士の秀嶺東北に聳え、富士の流、湯々として山麓を環り、田子の浦、浮島原、さては伊豆の連峯等一眸の下

法典寺

玉澤末 富丘村青木
平、二六
由緒沿革 開基佐野九左衛門、開山慈雲院日受上人、創立萬治二年二月廿九日。

本秀寺

身延末 富丘村外神 齋藤 日富
平、二三
由緒沿革 開山本覺院日説上人、創立元和元年二月廿八日。

光立寺

身延末 上井出村上井出 寺尾 堯康
平、二五
由緒沿革 開山日春上人、創立寛文九年三月。

遠照寺

身延末 上井出村猪ノ頭
素、二八
由緒沿革 開山淨運院日能上人、創立慶長五年。

眞光寺

山梨花之坊末 柚野村下稻子 上田 本旭
平、三〇
由緒沿革 開基蓮行院淨光日榮、開山頓説坊日縁上人、創立寛永三丙寅年四月。

淨泉寺

静岡正法寺末 柚野村上稻子 江見 啓妙
平、等外
由緒沿革 開山日喜上人、創立寛永十五年。

三澤寺

池上末 柚野村大鹿窪 嵯峨 惠觀
平、一四
由緒沿革 弘法山と號す、「三澤書」を以て有名なる地頭家三澤昌弘の開基たり、三澤氏の祖小次郎は頼朝公の武臣たり、然るに嫡孫昌弘、宗祖に謁して邪捨歸正し、三澤院法昌日弘と號し、邸を捨て、當山を開創す、實に延慶元年とす。後明暦三年卯月八日、四海唱導三本三長十九世大僧都日豐上人、中興開基となり、

に鍾る。「安國論」は實に此境を以て生れたるを知るべし。

「參拜」するに、「東」よりは東海道總富士驛下車、「西」よりは岩淵驛(又は富士驛)下車すべく、「身延參詣」の歸途には、「入山漸驛」下車、同上船便によれば山の裏手河原に上陸することを得。

長見寺

身延末 芝富村長貫 島田 博瑞
紫、一七
由緒沿革 開山永昌院日長上人、創立建治二年二月十六日。

妙興寺

身延末 芝富村長貫
平、二九
由緒沿革 開山白蓮阿闍梨日興上人、創立正應元年二月。

長遠寺

身延末 芝富村長貫 安部 泰榮
平、二八
由緒沿革 開基鏡圓阿闍梨日臺、開山慈照院日生上人、創立喜曆元年三月。

吉祥寺

身延末 芝富村羽鮒 渡邊 智正
素、二五
由緒沿革 開基如是坊日體法印、開山本行院日正上人。

妙行寺

静岡本成寺末 芝富村羽鮒 兼島田 博瑞
平、二四
由緒沿革 開山桂學坊日善上人、創立寛正四年九月十五日。

光明庵

静岡圓惠寺末 芝富村羽鮒
平、等外

圓惠寺

身延末 芝富村大久保 塚本 玄海
素、二六
由緒沿革 開山法壽院日教上人、創立天正九年四月。

妙善寺

身延末 富丘村青木 千頭和義現
平、二三
由緒沿革 開山林正院日體上人、創立永正十一年八月七日。

實成院日相上人を輔佐し、宇三澤の地より現地に移轉し、本堂を改築す。庫裡は松平伯耆守綱清公の建立とす。寺寶に宗祖御消息の斷片三軸、重乾遠親各上の曼荼羅を藏す。西山本門寺へ五丁、富士大石寺に約一里とす。

定林寺

山梨山本坊末 柚野村上柚野
平、二九
由緒沿革 開山日能上人、創立永祿七年三月。

妙泉寺

身延末 柚野村上柚野
平、二四
由緒沿革 開山日城上人、創立天正十四年。

正法寺

身延末、中末一 柚野村上柚野 富木 堯康
緋、一六
由緒沿革 開山日進上人、創立建治三年六月八日。

興德寺

身延末 柚野村下柚野 佐野 良遠
素、二〇
由緒沿革 開山常在院日興上人、創立正應二年三月。

安立寺

山梨北之坊末 柚野村下柚野
平、二九
由緒沿革 開山本行坊日安上人、創立天文七年。

妙覺寺

山梨竹之坊末 柚野村猫澤 田中 是輦
平、三〇
由緒沿革 開山正覺坊日修上人、創立天文七年。

常境寺

身延末 上野村精神川 池上 要壽
平、二〇
由緒沿革 開山智見院日暹上人、創立慶安元年五月廿七日。

妙傳寺

身延末 上野村上條
平、等外
由緒沿革 開山本國院日頂上人、創立正應二年六月。

駿東郡

妙海寺

玉澤末、中末三、紫、一六

沼津町 笹津 海靜

由緒沿革 八大龍王山と號す、開山中老僧但馬公日實上人、往昔正嘉二年一月七日宗祖岩本に入藏すべく此地を過ぐ、日暮れて傍の小堂に入り讀經す、夜半海王示現し、龍燈を松頭に捧げ萬年護法の誠を誓ふ。郷に山本彌三郎重安なるものあり、此瑞に驚喜信伏し、後弘長二年十二月末、密に宗祖を請じ、翌三年一月元旦丑の刻より同八日早旦に互るまで、津波除の御祈禱を請ふ(この事、今尙傳へて通夜説教し參詣雲集す)、重安乃ち家を轉じて寺とし、宗祖より寺山號並に曼荼羅を賜ふ、永仁三年但馬公、宗祖の遺命により當山を創立す。寺寶に津波除曼荼羅及開基夫妻へ授與の本尊、特に有名なる三十番神名帳、天照八幡畫像二幅(土佐大藏筆)を藏す。沼津停車場より約十丁。

妙覺寺

玉澤末、紫、一三

沼津下河原町 横山 政靜

由緒沿革 開基齋藤彌三郎耶利安(日安)、創立正元元年十二月。

本光坊

妙海寺末、平、無等

沼津町下河原

由緒沿革 開山倭婆塞日安。

昌原寺

玉澤末、紫、二〇

原町原 豐納 通知

由緒沿革 開基養珠夫人、開山大仙院日耀上人、創立元和元年五月。

圓久寺

身延末、素、一九

長泉村中土狩 有賀 日官

圓教寺

玉澤末、平、三〇

大平村大平 原 圓信

由緒沿革 開山日遺上人、創立承應元年五月十五日。

静岡縣 第二部 (伊豆組)

田方郡

本覺寺

身延末、中末一二、緋、一二

三島町 蓮實 日昇

由緒沿革 常在山と號す、開山日出上人の遺跡にして上人は日出台隱記の著者として名あり、創立應永三十一年四月。

本覺坊

静岡三島本覺寺末、平、無等

三島町六反田

由緒沿革 開山行學院日朝上人、創立嘉吉元年六月。

感應坊

静岡三島本覺寺末、平、無等

三島町 遠山 完薩

由緒沿革 開基上杉勝造、開山大淨坊日軌上人、創立享徳二年九月。

本行坊

静岡三島本覺寺末、平、無等

三島町

圓明寺

大光山末、緋、二四

三島町 松山 靜全

由緒沿革 廣澄山と號す、初め三位僧都日靜上人、貞和元年本願寺を京師に移す途次此地に宿し給ふ。後文明十一年庚午三月廿八日、開山圓明院日澄上人、小田原遊化の砌當地に來る、時に國分寺の住僧法印學融、其資學乘と共に歸伏して弟子となり、遂に一字を創し今の寺山號を移す。而して靜師の舊蹟たるを以て靜師を開基に仰ぐ。菰山本立寺は開山の創する所なり。

由緒沿革 開山本法院日敬上人、創立寛正二年九月。

本淨寺

本覺寺末、平、二五

長泉村南一色 石和 海圓

由緒沿革 開山日晴上人、創立承應三年八月一日。

本向寺

本覺寺末、平、無等

長泉村下土狩

由緒沿革 開山日門上人、創立天正二年二月。

法善寺

本遠寺末、平、二六

長泉村竹原

由緒沿革 開山日嚴上人、創立元祿十年。

法華寺

身延末、紫、二〇

浮島村平沼 瓜田 日脚

由緒沿革 開山日清上人、創立元龜二年。

鹽滿寺

妙海寺末、平、二四

楊原村下香貫 岩崎 遵宗

由緒沿革 開基後藤修理、開山日用上人、創立弘治二年十月。

妙蓮寺

妙覺寺末、平、三〇

楊原村鹽滿 横山 政朝

由緒沿革 開山日英上人、創立至徳元年五月五日。

蓮窓寺

妙海寺末、平、二四

片濱村松長 兼石和 海圓

由緒沿革 開山日根上人、創立寛文二年三月。

智光院

本遠寺末、素、無等

片濱村大諏訪

由緒沿革 開山日剛上人、創立寛保三年二月。

榮昌寺

玉澤末、平、二四

片濱村大諏訪 白武 孝隆

由緒沿革 開山日寶上人。

妙行寺

玉澤末、中末一、紫、二〇

三島町 室伏 日定

由緒沿革 寶塔山と號す、開山日國上人、創立貞和五年四月。

大仙寺

玉澤末、平、二五

川西村小阪 永沼 良圓

由緒沿革 覺性山と號す、開基大川武兵衛、開山玉澤十八世日尊上人、創立寛永十三年四月。

最明寺

静岡三島長寺末、平、二四

川西村長岡 兼後藤 遼雄

由緒沿革 東光山と號す、開基北條相模守時頼、創立弘長三年九月。

宗徳寺

身延末、素、一四

川西村長岡 後藤 遼雄

由緒沿革 長岡山と號す、開基渡邊重三郎、開山日鏡上人、創立萬治二年。

妙長寺

中山末、平、無等

川西村

由緒沿革 長徳山と號す、開山日信上人、創立貞亨五年。

住本寺

玉澤末、平、無等

内浦村長濱 稻葉 眞海

由緒沿革 長峯山と號す、開山日喜上人、創立元亨元年。

榮源寺

静岡清雲寺末、素、二四

土肥村 新間 智海

由緒沿革 妙高山と號す、開山日調上人、創立文龜元四年三月。

吉祥坊

静岡榮源寺末、平、無等

土肥村小土肥

由緒沿革 妙高山と號す、開山日調上人、創立文龜元四年三月。

清雲寺

池上末、中末五、緋、二〇

土肥村土肥

由緒沿革 池上末、中末五、緋、二〇

由緒沿革 一樂山と號す、開基富永山城守、開山日然上人、創立天正元年。

大乘坊 静岡清雲寺末 土肥村土肥

大蓮坊 静岡清雲寺末 土肥村土肥

蓬華寺 池上末 戸田村戸田

由緒沿革 妙法山と號す、開基四條金吾母妙法尼尊儀、開山日調上人。

三光寺 池上末 戸田村戸田 勝呂 淵靜

由緒沿革 法性山と號す、開基勝呂淡路守、開山日位上人、創立永祿十二年。

本善寺 本立寺末 戸田村戸田 齋藤 學靜

由緒沿革 首榮山と號す、開山日進上人、創立寛永十五年三月。

長谷寺 本土寺末 戸田村戸田 兼笹津 海靜

由緒沿革 本土山と號す、開山日弘上人、創立寛永年中。

妙田寺 静岡清雲寺末 戸田村井田 西山 德靜

由緒沿革 井立山と號す、開山日調上人、創立元龜年中。

蓮久寺 玉澤末 中郷村御園

由緒沿革 延壽山と號す、開山龜住院日久上人。

本山 妙法華寺 六等 錦田村 小川 日貞

法法華經五卷、其の他宗祖御銘土佐大藏筆繪像本尊、宗祖御裏書與師筆安國論、昭上御作祖像、宗祖御肉齒等を藏し、現に四十四ヶ本山の一たり(伊豆靈跡見)。

覺林院 玉澤末 錦田村玉澤 稻村 政秀

由緒沿革 開基太田新六郎、開山貞應院日達上人、創立元和七年。

唯園坊 玉澤末 錦田村玉澤 青木 政祥

由緒沿革 開基大川五良兵衛、開山隆源院日達上人、創立承應年中。

妙泉寺 玉澤末 錦田村谷田 金原 容鶴

由緒沿革 梅夏山と號す、開山日供上人、創立慶長二年三月。

受法寺 玉澤末 錦田村谷田 齋藤 見是

由緒沿革 高榮山と號す、開山受法院日賀上人、創立正保元年十一月八日。

妙隆寺 玉澤末 錦田村谷田 鈴木 蒼見

由緒沿革 宗榮山と號す、開山性住院日相上人、創立寛政十年十一月十一日。

法善寺 玉澤末 錦田村市ノ山 室伏 見清

由緒沿革 境妙山と號す、開山境妙院日宗上人、創立元祿六年三月。

通猛寺 玉澤末 錦田村竹倉 瓜島 智寛

由緒沿革 經王山と號す、開山大成辨阿闍梨日昭上人、創立弘安七年十二月。初め日昭上人、弘安五年十二月、鎌倉の海濱、濱土(玉澤)の地に創立し弘延山法華寺と名く。十二世日弘上人(憲實の孫)十三世日南上人(憲政の子)は共に上杉氏の出なり、會々上杉氏北條氏と戦うて利あらず、從て弘上は鎌倉を去るの已むなきに到り、寺を實相院日近に託し、寺寶を駿河殿東郡沼津宿妙覺寺及伊豆君津郡三島宿妙行寺に分護せしめ、南上を具して越後三島郡村田妙法寺に徒住す、妙法寺は開祖昭上の實、日成の開基なり。即ち天文七年とす。

然るに弘上は永祿三庚申年十二月十六日既に寂し、次で上杉憲政(南上の父)亦景勝に敗れて景虎と共に自殺し、南上復濱土に遷住するの頼を失し、文祿二年癸巳遂に職を日苞に附屬して隱退す。

十三世苞上、乃ち南上と議し、文祿三年甲午、三世運上の開ける伊豆田方郡賀殿妙國寺に轉居し、初めて靈寶を收め本堂を建立す。十四世日産上人、現地の幽邃を愛し此に移らんことを謀り、十五世日達上人、公廳に開申し舊名「八木澤」を昭上創立の地名たる現稱「玉澤」に改稱し、十六世日亮上人の元和七年辛酉年十一月、賀殿より堂宇を移轉し、本院支院悉く備はり、十八世日達上人に及て寛永二乙丑年九月二日、將軍秀忠公朱印を寄せ匣らすに土障を以て野火を防ぎ、隸戸十一戸を設けて緩急に便せしめ、以て本山の名實を完からしむ。境内一萬七百三坪、本堂祖師堂寶藏經藏等輪奐の美を極め、靈寶に、宗祖傳法大本尊(十二枚繼)、同御祈禱本尊(八枚繼)、撰時抄五卷、兄弟抄一卷、

由緒沿革 八王子山と號す、開山通猛院日退上人、創立貞享二年三月。

松雲寺 玉澤末 錦田村三ツ谷 中山 堯逸

由緒沿革 覺源山と號す、開山松雲院日明上人、創立明暦二年三月。

眞立寺 本遠寺末 錦田村川原ヶ谷 市川 遵孝

由緒沿革 高現山と號す、開山一乘院日住上人、創立元和元年三月廿九日。

蓮清寺 静岡妙行寺末 錦田村川原ヶ谷 杉山 見隆

由緒沿革 寶知山と號す、開山一兩院日旭上人、創立寛政二年三月一日。

本禪寺 身延末 江間村南江間 富藤 日德

由緒沿革 玉陽山と號す、開基後藤但馬、開山日邊上人、創立寛永三年三月。

遠成寺 身延末 北上村幸原 田中 海珠

由緒沿革 大幸山と號す、開山通心院日境上人、創立寛永十年五月。

妙本寺 玉澤末、中末八 中狩野村雲 竹内 遼周

由緒沿革 雲金山と號す、開山日祐上人、創立曆應二年。

高臺寺 静岡妙本寺末 中狩野村雲金

由緒沿革 向富山と號す、開山日蓮上人。

妙光寺 靜岡妙本寺末 中狩野村佐野 杉山 眞淨

正善寺 靜岡妙本寺末 中狩野村佐野 須笠 寬定

本陽寺 靜岡妙本寺末 中狩野村佐野 小宮山實成

法林寺 靜岡妙本寺末 中狩野村谷

妙國寺 玉澤末 下狩野村 瀧川 見徳

龜命寺 靜岡妙本寺末 下狩野村大平 山田 琢順

本道寺 本立寺末 北狩野村浮橋 大場 日堂

善名寺 靜岡妙本寺末 上狩野村吉奈 黒田 海心

實成寺 本立寺末 菲山村原木 小川 如福

妙正寺 池上末 菲山村寺家 船川 謙讓

上行寺 本立寺末 菲山村寺家兼安倉 勝融

妙藏寺 靜岡清雲寺末、小末三 西豆村 家所 謙立

學圓坊 靜岡妙藏寺末 西豆村八木澤 小林 惠林

圓乘坊 靜岡妙藏寺末 西豆村八木澤

本覺坊 靜岡妙藏寺末 西豆村八木澤

龍泉寺 靜岡清雲寺末 西豆村小下田 高橋 義要

六萬部寺 身延末 函南村 渡邊 寬順

本山 本立寺 十三寺 菲山村菲山 万年 素雲

常修坊 本立寺末 菲山村菲山 植田 英明

蓮華寺 本立寺末 菲山村菲山 杉本 遵整

蓮長寺 靜岡三島本覺寺末小末二 菲山村 安倉 勝融

忠正坊 本立寺末 菲山村金谷 今井 義寶

正應院 本立寺末 菲山村金谷

覺如坊 本立寺末 菲山村金谷 市川 隆常

妙法寺 靜岡妙海寺末 函南村肥田 小池 歡頌

靈光寺 本立寺末 函南村肥田 山崎 海宣

妙藏寺 靜岡三島本覺寺末 函南村間宮 市川 榮智

慶音寺 本立寺末 函南村仁田 西島 遵甫

龍源寺 靜岡蓮長寺末 田中村大仁 梶山 海尹

本山 佛現寺 十七寺 伊東町 水村 遵祥

妙昭寺 玉澤末 伊東町久須美

由緒沿革 慧日山と號す、開山日昭上人、創立元亨三年三月八日(伊豆靈跡見)。

法船寺 池上末 素、等外 伊東町久須美 波木井寛二

由緒沿革 長津山と號す、開山日現上人。

大行寺 身延末 素、二四 伊東町久須美 依田 智鏡

由緒沿革 伊東山と號す、開山日向上人。

妙法寺 中山末 素、二七 伊東町久須美 金子 孝薩

由緒沿革 興英山と號す、開山日英上人、創立正和三年五月。

佛光寺 大光山末 平、一八 伊東町久須美 濱野 海辨

由緒沿革 開山日預上人、創立弘長三年二月十六日(伊豆靈跡見)。

朝光寺 身延末、中末一 紫、一九 伊東町岡 阿武野光長

由緒沿革 海上山と號す、開基勝部甚左衛門、開山日形上人、創立天文年間。

慈現坊 靜岡朝光寺末 平、二九 伊東町湯川 青柳 寛一

由緒沿革 開基稻葉市左衛門、開山日形上人、創立天文年中。

法住寺 玉澤末 素、一九 下大見村 石川 日弘

由緒沿革 白岩山と號す、開山日圓上人、創立永正元年。

一乘寺 玉澤末 素、二三 下大見村 上白岩 須田 遵英

由緒沿革 平等山と號す、開山日運上人、創立慶長年中。

師堂を再建す。寺寶に宗祖御自作御像等を安置す。檀方に信長公の末孫渡邊彦左衛門あり。

長福寺 玉澤末 平、二九 西浦村木負 奥村 庭祥

由緒沿革 昌榮山と號す、開基相磯半左衛門、開山日如上人、創立慶長年中。

▲賀茂郡

本覺寺 中山末、中末三 紫、二四 下田町 新聞 日透

由緒沿革 龜福山と號す、應永十二年創立、初め眞言宗なりしが、開山人僧都日英上人に歸伏して本化の道場となる。寺寶に宗祖御本尊、村靈御所祈願所公許狀等あり、城山城趾に近く、吉田松陰先生の舊跡たる柿崎は、こゝより一里なり。

了仙寺 身延末 緋、二三 下田町 清水 歸一

由緒沿革 法順山と號す、開基今村傳四郎政長、開山行學院日朝上人、創立寛永十二年。

法雲寺 靜岡清雲寺末 素、二三 宇久須村 岩田 淵信

由緒沿革 峻嶽山と號す、開山日運上人、創立元祿九年十月。

乘安寺 身延末 平、等外 下河津村谷津 木谷 要靜

由緒沿革 長運山と號す、開基大久保石見守、石藏長右衛門、原忠右衛門、開山心性院日遠上人、創立慶長十八年四月。

法蓮寺 玉澤末 素、二〇 上大見村 青木 見孝

由緒沿革 一乘山と號す、開山日眞上人。

妙延寺 靜岡妙見寺末 平、三〇 上大見村原保 佐野 歡長

由緒沿革 久花山と號す、開山日行上人、創立文明元年。

妙見寺 玉澤末、中末一 紫、二〇 中大見村梅木 山田 良雄

由緒沿革 梅洞山と號す、初め曹洞宗に屬し梅洞院と云ふ、後本宗に歸す。開山玉桂塚公和尚(梅洞院日公上人明應九年二月五日寂)、開基佐藤四郎兵衛吉廣、文明十四年八月八日創立。寺は伊豆參拜の沿道にあり、天城の山を後に、梅木の流を前にして風光瀟灑なり。

富西寺 靜岡三島本覺寺末 紫、一九 多賀村下 望月 歡厚

由緒沿革 最榮山と號す、開基富岡丹後、開山日儀上人、創立文明六年九月。

朝善寺 靜岡三島本覺寺末 紫、二三 宇佐美村 内藤 歡格

由緒沿革 妙秀山と號す、開山日朝上人。

長延寺 靜岡三島本覺寺末 素、二五 網代村 池田 玄東

由緒沿革 廣榮山と號す、開山日納上人、創立寛正三年六月十五日。

大乘寺 靜岡三島本覺寺末 素、二三 熱海町 土屋 貫泰

由緒沿革 通廣山と號す、開山白蓮阿闍梨日興上人、創立弘長二年二月六日、明治卅五年十二月祝融の災あり、同四十三年臘

成就寺 身延末 平、等外 稻取村 山本 慈海

由緒沿革 如意山と號す、開基齋藤武右衛門、富岡與五右衛門、開山智見院日運上人、創立寛永十七年。

蓮華寺 靜岡下田本覺寺末 平、三〇 稻梓村 大江田勝忠

由緒沿革 玉光山と號す、開山良承院日淳上人、創立明暦元年。

●靜岡縣 第三部 (遠江組)

▲濱松市

法雲寺 身延末、中末一 緋、一五 傳馬町 壽美 日住

由緒沿革 開山日昌上人、創立文龜元年。

▲小笠郡

正願寺 身延末、中末一 紫、二〇 掛川町仁藤 榊原 玄柳

由緒沿革 開基朝比奈備中守、開山寶聚院日傳上人、創立永正十癸酉年十月。

滿勝寺 本滿寺末、中末六 緋、一五 中村 松下 貞通

由緒沿革 開基雜賀肥後守吉長、開山玉洞妙院日秀上人、創立文安三丙寅年三月。

眞要坊 靜岡滿勝寺末 平、二九 中村

由緒沿革 開基眞要坊日光大徳、開山尊乘院日進上人、創立元

和三丁巳年九月。

受源坊

静岡満勝寺末 平、二九

中村 桑原 通辨

由緒沿革 開山受源院日理上人、創立天正十九辛卯年五月。

常圓坊

静岡本勝寺末 平、等外

中村毛森

由緒沿革 開基深川才兵衛、開山常圓院日眞上人、創立文祿元壬辰年十一月。

本勝寺

大光山末、中末六 紫、二〇

土方村川 志村 本蓮

由緒沿革 開基小笠原與八郎、開山蓮入院日受上人、創立貞和元乙酉年三月。

東林坊

静岡本勝寺末 平、等外

土方村川久保

由緒沿革 開山東林院日永上人、創立天正十六戊子年三月。

本源寺

身延末 紫、二〇

横須賀町西大淵 町野 日温

由緒沿革 開基井上河内守正利、開山寂靜院日賢上人、創立寛永八辛未年八月。

妙龍寺

大光山末 紫、二〇

横須賀町西大淵 杉田 寶全

由緒沿革 開基井上右衛門清宗、開山惠照院日陽上人、創立天正十一癸未年四月。

善立寺

身延末 平、等外

横須賀町西大淵 岡部 貞淳

由緒沿革 開基本多六郎助久、開山壽仙院日得上人、創立元和三丁巳年四月。

由緒沿革 開基是性院日久、開山仲連院日及上人、創立天正二甲戌年三月。

▲榛原郡

長光寺

身延末 緋、一五

金谷町 宮杉 湛康

由緒沿革 開基慈善院日悦、開山智見院日暹上人、創立正保元甲申年三月。

法光寺

身延末 平、二二

川崎町細江 小屋 舜正

由緒沿革 開山顯是院日要上人、創立元和三丁巳年二月。

慶住寺

静岡満勝寺末 平、二五

川崎町静波 野口 亮山

由緒沿革 開山慶住院日國上人、創立天正十壬午年四月。

本壽寺

静岡満勝寺末 平、二五

吉田村神戸 柏木 惠静

由緒沿革 開山本壽院日泰上人、創立慶安二己丑年七月。

淨心寺

静岡満勝寺末 素、二三

相良町福岡 平岡 静山

由緒沿革 開基西尾太郎兵衛、開山一心院日味上人、創立寛永元甲子年三月。

法華寺

静岡本勝寺末 平、二五

相良町波津 佐藤 玳徳

由緒沿革 開基大澤源重、大澤助八、開山清運院日徳上人、創立文化三丙寅年九月。

▲濱名郡

日蓮宗寺院 静岡縣第三部 榛原郡 濱名郡

宗心寺

静岡東本徳寺末 平、二四

大池村大池 志村 本學

由緒沿革 開山好聖院日教上人、創立元和三甲寅年五月。

▲磐田郡

妙日寺

身延末 紫、二〇

久努村廣岡 磯部 貞孝

由緒沿革 開基妙日尊儀、開山大法阿闍梨日善上人、創立正慶元壬申年五月。

妙満寺

静岡妙恩寺末 平、二七

野部村上野部 伊藤 本壽

由緒沿革 開山圓詔院日閑上人、創立寛永十七庚辰年八月。

妙雲寺

静岡妙恩寺末 平、二一

二俣町鹿島 須田 賢澄

由緒沿革 開山成就院日豪上人、創立元龜二年三月五日。

長石寺

静岡妙恩寺末 平、二八

下阿多古村 青谷

由緒沿革 開山義光院日空上人、創立元祿元戊辰年四月八日。

智教院

静岡法雲寺末 平、二八

掛塚町白羽 鈴木 智精

由緒沿革 開山慧性院日能上人、創立元祿元年。

本性寺

西本徳寺末 平、二二

梅原村上ノ巳 深澤 韻誠

由緒沿革 開山久成院日暹上人、創立寛永三丙寅年。

▲周智郡

本立寺

静岡正顯寺末 平、二一

飯田村 藤田 日觀

東本徳寺

身延末、中末四 平、二二

篠原村馬 佐野 春是

由緒沿革 開山行學院日朝上人、創立永徳元辛酉年九月十二日。

西本徳寺

身延末、中末三 平、二二

篠原村馬 渡邊 賢雄

由緒沿革 開山行學院日朝上人、創立永徳元辛酉年九月。

長榮寺

静岡西本徳寺末 平、二二

吉野村須ノ 神原 淳明

由緒沿革 開山本住院日陽上人、創立正保二丙戌年五月。

法光寺

静岡西本徳寺末 平、二八

富塚村段子 山本 玄珠

由緒沿革 開山性尊院日悟上人、創立明暦四戊戌年二月一日。

本誠寺

静岡東本徳寺末 平、二五

天神町村福 敷田 本能

由緒沿革 開山深信院日行上人、創立元文三年八月。

本蓮寺

静岡西本徳寺末 平、二二

可美村東明 渡邊 蓮清

由緒沿革 開山一心庵日觀上人、創立延享四卯年三月廿三日。

妙恩寺

身延末、中末八 緋、一五

和田村橋羽 北原 觀朗

由緒沿革 長光山と號す、開山日像菩薩、開基金原法橋左近は淨蓮と號し、御在世中「淨蓮房御書」、及「轉重經受書」を太田曾谷二氏と共に賜ひたる宗祖の直傳にして、現に同家廿八世の孫金原鐵平氏當寺の檀方たり。慶長元辛亥年五月八日當寺を創立し、二祖は像師の御姊妙恩法尼嗣ぎ、日豪上人中興す。當國宗

門最初の靈場とす。寺寶に法橋へ授與の本尊等を藏す。

妙教寺 静岡妙恩寺末 北濱村寺島 芝田 春光

由緒沿革 開山了雲院日等上人、創立寛永三丙寅年五月。

妙蓮寺 静岡妙恩寺末 小野口村平口 山澤 英正

由緒沿革 開山義光院日空上人、創立慶安三亥年三月八日。

本乘寺 静岡妙恩寺末 三方原村 青島 淳雄

由緒沿革 開山本立坊日泰上人、創立寛文十庚戌年四月廿八日。

正福寺 静岡東本徳寺末 曳馬村一本 兼柳原 淳明

由緒沿革 開山日仙上人、創立弘治元乙卯年八月十二日。

▲引佐郡

恩光寺 静岡妙恩寺末 龜玉村宮口 山澤 照運

由緒沿革 開山寶案院日傳上人。

◎愛知縣 第一部 (尾張組)

▲名古屋市東區

大光寺 身延末、中末一 鍋屋町 水野 榮遠

由緒沿革 妙瑞山と號す、開山本山十三世日傳上人、創立天文年間。初め上州名和村にあり、本妙寺と稱す、二代日應上人同州鷹橋へ移し今の寺山號に改む、後甲州より更に尾州清洲を経て現地に移轉す。天明年中丙丁子の災あり、諸堂烏有に歸し、爾來百數十年、假建築なりしも、明治四十一年十二月現住本堂を再建起工し、大正三年五月上棟並入佛會を執行し、寺觀大に整備す。

了義院 大光山末 大曾根町 北川 通觀

由緒沿革 妙見山と號す、開基佐々傳兵衛、開山日法上人、創立寛政八年八月三日。

本覺寺 妙傳寺末 大曾根町 荒尾 泰溫

由緒沿革 照瑞山と號す、開基一地院若狹卿日惠上人、開山惠性院日相上人、永正十二年九月十三日江州に創立す。其後甲州に移り、更に尾州清洲城内に轉ず、當時妙子庵と云ふ。然るに城閣轉地の際、當町坂上に本法寺と號して移る。開山日相上人は本山日令の資、本法寺住職中、祖師の靈夢を感じて現地に移轉し、現寺號に改めたりと云ふ。寺寶に日法上人作宗祖尊像、鬼子母神、四天王等を藏す。

情妙寺 身延末 筒井町 中山 潮鐘

由緒沿革 源頂山と號す、開基徳川義直卿、開山等覺院日宮上人、創立慶安二年五月、寺寶に宗祖眞筆寶塔品斷片、日向上人作宗祖石像、傳教大師作大黒天像等を藏す。

法華寺 大光山末、中末四 東小川町 林 風宣

由緒沿革 啓運山と號す、開山法華院日授上人。

照遠寺 大光山末 小川町 近藤 鳳利

由緒沿革 妙長山と號し、初め中島郡下津郷に在り、文明十戊戌年四月、開基山田又太郎源長親。開山は長親の第二子日繼上人なり。長親の父又兵衛明長、應仁元丁亥年二月、京師に戦死す、法號春月照遠と云ふ。依て其の菩提のため父の持佛を本尊として建立し、法華堂又は題目堂と號せり、後長親の妹女、夫の死後比丘尼となり、父、明長の諱を取て自ら法名を明長と稱し、父夫兩靈の菩提を弔ひ、堂側に閉居し、開山の遷化後、宗祖の尊像を感得して本尊とす。享祿四辛卯年三月、中興開山久遠院日珍上人、祖師堂を再建し、青遠山妙長寺と號す。永祿二己未年正月、織田信長公、御堂を修營し善美を盡す。天正十一癸未年九月、公來遊して「明長の父の寺」なる縁記を聞き、「妙長父寺」と改められ、同十四年丙戌三月、信雄公の時、清洲に移轉し、その後現地に移轉して現寺山號ハ稱す。

本住寺 池上末 小川町 關 智運

由緒沿革 長壽山と號し初め武藏荏原郡六郷の地にあり、開基

六郷の城主行方修理大夫並妹尾三河守、開山本山十一世佛壽院日現上人、創立永祿三年七月、三世正法院日圓上人、慶長二年四月當地清洲城下の住人加藤四郎右衛門尉(圓師の重縁)と謀りて當地に移轉再建す、四世性徳院日現上人の寛永元年五月現地に移轉し、爾來師弟相續して二十四世たり。寺寶に自鏡願滿の宗祖等を安置す。

眞柳寺 愛知法華寺末 小川町 林 要心

由緒沿革 惠眼山と號す、開山眞柳院日動上人、創立慶長十二年四月。

本要寺 大光山末 小川町 高村 行惠

由緒沿革 常英山と號す、開基織田備中守敬定公、開山日肝上人、創立永享十年七月四日。

大法寺 大光山末 小川町 牧野 博雅

由緒沿革 永陽山と號す、開山日承上人、創立享徳二年四月八日。

本立寺 大光山末 小川町 祖父江圓教

由緒沿革 佛力山と號す、開山圓藏院日喜上人、慶長十四年二月清洲より現地に移轉す。

蓮勝寺 大光山末 小川町 小崎 日仁

由緒沿革 森住山と號す、開山森住院日勝上人、創立元和四年二月。

▲名古屋市中區

圓頓寺 立本寺末 橋詰町 平賀 寶榮

由緒沿革 長久山と號す、開山普敬院日言上人、創立承應三年五月十二日、初め普敬院と號し、明暦二年本山廿世日言上人より本尊を受け、爾來今の寺山號を稱す。二世玄收院日道上人、祈禱を以て藩主の歸依厚く、天主閣の棟木を得て一木三體の鬼子母神像を刻し、當山に安置す(他は當市木住寺及妙住寺にあり。當初現地より約三丁南にあり、第六世日養上人の時、こゝに移轉す。寺寶に前記尊像の外宗祖御消息の斷片等を藏す。

▲名古屋市中區

妙蓮寺 小湊末、中末八 南小川町 武田 潮瑞

由緒沿革 妙日山と號す、當山は小湊と兩山一寺の故に妙日妙蓮上人を開山と仰ぐ、開基日淨上人は當地池上末本住寺六世なり、所以あり慶安二年當寺を創立す。寺寶に妙蓮尊尼より善日丸への御文あり。

眞知院 愛知妙蓮寺末 南小川町 大橋 潮顯

由緒沿革 妙日山と號す、開基觀照院日淨上人、開山眞知院日體上人、創立寛文元年六月十日、享保五年類焼し、妙蓮院日湧上人、天保五年再建す。

本源院 愛知妙蓮寺末 南小川町

妙泉寺 大光山末 小川町 青山 友篤

由緒沿革 大光山と號す、開山玉泉院日相上人、創立天正十五年三月一日。

壽元寺 大光山末 小川町 長谷川鳳雛

由緒沿革 詮量山と號す、開山日奉上人、創立元和八年四月二十一日。

本正寺 大光山末 小川町 青木 鳳憲

由緒沿革 等覺山と號す、開山日仙上人、創立永祿二年二月。

本成寺 大光山末 小川町 佐治 保壽

由緒沿革 壽延山と號す、開基岡村法信院、開山壽量院日政上人、創立萬治三年四月二十二日。

蓮華寺 妙顯寺末 小川町 石田 鳳順

由緒沿革 榮陽山と號す、開山日智上人、創立天正十四年四月一日。

法輪寺 京妙顯寺末 小川町 北村 行學

由緒沿革 一乘山と號す、開基倉田新十郎、開山日藝上人、創立慶長十七年三月。

淨蓮寺 京妙覺寺末 小川町 谷口 智闡

由緒沿革 超立山と號す、開山慈眼院日超上人、創立天正十八年五月五日。

由緒沿革 妙日山と號す、開山日通上人、創立寛文元年五月十三日。

東光寺 龍口寺末 南伏見町 野間 潮貞

由緒沿革 開基東光院日眞上人、創立天正九年四月。

久遠寺 瑞龍寺末 廣井町 淺井 妙貞

平、二九

聖運寺 小湊末、中末二 上堀川町 尾崎 友宣

由緒沿革 日秀山と號す、開基徳川高原尼、開山覺林院日眞上人、創立寛永五年十一月二十八日。

首題寺 小湊末 東橋町 服部 日題

由緒沿革 法華山と號す、初め眞如山玄乘寺と云ひ市中須賀町(舊稱)にあり、玄乘院日眞上人の開創する所、延寶三年市内南小川町妙蓮寺末となる。貞享三年三月、二世慈性院日眞上人、現地に移轉し、同四年五月再建落成す。天明六年冬九世齊心院日整上人の時小湊末となり聖跡に列す。文政年間十世大心院日悟上人庫裡再建。天保十三年六月、十二世大悟院日法上人、現寺號に改む、十五世鏡心院日諦上人、明治十一年より同廿二年に到るまで大に寺門を經營し、現住十六世に及ぶ益々盛なり。

妙善寺 京妙顯寺末 橋町 朝比奈澄徹

由緒沿革 七面山と號す、開基中島長興、開山中道院日春上人、創立延寶八年五月。

顯性寺 愛知妙蓮寺末 西脇町 渡邊 潮淳

紫、二〇

由緒沿革 法住山と號す、開山法住院日案上人、創立寛永二年九月。

圖立寺 愛知妙蓮寺末 平、二四 古渡町 水野 日地

由緒沿革 中正山と號す、開山圓龍院上人、創立元和五年八月二日。

休玄寺 小湊末 紫、一六 古渡町 服部 潮辨

由緒沿革 壽量山と號す、開山壽量院日悟上人、創立元和五年二月十五日。

妙住寺 池上末 紫、一四 古渡町

由緒沿革 長壽山と號す、開山玄收院日道上人、創立天和三年八月十七日。

▲名古屋市南區

本遠寺 大光山末、中末八 熱田田中町 常川 日鼎

由緒沿革 妙光山と號す、開基竹田孫右衛門、開山九老日澄上人、創立延暦十二年三月。初め延暦年中、桓武帝の勅命により傳教大師熱田神社の境内に一堂を建立し、法華堂と名け、釋尊像を謹刻して安置す。建長五年宗祖京都遊學の砌り、歸途此堂に立寄らせ給ふ。宗祖滅後四十年、元亨元年開山八十一歳、初めて當地に傳道するや、熱田宮司、高德を慕ひ宗祖の來由を語りて尊像と共に此堂を獻す。即ち現今の「釋迦堂」これにして、明治十九年六月、内務省は保存金若干を下賜せらる。此他本堂

祖師堂鐘樓二王門客殿庫裡土藏等、寺觀備はる。寺寶に宗祖開山へ授與の本尊、開山水尊、信長公香爐等を藏し、東三丁にして熱田神宮あり、北に白鳥の御陵、西南二丁に熱田魚市場あり。市内電車は交通を自由にす。

榮立寺 愛知妙蓮寺末 紫、二〇 熱田新宮坂町 川瀬 潮進

由緒沿革 清正山と號す、初め布袋山永隆寺と云ひ、曹洞宗金隆寺末たり。文政十二年改宗して現寺山號を稱す。開基寛弘院日宏上人、開山遠亮院日榮上人、再興主感月尼はもと鳥原の遊女、當地の中村七兵衛に落籍せらるゝや、七兵衛の妻女爲めに發狂して死す。尼深くこれを感じて遂に出家し、當山を再興す。勸請の清正公像は尼の書寫せる法華經を以て成り、頭と手は嫗客の寄附に係ると傳ふ。

▲愛知郡

妙行寺 大光山末、中末一 中村上中 加藤 日到

由緒沿革 正悅山と號し、もと眞言を宗とす、永仁二年三月、開山日像上人の時改宗す。天文年中、日勢上人、今の寺山號に改む。慶長十五年、清正公、東照君の命により當國御築城の砌り、その餘材を以て公御生誕の地なる現地に移轉再興す。寺寶に清正公像及御筆並高僧遺師本尊等あり。

常泉寺 妙勝寺末 平、二四 中村上中 林 靜然

由緒沿革 太關山と號す、開山圓住院日住上人、創立慶長十一年四月。

定徳寺 大光山末 緋、一二 中村日比津 桒々垣日壽

由緒沿革 長秋山と號し初め眞言に屬す。勸請の傳教大師作天照、八幡、春日の三體は、土津村(現今の日比津村)の城主野尻下總守の感得する所、宗祖弘長元年二月、同家御一泊の砌の御開眼とす、其後、元徳二年、日像上人の資、近衛關白經忠公の御子嵯峨大覺寺の宮、開山日像上人を教化し、その請により自ら三十番神を開眼安置す、南朝の正平二丁亥の年寺亦本化の道場に改り、寺運興隆せしが、明治廿四年十月震災あり、現住經營遂に舊觀に復せり。

妙聽寺 玉澤末 平、二三 中村日比津 古橋 本善

由緒沿革 即供山と號す、開山日賀上人、創立天正四年。

長傳寺 愛知妙蓮寺末 紫、一九 荒子村法華 長岡 潮觀

由緒沿革 學立山と號す、開山本學院日繼上人。

妙傳寺 愛知本遠寺末 平、二五 荒子村法華 伊藤 友清

由緒沿革 清長山と號す、開山九老日澄上人、創立正和三年十月、初め元亨元年開山の當地に來り、熱田宮司の請により法華堂に入るや、村民其の徳を慕うて三十番神を勸請し、「番神堂」を創建す。時に妙典なる比丘尼あり、堂を經營す。慶安年中、了仙院日量上人より男僧寺となり、妙典寺と稱す(備前守への届書に典を傳と誤記以來妙傳寺となる)。初め舉村、悉く法華宗なりしを以て法華村の稱あり、現今他宗雜入せるも尙、當寺門前の寶塔は古のまゝに村有たり。寺寶に琳寶法眼の涅槃像、宗祖

作大黒天等あり

善進寺 中山末 紫、二四 呼續村彌富 中尾 英亮

由緒沿革 開基善藏坊日住上人、創立寛文元年三月。

▲丹羽郡

妙海寺 本法寺末、中末一 犬山町 伊藤 耀見

由緒沿革 龍運山と號す、開山日澄上人、創立文龜二年三月。

妙感寺 本法寺末 紫、二八 犬山町 服部 京一

由緒沿革 一翁山と號す、開山日用上人、創立寛永十八年。

本光寺 中山末 紫、二九 犬山町 服部 惠昌

由緒沿革 妙立山と號す、開山大僧都日長上人、創立文龜三年四月。

長遠寺 愛知本遠寺末 平、二〇 岩倉村八劔 佐藤 友運

由緒沿革 長要山と號す、開山日澄上人、創立永仁五年三月五日。

妙泰寺 身延末 紫、二五 西成村定水寺 熊澤 響遠

由緒沿革 永持山と號す、開山日性上人、創立明治四年。

妙法寺 京妙顯寺末 紫、二二 丹陽村九日市場 河村 賢秀

由緒沿革 一乘山と號す、開基大野金兵衛、開山日祝上人、創立萬治元年九月十五日。

▲葉栗郡

法蓮寺

身延末、中末一 木曾川町黒 加藤 貞信

由緒沿革 妙王山と號す、開山本山十一世日朝上人弟子法淨院日妙上人、創立明應元庚午年二月八日、寺内の妙見尊は創立の翌辛未の年開山の勸請する所にて、寺寶に宗祖御眞筆大黒天曼荼羅、同七字御消息朝師本尊(已上朝師より開山へ附屬)、花山院法皇御墨付一卷並和歌二首(已上十三世日相和尚へ下賜)等を藏し、黒田城主山内但馬守守豐公の香華寺として、山内侯爵家の歸信篤し。

▲中島郡

心證寺

京妙顯寺末 一宮町一宮 今泉 如山

由緒沿革 成等山と號す、開基淺井七左衛門、開山日慧上人、創立寛文元年九月廿六日。

眞淨寺

千葉妙潮寺末 一宮町一宮 佐々 戒俊

由緒沿革 初め千葉縣夷隅郡勝浦町松部にあり、明治四十一年三月二日現地に移轉す。

蓮照寺

京妙顯寺末 大和村苅安賀 桙々部日堂

由緒沿革 光榮山と號す、開基關戸要元、開山日慧上人、創立天正十二年一月十三日。

妙榮寺

京妙顯寺末 大和村苅安賀 祖父江淳光

由緒沿革 長久山と號す、開基松平薩摩守忠吉公、開山中老僧善學阿闍梨日妙上人隱棲の地なり。後清洲城主織田敏定公大に外護の力を寄せ、福島正則尾陽公等の歸依あつく、寺寶に宗祖本尊開山彫刻祖像等を安置す。

圓行坊

愛知實成寺末 甚目寺村中萱 安藤 榮超

由緒沿革 長久山と號す、開基玄中院日昌上人、開山圓乘院日意上人。

泉龍坊

愛知實成寺末 甚目寺村中萱 木全 智寶

由緒沿革 長久山と號す、開山寶塔院日肝上人。

正善坊

愛知實成寺末 甚目寺村中萱 淺井 照眞

由緒沿革 長久山と號す、開山正善院日秀上人。

地福寺

愛知妙勝寺末 甚目寺村本郷 牧野 眞要

由緒沿革 功徳山と號す、開山溪雲院日眞上人。

寶滿寺

愛知妙勝寺末 甚目寺村西今 丹羽 是教

由緒沿革 善通山と號す、開山日繁上人。

學成寺

身延末 富田村千音寺 服部 寛龍

由緒沿革 惠光山と號す、開山日意上人。

圓乘寺

身延末 富田村千音寺 横井 龍髯

由緒沿革 安住山と號す、開山日意上人。

妙延寺

身延末 津島町 太田 鳳巍

由緒沿革 了廣山と號す、開山禪定院日理上人。

由緒沿革 長慶山と號す、開山日以上人、創立天正八年十月十日。

國照寺

京妙顯寺末 大和村苅安賀 宇佐美圓昇

由緒沿革 鷲洞山と號す、開山日審上人。

等樹寺

京妙覺寺末 稻澤町下津

由緒沿革 了榮山と號す、開山日選上人。

西林寺

愛知妙勝寺末 稻澤町重本 長谷川正岳

由緒沿革 妙光山と號す、開山一乘院日儀上人。

妙福寺

愛知妙勝寺末 千代田村千代

由緒沿革 延壽山と號す、開山日喜上人。

▲海部郡

妙勝寺

大光山末、中末五 甚目寺村上 横井 通本

由緒沿革 長正山と號す、初め眞言に屬し持正山密勝寺と云ふ、開山善學院日妙上人は當時善妙と稱し住持たり。弘長元年宗祖の親化を蒙り改宗して弟子となり、名を改むると共に今の寺山號を賜ふ。爾來織田、豐臣、福島、徳川諸家の歸依篤く七堂伽藍完備す。天文年中兵燹に罹り、廿世日賢上人再建し、明治廿四年十月震災に倒壊し、現住復興して今日の隆盛を見る。寺寶に宗祖本尊及與紺入道書三幅對等を藏す。

實成寺

大光山末、中末五 甚目寺村中 石川 穰然

重正寺

愛知妙蓮寺末 南陽村茶屋新

由緒沿革 法輪山と號す、開山重正院日鷲上人、創立寛永十七年二月廿八日。

▲知多郡

完了坊

愛知妙恩寺末 半田町上半田

由緒沿革 明治二十七年靜岡縣長上郡和田村橋羽より現地に移轉す。

▲西春日井郡

眞通寺

愛知法蓮寺末 北里村小木 淺野 秀敬

由緒沿革 岸頂山と號す、開山日相上人。

妙法寺

池上末 北里村市之久田 浦上 鳳勇

由緒沿革 蓮光山と號す、開山日光上人。

妙遠寺

愛知本遠寺末 北里村小針 天野 寶琳

由緒沿革 本行山と號し元天台に屬す。開山九老僧日澄上人文保二年當地遊化の砌改宗す。境内に開山手植の名木冬青樹あり、六蓮華と稱するも現今一蓮華を存す。

妙禪寺

愛知聖運寺末 北里村多氣 吉田 友文

由緒沿革 了廣山と號す、開山禪定院日理上人。

長榮寺

愛知實成寺末 師勝村六ッ師 大野 泰秀

由緒沿革 延壽山と號す、開山日長上人、創立永徳二年。明治廿四年震災に罹り堂宇悉皆潰倒し、爾後經營して今日に及ぶ。

普門寺

愛知實成寺末 師勝村六ッ師 大脇 練秀

由緒沿革 慈雲山と號す、開山日長上人。

大乘寺

愛知本遠寺末 豐山村豊場 内田 友源

由緒沿革 法龍山と號す、開山日誌上人。

光遠寺

愛知聖運寺末 清洲町一場 青井 友滿

由緒沿革 清林山と號す、開山日昇上人、創立延寶二年十一月十七日。

▲東春日井郡

妙藏寺

愛知本遠寺末 小牧町南外山 林 寶研

由緒沿革 具徳山と號す、開山九老僧日澄上人、創立正中元年八月六日。

妙樂寺

愛知本遠寺末 小牧町南外山 則武 友禎

由緒沿革 誦經山と號す、開山日澄上人。

敬法寺

愛知妙蓮寺末 小牧町北外山 野崎 潮明

由緒沿革 澄文山と號す、開山眞如院日通上人。

妙林寺

愛知本遠寺末 小牧町北外入 八木橋壬善

由緒沿革 鹿新田

實相寺

愛知本遠寺末 小牧町西之島 大野 友實

由緒沿革 久王山と號す、開山日富上人。

◎愛知縣 第二部 (三河組)

▲岡崎市

善立寺

身延末、中末一 祐金町 後藤 潮順

由緒沿革 大光山と號す、開基日得上人、開山日護上人、創立應仁元年。

圓頓寺

身延末 久右衛門町 吉田 潮雲

由緒沿革 清信山と號す、開山日惣上人、創立正保二年。

▲額田郡

長滿寺

大光山末、中末一〇 幸田村深溝 渡邊 英明

由緒沿革 譽師山と號す、開基深溝の領主大連次郎左衛門尉、將軍家勤仕の砌、開山日靜上人に鎌倉松葉谷に謁し、受法改宗し、歸郷するや正慶元年十一月七日當寺を創立す。延寶八年十七世日登上人及大正四年現住本堂を改築し、郡内三大古刹の一と稱せらる。寺寶に宗祖及開山の曼荼羅並開山眞筆の三十番神勸請の棟札現存す。

松林坊

愛知長滿寺末 幸田村深溝 渡邊 英俊

淨圓寺

愛知長滿寺末 豐坂村逆川 濱島 榮秀

由緒沿革 開山淨圓院日理上人、創立元祿二年四月、廢寺明治六年、復舊明治十八年。

圓融寺

愛知長滿寺末 横須賀村宮迫 川口 近亮

由緒沿革 龍光山と號す、開山日詮上人、創立大永五年。

本緣寺

大光山末 横須賀村友國 齋藤 春勝

由緒沿革 王塚山と號す、開山日定上人、創立天文元年五月。

眞正寺

身延末 吉田村富好 鬼頭 潮泉

由緒沿革 青島山と號す、開山日澄上人、創立寶曆七年。

▲實飯郡

宗徳寺

愛知長滿寺末 形原村一色 船橋 大秀

由緒沿革 圓妙山と號す、開山眞乘院日春上人、創立永正十年、寺寶に宗祖御作鬼子母神を安置す。

正法寺

愛知長滿寺末 青木 英教

由緒沿革 妙經山と號す、開基加藤久太郎、開山日政上人、創立天正六年六月。

▲幡豆郡

長久寺

愛知長滿寺末 豐坂村上六栗 淺井 英通

由緒沿革 大寶山と號す、開山日性上人、創立天文二年三月。

岩松寺

愛知長滿寺末 豐坂村桐山 佐橋 浩然

由緒沿革 妙光山と號す、開山日出上人、創立正徳元年一月。

◎三重縣

▲津市

佛眼寺

妙國寺末、中末四、緋一九

伊豫町 幡上 教碩

由緒沿革 妙光山と號す、開基青龍院日儀、開山佛眼院日統上人、創立天正八年四月八日。

興善院

三重佛眼寺末、平、等外

伊豫町 幡上 日裕

由緒沿革 開山慈性院日報上人、創立寛文元年四月八日。

▲四日市市

本覺寺

身延末、平、二四

南町 伊藤 如諦

由緒沿革 開基水谷五郎六、創立明治十三年八月。

智玄寺

三重顯本寺末、素、二五

中新町 近藤 如教

由緒沿革 惠遠山と號す、開基伊勢國四日市平民渡部日務、開山惠遠院日遙上人、創立明治十一年四月二十四日。

▲宇治山田市

常明寺

身延末、平、二四

一ノ木町 大橋 憲孝

由緒沿革 高日山と號す、初め繼體帝の十六年壬寅、太神宮の託宣により七間四面の殿舎を建立し、神事を執行す。推古帝の十一年癸亥、上宮太子は御年三十二にて三七日間參籠あり、爾來

寺院となり、彌宜司務し、明治維新迄は叡山直轄の天台宗に屬し、神都三大寺の一たり。宗祖建長二庚戌年參籠一百日、兩大廟參拜、三大發誓の由緒あるにより明治廿七年新居日薩上人開山となりて再興す。寺寶に、宗祖御筆支題の石塔、後陽成帝宸翰を藏す(伊勢靈跡見)。

▲桑名郡

顯本寺

身延末、中末一、緋、二〇

桑名町萱町 伊藤 如音

由緒沿革 自榮山と號す、開山身延十二世圓教院日意上人、文明元年改宗す。

壽童寺

身延末、中末二、緋、二一

桑名町傳馬 山本 徳温

由緒沿革 妙延山と號しもと天台に屬す。開基加良洲崎城主樋口内藏助にして、開山圓教院日意上人は天台宗の魁楚、當寺に住職す、偶々靈感あり身延に到り、朝師を拜して改宗歸敬し、後身延十二世を嗣て大に教風を揚ぐ。後當寺を改宗せしめ、初の妙蓮寺を今の名に改む(統記一四)。寺寶に左不動の御眞筆、開山眞筆遮邪難辨案一卷等を藏す。

圓妙寺

身延末、中末一、緋、二四

大山田町東方 服部 日穰

由緒沿革 光徳山と號す、開基松平備中守定良公、開山通妙院日隆上人、創立明曆三年。

▲三重郡

泰平寺

三重壽童寺末、平、等外

鵜河原村大強原

▲阿山郡

天眞寺

三重佛眼寺末、平、等外

鳥羽町横町 山路 教慎

由緒沿革 正榮山と號す、開山東武谷中日達上人、創立寛永十九年三月、明治卅四年九月祝融の災あり。翌年庫裡新築し卅九年鳥羽の人鈴木勘七郎氏夫人本堂建立再興し、京都妙覺寺末を現末に轉ず。

▲飯南郡

上行寺

京妙顯寺末、紫、二四

上野町寺町 近藤 潮正

由緒沿革 長榮山と號す、開基藤堂高虎公、開山安立院日秀上人は開基に隨從し、文祿元年朝鮮の役に從軍し、歸途船中に遷化す。初め天正十六年五月八日、紀伊粉川に創立、同十九年春伊豫今治に移り、元和元年、高虎公伊勢に封せらるゝに及て、更に同年伊賀國上野に轉じ、爾來同家の菩提所として寺領百石を賜はる。明治四年廢藩と共に寺領廢絶せしも、同家の廟所現存す。前住大に寺門を興隆し、現住に及て益々盛なり。附近に荒木又右衛門の舊跡、及城趾等あり。もと中本寺たりしも明治八年七月十五日末寺同所法運寺を合併す。

▲名賀郡

妙典寺

京石塔寺末、平、二六

名張町瀬古手 鳥居 耀學

由緒沿革 長榮山と號す、開山寂照院日舜、創立寛文二年七月八日、中興九世一運院日堪上人、本寺より來住して寶永七年四月當寺 全焼の後を整理再築す。明治廿八年廿六世日意上人本堂

由緒沿革 天龍山と號す、開基山中四郎右衛門、開山日周上人、改宗再建元祿九年。

▲鈴鹿郡

照光寺

大光山末、平、二六

龜山町野村 水野 慈戒

由緒沿革 妙龜山と號す、開山本山十九世日運大僧正、創立寛文中の頃。

▲河藝郡

圓立寺

三重佛眼寺末、平、二四

高野尾村 幡上 教雄

由緒沿革 瓜尾山と號す、開基赤塚金右衛門、開山本寺六世日養上人、創立正保元年十月十日。

▲一志郡

本妙寺

三重佛眼寺末、平、二五

久居町寺町 森 大政

由緒沿革 永昌山と號す、開山本寺九世日嚴上人、創立延寶五年。

▲飯南郡

法久寺

玉澤末、素、二〇

松阪町中町 淺井 泰林

由緒沿革 惠日山と號す、開基教行院日源、開山久遠成院日親上人、創立應永三十四年。

▲志摩郡

日蓮宗寺院 ◎三重縣 ◎鈴鹿郡 ◎河藝郡 ◎一志郡 ◎飯南郡 ◎志摩郡 ◎阿山郡 ◎名賀郡 二八五

日蓮宗寺院 ③三重縣 ④北牟婁郡
再築、大正二年現住庫裡を改築す。

▲北牟婁郡

妙長寺 三重葦原寺末 尾鷲町尾鷲中 布目 妙本

由緒沿革 壽延山と號す、開基長崎城主久松佐渡守、開山改宗の祖鏡像院日祐上人、改宗慶長五年。

◎岐阜縣

▲岐阜市

法華寺

大光山末、中末一 緋、一四

矢島町 松岡 日啓

由緒沿革 啓運山と號す、開基織田帶刀右衛門常勝、開山妙法華院日授權律師、創立延徳三年春、天正年間五世日陽上人、信長公より八棟作りの御殿の寄贈を受け、織田家の祈願所として岐阜山麓にもとの法華寺を建て、寺領を賜ふ。天正七年五月廿七日安土宗論に際し、陽上安土に信長公を諫む、公其志を賞して朱傘を賜ひ且つ權大僧都に叙し、同七年八月三日日本山本園寺十六世日廣上人は、宗門再興の感狀を、同十年五月十五日身延日新上人亦狀を送りて其の法勳を賞せらる。初め開山尾州清須法華寺を兼務せしも該寺は寛永年間名古屋へ引地す、今の東寺町法華寺これなり。寺寶に兆殿司の出山の釋迦、雲舟の釋尊文殊菩薩、光信の番神像等あり。

現正寺

京妙願寺末 平、二九

矢島町

長照寺

京妙覺寺末 紫、二五

矢島町 太田 即法

由緒沿革 法光山と號す、開基圓乘坊日述上人、開山日像菩薩、創立天文五年二月。

圓經寺

大光山末 紫、二三

泉町 林 日將

日蓮宗寺院 ①岐阜縣 ②岐阜市

由緒沿革 三聯山と號す、開基當國稻葉山城主二階堂出羽守藤原行藤公（法號圓經院殿一峯道雅大居士）、開山正行院日榮上人、創立慶長六甲寅年八月。初め長榮山妙法寺と云ひ濃州一ヶ國の録所にして、天台宗に屬す。大永六丙戌年二月十七日日榮上人の時改宗し本園寺末となり、開基の法號に依りて寺に名く。慶長五庚子年八月廿二日夜岐阜落城前夜大火に罹り、堂塔全部焼失し裏門のみ残る、門は慶長四己亥年春岐阜中納言秀信公の建立にして今の表門これなり。寺寶に信長公寄附狩野法眼筆鬼子母尊神等を藏す。

妙照寺

京妙願寺末 紫、一四

梶川町 田中 曾山

由緒沿革 三光山と號す、開山五千院日舜は本山十世日廣上人の徒弟なり、最初天文三年當國厚見郡今泉村（現今岐阜市今泉）に建立す。三世日宥上人の慶長五年織田中納言及竹中半兵衛の三ヶ所屋敷田畑一丁四反四畝三步を寄せらる。會々明治維新の際上地となりしを、廿四世日上人拂下を請ひ、寺有となる、此地現に今泉にあり。現地は明暦二申年本田久兵衛當地代官の時、公儀に願ひて拜領し、此に移轉す。境内は杜若の勝地を以て開え、勸請せる竹中半兵衛の守本尊たる三光天の社は賽者多く寺寶に宗祖御本尊、同文章斷片、織田中納言境内寄附狀、足立中務少輔添書等あり。

常在寺

京妙覺寺末 紫、二二

梶川町 堀尾 榮運

由緒沿革 開基齋藤越前守利藤公（統記十九見）、開山本山世尊院日範大僧都、明徳元庚午（或寶徳二年）三月、美濃國厚見郡今

泉村より現地に移轉す。當寺は代々齋藤家の香華寺にして爾來
信長公等の歸依深かりしも、天正十一年以後數度の兵燹に罹り、
寺寶多く焼失し、現今國寶として調査中なる傳教大師作文殊菩
薩像等を存するのみ。

▲安八郡

實相寺 大光山末 大垣町傳馬 釋 覺圓
由緒沿革 法光山と號す、開山尊性院日泉上人、中興善行院日
頼上人、創立元和二丙辰年四月、寛文十二乙亥年傳馬町に移轉
し、文化九年類焼、文政五年三月再建、明治廿四年震災倒潰、同
廿五年より大正二年に至て本堂庫裡妙見堂同拜殿表門鐘堂等を
再建す、寺寶に洞僊筆宗祖御一代繪傳十五幅あり。

本願寺 京妙顯寺末、中末一 大垣町傳馬 北川 英恩
由緒沿革 遠照山と號す、開山經王院日勝上人、創立天正十九
年、初め伊藤長門守在城の砌りは高橋町にあり、元和二年城主
松平甲斐守より四反歩の地所を拜領し歩行町に移り、寛文十一
年十一月現地に轉す。文化年中類焼に遭ひ其後再建し、明治廿
四年十月大震災に倒潰し、大正五年現住本堂支關庫裡表門鐘堂
水屋を再建す。

雲晴寺 京妙顯寺末 結村西結
由緒沿革 開山中乘院日周上人。

寶光寺 身延末 三城村三塚 若園 圓格
由緒沿革 八幡山と號す、開山善照院日達上人、東に金華山、
南に養老山、西に池田山を望み風光佳なり。

▲稻葉郡

妙泉寺 小湊末 加納町 祖父江日誠
由緒沿革 法覺山と號す、開山身延日達上人徒弟修顯院日誘大
德、創立明曆三年三月。

妙壽寺 池上末 加納町八幡
由緒沿革 開基鏡岩濱之助、開山妙壽院日愷上人。

久昌寺 愛知妙海寺末 前宮村前渡 舟橋 妙廣
由緒沿革 開基坪内嘉兵衛定道、開山一雨院日任權律師、創立
寶永三年十二月。

重善寺 京妙顯寺末 日置江村茶屋
由緒沿革 開基田中友八郎、開山龍進院日行上人、創立天保十
三年冬。

▲本巢郡

妙建寺 小湊末 北方町 稻熊 圓通
由緒沿革 法光山と號す、開基尊受院日立大德、開山日中上人、
承應三甲午年三月廿八日、信州松本より當地に移轉建立す。明
治廿四年十月震災に罹り、大正三年現住本堂を再建す。

由緒沿革 大塚山と號す、開山充足院日東上人、創立元祿四辛
未年五月。

▲揖斐郡

覺林寺 身延末 清水村清水 島田 元秀
由緒沿革 法性山と號す、開基濃州大野郡(現今揖斐郡)清水村
邑主林丹波守宗雲、開山身延二十一世寂照院日乾上人(統記十
四乾師傳見)、始め天台宗に屬す、乾師宗論の末改宗せしむ。明
治十四年十月三日、蓮華寺末より現本山末となる。

蓮華寺 身延末 揖斐町三輪 貫名 得妙
由緒沿革 開山日建上人。

本覺寺 大光山末 谷汲村深坂 久納 圓薩
由緒沿革 開山本覺院日譽上人。

本傳寺 大光山末 西郡村瀬古 井上 眞翁
由緒沿革 開基上田亦右衛門、開山慈照院日中上人、創立元和
三年三月。

出光寺 京妙覺寺末 西郡村瀬古 渡部 雪涅
由緒沿革 松榮山と號す、開基林龜右衛門、開山中老播磨阿闍
梨(嚴譽院)日源上人、創立正和四年、天台より改宗す。本山三
十七世解脫院日宿上人、當山十一世となりて中興す。

常光寺 小湊末 西郡村松山 江崎 英壽
由緒沿革 壽延山と號す、開山存妙院日深上人、開基不動院僧
都了因法印、創立永徳元年。もと天台宗、二世壽延院日詮上人
の時本山より紫金跡の特典あり。四世中興淨信院日滿上人淨財
を積み四丁歩の田地を付してより爾來寺門隆盛を來せり。

願成寺 京妙覺寺末 彈正村政田 三田村豊盈
由緒沿革 壽延山と號す、開山存妙院日深上人、開基不動院僧
都了因法印、創立永徳元年。もと天台宗、二世壽延院日詮上人
の時本山より紫金跡の特典あり。四世中興淨信院日滿上人淨財
を積み四丁歩の田地を付してより爾來寺門隆盛を來せり。

▲羽島郡

蓮國寺 京妙覺寺末 笠松町 野々垣泰玉
由緒沿革 長秋山と號す、開基長谷部法橋國重、開山日像菩薩、
創立建武年中、初め濃州山縣郡三輪村にあり、寶永二年四月現
地に移轉す、中興開基郡代秋山武右衛門尉伊忠、中興開山唯了
院日鏡上人、寺寶に宗祖池上公母堂に御遺しの大曼荼羅を藏し、
附近に蘇堤の櫻、四季之里等あり。

安樂寺 京妙顯寺末 江吉良村 伊藤 耀雄
由緒沿革 開山鏡妙院日宗上人。

▲郡上郡

大乘寺 京妙覺寺末 八幡町 足立 貫圓
由緒沿革 開基舊城主遠藤但馬守、開山佛性院日了上人、創立
慶長二年三月。

▲武儀郡

永昌寺

愛知法華寺末
平、二六

吉田村野町 林 風徳

由緒沿革 三王山と號す、もと眞言に屬す、創立慶安四年一月、慶長四年四月廿六日、安土問答法功者本覺院日陽上人に依て改宗し、陽上を開山とす。陽上名古屋法華寺、岐阜法華寺、深坂本覺寺及當山の四ヶ寺を經營す。而して名古屋法華寺の丑寅、長良川の邊りなる當山に示寂さる。十五世觀華院日祥上人、天山と號し、大鹽平八郎の子なり、詩書及繪畫を能くし、弟子亦頗る多し(武儀郡誌)、先帝御衣筆墨を賜ふ。古來雨乞の道場として、吉田永昌寺の「雨乞おどり」は其の名高く、當日村民雜鬧を極む。

▲加茂郡

寶積院

岐阜法華寺末
平、二六

加茂野村市橋 丹羽 道秀

由緒沿革 道秀山と號す、初め本寺住職高木日輝上人明治十六七年頃説教所として建設し、明治廿六年現住之を經營し、同二十九年四月廢寺たりし寶積院を當地に移轉し、同三十七年十月現住法灯を挑げてより寺門經營に努力す。

▲不破郡

妙法寺

大光山末
紫、一八

赤坂町 橋 日傳

由緒沿革 開山妙藏院日榮上人、創立天正五年。

▲養老郡

郡修學院村より移轉す。

▲惠那郡

妙法寺

玉澤末
紫、二三

岩村町 中村 英學

由緒沿革 開基丹羽氏定公、開山圓通院日亮上人、創立承應元年四月廿八日。

妙淨寺

山梨本行坊末
平、等外

長島町中野 小林 海鷗

由緒沿革 本照山と號す、開山泉應坊、創立應仁二年、大正五年十一月十五日山梨縣南巨摩郡本建村より移轉す。

▲可兒郡

友圓寺

愛知法華寺末
平、二六

久々利村 加藤 英信

專養寺

京妙顯寺末
紫、二七

兼山町 船橋 好禪

由緒沿革 福光山と號す、開基山本藤九郎、開山神力院日見上人、創立天正年間又は慶長元年十二月、寺は木曾川の邊にあり風光最も佳なり。

森立寺

身延末
平、二七

兼山町 中村 慈光

由緒沿革 開山一印院日好上人、創立慶長四年春。

本立院

岐阜本願寺末
平、等外

高田町高田

由緒沿革 開基千秋庄六郎、開山日秀上人、創立寶曆元年。

▲海津郡

常榮寺

京妙傳寺末
緋、二〇

今尾町今尾 村上 俊苗

由緒沿革 翠光山と號す、開基市橋下總守、開山遠了院日惠上人、中興慈尊院日船上人、寺寶に宗祖大曼荼羅等を藏す。

法華寺

愛知法華寺末
平、二七

高須町高須 牛田 即忍

由緒沿革 開山弘誓院日深上人、創立元祿十五年四月。

▲山縣郡

妙久寺

大光山末
紫、二三

山縣村三輪 高木 慈空

由緒沿革 開基粟原加賀守、開山常樂院日經上人、創立元和六年。

▲土岐郡

唱行寺

身延末
平、二七

多治見町 鈴木 辨義

由緒沿革 開基加藤忠兵衛儀兵衛外三名、開山禰原日教、創立明治十二年十二月二日。

眞淨寺

京立本寺末
平、二六

土岐津町高山 酒井 行福

由緒沿革 開山日進上人、明治二十七年四月三十日京都府愛宕

◎京都府 第一部 (山城組)

▲京都市上京區

大本山 妙顯寺 八等 寺ノ内 河合 日辰

由緒沿革 具足山と號し四大本山の一。建治元年、開山龍華樹院日像菩薩年甫めて七歳、既に宗祖の付囑を受け、年廿六歳に及ぶ盛に宗風を帝京に揚ぐ。三たび擯出の厄に遭ふも屈せず。遂に法運を啓き、元亨元年辛酉年、後醍醐天皇金輪の地を劃きて御溝の傍に賜ふ。開山こゝに道場を創立し妙顯寺と名く、當時寺地方八丁三十六房を有せりと云ふ。建武元年法華宗號及勅願寺の繪旨を賜ひ、代々の住職、皇室に咫尺して紫衣の勅許を蒙る。曆應四年四條御箭へ、明德四年姉小路堀川西入へ、文明十五年西洞院三條へ移り、天正十一年現地に轉ず。靈寶に宗祖眞筆蜀金の本尊、支旨の本尊及開山の本尊、後醍醐天皇以來御繪旨六幅等二百餘點を藏し、境内の松柏櫻櫚等、幽趣愛すべし。

大妙寺 京妙顯寺末 川頭 加藤 觀能

由緒沿革 開山妙音阿闍梨日行上人、創立曆應三庚辰年。

善行院 京妙顯寺末 妙顯寺前町小 小川 鳳修

由緒沿革 開山惠眼院日富上人、創立文正元戊年。

教法院 京妙顯寺末 川頭 妙顯寺前町小

由緒沿革 開山微妙院日祐上人、創立文保二戊午年。

するに際し開山の弟子日實上人をして傳法相續せしむべく遺言せらる。會々上人中國に傳道し備前にあり、旨を傳ふるに上人老年の故を以て辭し、明源僧都の法弟日成を推す。一山の衆徒寧ろ日齊上人を擧げんとする者あり。遂に齊成二派を生じて決し難し。こゝに日成上人の徒は宗祖并期像三祖の御影像傳法付屬の本尊重寶を傳持し一字を建立して妙覺寺と稱す。元と兩山(妙顯妙覺)一寺なるにより具足山と號す。寛文延寶年間、廿五世日延上人あり、上人は伏見一品邦房親王の公子なり、後水尾天皇數次召して聽法せられ御衣を賜ふこと多し、上人必ず裁して法衣とし天恩の厚きを感泣す。爾來山鳩色法服緋衣緋紋白袈裟並に車寄、向唐門唐破風獅子口灰筋舞菊御紋等を拜領す。三十五世日觀上人の時、教法門院御方(東山天皇の御母后、松木宗條卿御姫より、東山天皇の御尊牌を納めさせられ御菩提として緋衣緋金襴袈裟を賜ふ。正徳四甲午年女二御宮菊御紋丸挑燈を拜領し、享保十乙巳年女一御宮菊御紋付御幕挑燈等を賜ふ。後水尾天皇御宇より山主は代々參内し、御廟御の際には御贈經並燒香(泉涌寺般舟院)するを例とす。今其沿革を見るに、嘉慶元年、四條以南、綾小路以北、壬生以東、櫛笥以西の地を下賜せられ境内廣表にして支院百坊を有せし巨刹なりしが天文法亂及天明年間火災に罹り、諸堂は勿論記録重寶悉く燒盡し、僅に三祖の靈像、本尊、御親筆等の若干を現存するのみ。

明德、年足利義滿の命に依り二條以南、姉小路以北、室町以西新町以東の地に移り、天正十一年八月太閤秀吉の命に依り現地に轉ず。現今の表門は秀吉公より拜領せる聚落城裏門なり。祖師堂本堂寶藏の外境内の花房塔は觀山横川華光坊にありしもの、

十乘院 京妙顯寺末 川頭 今富 智誠

由緒沿革 開山十乘院日恩上人、創立文明十六年三月、明治二十年八月二日大本山妙顯寺塔中華光院(開基華光院日要上人、創立文祿元辰年)を合併す。

泉妙院 京妙顯寺末 川頭 顯孝

由緒沿革 開山日譽法印、創立永和元卯年。

惠命院 京妙顯寺末 川頭 坂岡 顯孝

由緒沿革 開山乘詮院日存上人、創立永祿二未年。

實成院 京妙顯寺末 川頭 末吉 啓沃

由緒沿革 開基明圓法印、創立延徳二年。

本妙院 京妙顯寺末 川頭 種本 文學

由緒沿革 開山日佑律師、創立延文四亥年三月。

久本院 京妙顯寺末 川頭 花房 慈勇

由緒沿革 開山妙覺院日深上人、創立延元二丑年。

法音院 京妙顯寺末 川頭 原永 誠徳

由緒沿革 開山大法院日生上人、創立文和元巳年。

本山 妙覺寺 十三等 下清藏 岡田 顯逞

由緒沿革 具足山と號し四十四ヶ本山の一、開基開山最初の隨從小野妙覺建立、開山龍華樹院日像菩薩、創立永和四年。初め開山妙顯寺を建立し、二世妙實上人、三世期源僧都に至る。僧都化

宗祖遊學中自ら刀を以て寶塔の形を彫し塔中自筆の法華經を納め常に宗旨建立の祈願を籠め給ひし石塔なりと傳ふ。元龜元年信長公觀山攻伐の際灰燼を憂ひて山本修理介自邸に移し信仰厚かりき。後明智光秀の妹某(山本修理介の妻)廿世日典上人に歸依し自山に納めたりと云ふ。靈寶に對鏡自刻宗祖靈像並期像二祖靈像等を藏す。

善明院 京妙覺寺末 新町頭下清藏 仲北 智正

由緒沿革 開山教主院日凡上人。

成就院 京妙覺寺末 新町頭下清藏 河合 啓良

由緒沿革 開山成就院日俊上人、創立寛永元子年四月十三日。

實成院 京妙覺寺末 新町頭下清藏 多羅尾潮温

由緒沿革 開山實成院日修上人、創立天正五丑年七月十五日。

玉泉院 京妙覺寺末 新町頭下清藏 貫名 英理

由緒沿革 開山玉泉院日定上人、創立嘉吉二戊年二月五日。

龍泉院 京妙覺寺末 新町頭下清藏 口町

由緒沿革 京妙覺寺末 新町頭下清藏 口町

本山 本法寺 十四等 前町 伊藤 日修

由緒沿革 觀昌山と號し四十四ヶ本山の一、開基本阿彌藤原清信、開山久遠成院日親上人、創立永享八辰年十一月十六日。初め後花園天皇、四條高倉に四丁四方の地を賜ひ、天文年間七世日

便上人代、一條辰橋へ移り、天正十三年十世日通上人代、現地に轉ず。本堂、開山堂、多寶堂、尊天堂、客殿、書院、庫裡等寺

類具備し、靈寶に、宗祖本尊、御消息共三十幅、開山本尊治國論、摩利支天畫像、中寶塔等を藏し、庭園は本阿彌光悅作「巴の庭」と稱し京都名所の一に數へらる。特に開山の腰を掛けつ法論を轉じ給ひし「説法石」は、初め一條戻橋にありたるを當山に移せるものにして、往昔、阿部晴明、亦此石上にて天文を考察せりと傳ふ。

尊陽院

本法寺末 平、二五

本法寺前町 奥田 慎敬

教行院

本法寺末 平、二六

本法寺前町 村井 時靜

教藏院

本法寺末 平、二六

本法寺前町 小泉 惠照

燈明寺

京立本寺末 紫、二二

六軒町佐竹町 河村 耀秀

慧光寺

光山末 緋、一九

淨福寺通笹屋町 滋野 惠隆

由緒沿革 開山尊陽院日惠上人、創立天正三乙亥年四月六日。由緒沿革 開山教行院日禪人。由緒沿革 開山教藏院日悅上人、創立文祿三年三月七日。由緒沿革 京立本寺末。由緒沿革 光山末。由緒沿革 淨福寺通笹屋町。由緒沿革 智照山と號す、開基久我中納言晴通公之息女於伊佐殿並其臣三宅内藏介、開山權大僧都惠光院日安法印、創立弘治三丁巳年四月八日。もと新在家にあり、當時弘通處と云ひ、後今の寺山號に改む。初め天文年中、三好長慶、松永輝正久秀と相謀て將軍義輝公を弑せんとす。久秀之を野本式部少輔輝久に同意せんことを勤む。輝久應ぜず、久秀即座に殺害す。その室即ち輝久して尼となり妙法と號し、其臣内藏介亦出家して日立と

久二年入寺得度。夙に村雲婦人會の淨業を起し、入ては門跡を經營し出ては宗風を發揚せらる。

本山 本満寺

十四等 寺町今出 工藤 日諒

由緒沿革 廣布山と號し四十四ヶ本山の一、開基近衛關白道嗣公の嫡男玉洞院日秀尊者、創立應永七庚寅年正月、依て近衛殿内遺場と稱し堂閣巍々たる本山なりしも、明治四十四年二月七日夜、本堂妙見堂祝融の災あり、大正五年十一月妙見堂を再建し、本堂目下再建の進捗中にある。安置し奉る宗祖尊像は、初め京都府北桑田郡芦生村山麓の土中に法華經讀誦の聲あり、依て掘出し奉りて當山に奉安す。西南二丁に京都御所、東北五丁に下加茂神社、北へ一里に上加茂神社あり、妙顯妙覺本法各本山は西北凡そ十丁とす。

法泉院

本満寺末 平、二五

鶴山町 高田 學深

玉持院

本満寺末 平、無等

鶴山町 創立文安二年丑七月。

一乘院

本満寺末 平、二六

鶴山町 淺野 秀清

守玄院

本満寺末 平、二五

鶴山町 福地 秀郁

日蓮宗寺院

◎京都府第一部 ◎京都市上京區

實泉院

本満寺末 平、二六

鶴山町 長内 堯純

本山 立本寺

十四等 七本松通仁 和寺街道上 風間 隨學

由緒沿革 具足山と號し四十四ヶ本山の一、開山日像菩薩、創立元亨元年十一月八日。開山華洛弘通の砌後醍醐帝地を御濟の傍今小路に割て賜ふ、曆應四年光嚴院の勅に由て四條櫛笥に易ふ。明徳四年足利義滿押小路堀川西南の地に移す、今の大本山妙顯寺是れ也。然るに此時開山の法孫日實官に請ひ四條櫛笥の舊地を得て一字を建立し立本寺と號し、像上を開山に大覺、嗣源、日躰三上を追尊して三祖とし、自ら第五祖に居す。文祿年中豊臣秀吉京極今出川に移し寶永年中今の地に移轉す、現住は六十八世とす。靈寶に宗祖龜姫授與及楊枝の本尊等數軸、其他二病抄全、撰時抄斷片、大覺大僧正作開山開眼鬼子母十羅刹木像等あり。八月廿五日寶物蟲拂會を舉行す。

教法院

立本寺末 平、二五

七本松通一番町

光源院

立本寺末 平、二五

七本松通一番町 塚崎 行省

大輪院

立本寺末 平、二五

七本松通一番町 石田 秀教

瑞龍寺

十等 末寺二

豎門前町 村雲 日榮

三會寺

京妙顯寺末 平、二八

風呂屋町 湯淺 妙教

門跡

開山日像菩薩、創立永正二乙丑年九月。

日蓮宗寺院

◎京都府第一部 ◎京都市上京區

正行院

立本寺末 七本松通一番町

由緒沿革 開基日住上人、開山日像菩薩、創立天文四乙未年。

法華寺

池上末、中末一 御前通下堅町 釋 日威

由緒沿革 開基乾性院日進上人、開山大僧正妙實上人、創立文明元壬辰年六月。

十如寺

京三寶寺末 御前通下堅町

由緒沿革 開山實相院日春上人、創立寛永五辰年八月。

妙堯寺

大光山末 西東町 守法 頂惇

由緒沿革 開基妙堯禪尼、開山本山五世日傳上人、創立應永十一年住宅を寺とす、その後一時荒廢し永祿二年再興す。

本瑞寺

身延末 姥ヶ寺之前町 吉川 圓澄

由緒沿革 光明山と號す、開基覺性院日淨上人、創立慶長十乙巳年。

玉淵寺

京頂妙寺末 上立賣通姥ヶ北町 田中 妙教

由緒沿革 開山佛心院日珧上人、創立天正年中。

本昌寺

京妙覺寺末 七番町 兒玉 日壽

由緒沿革 開山了光院日圓上人。

華光寺

京妙顯寺末 出水六軒町 淺野 耀章

由緒沿革 蓮金山と號す、開山本山十二世顯影院日覺上人、天

善立院

京頂妙寺末 川東大菊町 野木 智觀

由緒沿革 開山日慧上人、創立寛永十二年。

眞淨院

京頂妙寺末 川東大菊町 谷口 智鏡

由緒沿革 開山日住上人、創立天正九年。

本立院

京頂妙寺末 川東大菊町 角道 寶哉

由緒沿革 開山日實上人、創立天正十六年。

大乘院

京頂妙寺末 川東大菊町 熊谷 長雄

由緒沿革 開山日言上人、創立天明八年。

妙雲院

京頂妙寺末 川東大菊町

由緒沿革 開基大黑常是、開山日饒上人。

法輪院

京頂妙寺末 川東大菊町 池永 誠穩

由緒沿革 開山日能上人。

眞如院

京頂妙寺末 川東大菊町 荒木 文明

由緒沿革 開山日耀上人、創立永正元年。

本山 妙傳寺

十五等 仁王門通 豊田 心靜

由緒沿革 法鏡山と號し四十四ヶ本山の一、開山圓教院日意上人、創立文明九丁酉年、爾來四度移轉し寶永五子年現地に移る。開山日意上人は身延日朝上人の資なり、文明九年相謀りて宗祖御眞骨を當山に分安して西身延と稱す。本堂、御眞骨堂、七面

正十一年建立、當時京都二十ヶ本山に準じて、本妙院、法宣院、唯心院の三小院あり、諸堂を並べたりと云ふ。寺寶に秀吉公寄附伏見城山安置の毘沙門天王及梵鐘等あり、境内秀吉公御手植の松繁茂して往古を偲ばしむ。

妙榮寺

玉澤末 下ノ森西町 加藤 隨隆

由緒沿革 法圓山と號す、もと石州銀山妙榮寺願成院日能上人の開基(寛永元、四、二八、寂)にして、遷地の開山は惠領院日雄上人(寛文八、六、二、寂)とす、寛永五年九月創立。寺寶に靈慶の毘沙門天、三條小鍛冶宗近の劔等あり、北野天満宮に近し。

愛染寺

本満寺末 龜屋町 岡田 智恬

由緒沿革 開山頂珠院日康上人、創立享保二年二月。

妙德寺

京妙顯寺末 福島町

由緒沿革 開山成就院日慈上人、創立元祿八乙亥年。

本山 頂妙寺

十四等 末寺二七 川東大菊町 添田 日圓

由緒沿革 開法山と號し四十四ヶ本山の一、開基細川勝益公、開山僧正妙國院日祝上人、創立寶徳元年。樓門には東に持國天、西に多聞天を安置し、鷹司公の筆になる開法山の扁額あり。門前に拜殿あり二玉門の拜殿と云ふ、依て此の通りを二玉門と稱す。

善性院

京頂妙寺末 川東大菊町 土屋 學慈

由緒沿革 開山日相上人、創立寛永十二年。

堂、書院、庫裡等巍然として聳え、塔中四院あり。靈寶には攝治二年及同三年並に佐渡百幅の一運開本尊との三幅の御眞筆、其他アシハイ御消息一軸等を藏す。

本光院

京妙傳寺末 仁王門通北門 森田 即順

由緒沿革 開山本光院日安上人、創立萬治元年。

玉樹院

京妙傳寺末 仁王門通北門

由緒沿革 開山最上院日賴上人、創立天文十六年。

妙釋院

京妙傳寺末 仁王門通北門

由緒沿革 開山日養上人、創立應永二十四年。

龍嶽院

京妙傳寺末 仁王門通北門

由緒沿革 開山龍嶽院日長上人、創立慶長十七年五月七日。

圓立院

京妙傳寺末 仁王門通北門 佐伯 諱了

由緒沿革 開山圓珠院日仙上人、創立元龜元年、明治廿七年四月廿三日第六番戸の内第一號、第七號地へ改造新築す。

本妙寺

京妙覺寺末 仁王門通北門 木下 一英

由緒沿革 開山眞成院日典上人、創立天正二年。

滿願寺

身延末、中末一 伊崎町 武村 誠誓

由緒沿革 示現山と號す、天慶三年七月、右京七條が坊嶺多治比の女子、菅相丞の靈夢を感じ、最珍法師と共に北野に一字を創し、菅公自作の像を安置し示現山滿願寺と號す。永和四年二

月後圓融天皇、勅願所と定め給ひしより、歴朝の尊信篤く、爾來勅願所となる。元祿十二年、宗蓮僧都住持の時、北野立本寺の遠治院日亨上人に歸依し、上人を開山に推し寺を擧げて上人に付す、於此乎日蓮宗に改め、岡崎法勝寺の舊地に移轉建立す。明治五年に至るまで獨立本山たり。本堂、經藏、書院、庫裡、方丈、鐘堂等の外、境内の文字神社は移轉の際、皇室の御造營に係り、菅公自作の像を安置す、寶永七年、中御門天皇御即位の時祈禱してより、御歴代の天皇、御即位には御祈禱申上る恒例となる。寺寶に維新まで天作勅封たる大覺大僧正作宗祖像及宗祖遺稿の御消息、菅公自作天神の像等を藏し、平安神宮妙傳寺に近く、東山の名所たり。

善正寺

大光山末 緋、一七

岡崎町福ノ川 西村 唯妙

由緒沿革 開基舊村雲御所瑞龍寺日秀尊儀、開山本妙院日鏡上人、創立慶長元申年上嵯峨に於て建立、同五子年現地に移轉す。

▲京都市下京區

大本山 本因寺

一等 末寺二八七

柿本町 濱井 日成

由緒沿革 大光山と號し宗門四大本山の一なり。宗祖を開山に仰ぎ建長五癸丑年八月二十六日鎌倉松葉谷に建立せられ、法華堂と云ひ弘長三年五月改めて大光山本因寺と稱す。二祖日朗上人、三祖日印上人を経て四祖日靜上人の時、初めて京師に轉ず、實に光明帝の貞和元年三月とす。其後天文五年七月法亂の爲め兵燹に罹り同十三年七月日助上人再建す。更に天明八年正月三

十日再び烏有に歸し後再建して今日に至る。本堂、立像釋迦堂、祖師堂、生御影堂、清正堂、妙見堂、納骨堂、毘沙門堂、刹堂、二王門、鐘堂、大支圖、庫裡、新舊書院、土藏四、寶藏、經藏等巍然として靈を列べ、靈寶には立像釋迦、生御影祖像、安國論一卷、明師御諷狀、御救免狀二通、輪寶、鷲鷲、夕顔の御本尊等外百數十點を藏し、境内に紀貫之の勸請せりと傳ふる柿本神社及び清正公堂あり。京都驛より西北約十町、法鼓鑿々として賽者常に群集す。

勸持院

大光山末 平、二四

柿本町 山田 龍俊

由緒沿革 大光山と號す、開基寂仙阿闍梨日算上人、開山大法阿闍梨日善上人、創立貞和元年。初め本山と共に鎌倉より移轉せしもの、もと安中山大法寺と稱し、後四ヶ大坊の一たり、中古清正公門に歸し、日恒上人に就て宗學を受くるや當院を宿院とし舊觀を一新せり。寺寶に院宣三軸、清正公扇、絹背像、同公記及同二の膳、紀貫之の行記等廿餘點を藏す。

眞如院

大光山末 平、二四

柿本町 拾井 惠正

由緒沿革 開山權大僧都日映上人、創立天文四乙未年四月。

戒善院

大光山末 平、二九

柿本町 高野 舜薩

由緒沿革 開山日澄上人、創立曆應元戊寅年五月。

詮量院

大光山末 平、二六

柿本町

了圓院

大光山末 平、二七

柿本町 中島 嶺泰

由緒沿革 開山日領上人、創立永祿三庚申年十月。

林昌院

大光山末 平、二七

柿本町 林 慈俊

本妙院

大光山末 平、二六

柿本町 馬田 即信

智妙院

大光山末 平、二五

柿本町 丹原 長遠

本栖院

大光山末 平、二八

柿本町 井筒 宗寛

了光院

大光山末 平、二六

柿本町 井上 穰發

英鏡院

大光山末 平、二六

柿本町 水谷 諦見

一音院

大光山塔中 平、二八

柿本町 山下 義靜

由緒沿革 開基建性院殿三位法印日海大居士、開山瑞龍寺殿日秀上人、慶長五年八月八日創立、開基は關白秀次公の父君、開山は同母君にして且村雲御門跡なり、現に村雲尼公殿下の宿坊寺たり、文政年間、本山三十六世妙用院日運上人、明治十三年同四十五世慈妙院日廣上人、共に當院に閑居せらる、依て本山の隱栖地となる。

本立院

大光山末 平、二四

柿本町 塚崎 行觀

日蓮宗寺院 ◎京都市第一部 ◎京都市下京區

由緒沿革 開山本立院日撰上人、創立正徳元年九月。

智光院

大光山末 平、等外

柿本町 兼塚崎 行觀

久成院

大光山末 平、二五

柿本町 養 英朝

瑞雲院

大光山末 平、二七

柿本町

多門院

大光山末 平、二六

柿本町 弓木 能仁

圓龍院

大光山末 平、二八

柿本町 門田 惠修

本實院

大光山末 平、二四

柿本町 西田 東光

松陽院

大光山末 平、二五

柿本町 村瀬 英澄

松林院

大光山末 平、二四

柿本町 大西 行學

常證院

大光山末 平、二七

柿本町 日村 日選

由緒沿革 開山普明院日慶上人、創立永祿元戊午年九月。

一妙院

大光山末 柿本町 埴谷 詮旭

僧正院

大光山末 柿本町 杉若 惠薩

智了院

大光山末 北柿本町 増井 至澄

一遺院

大光山末 堀川吉水町 桐山 麗正

蓮久寺

京妙覺寺末 一貫町藪之内町 兼長尾 榮進

由緒沿革 光照山と號す、開山高運院日定上人、創立寛文元年七月、中興開基一音院日曉上人、開山は説法五千座成辨の師と云ふ。

慈雲寺

大光山末 一貫町藪之内町 高橋 亮妙

壽延寺

小湊末 大黒町北御門 岩本 惠章

邊妙寺

京妙傳寺末 五條橋京六丁 石本 心教

▲紀伊郡

寶相寺

京妙覺寺末 上鳥羽村上鳥羽 四方 行隆

由緒沿革 正覺山と號す、開山大覺大僧正勅願祈雨の舊蹟にして、開山自作の點頭祖師の靈像を安置す。これ祈雨發誓の砌、三度うなづかせ給ふに依て此稱あり。中古塔中四房を有せしも、日興上人不受不施の法厄に連坐して寺運一頓挫し、(法華靈場記参照)寛永十年再興せらる。境内に俳諧の元祖にして、元政上人國學の師なる松永貞徳翁舊蹟、蘆の丸屋茶室、及同翁墓所あり、寺寶に宗祖文永十一年の本尊、開山の繪曼荼羅各一幅を藏す。昔時桂川は當山附近を貫流せしも、豊公桃山築城に當り、之を改修して、今は約十丁の西方に流る。

寶光寺

京石塔寺末 上鳥羽村 杉浦 泰智

妙蓮寺

京妙傳寺末 上鳥羽村 長澤 榮瑞

常高寺

大光山末 下鳥羽村 松本 泰道

寶塔寺

京妙顯寺末、中末九 深草村深草 旭 日震

本壽寺

京本法寺末 五條橋東六丁 貫名 日深

青龍寺

京頂妙寺末 五條橋東六丁

智積院

京妙傳寺末 五條橋東六丁

日體寺

大光山末 清水阪四丁目 落井 良勇

大漸寺

中山末 清水阪四丁目 石井 見妙

本光寺

京妙覺寺末 油小路町 吉田 知仙

法華寺

京立本寺末 八條町 箕 英輝

法華寺

大光山末 清閑寺町

法華寺

京立本寺末 八條町 箕 英輝

法華寺

大光山末 清閑寺町

元享元年辛酉十一月。往昔極樂寺と稱し眞言に屬せり、延慶三年開山の洛陽に弘通するに際し、時の寺主良桂律師、信伏して法華となり、後寶塔寺と改む。開山の寂後、こゝに茶毘し廟所を建て、開山接神の地として巽の靈山と名く。

圓妙院

京寶塔寺末 深草村深草 加藤 龍法

大雲院

京寶塔寺末 深草村深草 佐竹 英教

慈雲院

京寶塔寺末 深草村深草 本田 義憲

直勝院

京寶塔寺末 深草村深草 秋山 萬明

自得院

京寶塔寺末 深草村深草

靈光寺

立本寺末 深草村深草 中山 英要

瑞光寺

身延末、中末三、平、二、三、深草村深草 毘尼薩台諒
由緒沿革 深草山と號す、開山不可思議元政和尚、明暦元乙未年八月創立せらる。本尊に釋迦佛を安置す。開山の墓所は堂の西南竹林の中あり、竹三竿を家頭に植う。

養壽庵

京瑞光寺末、平、等外、深草村深草
由緒沿革 開山元政和尚、創立明暦元乙未年八月。

本教寺

本法寺末、紫、二〇、伏見町備後町 井阪 惠源
由緒沿革 福昌山と號す、開基池田三左衛門尉輝政侯室徳川家康公第六息女良正院殿俗名勝姫、開山教行院日受法印、文祿三年五月伏見町西濱に創立し、元祿五申年五月廿七日三世日東上人代現地に移轉再興す。寺寶に宗祖眞筆、大覺大僧正作三重塔、中山常親兩上眞骨等あり。

法性寺

京妙覺寺末、素、二九、伏見町大手筋 野口 泰勤
由緒沿革 圓珠山と號す、開山實成院日延上人、創立延寶元巳年三月。寺寶に桓武帝平安御遷都の際、一木三體の毘沙門天の尊像を彫刻せられたりと傳ふる一體を安置す(傳教大師作)。明治天皇 昭憲皇太后御陵及び乃木神社皆近し。

妙福寺

大光山末、紫、二五、伏見町風呂屋町 小橋 辨妙
由緒沿革 慈眼山と號す、開山禪定院日陽上人、創立天正三十四年二月。

眞福寺

小湊末、紫、二九、伏見町鷹匠町 加藤 是勝

光悅寺

本法寺末、素、二五、鷹峰村
由緒沿革 開基本阿彌光悅、開山正教院日慈上人、創立元和二年五月十二日。開基は頗る多藝、就中書は當時三筆の隨一たり。晩年こゝに閑居し風流を事とし、徳化普く、寛永十四年八十一歳を以て歿す。當山は往昔の鷹峰檀林の根基にして開基は實にその發願主なり。

圓成寺

本満寺末、平、二六、鷹峰村
由緒沿革 開山圓成院日任上人、創立寛永七年七月一日。

瑞芳寺

頂妙寺末、平、三〇、鷹峰村
由緒沿革 開山日珖上人、創立慶長年間。

常徳寺

京妙顯寺末、中末一、大宮村東、紫竹大門
由緒沿革 開基觀性院日猷上人、開山佛性院日興上人、創立寛永五年。

法性寺

大光山末、中末二、田中村 小島 淳雅
由緒沿革 猿島山と號す、開基三世九老朗慶上人、宗祖を開山に仰ぐ、創立文應元庚申年八月廿七日。

淨妙庵

京瑞光寺末、平、二六、田中村 向井 智要
由緒沿革 開基二世妙佐日顯法尼、開山明靜院日堯上人、創立天和三巳年六月。

道入寺

京妙覺寺末、平、二二、修學院村 立光 隨幸
由緒沿革 開山尊眼院日長上人、創立正保三年五月山田源左衛

由緒沿革 鶴林山と號す、開山法調院日顯上人、創立慶長十四年四月十三日、初め徳川家康公の嫡子御懐胎の朝(義直公と申す)屋敷内に建立せられ、後現地に轉す。舊屋敷とは現今俗稱の伏見尾張屋敷これなり。寺寶に宗祖、妙見、鬼子母の尊像あり。

泉經寺

京妙顯寺末、素、二五、目、伏見町新町九丁 黒澤 行靜
由緒沿革 普潤山と號す、開山圓龍院日性上人、創立慶長五庚子年。

墨染寺

身延末、素、二六、伏見町墨染 目黒 學妙
由緒沿革 深草山と號す、開基豐臣秀吉公、開山權大僧部日秀上人、創立文祿三年五月十五日。

顯正寺

京妙顯寺末、紫、二二、伏見町堀詰新丁 今井 即明
由緒沿革 開山行法院日賢上人、創立天正十三年五月十二日。

琳聖庵

京瑞光寺末、平、等外、目、伏見町京町九丁 安積 惠潤
由緒沿革 開山六牙院日潮上人、創立元祿十一戊寅年五月。

常照庵

京寶塔寺末、平、等外、町、伏見町上風呂屋 中島 智貞
由緒沿革 開山常照庵惠澄尼、創立文祿五年八月十二日。

▲愛宕郡 鷹峰村

常照寺

身延末、素、等外、鷹峰村
由緒沿革 開山寂照院日乾上人、創立元和二年三月。

妙泉寺

立本寺末、緋、二〇、松ヶ崎村 深見 耀宏
由緒沿革 松崎山と號す、開山龍華院日像上人、創立永仁二年。昔は歡喜寺と稱し穀山三千坊の一にして延暦年中、中納言藤原の創建する所なり、即ち永仁二年寺僧實眼僧都洛陽に至り日像上人の法義に歸伏し弟子となり山門を脱し本宗に轉す、これより専ら法華を以て化導するに化に従ふもの多しと雖も一村擧げて改宗するに至らず、爰に於て日像上人を招請し徳治元年七月十四日より三日間講延を開きたるに村民一同信伏歸順す、實眼僧都歡喜の餘り踊躍して自ら太鼓を打ち南無妙法蓮華經と唱ふれば信男信女一同隨喜して南無妙と唱ふ、之れ題目踊りの濫觴にして、爾來毎年七月(維新後は八月)十五日の兩日寺内堂前に之を行ふを村例とす。承應年間後水尾上皇、東福門院御幸あり、天覽あらせられ、公卿、殿上人、及板倉周防守、高木伊勢守、野々山丹後守等數多の供奉あり。現に本堂東側の老松は天覽所の舊趾とす。寺寶に宗祖文永四年五月十二日の御消息同斷片、像師本尊二、伽羅五祖師、實眼僧都十種供養文等を藏す。

妙圓寺

立本寺末、緋、二〇、松ヶ崎村東町 上田 尚溫
由緒沿革 松崎山と號す、開山本山十八世本滿講寺六世本學院日英上人にして六根清淨を體得せる聖者として聞ゆ、元和二年三月十五日創立、本堂、庫裡、大黒天本殿、百福堂、高麗門、土藏等具備し、勸請せる宗祖尊像は中老日法上人の作、又傳教大師作大黒天は、宗祖寶算四十三、文永元甲子年秋甲子の御開

眼に係り、開山の感得勸請せるもの、百福堂には百體百様の大黒天畫像を奉揚し、甲子の縁日には詣者多く、其他寺寶に大黒天神の勸請軸物等あり。孟蘭盆會に村民相集りて「題目踊」及び「妙法」二字を點火する古來の習俗は、實に當松ヶ崎の良風にして天下の美觀たり。

本涌寺

立本寺末 紫、三〇

松ヶ崎村兼河村 耀秀

由緒沿革 松崎山と號す、開山教藏院日生上人、創立天正二年甲戌二月。開山少壯の時當地に庵を結び學を修め僧を教育す、漸く盛なるに及び講堂を建て、檀林とす時に天正二年なり。法華宗根本檀林これなり。明治維新の際廢林となり、明治廿九年第七教區小檀林を設置し同三十七年廢林せらる。講堂、生師御廟等あり、寺寶に開山筆大乘起信論、同本尊、消息文等多し。

乙訓郡

本清寺

大光山末 紫、二〇

久我村 千葉 教存

由緒沿革 授法山と號す、開山釋源院日道上人、創立永祿十年五月。

妙眞寺

大光山末 紫、二〇

久我村 岩城 周善

由緒沿革 眞如山と號し、明治四十一年一月十六日同郡同村素紫跡佛光山眞福寺(開基圓住院日慶大德、創立文祿元年九月)を同郡同村眞如山妙法寺(開基勸扇院日信大德、創立天正三乙亥年二月)に合併し妙眞寺と改稱す、日信大德は本山十五世の寶なり。寺寶に厨師御作二尺五寸五分の宗祖土像を安置す。

遂に西海弘通を思ひ立ち、此地を過らせ給ふや、神意に依て向神社の舊領地に題目の石塔を建て、こゝに西海弘通發願成就を祈念し給ふ。後、其石塔に方二間の堂を建て、塔堂と呼び賽者多し。文明年間開基本堂を建立し菩薩を開山と仰ぎ自ら二世となる。元和中勸修寺宮の御殿を賜ひ寛文中寺門隆昌し、末寺七十六ヶ寺塔中四ヶ寺を有し、世人洛西の龍華寺と稱せり。明治八年現地に移る。本堂は同十一年興隆寺の廢せらるゝに當り當寺に譲り受けて再建せしもの、唐門は左基五郎の作と傳ふ。寺寶に宗祖御本尊一、御消息二、厨師、像師、願源各聖の本尊各一、狩野元信の鬼形鬼子母神像を藏す。

法華寺

京妙願寺末 素、二〇

向日町上植野 前田 日延

由緒沿革 開山日像菩薩、創立天正十九年八月八日。

葛野郡

長國寺

大光山末 紫、二三

大内村中堂寺 松井 行英

由緒沿革 開山十如院日延上人、創立元和七年五月二十日。

勝光寺

身延末 緋、二〇

大内村中堂寺 井上 惠進

由緒沿革 開基勝光院日勇大姊、開山即是院日完上人、創立寛永八末年九月。

常寂光寺

大光山末 緋、二〇

嵯峨村天龍寺 長尾 榮進

由緒沿革 小倉山と號す、開山究竟院日禪僧正は廣橋大納言光國卿の子、本山十六世瑞世中歌人定家卿小倉山莊の遺跡に草庵

本照寺

大光山末 紫、二二

久我村 大野 日完

由緒沿革 開山秀前院日現上人、創立天正六十年。

妙昌寺

京妙覺寺末 素、二五

久我村 村田 廣温

由緒沿革 開山實成院日典上人、創立天正十九辛卯年七月。

滿願寺

京妙覺寺末 平、二三

久我村

由緒沿革 成就山と號す、開山實成院日典上人、創立天正十九年九月。

福生寺

大光山末 素、二四

久我村兼大野 日完

由緒沿革 開山覺勝院日安大德、創立永祿元年四月。

北眞經寺

京妙願寺末 紫、一八

向日町雞冠井 吉田 研周

由緒沿革 開山日像菩薩、創立正慶元年二月五日。

南眞經寺

京妙願寺末 緋、一七

向日町雞冠井 伊東 日清

由緒沿革 開山日像菩薩、創立延慶三戊辰三月八日。初め眞言に屬し、眞言寺と號す。後二條天皇の徳治二丁未年五月、時の住僧實賢律師、開山の教化に依て信伏改宗し、自ら弟子の禮を執て二祖となる。寺寶に宗祖、期、像諸聖の本尊、運慶作釋迦像、探幽の蓬萊山、唐土の法華經等を藏す。

石塔寺

京妙願寺末、中末一二 緋、一八

向日町 明渡 惠教

由緒沿革 法性山と號す、開山日像菩薩、開基啓運院日成上人、二世たり。徳治二年五月廿日、開山京都撰出の御難に當り、

を結び常寂光寺と號し文祿五年退隱創立す。二世通明院日紹上人は日野大納言の子、大光山より同じく退隱し伏見城の建築物を以て本堂を經營す、今の本堂これなり。慶長より安政年間に至るまで古松庵、春照房の二小院あり、本山格なりしも今は客末となる。本堂、二王門、鐘堂、時雨亭、定家卿祠の外、二重の多寶塔は大正四年三月廿六日を以て特別保護建造物と指定せらる。寺寶に宗祖御親筆三幅、期印傳各師三幅其他廿一點を藏し百人一首に「小倉山峯の紅葉」と詠せられたる小倉山の山腹に位し、風光佳なり。

本瑞寺

大光山末 素、二五

太秦村安養寺 落井 良顯

由緒沿革 明光山と號す、開山瑞龍院殿日秀尊尼、創立慶長十二年四月八日。

本福寺

大光山末 素、二四

梅津村西梅津 福田 良淳

由緒沿革 妙光山と號す、開基近藤嘉兵衛、開山究竟院僧正日禪上人、慶長六年二月。

三寶寺

大光山末、中末一二 緋、二七

花園村字多 青野 日撰

由緒沿革 開基菊亭右大臣、今城大納言、開山大僧都日禪上人、創立寛永四卯年三月。

宇治郡

妙見寺

妙傳寺末 平、二五

山科村大塚

由緒沿革 開山止明院日祥上人、明治二年二月二十日改宗す。

秀典寺 立本寺末 平、二七 山科村安朱 小野 妙眞

由緒沿革 開山不住院日孟上人、創立寛永年間。

大立寺 立本寺末 紫、二三 山科村安朱 大島 文龍

由緒沿革 開基圓通院日純上人、創立慶長年間。

護國寺 妙傳寺末 紫、二三 山科村竹鼻 上田 尙英

由緒沿革 了光山と號し、舊京都六檀林の一たり、開基妙懸院了光日耀大姉、開山本山十二世法性院日勇上人、創立寛永廿年五月。開基は大和國郡山の城主松平下總守清匡の女、四條參議隆衛の室家康公の曾孫なり、元此地眞言密宗護國院廢墟の跡なり、故に護國寺と稱し開基了光の名に依て山號に銘す。寂遠日通、發心日堯、一圓日脫、寂耀日啓、智寂日省、養法日成、遠治日亨各聖皆歴代たるも、爾來幾變遷ありて舊觀を存せず、而も本堂庫裡妙見堂土藏鐘樓總門等寺觀備はり、殊に總門は、伏見宮貞清親王の姫宮紀州大納言光貞卿の御簾中の寄附に係り、構檀林の額は深草元政上人の筆とす。寺寶に東福門院自ら御衣を裁つて袈裟とし、開山に賜はりし裏菊金紋の繻ある僧伽梨あり、後世裏菊金紋と稱す、蓋し本宗紫色の袈裟に金紋を繻ふの始ならん。寺は大石良雄隱栖地に近く、毘沙門門跡地に隣り、疎水の清流茸狩の秋興尤も好し。

▲久世郡

直行寺 京妙顯寺末 平、二七 宇治町宇治郷 杉原 惠冠

由緒沿革 開山妙圓院日覺上人。

好堅寺 京石塔寺末 平、二四 東別院村小泉 竹内 了達

由緒沿革 開基上野新右衛門、開山大黒院日興上人、創立慶長七年。

法華寺 大光山末 平、二七 龜岡町本町 増井 慈榮

由緒沿革 開基惠秀、開山圓珠院日玉上人、創立寛正五申年。

桑田寺 大光山末 平、二五 曾我部村寺 清水 正貞

由緒沿革 開山建立院日傳上人。

▲北桑田郡

聖福寺 京本滿寺末 素、等外 黒田村芹生 竹本 日一

由緒沿革 開基辻堂清兵衛、開山三明院日通上人、創立文明元年三月廿八日。

正法寺 京妙覺寺末 平、二九 周山村五本松 幾田 文寶

由緒沿革 一乘山と號す、開山究竟院日享上人、創立明應二年四月。

妙光寺 京妙顯寺末 平、等外 鶴ヶ岡村豊郷

由緒沿革 開山一二院日堯上人、創立天正二年五月。

蓮華寺 京妙顯寺末 素、二〇 宮島村長谷 中川 惠淳

由緒沿革 妙法山と號す、開基了光院日圓上人、開山一二院日

日蓮宗寺院 ◎京都府第二部 ◎南桑田郡 ◎北桑田郡 ◎何鹿郡

由緒沿革 寶乘山と號す、開基金持直行、開山日像菩薩、創立延元二丁丑年。

▲綴喜郡

法華寺 大光山末 平、二〇 大住村大住 橋野 祥顯

由緒沿革 瑞應山と號す、開基澤井久左衛門、開山喜見院日便上人、創立寛永十五寅年十一月三日。

眞藏院 本法寺末 平、一九 多賀村 出島 英通

由緒沿革 開山眞藏院日堯上人、創立永正十六年。

▲相樂郡

燈明寺 神奈川合寺末 紫、一七 加茂村兎並 川合 玄妙

由緒沿革 開基日健上人、開山眞曉上人、創立貞觀五年、大光山末より現末に轉ず。而して大正三年、今上陛下 御即位奉祝記念として、宗門より奉獻せる、大日本國衛護の御本尊は、實に當山三重寶塔中より、大正元年十月、本寺開基川合芳次郎氏の感得せるものとす。

◎京都府 第二部 (丹波組)

▲南桑田郡

妙圓寺 大光山末 平、等外 河原林村河原尻

堯上人、創立文祿三年八月。

蓮乘寺 京妙顯寺末 紫、二四 大野村大野 友井 能慈

由緒沿革 秀傳山と號す、開基秀傳院日孟上人、開山一二院日堯上人、創立寛永十六年八月。

本像寺 京妙顯寺末 紫、三〇 知井村知見 田代 隆誠

由緒沿革 開山龍華樹院日像菩薩、創立永仁二年二月。

心蓮寺 京妙顯寺末 紫、二九 知井村知見 村山 行詮

由緒沿革 具足山と號す、開山龍華樹院日像菩薩、御年廿四歳、永仁二年三月創立。本山六世日靈、同七世日明兩上は當山第四、五の兩世を嗣いで隱栖せらる。寺寶に開山及遠乾二師御本尊、日親上人作宗祖御木像、開山木像等を藏す。

本妙寺 京妙顯寺末 平、等外 宮島村上司 大瀧 祥觀

由緒沿革 圓常山と號す、開山大寶院日信上人、創立寛永十一年三月。

長久寺 京妙顯寺末 平、二九 平屋村野添 花園 英略

由緒沿革 光延山と號す、開基隆源院日鑑上人、開山龍華樹院日像菩薩、創立延寶九年西正月。往昔村靈御所祈願所なれば當時下賜せられたる懸札及菊花紋章御禮箱等あり。寺寶に宗祖曼荼羅等を藏す。

▲何鹿郡

妙泉寺 大光山末 三、二五 吉美村里 香本 韻光

由緒沿革 開山泉住院日雲上人、創立寛永八年三月。

常福寺 大光山末 紫、二四 物部村物部 鈴木 日演

由緒沿革 開山蓮乘院日集上人、創立慶長十六辛亥年三月。

本福寺 大光山末 平、二一 中筋村高津 河本 英周

由緒沿革 開山中道院日增上人、創立文明十八年四月。

妙宗寺 京妙顯寺末 平、二七 奥上林村睦寄 貫名 壽完

由緒沿革 開山一二院日堯上人、創立文祿年中。

▲天田郡

蓮秀寺 大光山末 平、二七 三岳村上佐々木 山本 湛澄

由緒沿革 法久山と號す、開基由利彌右衛門、開山善性院日請上人、創立正保三丙戌年四月。

妙福寺 大光山末 平、二八 三岳村一ノ宮 足立 英教

由緒沿革 開基平民農中路卯左衛門、開山實相院日敬上人、創立明應元年三月二十八日。

善行寺 立本寺末 緋、二二 會我井村岡 片岡 一如

由緒沿革 開基平田八郎、開山大乘院日圓上人、創立元和元年四月。

常照寺 大光山末 緋、一八 福知山町菱屋 栗山 英智

◎京都府 第三部 (丹後組)

▲與謝郡

經王寺 大光山末、中末三 宮津町金 三神 良直

由緒沿革 本誠山と號す、開基京極高廣公、開山大僧都日依上人、創立慶長七壬寅年五月。開山は信州増鹽の館内、星野源治

真善の次男なり、天台宗飯田覺正寺の速成によりて薙髮し、後比叡、三井に遊び一心三觀の教旨を探る。會々大守清花家徳の歸依を受けて猶子となり官、權大僧都を贈る。後本園寺の日助上人、鳴瀧の日通上人に隨ひ、本化の宗致を仰ぎ、岩本に遊び、小西日誓上人に遭ひ、豁然として改宗し、岩本實相寺歴となる。其の後丹後を遊歴し、與謝郡本庄村眞言宗楞嚴寺(七堂伽藍備り北條氏の祈願所たり)を宗論の末、改宗せしむ。時の藩主京極高廣公の歸依を受け、慶長七年五月、寺を現地に移し、本誠山經王寺と改め、爾來藩主の息女、了智院殿妙堯日清尊儀の香華寺となり、參石七斗七升五合の黒印を寄せらる(維新の際廢印)。現今の末寺、本庄淨國寺は、當山舊趾の末寺多聞寺にして、加佐郡河守町妙雲寺は了智院殿の寄附によりて開基され、淺妻の妙國寺は宗論の上、改宗せしめしものか。寺寶に藩主寄附の金屏風一双、茶器、梵鐘(今上陛下皇太子殿下に在し、山陰台臨の砌御上覽に供す)、及本庄公感得祕佛の摩利支尊天、紺紙金泥法華經(十五世潤受院日廣上人の時、本山廿六世日達大僧都より拜受)を藏す。特に弘化元年泰壽日觀上人の再建せる八間

由緒沿革 寶珠山と號す、開基小室平左衛門尉重信、開山九老僧日範上人、創立曆應三年六月十五日。元本郡和久河の邊り荒山村にあり、寶珠山蓮華院金胎寺と稱し眞言密宗に屬す、會々日範上人此地に弘通し、同村甲斐の浪人なる開基の唱顯するあり、同道して同寺に法論し之を服して改宗せしめ、弟子となり日量と云ふ。後二十一世日量上人此地に移轉す。開基の家連綿として現存す。寺寶に開山眞筆五重略同答書一卷あり。附近に有名なる由良川の流れ、往昔山賊の住みしと云ふ鬼ヶ城山あり。

▲船井郡

妙光寺 京妙顯寺末 素、二五 園部町新町 川端 英郎

由緒沿革 本瑞山と號す、開基五十川宗仲、開山興正院日退上人、創立寛永三年四月八日。

妙行寺 頂妙寺末 平、二九 檜山村井尻 稻津 能眞

由緒沿革 開基田畑與助、開山觀行院日行上人、創立天正二年甲子年。

實相寺 京妙顯寺末 平、無等 上和知村市場 田口 玄猶

由緒沿革 諸法山と號す、開基常勤日休、開山日春上人、創立元祿元年三月。

中の本堂の龍の繪は、時の畫家開山氏の筆に成り、技、神に入る。附近に天の橋立の名所あり。

妙照寺 身延末 素、一九 宮津町 大町 圓勇

由緒沿革 功德山と號す、開基丹後府中の城主一色義嗣、開山實教院日養上人、創立文安元年甲子年九月、永正四丁卯年四月兵火に罹り、同五戊辰年現地に移轉す、當地各宗を通じての古刹とす。寺寶に宗祖一遍首題、祐慶作二尺五寸の七面天座像、日期上人作一尺八寸の宗祖御座像、其他日朝日親上人本尊等を藏し、日本三景の一たる天ノ橋立は僅に半里にして達す。

本妙寺 京妙顯寺末 緋、一八 宮津町 鈴木 眞靜

由緒沿革 長久山と號す、寛永二年四月、池田輝政の女、京極丹後守高廣公の北堂壽光院殿、本宗に歸依し、御養父二代將軍台徳院殿御菩提のために當山を建立し、田邊妙法寺住持大僧都佛乘院日賢上人を開山とし、其弟子湛應院日遠上人住持す。當時黒印三十石を下賜せられしが、京極家斷絶して寛文九年以後十一石三斗一升に減せられしも、世々の城主は參拜崇信せり。本堂は嘉永年間日要上人の再建にして、寺寶に三菩薩の本尊を藏す。天ノ橋立、瀧上温泉、金引瀧等皆近し。

實相寺 大光山末 緋、一五 加悦町加悦 貫名 日英

由緒沿革 功德山と號す、開山隆實院日祐上人、創立永祿三庚申年正月五日、十五世守玄院日長上人より現本山末となり、永聖跡に列す、寺寶に佐渡百幅の一たる宗祖御本尊を藏す。

圖教寺

大光山末 日ヶ谷村

由緒沿革 開山教學院日乘上人、創立天文三甲午年三月。

淨國寺

京經王寺末 本庄村本庄上 貫名 英淳

由緒沿革 開山日典上人、創立慶長十五戌年五月廿八日。

妙國寺

京經王寺末 朝妻村六萬部

由緒沿革 開山見立院日安上人、創立天和三癸亥年七月。

大乘寺

京妙顯寺末 伊根村龜島 長井 即禎

由緒沿革 開山本教院日應上人、創立慶長六辛丑年九月。

妙圓寺

京妙顯寺末 日置村 野村 智秀

由緒沿革 開山本教院日應上人、創立天正十二甲申年四月。

妙立寺

京妙顯寺末 府中村中野 下野 英遵

由緒沿革 開山日養上人、創立嘉吉三年五月二日。

正音寺

京妙顯寺末 府中村小松 辻 春善

由緒沿革 開山日養上人、創立文安二乙丑年八月。

自性寺

京妙顯寺末 養老村里波見

由緒沿革 開基品川重右衛門、開山日達上人、創立寛文九巳年七月二日。

妙興寺

京妙顯寺末 養老村奥波見 祖父江惠信

由緒沿革 開基品川久助、開山本壽院日順和尚、創立元和

元乙卯年三月。

熊野郡

妙久寺

京妙顯寺末 下佐濃村永留

由緒沿革 開基本谷野村佐右衛門、開山蓮生院日榮上人、創立天正六年三月二日。

妙長寺

京妙顯寺末 田村平田 石黒 友榮

由緒沿革 開山成就院日相上人、創立明曆二丙申五月。

妙谷寺

京妙顯寺末 海部村新谷 小林 智明

由緒沿革 開基邑主關長門寺滿平、開山意得院日成上人、創立元龜二年。

妙泉寺

京妙顯寺末 海部村蘆原 貫名 英親

由緒沿革 開山日尊大德、創立慶長八年十月十三日。

妙香寺

京妙顯寺末、中末一 川上村新 野崎 泰辨

由緒沿革 開山法光院日眞上人、創立大永二年三月八日。

壽量院

京妙音寺末 久美濱町 京極 泰勤

由緒沿革 開山日進大德、創立寶曆七五年。

中郡

妙經寺

大光山末 峰山町吉原 吉川 通遠

由緒沿革 開基田中彌右衛門、開山日顯上人、創立永祿年中。

常教寺

大光山末 長善村長岡 石橋 通然

由緒沿革 開山日善上人、創立寛文中。

妙德寺

大光山末 河邊村 坂本 日義

由緒沿革 寶林山と號す、開山妙德院日詮上人、創立天正二甲戌年。

本昌寺

大光山末 新山村新町 三浦 行善

由緒沿革 了徳山と號す、開山教仙院日隨和尚、創立寛永元年。

經典寺

大光山末 常吉村上常吉

由緒沿革 開山日立上人、創立永祿七甲子年三月。

竹野郡

本覺寺

立本寺末 網野町網野 木村 日英

由緒沿革 寶案山と號す、開基河田金右衛門、開山善性院日永上人、創立天正四丙子年九月、開基は泉州堺の人、天正元年の頃、此地に來り、もと眞言宗の一草庵を改め開山を請じて當山を建立す。本堂、山門、法皇堂、七面堂、毘沙門堂等寺觀備り、風景佳なり。彼の河田日因、河田行謙各聖は何れも當山開基の末裔なりと云ふ。

妙源寺

大光山末 上字川村平 松岡 日遂

由緒沿革 開基井上石見守、開山日典上人、創立永祿十一年。

日蓮宗寺院 〇京都府第三部 〇竹野郡 〇加佐郡

加佐郡

妙法寺

京妙顯寺末 舞鶴町西 布川 惠順

由緒沿革 長久山と號す、開山權大僧都佛乘院日賢上人、創立元龜三壬申年三月二十八日。十九世唯妙院日龍上人まで各地に移轉し、二十世即妙院日淨上人以後子弟相續して今日に至る。寺は北は海に面し、東は鶴城々趾及城下を俯瞰し西南山を負ふ。詩人笛浦、當山を倚翠樓と呼び好て來遊す。蓋し舞鶴浦の風景は、此寺に倚つて存するを以てなり。

日宗寺

京妙傳寺末 新舞鶴町濱 布目 潮深

由緒沿革 もと惠林院と稱し、明治二十三年六月四日妙傳寺塔中より府下與謝郡岩瀧村弓木に移轉し、大正六年六月更に現地に移り次て現寺號に改む。

妙雲寺

京經王寺末 河守町河守 中江 圓守

由緒沿革 開山陽行院日實上人、創立寶永五年二月。

◎石川縣 第一部 (加賀組)

▲金澤市

立像寺

立本寺末 野田寺町 飯田 惠音

由緒沿革 妙布山と號す、開山日治上人、創立元和元年。近世日輝上人、こゝに主となり、本化の學を講じて充治園を起せる芳蹟とす。上人は加賀金澤の藩士野口和平の四子、九歳出家して諸師に歴事し、後本妙臨師の教を受け、一念三千論、本尊廣略辨、宗義抄等を著し、大に宗風を揚ぐ(安政六年寂、壽六十)。

妙興寺

大光山末 野田寺町 藤田 快哲

由緒沿革 正榮山と號す、開山佛藏院日敬上人、創立慶長十四年五月。

高岸寺

大光山末 野田寺町 坂井 亢淙

由緒沿革 妙榮山と號す、開基加州白山の城主高島石見守、祖先菩提の爲め、其の肉弟大僧都妙覺院日鏡上人を開山として天正十五年十月建立す。爾來諸大小名の信仰厚く、寺領百七十石金札二百五十兩を附せられ、往時大本山の囀頭又は宿院として北陸の名利なり。中世凌雲院日尙上人、大川院日澄上人等あり。寺寶に宗祖本尊、如來獅子圓結、犀浦沙彌訓等を藏し、風景絶佳夏期殊に雅趣に富み、兼六公園は五丁、野田山は六丁の附近とす。

妙法寺

大光山末 野田寺町 林 教愼

經王寺

妙成寺末 小野立町 時藏 本入

由緒沿革 壽福山と號す、開基前田利長公、開山日淳上人、創立慶長六年。

妙泰寺

京妙顯寺末 高道町 遠藤 順亨

由緒沿革 大谷山と號す、開山本妙院日仁上人、創立慶長十五年二月、元祿三年焼失し同年再建し、五ヶ年目毎に千部會を修行す。附近に兼六公園、卯辰山遊園地、淺野川の清流等あり。

妙正寺

妙成寺末 高道町 大窪 俊教

由緒沿革 精進山と號す、開基鍋谷善右、開山尙玄阿闍梨、創立永仁四年三月。

常福寺

妙成寺末 高道町

妙國寺

京妙顯寺末 高道町 明意 鍊中

由緒沿革 日向山と號す、開基金子篤太郎、開山日全上人、創立元和元年正月。

全性寺

京妙顯寺末 高道町 賀來 元諦

由緒沿革 妙具山と號す、開山權大僧都日仁上人、創立大永二年。

蓮覺寺

京妙顯寺末 高道町 張田 教厚

由緒沿革 本學山と號す、開山權大僧都日安上人、創立元和元年二月。

由緒沿革 大蓮山と號す、開基前田家養女圓智院尼、開山日榮上人、創立天元元年十月。享保十五年祝融の災あり、同十六年再建、明治三十六年澤田治助翁特志を以て大修繕を施し、輪奐美を加ふ、依て同氏を中興開基とす。

善隆寺

立本寺末 野田寺町 酒井 快亮

由緒沿革 惠光山と號す、開基安達彌兵衛、開山日禎上人、創立延寶二年九月。

法光寺

大光山末 野田寺町 堀田 教雲

由緒沿革 本照山と號す、開山了覺院日養上人、創立天正九年。

妙立寺

京立本寺末 泉寺町 鋤田 孝山

由緒沿革 正久山と號す、開基田邊佐五左衛門、開山日通上人、創立寛永二十年五月。

興德寺

妙成寺末 笹下町 河村 舜應

由緒沿革 金昌山と號す、開山本理院日受上人、創立正保元年三月。

常榮寺

妙成寺末 笹下町 中川 賢靜

由緒沿革 千佛山と號す、開山妙心院日傳上人、創立正保二年三月。

本是寺

立本寺末 六斗林二丁目 藤村 文惠

由緒沿革 濟生山と號す、開基佐々正益、開山日理上人、創立慶安二年五月。

本法寺

妙成寺末 高道新町 中塚 諦如

由緒沿革 松倉山と號す、開山常唱院日隨上人。

妙圓寺

妙成寺末 高道新町 高野 圓誠

由緒沿革 教徳山と號す、開山法性院日相上人、創立天正十四年。

善妙院

身延末 末廣町 池島 溫良

由緒沿革 平、等外

少玄寺

中山末 常盤町 松尾 秀文

由緒沿革 平、二五

三寶寺

妙成寺末 上小川町 樹下 本亮

由緒沿革 弘法山と號す、開山日眞上人、創立寛永二十年。

眞成寺

妙成寺末 上小川町 篠原 智旭

由緒沿革 妙運山と號す、開山日條上人、創立正保四年四月。

本藏寺

京妙顯寺末 上小川町 本郷 海靈

由緒沿革 遊於四方山と號す、開山本藏院日運上人、創立元和八年三月。

圓光寺

妙成寺末 上小川町

由緒沿革 妙法山と號す、開山日存上人、創立大永元年。

蓮昌寺

京妙顯寺末 卯辰高町 中田 本明

由緒沿革 普香山と號す、開山日壽上人、創立天正十年三月。

妙應寺

大光山末 裏金屋町 小林 完令

日蓮宗寺院 ◎石川縣第一部 ◎石川郡 ◎河北郡

◎能美郡 ◎江沼郡

三一四

由緒沿革 金澤山と號す、開山日宗上人、創立天正九年三月。

蓮華寺 妙成寺末 裏金屋町 宮裏 壽清

由緒沿革 妙法山と號す、開山妙心院日傳上人、創立寛文十二年三月。

長久寺 立本寺末 裏金屋町 大井 日祥

由緒沿革 妙光山と號す、開山日鏡上人、創立文祿二年四月。

◎石川郡

經榮寺 身延末 旭村八田中 室谷 演暢

由緒沿革 妙法山と號す、創立明治十四年六月。

行善寺 妙成寺末 出城村北安田 三原 本禮

由緒沿革 妙林山と號す、開山律師日海上人、創立應永廿五年四月。

本昌寺 京妙顯寺末 上金石町上越 中田 文昇

由緒沿革 徳深山と號す、開山常照院日隨上人、創立正徳二年三月。

◎河北郡

圓乘寺 京妙顯寺末 三谷村河原市 和泉 俊山

由緒沿革 舟岡山と號す、開山圓彌律師、創立應永元年。

本興寺 立本寺末 三谷村藥師 福井 本周

◎江沼郡

宗壽寺 京妙顯寺末 大聖寺町山下 町田 壽雄

由緒沿革 久昌山と號す、開山盛盈院權大僧都日英上人。

蓮光寺 妙成寺末 大聖寺町下屋敷 柘植 教俊

由緒沿革 華徳山と號す、開基前田宗用公、開山本立院日然上人、創立寛永二十一年冬。

◎石川縣 第二部 (能登組)

◎羽咋郡

本山 妙成寺 十一等 上甘田村 三津 日慧

由緒沿革 金榮山と號し四十四ヶ本山の一なり。開基日乘律師、開山日像菩薩、創立永仁二年三月。往昔開山宗門弘通のため、

北國諸州を巡錫し、能登に來りて弘法に力む、時に眞言宗に屬する石動山天平寺の上首大宮坊滿藏法印(本郡志加浦村字町平氏の産)宗論の結果改宗し、弟子となりて名を日乘と賜ふ。永仁二年、開山京都に發するに臨み、日乘を留めて一字を創建せしめ、自ら携ふる所の杖を以て今の地を相し、寺を建て、瀧谷寺と號す。時に柴垣の郷士、柴原法光將監(將監は日乘の伯父なりと云ふ)大に力を盡せ、宅地五町歩を割きて法華の道場にあて、今の寺山號に改め、日像上人を開山に、日乘二世となる。これを妙成寺の濫觴とす。

日蓮宗寺院 ◎石川縣第二部 ◎羽咋郡

由緒沿革 一乘山と號す、開基大村新右衛門、開山乘運阿闍梨、創立至徳三年四月。

興榮寺 地上末 三谷村涌波 三原 本董

由緒沿革 妙扶山と號す、開山日弘上人、創立享徳三年。

本蓮寺 大光山末 三谷村深谷 澤村 智宣

由緒沿革 金澤山と號す、開山日珍阿闍梨、創立文明八年四月。

寶乘寺 京妙顯寺末 三谷村車 森田 本徹

由緒沿革 妙珍山と號す、開基井家氏妻妙祐、開山妙珍阿闍梨、創立曆應二年。

直乘寺 京妙顯寺末 三谷村清水谷 水野 寛秀

由緒沿革 五千部山と號す、開山日詮上人、創立文明十五年。

顯遠寺 立本寺末 三谷村高阪 鳥居 宣妙

由緒沿革 暖乘山と號す、開山暖乘律師。

妙照寺 京妙顯寺末 三谷村直江野 櫻井 舜山

由緒沿革 佛眼山と號す、開基清水九良右衛門、開山日舟律師、創立永享元年。

◎能美郡

妙圓寺 京妙顯寺末 小松町東町 津田 昌信

由緒沿革 法昌山と號す、開山權大僧都妙圓院日仙上人、創立天正三年二月。

永和三年、將軍足利義滿公は禁制札を興へ、嚴に軍勢並に庶人の狼藉亂入を禁じ。天正二年五月、藩祖前田利家卿は武運長久を祈禱して寺領十三石を寄進し、同年十月制札を興へ。後、前田利常卿亦、護國成願の祈禱を命ぜらる。

慶長八年、利家卿の生母、壽福院殿改めて菩提所に定められ、同十九年、前田家武運長久祈禱のため番神堂、庫裡、方丈等の造營あり。元和四年、壽福院殿、追善供養のため、五重塔を建立し、元和寛永の交、祖師堂等諸堂を増し、萬治年中に至りて七堂伽藍悉く成り、寛永八年加越能一宗僧録所に命ぜらる。

是より前、元和七年三月、寄進狀を以て寺領八十六石三斗に増加せられ、寛永二十年、藩主光高卿より改めて百廿一石一斗一升を賜はり、例議諸堂を修理營繕せられ、七堂伽藍、巍々として壯麗に、明治三十九年五重塔、本堂、祖師堂の三棟を、大正六年八月十三日、樓門、書院、鐘樓、祈禱堂(番神堂)、鎮守堂(三光堂)の六棟を、何れも特別保護建造物に指定せられ、寺寶の山水時繪机及山水料紙等は明治三一年國寶に編入せらる。その他宗祖、像、朗三聖三幅の曼荼羅、丈六の釋迦像、傳教大師の心經一卷、弘法大師の法華經繪本六部、兆殿司の涅槃像、菅公書、利常卿筆、當寺陣取圖、青砥左衛門尉の寺法定書等を藏し。寺境廣潤、山内六坊(元は此外に昌運坊ありたるも現今廢寺となる)を有し、開山の杖塚、利常卿御手植の大楓、徳川家寄附の老杉等、現に往時を語り、往職の晋山に際しては前田家より特に十萬石の格式を許され、道中の行列大名に準し、今尙これに擬す、俗に此行列を「奴振り」といふ。此他開基日乘上人の古事

により、住職の本堂に出入するに際し、法螺貝吹二人を従ふの風習を存す。長手島の勝地は當山の附近にあり。

玉壽坊 妙成寺末 上甘田村瀧谷 中田 圓靜

由緒沿革 開基日長上人、開山日像菩薩、創立天正十一年三月、

本覺坊 妙成寺末 上甘田村瀧谷 小堀 本理

由緒沿革 開山日蓮上人、創立天正六年二月十日。

大鏡坊 妙成寺末 上甘田村瀧谷 鍋島 深妙

由緒沿革 開山日充上人、創立天正六年正月。

善住坊 妙成寺末 上甘田村瀧谷 八尋 月松

由緒沿革 開山日淳上人、創立慶長十五年三月十七日。

圓融坊 妙成寺末 上甘田村瀧谷

由緒沿革 開基日慈上人、開山日像菩薩、創立慶長七年五月。

一林坊 妙成寺末 上甘田村瀧谷

由緒沿革 創立寛永八年九月。

本成寺 妙成寺末、中末二 柴垣 小堀 日有

由緒沿革 長興山と號す、開山本山五世日立上人、應永二年隱栖して當山を創立す。明治三十六年十一月廿四日、現住現地に移轉再興し、庫裡本堂等巖然たる巨刹を經營す。長手島の名所は附近にあり。

寶泉寺 石川本成寺末 上甘田村柴垣

由緒沿革 寶掌山と號す、開基寶掌山日覺上人、宗祖を開山に仰ぐ、創立慶長二年。

妙榮寺 大光山末 三波村波並 山邊 眞妙

由緒沿革 金光山と號す、開基儀天院日證上人、宗祖を開山に仰ぐ、創立文明十一年。

妙相寺 妙成寺末 輪島町河井町 高野 誠清

由緒沿革 法廣山と號す、開基實性院日玩上人、開山寶堂院日覺上人。

大乘寺 妙成寺末 宇出津町宇出津 松浦 本因

由緒沿革 法立山と號す、開基正覺院日條上人、宗祖を開山に仰ぐ、創立元和元年。

成隆寺 妙成寺末 大屋村別所谷

由緒沿革 妙法山と號す、開基日存上人、宗祖を開山に仰ぐ、創立康應元年。

▲鹿島郡

日澄寺 妙成寺末 越路村石動山

由緒沿革 龍華山と號す、開山日仲上人、創立大永元年。明治廿三年十月卅日舊稱上慶寺を現稱に改む。

本土寺 妙成寺末 能登部村西馬 青野 慈明

由緒沿革 常在山と號す、開山日像菩薩、永仁二年當國巡錫の

日蓮宗寺院 石川縣第二部 鹿島郡

由緒沿革 涌出山と號す、開山日如律師、創立慶長元年八月。

妙廣寺 妙成寺末 堀松村堀松 浮木 日達

由緒沿革 久榮山と號す、開山日善上人、創立元和年度。

大蓮寺 妙成寺末 柏崎村敷波 藤島 本祐

由緒沿革 立實山と號す、開山日受上人。

妙法輪寺 妙成寺末 末森村麥生 松田 教倫

由緒沿革 寶榮山と號す、開基法華堂五平、開山日源阿闍梨、創立至徳元年。初め眞言に屬し法輪寺と名け、弘法の開創する處、中古兵燹に罹り、正安年中住僧哲源阿闍梨此地に住す。至徳元年日像菩薩、當地今濱の住人五平の誘導により哲源を改宗せしめ、寺を妙法輪寺と名け、五平に法華堂の姓を、哲源に日源の名を賜ふ。菩薩時に年二十五歳、哲源は百卅八歳なり。寺寶に眞言時代の虚空藏像、宗祖御妙判三幅等を藏す。

妙法寺 妙成寺末 富永村太田 村尾 教誘

由緒沿革 本證山と號す、康正元年日賢上人再興、現住に至る寺運益々盛なり。

淨心寺 妙成寺末 越路野村柳田

由緒沿革 寶昌山と號す、開山日傳上人、創立正保二年五月。

▲鳳至郡

淨覺寺 妙成寺末 鶴川村鶴川 小林 本司

砌、加賀太郎北太郎法難に殉死したる靈蹟にして、乘純和尚、自ら開基となり、正安二年四月創立す。

成蓮寺 妙成寺末 西湊村小島 長濱 本布

由緒沿革 華開山と號す、開山日恒上人、創立永和二

長興寺 立本寺末 西湊村小島 浮木 義孝

由緒沿革 久住山と號す、開山日種上人、創立文明元年。

長壽寺 立本寺末 西湊村小島 坂下 惠淳

由緒沿革 久遠山と號す、開山實孝和尚、創立文明元年八月十五日。

妙國寺 大光山末 西湊村小島 北岡 敬順

由緒沿革 法性山と號す、開山日調上人、創立延徳二年。

本延寺 本法寺末 西湊村小島 高木 龍明

由緒沿革 遠壽山と號す、開山日親上人、創立文明元年。

實相寺 大光山末 西湊村小島 福井 日清

由緒沿革 本源山と號す、開山權大僧部日順上人(慶長四己亥年三月廿八日寂)、創立永正七年。寺より七尾瀨を望む風光佳なり。

長久寺 大光山末 西湊村小島 上木 龍濟

由緒沿革 圓壽山と號す、開山日瑞上人、創立元龜二年。

▲珠洲郡

本住寺

京妙覺寺末 紫一九

正院村正院 墨江 義賢

由緒沿革 常壽山と號す、開基宇野石見守、開山壽量院日乘上人、創立永祿二年、開山は親王家なりと傳ふ。

妙珠寺

京妙顯寺末 紫二二

直村野々江 吉田 顯誠

由緒沿革 圓光山と號し、初め眞言に屬す、慶長初年改宗し正院村本住寺二世日隨上人開創す、水戸三昧堂六十四世桑名圓妙寺十一世本是院日俊上人、十三世を嗣ぎ、鐘樓門を再建す。享和元年七月二日、明治六年七月十八日祝融の災に罹り、現住寺門經營に努力して今日に至る。

◎富山縣 第一部 (東部)

▲富山市

大法寺

大光山末、中末二 緋、二三

梅澤町 中村 寬澄

由緒沿革 海秀山と號す、開基一行院日德權律師、開山照盛院日行人、創立寛永三年。

本長寺

富山大法寺末 平、二九

梅澤町 兼上田 寬龍

由緒沿革 松庫山と號す、開山一龍院日德上人、創立寛永元年一月十五日。

經妙寺

富山大法寺末 平、二八

梅澤町 山崎 快順

立像寺

立本寺末 緋、一五

梅澤町 上島 文啓

由緒沿革 妙法山と號す、開山蓮藏院日持上人、創立永祿十二年三月八日。

妙傳寺

大光山末 紫、一五

梅澤町 越後 教隆

全勝寺

京妙顯寺末 紫、二〇

梅澤町 上田 寬龍

由緒沿革 妙具山と號す、開山權大僧都本妙院日仁上人、初の當市を東南に距る五六里に清正公の臣あり、公を尊信して一字を建て、自己の法號全勝院胎山居士に依て寺號に附すと云ふ。創

日蓮宗寺院 ◎富山縣第一部 ◎富山市

立文祿元年四月八日。文久二年二月十三日祝融の災あり、明治五年一宗一ヶ寺の制を布かれ、數度の變遷を経て明治十八年、現地に三度建立す。身延七十六世日阜上人は當寺檀家中田家の出なり。

法華寺

國前寺末 紫、二〇

梅澤町 木村 善教

由緒沿革 日妙山と號す、開山日俊上人、創立寛文四年八月二十八日。

妙國寺

京妙覺寺末 紫、二一

梅澤町 吉岡 寬榮

由緒沿革 日向山と號す、開山信命院日全上人、創立文祿四年四月八日。

長清寺

妙成寺末 紫、二二

梅澤町 前田 親政

由緒沿革 通山と號す、開山日解上人、創立寛永元年八月十五日。

本證寺

大光山末 紫、二〇

梅澤町 梨羽 鍊達

由緒沿革 開山日勝上人中興。

利生院

身延末 紫、二六

梅澤町

由緒沿革 長徳山と號す、開山日現上人。

本顯寺

立本寺末 平、二五

梅澤町 川口 快温

由緒沿革 體具山と號す、開山一如院日印上人、創立文明十八年三月十日。

乘光寺

妙成寺末 紫、二二

星井町 三峰 旭山

日蓮宗寺院 ◎富山縣第一部 ◎下新川郡 ◎中新川郡 ◎富山縣第二部 ◎高岡市 三二〇

▲下新川郡

眞成寺 京妙覺寺末 魚津町眞成寺 町 紫、一四

由緒沿革 玉蓮山と號す、開基玉泉伊織吉崎多門、開山慈光院日等上人、創立太永五年三月。

長教寺 大光山末 魚津町東小路 本行 義寛 紫、一五

由緒沿革 本行山と號す、開基大猷院日現、開山日教上人、創立文明三年。

妙輪寺 妙成寺末 泊町 敷田 海心 紫、一五

由緒沿革 法光山と號す、開基古澤傳兵衛、開山本山十七世妙心院日傳上人、寛永十七年創立。寺寶に日出上人作願滿の宗祖尊像を安置す。

▲中新川郡

長福寺 大光山末 滑川町中野 若栗 顯孝 緋、一五

由緒沿革 久光山と號す、開基瑞光院日穩上人、開山惠祥院日慶上人、初め松倉城主島山修理種長の信仰により、その香華寺として天文十三年三月一日、松倉に建立し、松倉城陥落するや、其家臣松上四郎右衛門、滑川に落延て醫を業とし、二世日穩上人の時當山を滑川澤田割の現地に移轉再興す。

◎富山縣 第二部 (西部)

▲高岡市

大法寺 大光山末、中末二 利屋町 貫名 本壽 緋、一〇

由緒沿革 海秀山と號す、開山榮昌院日能上人は本山の僧、北國に遊化して享徳二年四月、當寺を射水郡放生津に創建す。後同郡守山城主神保氏の歸依ありて守山に移る。慶長年中十世日行上人の時、前田利長公、富山城に移らるゝや、其の歸嚮を受け富山に轉じ、同十四年利長公、高岡城を經營せらるゝや更に現地に移轉す。明治十二年同様に罹り、同十七年再建竣成す。寺寶に宗祖、明師重乾遠各上の本尊を藏し、寺域清秀にして市中樞を占む。

妙國寺 京妙覺寺末 片原町 昇塚 本勇 緋、一四

由緒沿革 日向山と號す、開基信靜院日給上人、開山信命院日全上人(寛永九年一月二十一日寂別頭統記參照)、創立永祿四年(又は慶長三年五月)。明治三十三年類焼の厄に遭ひたるも現住經營して大に教風を揚ぐ。

妙傳寺 大光山末 上桶屋町 野崎 海靜 紫、二〇

由緒沿革 法光山と號す、開山大覺院日教上人、創立應仁元年。

法光寺 大光山末 上桶屋町 紫、一九

由緒沿革 本照山と號す、開山了覺院日養上人創立。

▲射水郡

立像寺 立本寺末 掛開發村開發 城能 周妙 紫、二六

由緒沿革 妙法山と號す、開山蓮藏院日治上人、創立慶長二年。

日澄寺 高岡大法寺末 小杉町戸破町 松野 鍊英 紫、二三

由緒沿革 光永山と號す、開山覺心院日了上人、創立文祿三年正月九日。

法泉寺 高岡大法寺末 作道村久々湊 藤島 本誓 素、二三

由緒沿革 本涌山と號す、開山照慶院日行上人、創立寛永三年九月七日。

▲氷見郡

蓮乘寺 大光山末 氷見町朝日町 鈴木 教善 緋、一三

由緒沿革 直至山と號す、開基摩訶一院日印上人、開山妙典院日蓮上人、創立嘉曆二年、初め眞言に屬し射水郡頭川村にあり。後氷見郡稻積村に、又氷見町中町に移る。當時類焼の厄あり、四十二世日央上人の時、現地に轉じ、四十一世日順上人本堂を、四十二世日露上人庫裡を、四十五世岡田教篤上人番神堂を、四十六世星潮旭上人境内地を購入し、四十七世武村誠誓上人本堂屋根を改修し、現住門を新築して寺觀備る。寺寶に佛像兩上本尊等を藏す。

寶徳寺 大光山末 氷見町中町 高野 誠顯 平、二〇

日蓮宗寺院 ◎富山縣第二部 ◎射水郡 ◎氷見郡 ◎西礪波郡 ◎東礪波郡 三二二

▲西礪波郡

本行寺 立本寺末 石動町今石動 旗智 潮運 緋、一八

由緒沿革 津幡山と號す、開基石動城主前田又次郎利秀卿、開山蓮行院日統上人、天正十一年利秀卿に隨て加州津幡より現地に移轉し、同十二年正月創立す。寺寶に探幽の釋迦八相記等を藏す。

本教寺 大光山末 北蟹谷村八講田 土屋 勝鑑 紫、二〇

由緒沿革 佛眼山と號す、初め天台に屬し、桓武帝の勅により延暦十三年、觀山の乘養坊を此地に移轉せるもの。其の四十九世正啓阿闍梨、宗祖の撰時抄を拜し、宿因の發すると、こゝる、翻然改宗し、自ら日珍と稱し改宗開山となる。時に明德元年とす。爾來法鼓鑿々として本化の教風を揚ぐ。

法雲寺 妙成寺末 廣瀬村坂本 中條 良榮 紫、二三

由緒沿革 星場山と號す、開山妙行院日惠上人、創立元和元年。初め羽咋郡柴垣村にあり、明治十一年九月四日、成瀬日頸上人、現地に移轉再興す。寺は坂本村の中腹に在て眺望可なり。

▲東礪波郡

法乘寺 妙成寺末 城端町 矢野 清泰 平、等外

由緒沿革 妙運山と號す、開山正覺院日條上人創立。

◎滋賀縣 第一部 (北部)

▲坂田郡

常昌寺 京妙顯寺末 南郷里村新榮 服部 霞山

由緒沿革 開基本光院日示上人、開山日像上人。

妙法寺 京妙顯寺末 長濱町南片 兒玉 禪戒

由緒沿革 七尾山と號す、開基本光院日示上人、開山增長院日
富上人、創立天文元年。初め天台に屬し、淺井郡小谷山下にあ
り、長尾寺と云ふ。時の住僧、信長公の兵燹を逃れ出て、偶々龍
華の日廣上人に遭ひ、化に浴して增長院日富と改む。その弟子
本光院日示上人、學徳高く、豊公の長濱(舊名今濱)を治むる日、
深く上人を敬仰し、公の幼兒小治郎秀勝の早世するや上人庵住
の地に葬らしめ、本光院朝覺と諡す。天正十年公は寺領三十
石、寺地三ヶ所を賜ふ。一は今の妙法寺の地これなり。宗門の
學者中正院日護上人三世の法灯を挑げ、慈雲院日靖上人六世を
嗣ぐ。湖中多景島見塔寺は日靖上人の開創する所なり。明治五
年類焼の厄に遭ひ、同四十七年現本堂を再建し、最近門前六十
坪の宅地を編入し、寺觀一新するに至れり。寺寶に中正院日護
上人自作の諸尊を安置し、同上人の手蹟、秀勝公肖像、清正公
の支題等を藏し、豊公園、竹生島、多景島、伊吹山、賊ヶ嶽等
皆近く、近江湖水は一眸の中にありて、風光佳なり。

妙立寺 立本寺末 神田村加田 河村 耀純

由緒沿革 開基慈光院日善上人、開山慈雲院日靖上人、創立明
曆元未年正月。

▲蒲生郡

妙感寺 立本寺末 馬淵村馬淵 萩原 日常

由緒沿革 具足山と號す、開山日像菩薩、創立永仁四丙申年。
初め眞言に屬す。開山華洛弘通の際、東關の行を企て道を觀山
横川に取り堅田より木濱に渡る。今濱の人、今江彦右衛門船中
に於て化に服し、開山歸京の砌、時の住僧明慶亦改宗す。依て
今の寺山號を定め二世を嗣ぐ。爾來歷世相受け、廿二世日亮上
人堂宇を修補し、現住大に教勢を張る。開山首題を自書し、信
者相集て一晝夜に彫刻せしものと傳ふる石塔あり。

妙經寺 立本寺末 馬淵村長福寺 松永 雪溪

由緒沿革 開山日像菩薩、創立永仁四年。

蓮經寺 妙傳寺末 八幡町孫平治町 好光 塵外

由緒沿革 開基佐々木定頼、開山日意上人、創立明應五年二月
廿五日。

淨國寺 立本寺末 岡山村牧 渡邊 行正

由緒沿革 開山日像菩薩、創立永仁四年。

立善寺 立本寺末 朝日野村合戸 北川 即壽

由緒沿革 開基西田休庵、開山日遙上人、創立寛永十一年。

日蓮宗寺院 ◎滋賀縣第一部 ◎蒲生郡 ◎栗太郡 ◎野洲郡

由緒沿革 開基青蓮房日選上人、開山大覺大僧正、創立元治元
年五月。

▲犬上郡

蓮華寺 身延末 彦根町一番 伊藤 慈辨

由緒沿革 妙法山と號す、開基西郷伊豫守、開山朝學院日義上
人、創立慶長八年三月十五日。初め上州箕輪にあり、伊井直政
公に隨て同國高崎に移り、更に公の彦根城に封ぜらるゝや再び
現地に轉ず。實に城主の建立なり。然るに寛保元年祝融の災あ
り寶曆十三年土木の工を起し、明和七年成る、現在の當山これ
なり。

蓮成寺 京妙覺寺末 彦根町西榮町 加藤 日掌

由緒沿革 妙立山と號す、開基本正院日禎上人、開山妙行院日
利上人、初め彦根澤山城趾にあり(法花丸その舊趾なり)。當時
天下大に亂れて天災頻りに至る。織田信長公部下の將士に命じ
て領内及其居城内に佛殿を建立せしむ。時の澤山城主磯野丹羽
守堀久太郎丹羽市左衛門の建立せしものを當山とす。慶長七
年現地に移轉し、寺運益々盛んなり。

妙源寺 京妙顯寺末 彦根町上河原 岩井 孝演

由緒沿革 開基正行院日猛上人、開山通玄院日學上人、創立文
祿元年三月廿三日。

見塔寺 京妙顯寺末 磯田村八坂領 内潮中

經王寺 立本寺末 西大路村西大路 濱島 智靈

由緒沿革 創立明治十六年九月五日。

▲栗太郡

本像寺 立本寺末、中末一 物部村今宿 藤岡 即祐

由緒沿革 具足山と號す、開山日像菩薩、創立永仁二年六月。
寺寶に宗祖御眞蹟斷片、像師、朝源僧部、日願、日親、日印、
日朝各上の本尊等を藏し、近江富士(一名百足山)は凡そ廿五丁
にして、世界平和なれば一本の蓮に枝を生じて花開くと傳ふる
田中の蓮まで凡そ一里とす。

圓成寺 立本寺末 物部村古高 岩井 即運

由緒沿革 開山日像菩薩、創立永仁六年。

圓融寺 立本寺末 草津町 後藤 智耀

由緒沿革 開山日生理法師、創立永祿二己未年四月。

▲野洲郡

法華寺 立本寺末 速野村今濱 津田 日進

由緒沿革 開基今井彦右衛門、開山日像菩薩、創立永仁元年。

正法寺 立本寺末 速野村水保

由緒沿革 開基中島林平、開山日隨法師、創立天保十年。

◎滋賀縣 第二部 (南部)

▲大津市

本長寺 大光山末、中末三 下榮町 松尾 良政
紫、一九

由緒沿革 開基小野了以、開山日壯法師、創立天正十四年三月十日。

本要寺 大光山末 石橋町 羽栗 賢孝
紫、一九

由緒沿革 蓮光山と號す、開基平田源治、開山善住院日譽上人、創立寛永三年三月、明治廿年本成院日意上人再建。附近に三井寺あり。

眞常寺 立本寺末 寺町 川上 即正
紫、二三

由緒沿革 開基饗庭庄右衛門、開山日像菩薩、創立永仁六年三月三日。

妙光寺 京妙顯寺末 關寺町 清水 良正
紫、二三

由緒沿革 開基長谷川久兵衛、開山日性法師、創立天正元年二月。

圓福寺 京妙顯寺末 馬場町 林 惠珠
平、二四

由緒沿革 開山日理法師、創立延寶六年八月。

▲滋賀郡

齋と號し、維新の際同志と共に勤王の義を唱ふ、明治卅五年當寺に入檀し、同四十一年一月廿日卒す、溫公院衷心日篤居士と號す。歿後九年從五位を贈らる。

立泉寺 立本寺末 北杣村牛飼 間所 良辨
紫、二五

由緒沿革 開山日明法印、創立享祿元年三月。

妙蓮寺 身延末 山内村黒川
平、三〇

由緒沿革 開基黒川豐後守、開山日春法師、創立寛文四年。

妙孝寺 大光山末 三雲村三雲 上木 良俊
平、二七

由緒沿革 開山大僧正日隆上人、創立元祿七年四月。

▲高島郡

妙雲寺 本滿寺末 本庄村川島 則武 潮秀
紫、二三

由緒沿革 開山日乾法印、創立慶長十年三月十五日。

妙福寺 滋賀本長寺末 膳所町仲ノ庄 小川 義海
平、二九

由緒沿革 開山日榮法印、創立慶長十年三月。

蓮聖寺 滋賀本長寺末 下阪本村下阪 正村 順妙
平、二八

由緒沿革 開基松田庄右衛門藤原朝臣宗也、開山日郷法印、創立慶長十年一月十二日。

長榮寺 滋賀本長寺末 木戸村大物 伊藤 潮亮
平、三〇

由緒沿革 開基小野庄左衛門、開山日安法師、創立元和元年。

▲栗太郡

本安寺 京法性寺末 大石村小田原
平、二六

由緒沿革 開山玉泉院日遠上人、創立應永二十七年五月。

妙眞寺 京法性寺末 瀬田村橋本 安藤 圓諦
平、二五

由緒沿革 開山日遠上人、創立應永二十九年四月。

▲甲賀郡

本行寺 立本寺末 柏木村北脇 渡邊 行明
平、二七

由緒沿革 開山寶泉院日位上人、創立天正八年。

本正寺 立本寺末 水口町水口 長田 日寶
平、二九

由緒沿革 開山量詮院日祐上人、創立元祿元年。境内に油川信近翁の墓地あり。翁は天保三年春近江國水口藩油川家に生る、機

◎福井縣 第一部 (越前組)

▲南條郡

妙國寺

京妙顯寺末 緋、一五

武生町曙 林 雪法

由緒沿革 金龍山と號す、開基律師清般、開山大僧都日東上人、創立應仁元年四月二十八日。

榮久寺

京妙覺寺末 平、二二

武生町曙 幸道 行伯

由緒沿革 經王山と號す、開山大僧都日要上人、創立天文八年九月十七日。

本行寺

京妙顯寺末 緋、一五

武生町末廣 石本 日秀

由緒沿革 長榮山と號す、開山日像菩薩、創立元徳元年三月二十八日。

妙智寺

京妙顯寺末 平、二四

武生町末廣 上島 即松

由緒沿革 本境山と號す、開基日眞律師、開山日像菩薩、創立元弘元年五月。

蓮尚寺

京妙顯寺末 紫、二三

武生町泉 長田 惠量

由緒沿革 法榮山と號す、開山正法院日林上人、創立永祿二年二月十五日。

羅王寺

京妙顯寺末 緋、一五

武生町泉 大橋 即永

由緒沿革 華嶽山と號す、開基日淳上人、開山日像菩薩。

妙高寺

本法寺末 緋、一九

武生町櫻 關内 良誠

由緒沿革 頂龍山と號す、開基日榮上人、開山日親上人、創立嘉吉三年八月十五日。

妙泰寺

京妙顯寺末、中末五 緋、一〇

南日野村 貫名 龍山

由緒沿革 大谷山と號す、開基小泉久左衛門、開山日像菩薩、創立永仁二年三月二十五日。

林正院

福井妙泰寺末、南日野村西大 平、二七

道

本因院

福井妙泰寺末、南日野村西大 平、二〇

道

秀香寺

京妙顯寺末 素、二〇

南日野村脇本 飯田 惠濟

由緒沿革 大乘山と號し、もと本覺院快圓律師の一字山成就寺(天文十六年創立)、華光院日圓律師の法性山常妙寺、弘治二年創立、蓮光院日然上人の隨喜山蓮光寺(元和四年創立)の三ヶ寺を、明治廿二年一月合併創立し、現寺山號に改めたるもの、本堂、庫裡、書院、鐘樓、土藏等あり、寺寶に傳教大師作辨財天像左宗心作尊神像等を藏す。

妙勸寺

京妙顯寺末 緋、一二

王子保村今宿 松本 日精

由緒沿革 光明山と號す、開基妙文僧都、開山日像菩薩、創立永仁二年。

掟光寺

京妙顯寺末 素、二二

王子保村中平 上木 龍舜

感應寺

京妙顯寺末 素、一五

栗田部村栗田 竹内 觀妙

妙弓寺

身延末 素、二三

栗田部村榮 石本 惠俊

由緒沿革 高月山と號す、開山日界上人、創立天正五年四月八日。

妙稻寺

京妙顯寺末 素、二〇

國高村稻寄 樫尾 良慶

一乘寺

京妙顯寺末 素、二二

國高村塚町 三井 龍寛

泉久寺

京妙顯寺末 緋、一五

國高村高木 鈴木 行泰

妙法寺

京妙顯寺末 緋、一五

神明村岡野 川崎 周哲

由緒沿革 一乘山と號し、元と眞言宗なりしが、開山日像菩薩遊化の際改宗創立す、實に永仁二年なり、初め南條郡神山村にあり、元和六年現地に移轉す。寺寶に開山本尊並に御彫刻の宗祖御像及び堅八寸横九寸一紙の細字法華經あり。前は大原野に接し後は有名なる文珠山等の遠山を望み風光佳なり。

功德寺

京妙顯寺末 素、二〇

味眞野村五分 増永 寛秀

由緒沿革 定聚山と號す、開山日榮上人、創立應永二年四月八日。

願滿寺

京妙顯寺末 素、二五

今庄村今庄 松本 行徳

久成寺

福井妙泰寺末 平、等外

宅良村古木

由緒沿革 古木山と號す、開山日琢律師、創立天和二年。

本徳寺

京妙覺寺末 紫、二五

堺村廣野 落井 龍要

本教寺

福井妙泰寺末 平、等外

南柚山村上別所

由緒沿革 長久山と號す、開山日深上人、創立元和元年四月六日。

蓮華寺

福井妙泰寺末 平、等外

南柚山村阿久和

由緒沿革 妙法山と號す、開山廣春僧都、創立天正八年四月二十八日。

妙行寺

京妙顯寺末 紫、二〇

神山村澤

由緒沿革 澤本山と號す、開基日要上人、開山日像菩薩、創立永仁二年五月十三日。

妙法寺

京妙顯寺末 素、二五

湯尾村湯尾 足利 良海

由緒沿革 大經山と號す、開山日善上人、創立天文元壬辰年。

▲今立郡

日蓮宗寺院 ◎福井縣第一部 ◎今立郡

▲丹生郡

蓮藏寺 大光山末 糸生村小倉 藤田 文哲

由緒沿革 澤田山と號す、開山情達院日怡上人、創立正徳三年五月四日。初め多聞院と稱す。明治の初年十七世止妙院日追上人庫裡を改築し、廿世上宣院日芳上人本堂再建、明治四十年現住庫裡を改築す。大正三年五月十四日本堂回祿、同十月起工、同五年五月十五日立柱、同六年七月十日落成、新刻本尊奉安式を擧ぐ。寺寶に、宗祖、向、朗、親、賽各上の本尊を藏し、藏王山(一名鬚山)は寺と相對し、泰澄法師の開きたる越知山は四方に變え、幽雅愛すべし。

法華寺 京妙顯寺末 宮崎村蟬口 大川 文徳

由緒沿革 妙光山と號す、開山寂光院日鎮上人、創立嘉永四年九月廿三日。

開法寺 京妙顯寺末 吉野村家久 山口 龍公

由緒沿革 光榮山と號す、開基顯開院日高律師、開山日像菩薩、創立乾元元年。

實相寺 身延末 朝日村天王 青山 義照

由緒沿革 延壽山と號す、開山日番上人、創立永正八年三月十五日。

成福寺 京妙顯寺末 大蟲村上大蟲 泉 良澄

上人の時堂宇類焼、十五世日惠上人再建し、十九世日長上人諸尊を安置す、十七世日選上人の時、中御門大納言殿の祈願所となり、廿二世日法上人の時類焼、廿三世日進上人諸堂建立、廿六世日順上人の明治廿五年三月諸堂類焼、現住七間四面の本堂並に庫裡、廊下、門を新築し、諸尊全部を勧請す。寺寶に願滿の宗祖靈像あり、境内に越前太田騒動に有名な墓所存す。

泰遠寺 京妙顯寺末 松影町 天津 泰岳

由緒沿革 大谷山と號す、開山九藏院日塚上人、創立寛文元年。

妙國寺 京妙顯寺末 足羽上町 岡田 學妙

由緒沿革 開基朝倉家、開山大律師日能上人、創立元龜二年二月一日。

妙長寺 京妙顯寺末 日ノ出中町 清水 是慶

由緒沿革 勝運山と號す、開基妙長日運、始め當市勝見にあり、慶長七壬寅年林光院日瑞上人現地に移轉再興す、依て上人を開山とす。鎮守の鬼子母尊神一幅は武州廳下萩原清久夫人の隨身靈像にして享保年間より當山寺寶となる。

妙永寺 京妙覺寺末 緑町 武田 學秀

由緒沿革 長壽山と號す、開山青陽院日春上人、創立寛永年間。

教徳寺 京妙覺寺末 若松町 羽野 文儀

由緒沿革 開山教藏院日心上人、創立天文四年六月廿二日。

常樂寺 大光山末 若松町 梶川 寛海

日蓮宗寺院 ●福井縣第二部 ●丹生郡

由緒沿革 大通山と號す、開基權律師本理院日理上人、開山智勝院日成上人、創立明應八年十月一日。

▲敦賀郡 敦賀町大 安立 一如

妙顯寺 京妙顯寺末、中末一 島

由緒沿革 開山日像菩薩、創立天長二年三月。

長遠寺 立本寺末 敦賀町大島 山本 即善

由緒沿革 開山日禰大僧正、創立文龜年中。

大乘寺 大光山末 敦賀町旭

由緒沿革 開山圓乘院日善上人、創立明和三年。

●福井縣 第二部 (福井組)

▲福井市

妙國寺 弘法寺末 乾上町 松田 學義

由緒沿革 法頂山と號し關東妙國寺と稱す、開山源授院日誦上人(結城妙國寺開山日念上人(本山頂師の弟子)の資は、結城秀康公の歸依厚く、公の越前福井に封せらるゝや、共に當地に移り、慶長十八年、福井市石場に當山を建立し、更に現地に移さる。後年石場に同名の寺院あり、依て彼に簡別して當山を法頂山關東妙國寺と稱ふ(蓋し開山は圓基三段の名手にして圓基を以て秀康公を教化せるものと云ふ)。後、公は其家臣五百石以上の奥方を檀方に附す、今に至るも婦人は皆當山に葬る。十四世日選

由緒沿革 開山權大僧都善住院日從上人、創立文明二年五月一日。

妙性寺 京妙顯寺末 若松町 宗接 惠眼

由緒沿革 開山青陽院日春上人、創立文明二年八月八日。

常休院 京妙顯寺末 手寄中町 久世 惠正

由緒沿革 小谷山と號す、開山常休院日引上人、創立元祿三年七月。

本妙寺 大光山末 照手上町 杉本 文秀

由緒沿革 松龍山と號す、開山權大僧正善光院日視上人、開基當國一乘谷城主朝倉公、永正十年四月創立、公落城の後、慶長六年中納言松平秀康公入國の砌り、一乘谷村字安波賀區より藩主の歸依により、八幡神社と共に現地に移轉し、十二世智妙院日這上人中興す。爾來寶永五年、文政元年七月、安政二年、明治三十五年三月の四回祝融の災あり、現本堂は明治廿五年の再建に成り、寺寶の梵鐘は藩主の鑄る所と云ふ。足羽川寺側を流れ、福井物産館約一丁の處にあり。

本法寺 京妙顯寺末 壽町 谷口 即妙

由緒沿革 啓運山と號す、開山權大僧都法印日承上人、創立寛正元年十月。

▲丹生郡

眞淨寺 京妙顯寺末 西安居村上一 小竹 惠教

由緒沿革 妙覺山と號す、開山眞淨院日證上人。

妙圓寺 京妙顯寺末 素、二四 國見村鮎川 加島 教妙

由緒沿革 一乘山と號す、開基大覺大僧正妙實上人、開山日像菩薩、創立天正十六年。

大乘寺 京妙顯寺末 緋、一五 國見村大丹生 上島 惠澄

由緒沿革 開山大僧正日應上人、創立應永元年。

▲阪井郡

妙海寺 京妙顯寺末 緋、一三 三國町大門 長谷川龍海

由緒沿革 重光山と號す、開山權大僧正日英上人、創立慶長三年正月十日。

法榮寺 京妙顯寺末 素、二四 丸岡町谷 重山 穩海

由緒沿革 體嚴山と號す、開山善住院日達上人、創立天正二年三月。

妙光寺 京妙顯寺末 平、二六 丸岡町石城戸 飯田 惠妙

由緒沿革 慈眼山と號す、開山慈德院日然大德、創立寛永五年正月。

▲吉田郡

慶妙寺 京妙顯寺末 素、二六 上比志村山王 面谷 惠長

由緒沿革 靈應山と號す、開基日蓮宗中興開基日扇上人、開山

天台宗清雲法師、創立養老元年八月十五日。

圓壽寺 京妙顯寺末 素、二一 五頭ヶ島村上 小泉 惠順

由緒沿革 定光山と號す、開山松云院源後上人、創立寛正六年五月。

▲大野郡

圓立寺 大光山末 平、二〇 大野町寺町 三井 龍堯

由緒沿革 眞應山と號す、弘治二丙辰年七月八日（或は永祿四年）、圓立院光實日眞居士（又は丹立居士）當山を創立し、長壽院日蓮大德を招請して開山とすと云ふ。寺寶に宗祖文永六年正月八日太田與之の祈禱本尊、同寶塔偶、其他重乾遠三師の本尊、但馬公寄附の建物屏風等を藏し、境内眺望佳なり。

大雄院 京妙顯寺末 平、二八 大野町寺町 杉本 惠學

由緒沿革 開山大雄院日前上人、創立承應二年三月。

妙典寺 京妙顯寺末 素、一八 大野町寺町 貫名 龍禎

由緒沿革 開山寶慶院日應上人、創立明應九年八月。

大蓮寺 弘法寺末 平、二二 勝山町澤 安間 惠懷

由緒沿革 品量山と號す、中興開山見隆院日然上人、創立寛永四年、初め村岡山下にあり、日然上人の時、松平大和守勝山城主たり、深く上人に歸依して寺を勝山に移し、且つ其の母堂の院號品量院を以て山號に、其の父君の院號大蓮院を以て寺號に

銘す。廿七世日憲上人の時、舊地にありし七面天女を當山に移し現に勧請す。

圓德寺 京妙顯寺末 平、無等 阪谷村堂島

◎福井縣 第三部

▲遠敷郡

長源寺 大光山末、中末八 小濱町酒井 今井 日光

由緒沿革 開基正護比丘尼、開山日源上人、創立明德二年三月。當寺は酒井侯の香華寺たり。

安全院 福井長源寺末 平、三〇 小濱町酒井 益山 行伸

由緒沿革 開山日信上人。

圓光院 福井長源寺末 平、二七 小濱町酒井 上木 亮辨

由緒沿革 開山日就上人。

圓教院 福井長源寺末 平、等外 小濱町酒井

由緒沿革 開山大藏院日雅大德。

淨行院 福井長源寺末 平、二七 小濱町酒井

由緒沿革 開山淨行院日宗上人。

妙興寺 京妙顯寺末、中末 小濱町鹿島 堀江 日慶

由緒沿革 開基日禪上人、開山日像菩薩、創立永仁二年三月。

本長寺 福井長源寺末 平、二七 松永村上野 長谷川行定

由緒沿革 開山日純上人。

妙行寺 福井長源寺末 平、二五 遠敷村遠敷 服部 行健

由緒沿革 正幸山と號す、開基但馬出石の人、正護比丘尼、應永年間創立、寛政年間祝融の災あり、開基常用の七條及念珠を尙存す。

源應寺 福井長源寺末 平、等外 西津村港

由緒沿革 開山日感上人、創立慶長十三年六月二十日。

妙善寺 福井長源寺末 平、二九 知三村久坂

由緒沿革 開山日像菩薩。

妙祐寺 福井妙興寺末 紫、二〇 口名田村中牛 梅林 行信

由緒沿革 開山日祐上人、創立慶長十二年二月。

長德寺 福井長源寺末 紫、二三 口名田村谷田 大高 即能

由緒沿革 開山日甄上人、創立慶長二年三月十五日。

▲大飯郡

本德寺 福井長源寺末 紫、二五 加斗村東勢 内藤 行精

由緒沿革 開山日源上人、創立永享三年五月十二日。

妙嚴寺 福井長源寺末 紫、二二 加斗村西勢 上木 即修

由緒沿革 開山日宗上人、創立寛正二年十二月一日。

妙長寺

福井長源寺末
紫、二三

高濱町宮崎 工藤 卽攝

由緒沿革

開山日惠上人、創立明慶二年三月三日。

妙光寺

福井妙興寺末
紫、二四

高濱町三明 荒木 卽周

由緒沿革

開山日眞上人、創立元龜元年四月八日。

◎大阪府 第一部 (大阪組)

▲大阪市南區

自安寺

大光山末
紫、七

難波河原町一 山田 口行
丁目

由緒沿革

蓮登山と號す、開山日道上人、創立寛保二年。

夕雲庵

大光山末
平、二〇

難波新地六番 永田 智音
丁

由緒沿革

夏月山と號す、開山夕雲居士、創立寛永元年。

西正庵

大光山末
平、二二

難波新地元町 筒井 春令

由緒沿革

東光山と號す、開基氏原六右衛門、開山日達上人、創立享保二年四月。

▲大阪市東區

常國寺

妙國寺末、中末一
紫、一一

西高津中 永井 泰惠
寺町

由緒沿革

妙普山と號す、開山日周上人、創立慶長十二年四月廿八日。

蓮光寺

大光山末
紫、一九

西高津中寺町 葛井 泰雅

由緒沿革

讀經山と號す、開山日儀上人、創立慶長十年。

正法寺

本法寺末、中末一
紫、一三

西高津中 藤村 惠照
寺町

由緒沿革

本覺山と號す、開基正法院法順日玄、開山日性上人、創立元和二年二月。

圓妙寺

頂妙寺末
紫、一〇

西高津中寺町 深川 觀察

由緒沿革

寶珠山と號す、開山善行院日政上人、創立元和元年四月八日、現住能く寺門を經營し諸堂輪奐の美を盡す。依て本山は中興の稱を贈る。寺寶たる勸請の諸尊は悉く雲慶の作と傳ふ。境内の井戸は、昔、仁徳天皇の御用水たり、依て「水の寺」の稱あり。

法性寺

京妙覺寺末
紫、一八

西高津中寺町 東儀 泰本

由緒沿革

眞如山と號す、開山日信上人、創立慶長十三年。

寶泉寺

京妙覺寺末
紫、一八

西高津中寺町 池田 慈雲

由緒沿革

昌蓮山と號す、開山日利上人、創立慶長十三年。

藥王寺

京妙覺寺末
紫、一七

西高津中寺町 堀口 日完

由緒沿革

玉作山と號す、開山日近上人、創立慶長十七年四月廿八日。

妙壽寺

立本寺末
紫、一二

西高津中寺町 三浦 顯孝

由緒沿革

東明山と號す、開山日周上人、創立慶長元年。

本要寺

大光山末、中末一
紫、一五

西高津中 金山 日雅
寺町

由緒沿革

求法山と號す、開山大僧都日就上人、創立文祿二年。

妙德寺

京妙顯寺末、中末一
紫、一四

西高津中 吉澤 孝順
寺町

由緒沿革

法雲山と號す、開山律師日安上人、創立文祿元年八月。

雲雷寺 身延末 素一〇 西高津中寺町 深見 靈照

由緒沿革 妙法山と號す、開山日寶上人、創立慶長三年。

本照寺 大光山末、中末一 紫一六 谷町八丁目 辻本 英眞

由緒沿革 光要山と號す、開山日沾上人、創立永祿元年四月。

長久寺 大光山末、中末一 紫一二 谷町八丁目 鎌田 潮音

由緒沿革 大圓山と號す、開山日長上人、創立天正十七年四月。

妙光寺 大光山末 紫一五 谷町八丁目 佐野 貫孝

由緒沿革 榮久山と號す、開山大僧都日就上人、創立永祿五年。

本長寺 大光山末 紫一四 谷町八丁目 上木 海正

由緒沿革 寶珠山と號す、開山寶相院日存上人、創立元和三年。

本政寺 大光山末 紫一二 谷町八丁目 竹元 龜游

由緒沿革 榮耀山と號す、開山日秀上人、創立元和四年。

妙經寺 本満寺末、中末二 緋一五 谷町八丁目 井畑 友哲

由緒沿革 光徳山と號す、開山日清上人、創立天正八年。

妙像寺 京妙顯寺末 紫一五 谷町八丁目 有光 友靜

由緒沿革 圓徳山と號す、開山日顯上人、創立元和三年。

正覺寺 身延末 素一四 谷町八丁目 淵田 惠綱

由緒沿革 日近山と號す、開山種善院日潤上人、その師範正覺院日近上人報恩のため寛永四年五月創立し、今の寺山號を銘

ず。寺寶に宗祖御眞蹟斷片三幅、日像菩薩本尊等を藏す。

海寶寺 身延末、中末一 素一六 谷町八丁目 犬飼 泰妙

由緒沿革 龍玉山と號す、開山日報上人、創立慶長六年。

法妙寺 京妙覺寺末 紫一五 谷町八丁目 高見 智靜

由緒沿革 本覺山と號す、開山日旛上人、創立永祿五年。

欣心庵 大阪妙徳寺末 平二三 町 東平野町野堂 志村 智昇

由緒沿革 遠沾山と號す、開山日道上人。

良政寺 池上末 平二〇 東平野町四丁目 上木 龍諦

由緒沿革 妙信山と號す、開山日寛上人。

夕願寺 大光山末 平一九 東平野町五丁目 柴崎 英學

由緒沿革 教誓山と號す、開山日利上人、創立元文四年三月。

寶樹寺 京妙顯寺末 平一六 上本町六丁目 室木 智鶴

由緒沿革 圓林山と號す、開山日宗上人、創立萬治二年正月。

宗林庵 本法寺末 平二二 上本町八丁目

由緒沿革 寶樹山と號す、開山碧岸、創立寛文七年三月。

朝日庵 大阪妙經寺末 平二四 森ノ宮東ノ町 藤原 妙清

由緒沿革 開山日要上人、創立寶曆三年五月。

▲大阪市北區

妙福寺 小湊末、中末一 紫一二 末廣町 早川 日悌

由緒沿革 詮量山と號す、開基三田七良右衛門、開山廣演院日

成正寺 身延末 素一二 末廣町 山村 貫立

由緒沿革 讀誦山と號す、開山權大僧都日秀上人、創立慶長九

本傳寺 大光山末 緋一〇 西寺町 丸田 惠貞

由緒沿革 高照山と號す、開山佛乘院日政上人、創立文祿四年

善正寺 中山末 紫二一 西梅ヶ枝町 瀬川 惠溫

由緒沿革 法華山と號す、開山日門上人、創立明應二年。

法清寺 本満寺末 素二一 會根崎町 矢野 智元

由緒沿革 光智山と號す、開山日境上人、創立元文三年五月。

淨祐寺 池上末 素一三 上福島町 上野 顯登

由緒沿革 妙行山と號す。

善徳寺 本満寺末 紫一九 本庄葉村町 永瀧 堯俊

由緒沿革 法秀山と號す、開山日空上人。

日蓮宗寺院 大阪府第一部 大阪市西區

幸松寺 大光山末 平一八 本庄浮田町 掛下 觀薩

由緒沿革 永昌山と號す、開山大僧都日達上人、創立延享四年。

知足庵 大阪正法寺末 平二九 天神橋五丁目 宍戸 智孝

由緒沿革 開山小川貞定尼、創立文久元年六月一日。

正善院 小湊末 平一〇 北同心町 向井 貫澄

由緒沿革 松雲山と號す、開山廣演院日相上人、創立寛文七年。

如在庵 大阪本照寺末 平二三 南濱町 長田 惠俊

由緒沿革 開基和川助三郎、開山日相上人、創立享保五年十月。

▲大阪市西區

音明寺 京寶塔寺末 平一五 本田町通一丁 大江 亮運

由緒沿革 淨清山と號す、開山融妙院日通上人、初め音妙庵と

稱す。寶永二年祝融の災あり、會々傳法屋の宅地を以て假堂を

建つ。明治廿六年五月庫裡を、同三十四年五月本堂を新築す。

寺寶に法師の宗祖像あり。府廳及警察本部、商船會社へ約三丁

とす。

妙見寺 大光山末 紫一四 九條南通二丁目 村瀬 至準

由緒沿革 松壽山と號す、文明四申年權大僧都印俊上人、京都

柿本町に創立し本喜院と稱す。明治三年祝融の災あり。明治十

二年大阪市西區高砂町へ(境内七十坪)移轉再興し、改めて本山慈

妙院日廣上人を開山とす。同廿六年、四世日誠上人、更に同區

九條新道へ(境内百七十坪)移轉し、同四十年四月、現住(境内五百五十坪)現地に移轉し、本堂その他を新築して妙見寺と改稱す。

▲西成郡

導通寺 大阪妙福寺末 中津村下三番 安田 智英

由緒沿革 妙進山と號す、開山導通上人、創立天正七年十二月。

妙眞寺 大光山末 神津村野中

由緒沿革 鳥養山と號す。

寂光寺 大阪妙經寺末 中島村江口 山尾 智養

由緒沿革 寶林山と號す、開山妙の前江口君、中興普門比丘、創立元久元年。

正蓮寺 火光山末 傳法町南三丁目 山村 憲善

由緒沿革 海照山と號す、開山唯惟院日泉上人、創立寛永二年。元禄二年及天保三年焼失再建し、嘉永七年本堂震災に罹り、明治七年再建す。

松寶寺 小湊末 墨江村殿辻 安部 泰學

由緒沿革 妙長山と號す、開山長遠院日蓮上人、創立承應三年。

▲東成郡

長法寺 身延末 安立町安立

平、二五

由緒沿革 開山日寛上人、創立貞享二年。

◎大阪府 第二部 (三島組)

▲三島郡

本澄寺 本満寺末、中末五 五領村上牧 小野 日喜

由緒沿革 法華山と號す、開山權大僧都日願上人、創立文明三年四月廿八日。

本立院 大阪本澄寺末 五領村上牧 林 惠妙

由緒沿革 開山青林院日受上人、創立大永七年二月。

眞如院 大阪本澄寺末 五領村上牧 木村 惠淨

由緒沿革 開山永中院日護上人、創立永正十四年十月。

一乗寺 本法寺末、中末二 五領村梶原 中川 良宏

由緒沿革 昌林山と號す、初め眞言に屬し金仙寺と名け三井寺の千觀法師天徳年中に草創す。應永卅四年開山久遠成院日親上人、京都一條戻橋の邊り石上に坐して説法弘通す。會ま當山の開基たる梶原の郷士、宇野孫左衛門西村彦兵衛の二人、開法受戒し上人を金仙寺に請じて改宗す。上人乃ち今の寺山號を賜ふ。實に開山關西弘通發軔の靈物なり。開山の資教行院日禪上人二世を継ぎ、六世日榮上人の時紀伊大納言の歸依あり、一盛一衰を経て現今に到る。寺寶に宗祖本尊、開山眞筆壇谷抄並本尊、二世日禪上人作開山御像及び傳教大師作毘沙門像等あり。

日蓮宗寺院 ◎大阪府第二部 ◎三島郡

由緒沿革 實教山と號す、開山日能上人、創立正保二年。

▲中河内郡

本了寺 大阪海寶寺末 惠我村若林 松葉 堅修

素、二五

東池庵 大阪常國寺末 惠我村若林

素、二四

蓮城寺 頂妙寺末 若江村 中西 清觀

平、二三

善宗寺 小室末 松原村田井城

平、二四

勸成院 大阪本澄寺末 枚岡村豊浦 杉枝 泰善

平、二七

境智院 大阪本澄寺末 孔舎衙村日下

平、二五

▲北河内郡

善達寺 身延末 住道村三箇 西村 智仙

平、二六

本妙寺 大光山末 住道村三箇 岩崎 日軌

平、二〇

欣求庵 大阪本澄寺末 牧野村小倉兼林 惠妙

素、等外

安穩寺 本法寺末 五領村梶原

素、一九

田中寺 本満寺末 五領村梶原 小林 行文

平、二六

源覺寺 本満寺末 五領村梶原 東野 行寂

平、二八

妙淨寺 本満寺末 五領村梶原 山本 龍善

平、二七

成就寺 本満寺末 五領村萩ノ庄 中西 惠隆

平、二八

妙本寺 本法寺末 島本村廣瀬 雜賀 龍仙

素、二三

法照寺 京妙覺寺末 盤手村下 山田 智圓

平、等外

由緒沿革 廣宣山と號す、開山久遠成院親師の弟子教行院日禪上人、創立文明六年二月一日。開山は梶原一乗寺二世にして、梶原經營の後、當山を開創せらる。

由緒沿革 富松山と號す、開基長田重氏、開山惠教院日乘上人、創立寶永五年。

乾性寺

京法華寺末
平、三〇

盤手村古曾部

原田 海温

由緒沿革 加賀山と號す、開山乾性院日進上人、創立元和五年七月。

本行寺

本満寺末
紫、二〇

高槻町 佐野 順保

由緒沿革 常智山と號す、開山一如院日重上人、創立文祿年中、現今の本堂は、五世日東上人、城主永井日向守直清公の歸依を得て之を造立す。始め廣忠寺を移轉せしものと傳へらる。現住妙見堂を改築し、卅餘間の數石等を敷設す。

圓通寺

本満寺末
平、二五

富田村 玉谷 智善

由緒沿革 正法山と號す、開山寂照院日乾上人、創立寛永二年九月。

廣宣寺

本法寺末
平、二六

阿武野村氷室

西川 日遵

由緒沿革 開山日通上人、創立慶長八年。

經王寺

本法寺末
紫、二四

阿武野村塚原

熊代 日秀

由緒沿革 昌信山と號す、開山日通上人、創立天正十九年四月。

本頂寺

本満寺末
平、二七

春日村郡山

萩原 即善

由緒沿革 唱徳山と號す、開基山本三四郎、開山了達院日龍上人、創立文安六年十二月。

妙徳寺

本満寺末
紫、二一

茨木町茨木

西山 秀妙

由緒沿革 眞如山と號す、開基眞如院妙徳日實、開山日應上人、

圓珠寺

本満寺末
紫、一八

東郷村野間中

高谷 智勇

由緒沿革 龍淵山と號す、開基惣檀中、開山寂照院日乾上人、創立慶長六年四月。

興徳寺

本満寺末
平、二四

東郷村野間大厚

一庭 韻照

由緒沿革 長榮山と號す、開基惣檀中、開山日意大徳、創立慶長十二年二月。

法華寺

本満寺末
平、二四

東郷村野間稻地

中西 恕空

由緒沿革 寶林山と號す、開基惣檀中、開山正存院日久大徳、創立元和九年二月。

善福寺

本満寺末
平、二四

東郷村野間出野

花谷 慈常

由緒沿革 受持山と號す、開基惣檀中、開山正支院日得大徳、創立慶長八年八月。

法性寺

本満寺末
緋、一九

東能勢村切畑

下浦 日靜

由緒沿革 清岳山と號す、開基能勢市十郎源頼永、開山玉持院日然上人、創立慶長九年十月。

長久寺

本満寺末
素、一九

田尻村下田尻

吉野 善達

由緒沿革 善養山と號す、開基檀方中、開山正林院日休上人、創立元和三年五月、初め眞言に屬す。領主能勢攝津守源頼次公本宗に歸依改宗すると共に、當時の住僧善長坊及檀方を擧て改宗せしめしものを當寺とす。開山は善長坊改宗の法號なり。寺寶に惠心僧都作立像釋尊等あり。

創立文祿二年。

長榮寺

大阪長久寺末
平、二四

三ヶ牧村柱本

由緒沿革 圓妙山と號す、開山圓立院日圓上人、創立元和二年九月。

妙樂寺

大光山末
平、二九

鳥飼村鳥飼下 山尾 智修

由緒沿革 松久山と號す。

◎大阪府 第三部 (豊能組)

▲豊能郡

眞如寺

本満寺末
緋、一五

東郷村地黃 佐野 學山

由緒沿革 無漏山と號す、開基能勢攝津守源頼次公、開山寂照院日乾上人、創立慶長五年三月。もと眞言に屬せる眞光寺の廢地なり。當時開山は本山十三世の法灯を挑ぐ。開基の請に應じ、此地に庵を結び覺樹庵と名く。尋て身延廿一世に嗣法せるも、再び來て此に傳道す。開基益々信歸し、祖先多田滿仲卿菩提のため建立せるものを當山とす。地形頗る身延に彷彿し、特に宗祖御眞骨を分安す。依て關西身延と云ふ。寺内七面堂の傍に誓の瀧あり。奥之院は明治廿一年十一月の再建とす。

清普寺

本満寺末、中末一
緋、一七

東郷村地黃 長井 辨融

由緒沿革 正行山と號す、開基能勢攝津守源頼次、開山玉持院日然上人、創立慶長六年三月。

妙唱寺

大阪清普寺末
平、二七

田尻村下田尻 立野 究竟

由緒沿革 首題山と號す、開基立野妙唱尼、創立享保年間、初め妙唱庵と號す、明治十二年十一月一日寺號公稱す。

蓮華寺

本満寺末
紫、二二

枳根莊村今西 金山 慈政

由緒沿革 廣榮山と號す、開山妙寂院日深上人、創立元和二年十二月。

妙圓寺

本満寺末
紫、二四

枳根莊村長谷 高橋 貫愿

由緒沿革 法性山と號す、開山發心院日慶上人は元と眞言の僧なり、慶長年間、寺檀を擧て改宗す。十七世智周院日照上人寶曆年間再興し、廿世法運院日啓上人、文化文政の頃、近世宗學の泰斗優陀那日輝上人の師、本妙日臨上人、寺を去る數丁の豁谷に庵を結て研學す、庵跡現存す。寺寶に宗祖弘安三年三月天目上人へ授與の本尊、其他本妙臨師の書簡、本尊等を藏し、有名なる三草山に近し。

妙法寺

本満寺末
緋、一九

歌垣村倉垣 長田 行學

由緒沿革 永昌山と號す、開基中興能勢惣左衛門頼次、開山中興神光院日賢僧都、創立治安三年、後天正元年六月中興。

安穩寺

本満寺末
素、二一

歌垣村倉垣 山下 麗潭

由緒沿革 普門山と號す、開基惣檀中、開山寂照院日乾上人、創立慶長六年二月。

正林寺

本満寺末
素、二三

歌垣村倉垣 吉野 善靜

由緒沿革 長溪山と號す、開基惣檀中、開山慈眼院日秀上人、創立寛永六年三月十五日。

涌泉寺 本満寺末 平、二四 歌垣村倉垣

由緒沿革 石川山と號す、開基信徒中、開山法性院日佩上人、創立寛永六年三月十五日。

妙華寺 本満寺末 平、二五 歌垣村吉野 里見 觀如

由緒沿革 永昌山と號す、寂照院日乾上人當地弘通の砌り、大守頼次公歸嚮し能勢一帯の地を改宗せしめ、其弟子善行院日言上人を請ひて開山とす。時に元和七四年八月二日なり。廿八世亮壽院日達上人天保十一年三月、本堂を建立中興す。

法華寺 大光山末 緋、一八 南豊島村原田 大岩 定進

由緒沿革 妙見山と號す、開基近藤五良左衛門山本新兵衛、開山日雄上人、創立寛永十二年。

本養寺 本満寺末 緋、一六 池田町 難波 慈明

由緒沿革 瑞光山と號す、開山日秀上人、創立慶長十六年三月。

新福寺 身延末 素、二四 庄内村庄本 水谷 惠遵

由緒沿革 如説山と號す、開山日芳上人、創立慶應二年九月。

止々庵 大光山末 平、等外 中豊島村服部 前田 惠妙

由緒沿革 妙見山と號す、開山日俊上人、創立寛保元年三月。

にあり體を振ひ其妻孥を守り、法衣の儘馬上に騎し、拂子を以て摩扇に代へ、軍を指揮して堺に還り、先づ之康の遺族を阿波に送り、直に轉じて若江に入り、之康の弟筑前守義長をして其職權を繼がしめ、依然于命を守り將軍に臣從せしむ。義長、其兄之康が菩提のために遂に堺の別荘を寄附して寺とす。即ち當山これにして學師妙國院日祝上人の院子に依つて廣普山妙國寺と稱す、實に永祿十一年とす。後三好氏亡びて織田氏の代となる。信長江州安土に本城を構へ、其庭園莊嚴のために、猪子兵助を使者として當山に來りて彼の殊草を所望す。開山説けども聞かず、用捨なく人夫を掛けて彼の大樹を掘出し安土城の廣庭に植ゑたりしも、怪異の事あり、遂に寺に還すに至る。かくて天正七年有名なる安土宗論あり、一時非理に陥りしも豊公に及て教光再び輝く。文祿三年下總中山に瑞世し、慶長三年八月同山にて迂化せらる。開山こゝにあるの日、山光院日詮、常光院日諦二上と共に學を講ず、時人呼んで三光勝會と呼ぶ。蓋し宗門檀林の初めとす。當初寺域東西三丁、南北五丁、七堂伽藍巖然たりしが、大阪落城の前、大野道犬、徳川勢を防ぐため、堺に來り當山を本陣として遂に火を放ち逃れたるを以て、諸堂悉く烏有に歸し、現今の建築はその後の經營になる。靈寶に嵯峨天皇御眞翰、紺紙金泥御經、伏見天皇御眞翰、同御歌、靈元法皇御眞翰、同御歌(坊城大納言添輪付)、聖德太子御眞翰、法華經序品之畫、光明皇后御眞翰、紺紙金泥御經、御歴代御繪旨、一日蓮聖人御眞筆(一曼陀羅及御消息等數種)、一日常上人日朗上人日像上人日親上人等御眞筆、一傳教大師御眞筆、一弘法大師御眞筆、一深草元政上人筆、一澤庵禪師筆、一楠正成公筆、

大阪府 第四部 (和泉組)

堺市

本山 妙國寺 十三等 末寺一〇餘 三丁 材木町東 神保 辨靜

由緒沿革 廣普山と號し、四十四ヶ本山の一たり。開山佛心院日珣僧正にして、永祿五壬戌年十月の創立に係る。開基三好之康實休。我が國、足利氏の末、天下大に亂れ、群雄割據す。當時三好一族阿波に據り、帶甲十萬強梁跋扈し、攝河泉を侵略す。其首領三好長慶の叔父、即ち薩摩守長基の子、豊前守之康入道實休、河内若江城に據り、和泉を控へて攝津を制す。堺に奇樹あり(所謂蘇鐵にして木幹より出づる各葉鳳尾に似たるを以て鳳尾蕉と云ふ)と聞き、親く之を見讃嘆措かず、遂に庭園を其處に開き別荘を構ふ。時に堺府に開山あり、土地の豪商油屋常言の男、京都頂妙寺日治上人に師事し十七歳、三井南都觀峰等に研學し、弘治元年廿四歳、洛の頂妙寺を補し、同三年皇化翼贊の功を以て權僧正に任じ、後叡山學徒のため三大部を講じ、重寶の紫袈裟を贈らる。吾宗紫袈裟を用ふる之を始とす。折しも三好松永の黨妄舉無道なるを以て、先づ若江に至りて之康に説く。三好家固より眞宗を奉ず、之康是を以て容れず、強ひて城外に放逐す。上人愈々迫り益々説く。臣下其の説に伏し、之康亦歸し、深く本化の旨を領して改宗し、開山に容れて其堺府の別荘につき、假りに子弟教養の場たらしむ。已にして之康、鳥山紀伊守高政に圍まれ、衆田に敗死す。開山、亦圍中

一伊達政宗公筆、一三好義長公筆、一兆殿司筆、一釋迦文殊普賢三幅對、一雪舟筆(雨中鳥)、一唐孟易筆(虎)、一明弼殿復山水、一呂夢芝(山水)、一聖德太子御作(釋尊)、一傳教大師作大黑天、一兒島高德守本尊辨才天十六童子、一徳川家康公寄附之茶碗井に妙國寺切の袋、一三好實休寄附之青磁小豆形花生、一三好實休寄附之南蠻燒花生、一空蟬茶杪如心齊摸、一豊臣秀吉公寄附之茶入并に香爐、一信長公寄附之硯、一加藤清正公寄附の朝鮮分捕の劍并に軍配、一相州五郎正宗の刀、筒井順慶所持の一來國光の刀、一三池傳太光世の刀、一備前長義の脇差等を藏し、境内には開基の愛好し、信長の所望し、家康の嘆賞せる大蘇鐵あり、妙國、普賢座の如き、實に海内無双と稱せらる。殊に慶應四年二月十五日、佛國軍艦住吉沖に碇泊し、水兵上陸して亂暴しけるに依り、當時、堺浦に警備中の土佐藩士の小隊長箕浦初め一同大に憤慨して其水兵を討ち取りたるに、佛國よりの談判にて同月二十三日當山境内にて割腹せる十一名の勇士の墳墓等あり。諸者常に絶えず、能く宗魂義魄を千歳に傳ふ。

惠照院 妙國寺末 平、二四 材木町東三丁 澤田 智全

由緒沿革 開山佛行院日善上人。

梅明院 妙國寺末 平、等外 材木町東三丁

由緒沿革 開山日政上人。

本要寺 本満寺末 平、二八 新在家町東二丁 黒田 惠海

由緒沿革 長榮山と號す、開山玉洞明院日秀上人、創立寛徳二年五月。

妙慶寺 京妙顯寺末 素二六 新在家町東二丁 筒井 妙道

由緒沿革 開山日英上人、創立文龜年間。

圓明寺 大光山末 平二五 新在家町東四丁 田中 貞明

由緒沿革 開山日辨上人、創立文明十一年十二月。

本光寺 大光山末 紫一九 大町東四丁 妙立 英壽

由緒沿革 廣普山と號す、開山日雄上人、創立寶徳元年三月廿八日。

櫛筒寺 立本寺末 素、等外 東之町

由緒沿革 開山日染上人。

養壽寺 身延末 平二二 甲斐町東四丁 倉橋 順榮

由緒沿革 宗圓山と號す、開基今井宗圓、開山本山廿五世妙寂日深上人の資即妙院日相上人、創立永祿十年九月、開基の父宗仲は信長公の臣、其弟宗久は秀吉公より攝津五ヶ莊二千二百石を賜ふ、宗仲、宗久の歿後宗圓は自邸を寺とし、秀吉公の尊信ありし妙見尊を勧請し、今井一家、代々外護者となる。寺寶に榮徳筆金沙粉吉野千本櫻繪襖十四枚、元信筆金泥西湖繪襖十二枚等を藏し、附近に住吉公園、濱寺、大濱等あり。

本教寺 大光山末 平二五 甲斐町東四丁 吉田 日英

由緒沿革 開山日長上人、創立永享十二年九月。

奉成寺 本法寺末、中末一 寺地町東三 中村 惠妙

息、朗師本尊及安陀衣廿五條、秀頼公眞筆、土佐大藏卿眞筆、嵯峨天皇の紺紙金泥法華經、大明國王子の法華經、太閤秀吉公眞筆、近衛公眞筆、親師本尊等を藏す。

月藏寺 妙國寺末 紫二四 柳之町東二丁目 森岡 文學

由緒沿革 開基油屋常吉、開山日了上人、創立天文十二年四月。

妙光寺 京妙顯寺末 平二四 南旅籠町東三 仲村 純義

由緒沿革 開山日晋上人、創立應永年中。

▲泉南郡

妙光寺 京妙覺寺末、中末一 佐野町市 西阪 遵道

由緒沿革 本覺山と號す、開山大覺大僧正、創立延文三年二月、寺寶に開山請雨祈禱の際奉掲せられたる本尊(所謂傘之内本尊)及同親刻宗祖尊像等を藏す。

妙淨寺 京妙覺寺末 紫二〇 佐野町市場 守法 即行

由緒沿革 妙國寺末 平二二

長安寺 大光山末 平二六 西信達村岡田 寺内 龍孝

由緒沿革 開基高橋久左衛門、開山正覺院日近上人、創立天正五丁巳年五月。

妙泉寺 大光山末 紫二〇 貝塚町近木 小野 好慈

由緒沿革 登寶山と號す、開基桔梗屋十兵衛、開山久遠成院日親上人、創立文安元年十一月。開山諸國弘通の砌、播磨岡東條郷吉田村に於ける法難を避けて、兵庫の津より乗船當堺の津に着、石を高座として敷日布敷せらるゝや、宿習の蕪發する處、開基應法歸依し、直に淨財を投じて富山を建立す(開基の家、連綿として堺市に現存し、當主を渡邊重平と云ふ)。寺寶に開山五十一歳の時の御自作生御影尊像を安置す。

興覺寺 京妙覺寺末 紫二四 櫛屋町東四丁 青木 龍雲

由緒沿革 開山日忍上人。

妙法寺 京妙顯寺末 紫一七 中ノ町東三丁 藤井 行本

由緒沿革 開山日祐上人、創立貞和四年六月。

經王寺 京妙覺寺末 紫二三 九間町東二丁 原田 海旭

由緒沿革 本覺山と號す、開山本山九世大聖院日延上人、創立永享元年、慶長十九寅年大阪の冬陣に兵火に罹り、慶安二五年九世日達上人、松平中納言姫君の歸依を得て再興す。寺寶に童子形妙見像、藤原重信筆大涅槃像等あり。

成就寺 大光山末 紫一八 宿屋町東三丁 金田 是信

由緒沿革 大法山と號す、開山本山五世日傳上人の資日驗上人、創立應永十三戌年、六條本國寺又は六條成就寺とも稱し、殿堂坊舎莊嚴備足せしが、慶長年中兵燹に罹り、十三世廣演院日通上人、寛文年中中興し、爾來經營して寺運昌盛なり。寺寶に宗祖御本尊、黄金多聞天、九條良忠公眞筆、唐畫十六羅漢、像師消

由緒沿革 開山日喜上人、創立慶長三戌年。

本昌寺 大光山末 紫二二 岸和田町五軒屋 久保 泰直

由緒沿革 開山教藏院日受上人。

圓教寺 大光山末 紫二一 岸和田町五軒屋 山崎 泰昇

由緒沿革 開基小出大和守、開山正行院日仁上人、創立慶長五庚子年。

▲泉北郡

感應寺 妙國寺末 紫二四 上神谷村富藏 石鍋 眞如

由緒沿革 妙見山と號す、開山本山八世日俊上人、創立萬治元年三月十六日。

妙源寺 小湊末 紫一九 國府村府中 長田 常明

由緒沿革 妙見山と號す、開基中谷源左衛門、開山大覺大僧正、創立應永二己卯年三月。

妙泉寺 京妙覺寺末 紫一五 國府村和氣 岡田 春得

由緒沿革 大覺山と號す、開基中谷源左衛門、開山大覺大僧正、創立應永二己卯年三月。

妙法寺 本法寺末 平二七 鶴田村菱木 下野 唯禎

由緒沿革 開基岡部美濃守長泰、開山本妙院日要上人、明治二十六年二月岸和田より現地に移轉す。

慈眼寺 身延末 平二九 大津村 安東 正惠

法華寺

京妙覺寺末 中百舌鳥村梅 河村 妙春
平、等外

本行寺

京妙顯寺末 湊村中筋 安東 英正
素、二三

長源寺

妙國寺末 湊村中筋 金平 正良
紫、二三

由緒沿革 開山日上人、創立元和三年二月。
由緒沿革 開山權大僧都日祝上人、創立永祿十丁卯年四月十二日。

能勢 妙見山

(大阪府豊能郡東郷村)

當地はもと清和源氏の鼻祖、鎮守府將軍多田滿仲卿三代の嫡孫能勢左馬頭源頼國朝臣、長元年間の開創にして、今を距る實に八百八十餘年、此間鎮宅靈符(道家にて妙見大士を呼びまつる稱)として道家或は密家の修法を以て祀れる能勢氏一家の鎮守にして、山家の一小祠に過ぎず、降て慶長の頃、該家二十三代、攝津守頼次侯、深く本宗を信じ、京都本滿寺寂照院日乾上人に歸依して師檀の契を結び、領土を擧げて本宗に改轉す、是の時所祭の鎮宅靈符(妙見大士)を開運妙見大士と改め勸請せられてより、爾來醍醐の法味を捧げ、唱題の聲山谷に充ち、祈願參拜の徒都鄙に徧し、山中三箇の瀧あり、法水滔々として煩惱の塵垢を洗ふべし、登山に三道あり、笠山驛よりするを木道とし、京都及大阪より各々八九里、皆馬車の便あり。

奈良縣

▲奈良市

蓮長寺

大光山末 油阪町 大塚 行妙
緋、一八

由緒沿革 光映山と號す、開基喜見院權律師日便上人、開山權少僧都即後上人、創立文永十年。初め三論宗に屬し、宗祖、南都御遊學二ヶ年の間滯寓ありし遺蹟にて、後年、この故を以て改宗す。寺寶に宗祖御分骨入御尊像、宗祖御親刻大黒天、同御木尊等を藏し、附近に奈良公園及瀧阪妙見宮等あり。

常徳寺

頂妙寺末、中末二 北向町 寛紀 慈正
紫、二五

由緒沿革 法性山と號す、開基宇都宮公綱公、開山淨行院日祐上人、創立曆應三庚辰年。

啓運寺

京妙覺寺末 小川町
平、二六

由緒沿革 法性山と號す、開山富明院日元上人。

妙法寺

京妙顯寺末 奥子守町 荒川 孝順
平、三〇

由緒沿革 一乘山と號す、開基中興貞孝日修尼、開山法性院日信尼、創立慶長元丙申年三月。

▲宇陀郡

妙福寺

奈良常徳寺末 神戸村平尾 北村 慈好
平、等外

由緒沿革 長久山と號す、開山本環院日琢上人、創立天文九年。

日蓮宗寺院 ①奈良縣 ②奈良市 ③宇陀郡 ④磯城郡

長隆寺

京妙顯寺末 松山町上新
素、二七

由緒沿革 松光山と號す、開山蓮光院日仙上人、創立天正元年。

▲磯城郡

妙要寺

大光山末 櫻井町櫻井 大島 鳳旭
平、二五

由緒沿革 惠光山と號す、開山眞如院日悟上人、創立寛文二年。

長顯寺

京妙顯寺末 田原本町小室
平、二八

由緒沿革 本妙山と號す、開基律師詮壽院日精上人、開山蓮光院日仙上人、創立寛文元年。

妙勝寺

京石塔寺末 都村新町 木村 孝心
平、等外

由緒沿革 榮長山と號す、開山光秀院日悦上人、創立寛政年中。

▲高市郡

蓮妙寺

京妙覺寺末 今井町今井 松島 宏運
平、等外

由緒沿革 惠正山と號す、開山大覺大僧正、創立正慶二年。

常照寺

奈良常徳寺末 高取町清水谷
平、二六

由緒沿革 寂而山と號す。

▲北葛城郡

妙行寺

京妙覺寺末 高田町三倉堂 辻本 即貞
平、三〇

日蓮宗寺院 ①高市郡 ②北葛城郡

▲南葛城郡

本久寺 大光山末 素二一 吐田鄉村名柄 松尾 麗温
由緒沿革 常照山と號す、開山蓮光院日仙上人、創立天正八年。

▲生駒郡

泉延寺

京妙顯寺末 平二四

郡山町本町 吉田 啓運

由緒沿革 長顯山と號す、開山權律師蓮光院日仙大德、創立天正元癸酉年四月廿八日、開山は廿九歳出家し、慶長十四乙酉年七月三日七十三歳を以て寂す、其間當山の外、縣内長顯、長隆、本久の三寺を創す。寺寶に宗祖立正安國論の斷片、日法上人作宗祖御像等を藏す。附近に郡山舊城趾あり。

妙善寺

大光山末 平二七

郡山町北郡山 矢野 貞忠

由緒沿革 幽遠と號す、開基本多中務、開山勇進院日猛上人、創立寛永年間。

大法寺

京妙覺寺末 平二二

片桐村小泉

由緒沿革 眞淨山と號す、開山慈景院日耀上人、創立寛政五癸丑年五月。

妙延寺

京妙顯寺末 平三〇

龍田町 村田 行淨

由緒沿革 龍王山と號す、開山黃光院日仙上人、創立慶長十五年八月。

◎兵庫縣 第一部 (神戸組)

▲神戸市

法蓮寺

大光山末 緋一〇

兵庫神明町 置鹽 學進

由緒沿革 妙光山と號す、開山本山三世摩訶一院日印上人の法孫大僧都日融上人、至徳年間創立。元和年間大阪兵亂の砌諸堂破却せられ、慶長年間通照院日周上人庫裡を、次いで妙法印梵鑑を、寶永年間玄名院日亮上人鐘樓を、華運院日經上人番神堂、北辰堂、七面堂、表門を各々經營し、天保年間日堂上人庫裡を、同九年安住院日法上人本堂を、明治廿一年藤本日性上人庫裡を、同廿六年添田日圓上人鐘樓堂を各再建す。

本壽寺

大光山末 緋一三

下山手通七丁目 岩室 逞玉

由緒沿革 開山本山四十五世中教正釋日禎上人、創立明治十二年十二月二十三日。

妙法華院

中山末 緋一四

兵庫湊町 新聞 日精

由緒沿革 護同山と號す、創立明治十七年三月二十八日。初め明治十六年の夏、正中山百十四世日龜上人、九州巡化の途次、信徒の請により此地を相し、元土佐家の舊本陣を曳きて一字を建立す。後、村雲門跡より筋辨の寄附あり、楠公の守本尊たる毘沙門天をも寄進せられ、正中山別院と稱す。爾來現住大に寺門を經營して遂に寺山號を稱し、現今の隆昌を來せり。

招慶院

大光山末 平一七

兵庫福原町

日蓮宗寺院 ◎兵庫縣第一部 ◎神戸市 ◎尼ヶ崎市 ◎川邊郡

▲吉野郡

本長寺

大光山末 平三〇

大淀村中増

由緒沿革 普門山と號す、開山世雄院日遂上人、創立萬治二己亥年正月。

由緒沿革 明治十六年三月十四日新築。

法隆寺

妙國寺末 緋一五

山本通 野上 泰元

由緒沿革 開山慈尊院日現上人、明治廿九年十二月堺市材木町より移轉し舞如院と稱せしを後現寺號に改む。

本妙院

大光山末 紫一四

葺台雲井通七丁目 武富 泰善

由緒沿革 開山本妙院日到人。

▲尼ヶ崎市

長遠寺

大光山末、中末三 緋一四

寺町 池田 博耀

由緒沿革 大堯山と號す、開山本山四世日靜上人の資永存院日願上人、創立觀應元庚寅年、初め辰巳町にあり、元和元年、月田左門氏鐵、現地に移す。寺寶に宗祖御眞蹟、乙御前御書及御本尊、同御消息四通、後陽成帝勅願御繪旨二幅等を藏し、支院一ヶ寺あり、風光佳なり。

中正院

兵庫長遠寺末 平、等外

寺町 岩田 妙廣

由緒沿革 開山中正院日證上人。

▲川邊郡(攝津國)

本泉寺

大光山末 紫一九

伊丹町伊丹 森本 惠進

由緒沿革 開山慈雲院日柄上人、創立永祿三年。

廣濟寺

本満寺末 紫、等外

小田村久々知 矢野 日輝

由緒沿革 開山權律師如意珠院日昌上人、創立正徳四年十一月。
大惠寺 大坂本要寺末 中谷村廣根
由緒沿革 法華山と號す、開山見了院日蓮大徳、創立明暦二丙申年三月。

▲武庫郡

淨願寺 小湊末 紫、一四 今津村津門 服部 泰妙
由緒沿革 妙湊山と號す、開山本寺第三十一世妙具院日泰上人、創立元文五庚申年四月八日。

以呂庵 大光山末 平、二八 西灘村畑原 貞松 妙貞
由緒沿革 城南山と號す、創立慶長十年、もと大坂府東成郡生野村にあり、大正三年四月二十三日現地に移轉許可、同六年一月十九日移轉済。

▲有馬郡

妙三寺 京妙願寺末 平、二五 三田町 長谷川惠長
由緒沿革 開山寶積院日珍上人、創立慶長十六亥年十一月十四日。

▲多紀郡(丹波國)

本經寺 京妙願寺末 紫、二四 篠山町河原方 頤勇
由緒沿革 妙長山と號す、開基松平若狹守、開山持經院日泉上人。

▲明石郡(播磨國)

本立寺 大光山末 紫、一五 明石町當津村 野口 戒本
由緒沿革 成道山と號す、開山本山六世究竟院附正日慎上人、創立元和三丁巳年。初め小笠原家十一代右近大夫貞慶公の室(同十二代兵部大輔秀政公の生母)延壽院(日野大納言輝資卿の女本山十六世日慎上人姉)本宗に歸依し信州松本に本源寺を建立せらる。秀政公の息、忠貞公、元和三巳年、當所へ移封の際寺亦こゝに移り、今の寺山號に改む。實に中正院日護上人の時とす。寛永九壬申年十一月、公再び豐前小倉へ移らる、本立寺亦隨ひ轉ず。後寛永十一甲戌年淡州刈屋浦の本妙院日種上人、該本立寺跡地を拜領して妙圓寺を建て、後、舊寺山號を稱し、爾來經營して今日に到る。

海靜寺 兵庫圓光寺末 平、二五 明石町當津村 永淵 學正
由緒沿革 寶塔山と號す、開基藤田新二郎河井徳二郎、開山諦悟上人、創立明治十二年十二月一日。

本松寺 大光山末 紫、一五 明石町大明石村 釋 玄耀
由緒沿革 法榮山と號す、開山審理院日芳上人、慶長元年、明石町の西南舟上村に在り、元祿四未年、檀頭島左近の末裔齋藤甚左衛門の盡力により、現地に移轉す。勸請の妙見尊は島左近の崇敬常侍の尊像と傳ふ。明石舊城、人丸社皆近く、舞子の濱は東廿丁とす。

大聖寺 京妙覺寺末 平、二二 明石町上ノ丸 梶 日宣

人、創立元和元年二月。

妙福寺 大光山末、中末一 紫、二四 篠山町西町 佐野 要伯
由緒沿革 寶乘山と號す、開基權大僧都日洞上人、開山蓮光院大僧都日助上人、創立寶永七年四月。

圓心寺 兵庫妙福寺末 平、二七 城南村眞南條 片山 惠忍
由緒沿革 大道山と號す、開山本寺妙福寺九世日忠上人、創立寛文八戊申年。

園林寺 大光山末 平、二六 大山村追入

本妙寺 頂妙寺末 平、二五 國領村東中 吉川 體全
由緒沿革 日出山と號す、開基足立徳心居士、開山瑞雲院日保上人、創立慶長十八年。其年九月廿七日、龜岡城主岡部内膳正より山林田畑等の寄附あり、維新まで黒印寺とす。附近に赤井城址あり。

法泉院 兵庫長遠寺末 平、二七 久下村大河石 益田 卽妙
由緒沿革 開基法性院日用大徳、創立文龜元四年、もと兵庫縣川邊郡にあり、明治三十一年三月廿九日現地に移轉許可。

番守寺 大光山末 平、二六 小川村野坂 梶 卽詮
由緒沿革 中興開基本妙院日久上人、中興寶曆九卯年十一月二十一日。

由緒沿革 惠光山と號す、開山大要院日惠上人、創立文安三年十月六日。

▲美嚰郡

本要寺 大光山末、中末一 紫、二八 三木町福井
由緒沿革 開山本山三世九老僧摩訶院日印上人、創立天文三年六月。

久遠成寺 大阪一乘寺末 平、二七 志染村戸田
由緒沿革 眞如那山と號す、開基阪田寅市井上彌藏、開山惠徳院日驗上人、創立明治十二年十二月三日。

▲加東郡

淨光寺 本法寺末 平、二二 上東條村永福 小高 寛仲
由緒沿革 護法山と號す、開山久遠成院日親上人、創立享徳三年三月、當寺は開山東條法難の靈地とす。

●兵庫縣 第二部 (播磨組)

▲姫路市

圓光寺 大光山末、中末四 平、二〇 五軒邸 藤田 惠身
由緒沿革 長明山と號す、文明六年四月、開山水乘院日全上人、南部より來て當國飾磨郡坪田村に創立し、慶長七寅年池田輝

政公、姫路城主たりし時、現地に移轉す。十一世空中院日眞上人は説法一萬一千餘座滿講、文政十年十七世興遠誠院日相上人本堂及諸堂再建、廿一世隆妙院日進上人は明治十一年より末寺四ヶ寺を創立し、中本寺となる。姫路白鷺城へ約五丁、書寫山園教寺へ一里半とす。

法華寺 大光山末 紫、二一 五軒邸 櫛笥 行純
由緒沿革 大光山と號す、開山高照院日登上人、創立慶長年中。

大法寺 京妙顯寺末 素、二三 五軒邸 村上 隆晃
由緒沿革 妙光山と號す、開基赤松上總之助、開山一心院日就上人、創立明應三寅年。

妙國寺 京妙顯寺末 素、二二 五軒邸上寺町 本田 啓運
由緒沿革 常在山と號す、開基當國置鹽城主赤松則房公、開山本講院日受上人、大永三年飾磨郡置鹽なるその城下に創立し、天正九年二世日念上人の時、姫路市河間町に移す、慶長十三年姫路城生池田輝政公の室、更に現地に移す。寺寶に傳教大師作毘沙門天及大黒天その他菅公の法華經一卷等を藏す。

本領寺 大光山末 平、二五 五軒邸上寺町 小足 日中
由緒沿革 光榮山と號す、開山本領院日賢上人、元和九癸亥年姫路市坂田町に創立し、寛永十六年同市北條門内に移轉し、萬治三年二世領壽院日進上人の時現地に移る。寺寶に千體佛及鬼子母神十女等あり。

▲赤穂郡

高光寺 大光山末、中末二 赤穂町加里 三好 圓智
由緒沿革 法耀山と號す、開基淺野内匠頭祖母高光院殿、開山即是院日脱上人、創立寛永十七年三月。

妙典寺 兵庫高光寺末 素、二五 鹽屋村大津 大富 惠靜
由緒沿革 啓運山と號す、開山則心院日惠上人、創立永祿六年。

大乘寺 兵庫高光寺末 平、二二 上郡町竹萬 福島 海省
由緒沿革 啓法山と號す、開山智性院日賢上人、創立天文元年二月。

▲揖保郡

常照寺 京妙顯寺末 素、二一 龍野町
由緒沿革 眞淨山と號す、開山大律師日周上人、創立慶長年中。

寶塔寺 京妙顯寺末 平、等外 林田村久保
由緒沿革 高照山と號す、開基掛下勘左衛門、開山慈雲院日瑞上人、創立享保年中。

▲飾磨郡

法華寺 大光山末 緋、二二 御國野村御着 平井 學俊
由緒沿革 大乘山と號す、永享年間まては法華堂と呼ぶ。後開山本國寺高照院日登上人、應仁の亂を避て中國を巡教し、當堂

立弘治二年三月。

▲神崎郡

妙法寺 京妙顯寺末 緋、一四 福崎村山崎 長谷川日禰
由緒沿革 榮昌山と號す、開基小國彌三大夫、開山玉藏院日兼上人、創立慶長二年四月。

蓮華寺 京妙顯寺末 紫、一七 福崎村西治 榮井 惠能
由緒沿革 妙法山と號す、初め天台に屬し圓光寺と稱す。寛文二年二月、開山(本山日饒上人の資)要詮院日順上人、當村信徒の歸依を受け舊宗を改め今の寺山號を掲ぐ(開山は更に山崎村妙法寺二世となる)。元祿二年六世感應院日預上人本堂を、享保十年九世持善院日淳上人鐘樓門を各建立せらる。更に現住本堂を再建し庫裡を新設す。依て本山は中興開基の稱を贈る。寺寶に審上の紺紙金泥本尊、日親上人讀經の尊像等を藏す。

醍醐寺 京妙顯寺末 緋、二〇 中寺村中寺 大塚 智運
由緒沿革 能養山と號す、開山本是院日達上人。

日啓寺 兵庫圓光寺末 平、二六 寺前村上岩 大西 桓常
由緒沿革 歸命山と號す、開基井田仲右衛門横山孫三郎、開山本業院日啓上人、創立明治十二年十月一日。

蓮泉寺 京妙顯寺末 紫、二二 甘地村奥 溪 惠齋
由緒沿革 日請山と號す、開基姫路城主松平大和守直知公、開山智境院日演上人、創立寛文十四年四月廿八日、開基境内六百

に滞在し、文明九年許狀を得て今の寺山號を稱す。同十六年嫡弟大乘坊日眞上人に置文を與へ、寺を譲りて山陰に入り、石州濱田に淨光寺を創立して示寂せらる。寺寶に宗祖御眞蹟及朝師略本尊等あり。播州四ヶの名所(曾根松、石の寶殿、高砂の松、尾上の鐘)へ一里又は三里とす。

▲印南郡

妙經寺 大光山末 素、二二 大鹽村仲ノ丁
由緒沿革 祐光山と號す、開基酒屋與左衛門、開山眞如院日如上上人、創立慶長年中。

妙勝寺 大光山末 紫、一八 山崎町上寺 塚田 惠靜
由緒沿革 法光山と號す、開基羽戸屋忠八郎、開山常在院日住上人、創立享祿元年三月廿一日。

法蓮寺 大光山末 平、二七 蔦澤村片山 塚田 惠宏
由緒沿革 轟山と號す、開山本珠院日榮上人。

法傳寺 大光山末 平、二二 菅野村高下 貫名 日輝
由緒沿革 龍川山と號す、開基庄政春、開山本住院日持上人、創